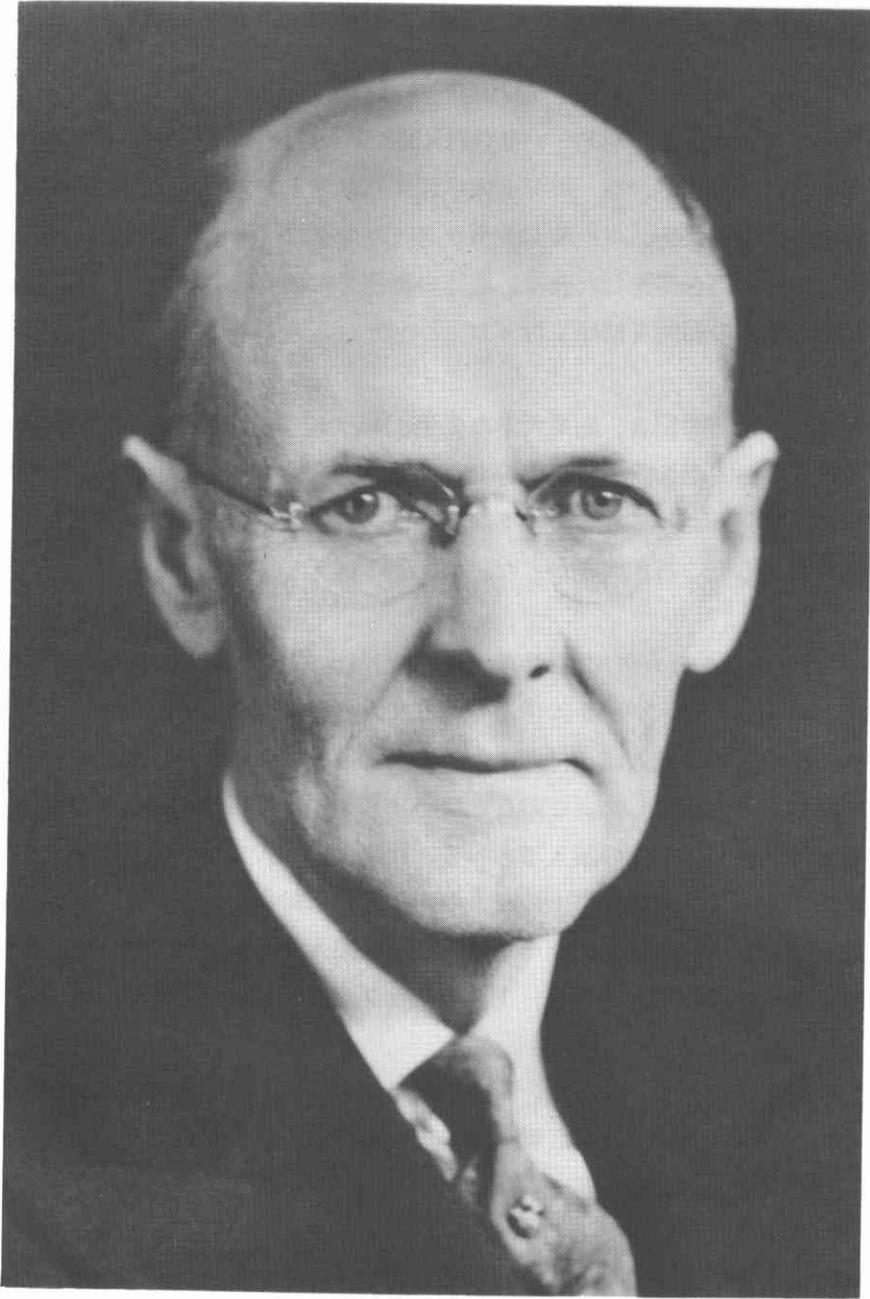


手をとり合って
奉仕の道を

(背文字及び題字は竹野 融 会員の揮毫である)



ロータリーの創始者 ポール P. ハリス

ロータリーの創始者 ポールP. ハリス氏略歴

ロータリーの創始者、ポールP・ハリスは1868年4月19日、米国ウィスコンシン州レーシンで生れた。そして、バーモント大学、プリンストン大学およびアイオワ大学に通学する前の少年時代を、バーモント州ウォーリングフォードで過した。1891年にアイオワ大学の法学部を卒業した彼は、法律の実務を始めるまでの5ケ年間、広く世間を知り、また交友の範囲を拡げて行った。

ポール・ハリスは新聞記者、商業大学の先生、レパトリー式専属劇団の舞台俳優、カウボーイなどをして働き、また大理石および花崗岩会社の外交員として、広く米国および欧州を見て回った。これらの様々な経験は、彼の識見を広め、ロータリーの初期の発展に貢献するところが大きかった。

1896年にハリスはシカゴに出て、弁護士を開業した。1900年のある日、彼はシカゴの住宅地域、ロジャース・パークに住んでいる友人の弁護士といっしょに食事をした。食後の散歩の途中で彼の友人は、付近の大小の店舗数軒に立ち寄り、ハリスを自分の友人である商店主に紹介した。このことはハリスをいたく感動させた。弁護士としての彼の顧客は、みな仕事上の友人であって、社交上の友人ではなかったのである。この経験からハリスは、彼の仕事上の友人の少なくとも何名かを、社交上の友人にすることができないものかと考えた。そこで彼は、実業人並びに専門職業人の若干名を選んで、友愛と親交のきずなで結び、1つのクラブを組織しようと決心した。

それからの数年間、ハリスは人生と事業の諸条件についての思索に、多大の時間を費した。そして1905年までの間に、職業上の関係について明確な哲理を体系立てたのであった。彼は弁護士の顧客3名—石炭商シルベスター・シール氏、鉱山技師ガスタバス・ローア氏および仕立販売業ハイラ・ショーレー氏と話し合った結果、彼が1900年以來構想を練って来たクラブを、これら3名と共に組織しようと決意した。1905年2月23日にクラブの第1回会合が開かれ、後日世界に結成を見た数千のロータリー・クラブの核心がここにでき上ったのである。会員たちが各自の事業所で輪番に会合し

たためハリスが「ロータリー」と名付けたこの新クラブは、一般の評判がよく、会員数は急速に増加した。会員のほとんどすべては小都市からシカゴへ出て来た人々であったので、彼らは少年の頃経験した親密な交友を、ロータリー・クラブにおいて再現することができたのである。創設後3年目にクラブの会長になったハリスは、ロータリーを他の都市へも広げたいと熱望した。それは彼が、ロータリーを将来重要な奉仕運動にまで発展させることができると確信したからである。

第2番目のクラブが1908年サンフランシスコに結成されたのに続いて、他のクラブも漸時組織されて行き、1910年にはクラブの数が16になった。ここにおいて、これらのクラブを1つの組織体に統合し、さらに運動を他の都市へも広げて、クラブ間のアイデアを交換する。手形交換所の如きものを作るべきだという結論に到達した。1910年8月、クラブの代表者たちがシカゴに集まり、**全国ロータリー・クラブ連合体**を結成した。その後カナダおよび英国にもクラブができ、運動の範囲が国際的となるに及んで、名称も1912年に**ロータリー・クラブ国際連合体**と変更された。そして1922年、これを短かくして**国際ロータリー**とした。ポール・ハリスは、**全国ロータリー・クラブ連合体**並びに**ロータリー・クラブ国際連合体**の初代会長であった。

ポール・ハリスが1947年1月に死去したとき、彼は**国際ロータリー**の名誉会長であった。

ポール・ハリスはロータリーのために多くの時間を献げたが、同時に社会的および専門的分野においても有名であった。彼は全米身体障害児童および成人協会並びに、身体障害児童国際協会の初代会長であった。彼は**シカゴ弁護士協会**の理事会の1員であり、**ヘーグ法律国際会議**における同協会の代表であった。彼はまた**アメリカ弁護士協会**の委員会委員をも勤めた。

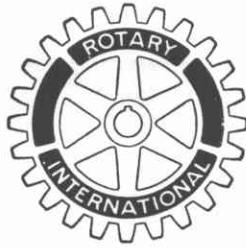
ポール・ハリスは、バーモント大学から哲学士および法学博士の学位を、アイオワ大学から法学士の学位を授けられた。アメリカ・ボーイスカウトは彼にシルバー・バッファロー賞を贈った。彼はまたブラジル、チリ、ドミニカ共和国、エクワドル、フランスおよびペルーの政府から勲章を授与された。



ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹しこれを育成し、特に次の事項を鼓吹育成するにある。

- 第1. 奉仕の機会として知り合いを拡めること。
- 第2. 実業及び専門職業の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること。
そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するために、その職業を品位あらしめること。
- 第3. ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。



四つのテスト

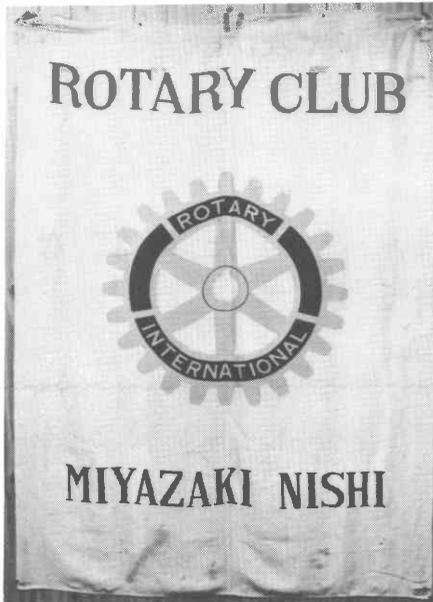
言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を
深めるか
4. みんなのためになるか
どうか

認 証 状



宮崎西クラブ旗



晴れの認証状伝達



昭和35年11月12日

宮崎西クラブバナー変遷



右は創立以来昭和40年迄使用され、左側が以後今日迄使用されている。

第6代長峰市次会長時代に、わがクラブ創立5周年と地区年次大会が当地で開催されるというので、これを機会につくり直してはということになり、クラブ内にバナーの特別委員会が発足した。

委員長 橋本一郎

委員 栗林東五・郡 嗣彦・橋本善吉・黒木 勝

デザインや経費の点で色々と経緯があったが、結局、県立宮崎工業高校デザイン部の興侶義孝先生、かつて当クラブの卓話をお願いした「ろうけつ染」の一人者に依頼、図案から東京の織元など先生を煩わして、経費の関係から写真版にて調製することになり、完成するまでには1年有余もかけられた苦心作のバナーである。

二回目バナー委員長 橋本一郎

目 次

20年史刊行にあたって.....	日高文雄...	1
名誉会員.....		2
ガバナー及びパストガバナー.....		3
第273地区ガバナー及び県分区代理(1979—80).....		6
歴代会長.....		7
初代(故)田崎亀夫会長を偶ぶ.....	日高文雄...	11
故木浦義雄会員 告別式.....	中村 浩...	13
特別代表 福田甚二郎さん逝去.....		14
歴代地区ガバナー会長・副会長・幹事.....		15
地区の変遷		
チャーターメンバー		
創立75周年(ロータリー)		
創立20周年(西クラブ) 記念実行委員会.....		16
第1編 20周年の喜び		17
創立20周年記念式典.....		18
会長挨拶.....	宮下廣計...	20
ロータリー創立75周年記念事業発表.....	橋本一郎...	23
20周年記念事業発表.....	日高文雄...	24
表 彰.....		27
永年無欠席表彰受賞者.....		28
祝 辞.....	井上和人...	29
祝 辞.....	日高安壮...	31
記念式典と祝賀懇親によせて.....		32
祝 賀 会.....		33
20周年記念座談会.....		38
会長時代.....		44
第2編 ロータリーの発生		62
第1章 ロータリー・クラブの構成と諸目的.....		62
第2章 ロータリー宣言.....		65
第3章 全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓.....		66

第4章	ロータリーの誕生	68
第5章	第273地区の概要	70
第3編	クラブ関係	82
	R・I会長指針	82
	クラブ運営方針	
	ガバナー公式訪問講演	104
	クラブ概況の推移	110
第4編	職業奉仕	112
(1)	職業奉仕の意義	112
(2)	ダリア賞の制定	112
第5編	社会奉仕	118
(1)	社会奉仕	118
(2)	青少年奉仕	118
(3)	社会奉仕基金制度発足	119
(4)	宮崎西ロータリークラブ奨学資金規程	120
(5)	古紙・古切手回収の奉仕実施	121
(6)	インターアクト	124
第6編	国際奉仕	143
(1)	国際奉仕の由来	143
(2)	国際奉仕のねらい	145
(3)	西クラブが実施した交換学生	146
(4)	交換学生報告	147
(5)	1979年3月交換学生報告	148
(6)	地区世界社会奉仕の状況	149
(7)	アテネ北R C・メイクアップの思い出	日高文雄…151
(8)	昭和54年度ロータリー世界大会(ローマ大会)に参加して	竹内三郎…152
第7編	ロータリー財団	154
(1)	ロータリー財団の発祥	154
(2)	ロータリー財団の諸活動	155
(3)	ロータリー財団寄付者	159

(4) 教育補助金	160
(5) 研究グループ交換 (GSE)	162

第8編 主催した主たる行事

第1	新会員懇話会	168
	プログラム	169
	ホストクラブ会長の歓迎挨拶	大古殿和丸 171
	ガバナー挨拶	向笠広次 171
	バストガバナー挨拶	島津久厚 173
	ロータリー解説	174
第2	インターシティー・ゼネラル・フォーラム	181
	プログラム	181
	歓迎のことば	吉賀幸夫 186
	ガバナー挨拶	日高安壮 186
	部問別討議	187
第3	地区協議会	205
	プログラム	206
	開会のことば	川辺政明 213
	あいさつ紹介及び地区協議会の目的並びに構成説明	杉原頼三 214
	財政	東 博仁 214
	地区ガバナーの訪問	東 博仁 215
第4	インターシティー・ゼネラル・フォーラム	217
	プログラム	217
	R・I会長のメッセージ	218
	歓迎のことば	菊池 彰 220
	分区代理挨拶	安楽 清 221
	激励のことば	塘 一郎 222
	分科会	225
	分区代理謝辞	藤吉雄二 232
	閉会のことば	田中秀男 233
第5	創立10周年記念式典	234
	プログラム	234

	奉仕活動のあらまし	235
第6	創立15周年記念式典	236
	プログラム	236
	来賓名簿	237
	ご挨拶	日高文雄... 238
第7	宮崎南クラブ設立スポンサークラブとなる	242
	プログラム	242
	御挨拶	日高真太郎... 243
	激励の辞	日高文雄... 245
第9編	区域限界の変遷	247
	区域限界に関する協定書	247
	宮崎南RC新設に伴う区域限界改正に関する協定書	251
第10編	クラブ年誌	253
第11編	会員名簿	374
第12編	資料	391
	出席標語名作集	391
	そこで一句集	394
	思い出のアルバム	396
	編集後記	20年史委員長... 日高文雄... 410

20年史刊行にあたって

20周年記念実行委員長

日 高 文 雄

1980年は宮崎西ロータリークラブにとって、極めて意義深い年であります。国際ロータリーも、1905年2月23日、アメリカはシカゴに発生してから75周年を迎えるということで、全世界のロータリアンに記念事業として3H運動と会員一人あたり15ドル寄付の運動を推奨している記念すべき年に、わがロータリークラブは機を同じくして、創立20周年をめでたく迎えたのであります。



昭和35年4月8日チャーターメンバー25名、初代会長（故）田崎亀夫君、爾來歴代の会長を中心に会員一同がロータリー精神という生命体を一心に見つめ、その内容を認識して取り組み、数々の奉仕を実践し、宮崎西クラブは永遠に消えることのできない灯が根強く輝き、躍動して今日の発展があります。

私共が宮崎西クラブ過去20年間の足跡を明らかにすることは、過去の事象が現代への行動の基準を与えてくれるという重要なものがあると思います。

従ってこの記念史発行が、20年をまた一つの節として宮崎西クラブ挙げてこれを記念し、さらにロータリーの洋々たる未来への発展のための、確固たる歴史的礎となってくれば幸であります。

名 譽 會 員



宮崎県知事 松形 祐 典



宮崎市長 中 村 隆 則

ガバナー及びパストガバナー(第273地区)



西クラブ設立に活躍された当時の
ガバナー(故)中牟田喜兵衛
(福岡)



認証状伝達されたガバナー
(故)増永茂己(熊本)



1965～66 ガバナー
島津久厚(都城)



1966～67 ガバナー
吉村常助(熊本)



1967～68 ガバナー
向笠広次(中津)



1968～69 ガバナー
大津篤造(鹿児島)



1969 ~ 70 ガバナー
日高安杜 (宮崎)



1970 ~ 71 ガバナー
八田 秋 (別府)



1971 ~ 72 ガバナー
小田一昭 (熊本南)



1972 ~ 73 ガバナー
東 博仁 (熊本東)



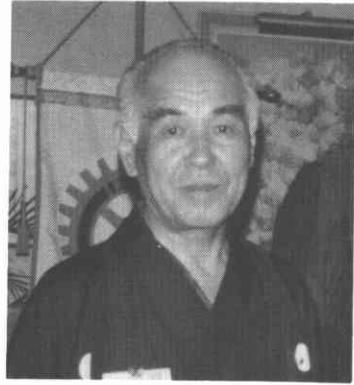
1973 ~ 74 ガバナー
杉原頼三 (鹿児島南)



1974 ~ 75 ガバナー
竹野 融 (宮崎西)



1976 ~ 77 ガバナー
後藤基彰 (竹田)



1977 ~ 78 ガバナー
(故) 塘 一郎 (鹿児島西)



1978 ~ 79 ガバナー
西田武雄 (八代)



1979 ~ 78 ガバナー
吉村武文 (延岡)

第273地区ガバナー及県分区代理(1979~80)



ガバナー 井上和人(出水)



北部分区代理
小泉 久(延岡東)

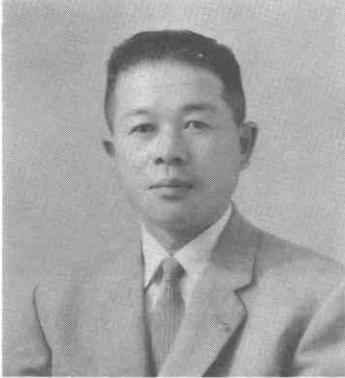


中部分区代理
菊池 弘(宮崎)



県南部分区代理
鎌田芳郎(都城西)

歴 代 会 長



初代(昭和35年)
田崎 龜夫



2代(昭和36年)
粟林 東五



3代(昭和37年)
佐原 伝次郎



4代(昭和38年)
住田 静一



5代(昭和39年)
菊池 稔



6代(昭和40年)
長峰 市次



7代(昭和41年)
竹野 融



8代(昭和42年)
大古殿 和丸



9代(昭和43年)
植松 熊太郎



10代(昭和44年)
吉賀 幸夫



11代(昭和45年)
橋本 一郎



12代(昭和46年)
竹内 三郎



13代(昭和47年)
郡 嗣彦



14代(昭和48年)
川 辺 政 明



15代(昭和49年)
日 高 文 雄



16代(昭和50年)
田 中 博 規



17代(昭和51年)
菊 池 彰



18代(昭和52年)
安 倍 友 彦



19代 (昭和53年)
平山輝男



20代 (昭和54年)
宮下広計

物故会員

この20年間に物故された会員に対し謹んで哀悼の意を表します。 (昭和55年4月30日現在)

会 員 名	逝 去 年 月 日
三 原 七 郎	昭和47年6月29日
田 崎 亀 夫	昭和49年9月6日
大古殿 和 丸	昭和52年7月9日
菊 池 稔	昭和53年5月28日
矢 田 雅 嗣	昭和53年7月21日
木 浦 義 雄	昭和54年10月11日

初代(故)田崎亀夫会長を偲ぶ

15代会長

日 高 文 雄



昭和55年4月8日、私共宮崎西R.C.は創立20周年を迎え、今更ながら西クラブ発生初期に於けるクラブづくりに熱心に取り組まれた、特別代表(故)福田甚二郎、世話人(故)志田熊吉、(故)中村英太郎、今はすでにみんな亡き各位に対し謹んで哀悼の意を表すると共に、特に初代会長をつとめ、今日宮崎西R.C.発展の基礎をつくられた(故)田崎亀夫さんを偲ぶことにより20周年の意義がさらに深まる

ものであると思う。

明治39年9月24日、西旧杆郡高千穂町に生まれ、大正12年延岡中学を卒業して満州医大に学び、ハルピン日赤病院、京都帝大の助教授をつとめ、昭和21年11月第2次大戦、敗戦終結により宮崎に引揚げ、大変な苦労の末、宮崎高松通りで皮膚科と泌尿器科を専門に開業されたのである。

趣味は剣道3段・謡曲・俳句・ゴルフと多彩であった。しかし本来タフであった筈の先生も、戦前、戦後を通じての数重なる御苦勞が、68才という天命しか与えてくれなかったのか、昭和49年なかば頃より病状芳しからず、取り巻く御家族をはじめ多数の者達の願いも空しく、昭和49年9月6日、ついに不帰の客とられた。実に宮崎西クラブ一同のショックであった。

私共のクラブは、昭和35年4月8日、宮崎では2番目として25名のチャーターメンバーで誕生、田崎先生はその初代会長としての重大な要職を引受られ、生れたばかりの未熟なクラブ、いわばヨチヨチ歩きのロータリー活動は全く測りしれぬ苦勞があったと思う。任期1年のところを1年3ヶ月、それこそ寝食を忘れて没頭された。

創立5周年記念式典で、福田特別代表は、西ロータリークラブの特徴は、会員相互の親密な度合いが極めて濃ゆく、そして全体の雰囲気や和やかで、なんとなく肩の張らない庶民的な立派なクラブに成長してきたと賞讃された。

これらは創立時代の会長のお人柄が、そのままクラブを形成したものといって差しつかえなからう。

田崎会長は和顔愛語という方針をもっておられた。友愛と奉仕の実践に終始され、卓越した医術の権威者でもあり、高ぶらず、驕らず、敵をつくらず、不断の微笑は何人に対しても温かく、親切に接触された人格には、私共深く敬愛するところであった。

又ロータリー活動の基本は出席から始まるが、これは自分の健康と努力がバロメーターであると強調された。ロータリーの最大の行事である地区年次大会には、夫婦同伴で参加されるのを何時も見かけたものだ。公式集会には万難を排して出席される熱心さで、毎年出席率は100%を超すという云わばロタキチさんであった。入会以来無欠席表彰によるルビーの栄光は自分1人の喜びとせず、今後はできるだけ新会員に近づき、例会でのテーブルマスターの奉仕でもさせて頂き、後進の指導にあたりたい、ロータリーが60年の歴史の積み重ねであって、これに批判の余地はない。新入会員も入会した以上は、早くロータリーを知り、例会を楽しいものにせねば嘘だと云われていたことが、まだ昨日のように偲ばれてならない。

長年のロータリー運動がどことなく他の人と異なる上品さは、ロータリーのペースメーカーであるという御自覚が、田崎先生をして自らそうならせたのかも知れない。

西ロータリークラブも20年の才月と共に驚異的な発展を遂げ、現在(55年4月現在)83名、幾多の奉仕記録を飾って永遠の生命として躍進していることは、初代における盤若たる基礎の上に歴代の各会員が創立時代の意志をつぎ、平素のロータリー哲学の探究と積極的な行動がその原動力であろうと思う。

創立5年史、10年史は、田崎先生の執筆と編集によるものであり、不滅の業績を残



田崎龜夫さん還暦お祝並びに句集「双燕」
発刊祝賀に於いて(昭和42年9月24日)
ホテルフェニックス

されたが、せめて20年史までは発行して頂きたかった。天は全く無情としか云いようがなく残念であり、20周年を迎え、一層ありし日がうかんできてならない。

特に初代会長として、田崎先生のロータリー精神がクラブ年史を通じて脈々と流れ、天の霊が今後も私共を見守り、私共と共にロータリーの奉仕の理想を求めて活動されることを深く信じて止まないものである。

故木浦義雄会員 告別式

会報委員長
中 村 浩

10 / 12例会で会長報告の通り、木浦会員は11日午後1時16分、不帰の客となられました。享年52才、つい6月度の例会までは、あの軽やかな足どりで例会場への階段を人懐っこい笑顔の中に少しいたずらっぽい目元をあたりに目配せさせるような仕草であがってこられていたのに……。そんな思いが、その日の例会場の会員の脳裏に去来していたようです。

告別式は、10 / 13午後12時30分から自宅にてとり行われました。生前入院中も庭の芝生のことを心配されたというご自慢の広い庭園に、故人の交友のあった方々が12時頃から続々とつめかけ参列されました。真栄寺馬場導師の荘重な読経の中に、木浦さんの遺影が、静かにほほ笑むように何か語りかけているようでした。お別れのことばは、友人代表として川辺政明会員が、幼い頃の交友の日々のこと、同業者としての実業人木浦会員の思い出、ゴルフ場でのプレイを偲びながら、涙ながらのお別れのことばを霊前に捧げ、参列者にあらためて故人のありし日の姿と、若くして旅立たれたことへの哀惜の情を呼びおこしました。

その日、青く澄んで晴れあがった秋空の下、故人を乗せた霊柩車は、遺族と親しいご友人たちに守られるように、午後2時、出棺。参列者は車影が神宮の森に向って消えるまで、立ち去らずお見送りされておられました。

(故人の写真が、印刷の都合上掲載できないので、親友の方々のおことばで、プロフィールを綴らせていただきます。 合掌。)

鈴木敏道会員 (副会長)

ヨッチャンといくつになっても呼べる男でした。身体もスリムで仲々のセンスのあるオシャレな中年、そして何でも気楽に物を頼める……そんな人でした。あの目もとのやさしさがやきついています。

藤井 勝会員 (青少年奉仕)

病室に見舞にいった時、自分で描いた絵をかけ、本立てを持ち込み、花を飾り、彼の病室らしいなあーと思ったことでした。何事でもすぐ単純に感動してしまうという純な心をもっており、少年のような側面をもった明るい中年、私は羨やましいなあーといつも憧れていました。ともあれ、彼の暗い表情の記憶がありません。そんな彼だったと思います。

特別代表

福田甚二郎さん逝去



福田甚二郎氏（ふくだ・じんじろう＝元県弁護士会会長）は昭和54年11月11日午後2時37分、老衰のため入院先の宮崎市・江南病院で死去、93才。東京都出身。自宅は宮崎市旭1の8の2。告別式は13日午後1時から宮崎市橘通東二丁目6の14の宮崎中部教会で。喪主は明治学院大教授で三男の垂穂（たりほ）氏（55）。

福田氏は東大法学部を卒業後、朝鮮（韓国）に渡り、元京城覆審法院検事長などを歴任。昭和20年、貞夫人（故人）が西都市出身だった縁で宮崎に引き揚げ、翌21年に同市で弁護士を開業した。33年から35年まで県弁護士会会長、九弁連、日弁連各理事を務めたほか、23年から51年までの間、通算10期にわたって県地方労働委員会会長など国・県の各種審議機関の委員を歴任。刑事事件を専門に担当するかたわら、本県の労働争議史に残る宮崎交通、旭化成など数々のあっせん事件を手がけるなど豊かな経験知識で各分野で尽力。42年春の叙勲で、勲2等瑞宝章を受章、54年度県文化賞も文化功労部門で受賞している。

また41年には「宮崎で世話になった」と300万円の私財を進学生のために提供、これまでに75人の高校生が「福田育英会」の奨学金を受けている。医学解剖用に遺体を提供する全国組織「白菊会」県支部長として医学の進歩にも貢献、遺体は12日、江南病院で解剖された。

体の不調を訴えて今年7月下旬、入院したが、入院直前まで法曹界の最長老として活躍。「人間は足から弱る」とかばんを片手に元気に歩き回った、という。

〔歴代地区ガバナー・会長、副会長、幹事〕

代	年 度	S	地区ガバナー	会 長	副 会 長	幹 事
1	1960～61	35	増 永 茂 己	田 崎 亀 夫	住 田 静 一	栗 林 東 五
2	1961～62	36	松 本 兼 二 郎	栗 林 東 五	竹 野 融	佐 原 伝 次 郎
3	1962～63	37	近 藤 誠 一	佐 原 伝 次 郎	金 丸 忠 夫	橋 本 一 郎
4	1963～64	38	嘉 村 平 八	住 田 静 一	植 松 熊 太 郎	菊 池 稔
5	1964～65	39	町 田 秀 実	菊 池 稔	長 峰 市 次	後 藤 則 義
6	1965～66	40	島 津 久 厚	長 峰 市 次	橋 本 一 郎	吉 賀 幸 夫
7	1966～67	41	吉 村 常 助	竹 野 融	田 中 博 規	鈴 木 唯 吉
8	1967～68	42	向 笠 広 次	大 古 殿 和 丸	上 田 合 邦	川 辺 政 明
9	1968～69	43	大 津 篤 造	植 松 熊 太 郎	大 賀 義 人	日 高 文 雄
10	1969～70	44	日 高 安 壯	吉 賀 幸 夫	堺 久	杉 山 正 一
11	1970～71	45	八 田 秋	橋 本 一 郎	後 藤 則 義	橋 本 善 吉
12	1971～72	46	小 田 一 昭	竹 内 三 郎	日 高 文 雄	枅 本 正 久
13	1972～73	47	東 博 仁	郡 嗣 彦	川 辺 政 明	新 原 秀 丸
14	1973～74	48	杉 原 頼 三	川 辺 政 明	黒 木 正 光	木 浦 義 雄
15	1974～75	49	竹 野 融	日 高 文 雄	菊 池 彰	藤 井 勝
16	1975～76	50	後 藤 基 彰	田 中 博 規	松 岡 正 作	牧 圭 司
17	1976～77	51	塘 一 郎	菊 池 彰	田 中 秀 男	菊 池 皓 一 郎
18	1977～78	52	西 田 武 雄	安 倍 友 彦	木 浦 義 雄	角 地 次 男
19	1978～79	53	吉 村 武 文	平 山 輝 男	橋 本 善 吉	笹 栗 紘 二
20	1979～80	54	井 上 和 人	宮 下 広 計	鈴 木 敏 道	池 田 成 彬

※地区の変遷

①	1代～8代	370区
②	9代～17代	373区
③	18代～	273区

※チャーターメンバー

●印 現会員

田 崎 亀 夫	●住 田 静 一	●竹 野 融	●長 峰 市 次	橋 口 重 則
日 高 眞 太 郎	大 古 殿 和 丸	中 村 秀 人	後 藤 則 義	●宮 下 広 計
●植 松 熊 太 郎	曾 木 卓	上 田 合 邦	日 高 順 一	菊 池 稔
望 月 金 之 助	金 丸 忠 夫	●佐 原 伝 次 郎	重 水 久 助	大 川 弥
●堺 久	三 城 鑄 次	栗 林 東 五	猪 野 勇	●田 中 博 規

創立75周年(ロータリー) 記念実行委員会
 創立20周年(西クラブ)

創立 75 周年記念委員長		橋	本	一	郎
創立 20 周年記念委員長		日	高	文	雄
① 式典委員会	委員長	橋	本	善	吉
	副委員長	菊	池	皓	一郎
	委員	池	田	成	彬
② 祝賀委員会	委員長	江	田	祐	典
	副委員長	牧		圭	司
	委員	笹	栗	紘	二
③ 会場委員会	委員長	藤	井		勝
	副委員長	角	地	次	男
④ 会計委員会	委員長	竹	内	三	郎
	副委員長	鈴	木	敏	道
⑤ 写真係		榎	本	信	義
⑥ 20 年史委員会	委員長	日	高	文	雄
	副委員長	藤	井		勝
	委員	橋	本	善	吉
	"	植	松		孝
	"	枺	本	正	久
	"	牧		圭	司
	"	菊	池	皓	一郎
	"	角	地	次	男
	"	笹	栗	紘	二
	"	池	田	成	彬
⑦ 記念事業委員会	委員長	枺	本	正	久
	副委員長	平	山	輝	男
	委員	植	松		孝

第 1 編
20 周年の喜び



ロータリー創立75周年記念

宮崎西ロータリークラブ創立20周年記念式典



1980年4月8日
宮崎西ロータリークラブ

「創立20周年記念式典」



1. 点 鐘

2. ロータリーソング（奉仕の理想）

3. 開会のことば

（副会長）鈴 木 敏 道

4. 物故会員に対する黙祷

5. 来賓並に出席者紹介

（会 長）宮 下 広 計

6. 挨拶

（会 長）宮 下 広 計

7. 記念事業発表

（75周年記念委員長）橋 本 一 郎

（20周年記念委員長）日 高 文 雄

8. 表 彰

① 地区年次大会最多出席者（植松熊太郎会員）

② 世界大会（国外）参加者

（佐原伝次郎、竹野 融、竹内三郎、柘本正久会員）

③ 10年以上永年無欠席者

④ 社会奉仕古紙回収最大貢献者（田中博規会員）

⑤ 社会奉仕切手回収最大貢献者（新恵 誠会員）

⑥ ダリア賞提唱者 (日高文雄会員)

9. 祝 辞

宮崎県知事 松 形 祐 堯 殿

宮崎市長 中 村 隆 則 殿

第 273 地区ガバナー 井 上 和 人 殿

10. 閉会のことば

(会長エレクト) 橋 本 善 吉

11. 点 鐘

20周年記念式典来賓



第 273 地区パストガバナー

中 部 分 区 代 理

宮崎ロータリークラブ会長

宮崎北ロータリークラブ会長

宮崎南ロータリークラブ会長

元西クラブロータリアン

”

宮崎商業高等学校々長

元 ”

同校インターアクト担任教諭

日 高 安 壮

菊 池 弘

佐 藤 久

日 高 安 徳

永 田 正 廣

日 高 真 太 郎

黒 木 勝

河 野 伝

谷 口 富 夫

真 芳 カズ子

会 長 挨拶

宮崎西ロータリークラブ

会 長 宮 下 廣 計



本日の記念式典に皆様方をご招待申し上げました所、ご多忙中にも拘わらず、多数ご臨席頂きまして誠に有難く、会員一同を代表致しまして厚く御礼を申し上げます。

ロータリークラブがアメリカのシカゴに誕生してから本年で75周年を迎え、又宮崎西ロータリークラブは、昭和35年4月8日に創立されて、本日で20周年を迎えました。

この2つの目出度く輝かしい記念式典が、本日両方一緒に挙行されますことは、会員の皆様と共にご同慶の至りであります。

今から75年前の1905年、南北戦争後のアメリカのシカゴは、急激な変度生長のひずみから経済恐慌に陥り・人心は荒み・「悪徳と腐敗の町」と謂はれて・犯罪は巷に満ちていると云う有様でした。

之を憂えたシカゴの一青年弁護士ポール・P・ハリスは良い社会をつくる為には、

人の和を図り世の中に奉仕する気持を多くの人を持つ様になることが大切であると考えて、3人の友人と語り、2月23日に第1回の例会を持つに至りました。

彼の理想は着実に発展して、国境を越えて各国に拡がり、1922年には国際ロータリーと呼ばれるようになり、現在153の国家及び地域に拡められて、クラブ数約18,300・会員数約85万名に達する世界的規模の緑の沃野となって実りつつあります。

日本のロータリークラブは1920年（大正9年）米山梅吉氏に由って、世界で885番目に東京に設立されたのがはじまりで、戦事中の中断は有りましたが、戦後は目覚ましい進展を続けて、昭和55年1月現在、クラブ数1,470・会員数は8万1,400名に及び、現在なお、日本のすべての都市や町にロータリークラブができる様に、努力が続けられ、之は会員がすべて、住み良い世の中を目指して、ロータリーの奉仕の理想を拡めようとの強い願いのあらわれであります。

宮崎西ロータリークラブは、宮崎ロータリークラブの福田甚二郎氏を特別代表に、中村英太郎・志田熊吉氏を世話人として、チャーターメンバー25名で、初代会長は田崎亀夫氏に依り発足いたしました。

爾来、19代の歴代会長・幹事・会員の努力に由り、現在会員数82名・伝統的な親睦と友情の中にロータリーの奉仕の理想に満ちた、バイタリティーのあるクラブとして、着々と発展しつつあります。

併し乍ら、クラブ誕生の為に苦勞して頂いたこれらの4氏とも、既に故人となられて、ご尊顔を接することも、今日のクラブの発展ぶりを見て頂く事もできないのは、誠に残念の至りですが、そのご遺徳を偲で慎しんでご冥福をお祈りいたし度いと思えます。

宮崎西ロータリークラブの奉仕活動の業績として主なものに、天神山公園の植樹・宮崎銀行屋上の愛の鐘・宮崎盲学校への備品・交通安全旗・宮崎市役所公園に照明用フットライト等の寄贈・職業奉仕部門のダリア賞の制定・古切手・古紙回収・献血・社会奉仕基金制度・外国交換学生の受入れと、日本からの派遣・青少年育成の為の本の寄贈、宮崎商業高校ヘインターアクトクラブの結成と指導・更に20周年記念行事として、同校へ本年度より奨学金制度の実施など、地味ながら目覚ましい地域社会への奉仕活動を続けているのであります。

ロータリー創立75周年に当たり、国際ロータリーは、3H運動・(保健・飢餓追放)・人間性尊重)のプログラム実施のため、1,200万ドルの基金を集めて、フィリッピン児童

600万人の小児麻痺の予防注射を始め、更に東南アジア難民の医療のボランティア救援活動を開始しようとしています。

産業革命以後、技術的文化は長足の進歩を遂げたけれど、社会倫理の向上、人間性の改善への努力は遅々として進まず、今や地球上には、米ソの対立に由る緊張、資源小国となることを憂える先進諸国と、貧困に喘ぐ開発途上国との南北問題・その他、資源・宗教・政治などにまつわる国際問題の解決は容易ではありません。国内的にも誠に遺憾乍ら、政・財・官界に汚職事件が跡を絶たず、インフレ経済の基調下にある企業、国民生活の前途も決して明かるい展望とは言えません。

1980年代は地方の時代と言われます

社会の諸悪の根源は断たねばなりません。

今や、1,500に近い日本のロータリークラブは、住み良い社会、平和な社会の建設に素朴ながら、ロータリーの「思いやりの心・助け合いの心」の輪を拡げて問題解決の鍵としなければなりません。

志を同じくするロータリアンの責務は極めて重大であります。

論語に「故きを温ねて新しきを知る」（温故知新）と云う言葉があります。

過去の伝統をもう一度考え直して、新しい意味を知る。過去をよく研究して新しい価値を見出すことであります。

本日の輝かしい記念式典に当たりまして、親睦と友情に溢れた宮崎西ロータリークラブと、国際ロータリーの発展を会員の皆様と共に祝福いたしましょう。そして栄光ある限りなき未来へと力強く前進する決意を新たにいたし度いものであります。

昭和55年4月8日

ロータリー創立75周年記念事業発表

75周年記念委員長

橋本一郎

今年ロータリーが発生して75周年を迎えました。20世紀初頭のシカゴは犯罪と悪徳の町、金儲のためには商業倫理など通用しないという町でありました。その時1人の32才の青年弁護士がシカゴにやって参りました。彼ポール・ハリスはシカゴの町に弁護士事務所を設け、それから5年の間、案を練り遂いで、1905年2月23日バーボン通りのユニティビル711号に3人の友を集めてロータリークラブを創立したのがはじま



りであります。

今年はその75周年を記念して世界のロータリークラブが何かの記念事業、プログラム活動の企画を実施するよう提唱され、わが西クラブは創立20周年を迎えるので式典並びに祝賀会を合同で実施することになったのであります。

記念事業として

① 3H運動の展開

- 保健 (Health)

- 飢餓救済 (Hunger)
- 人道的奉仕 (Humanity)

この3H運動は子供を対象に実施されるもので、75周年記念基金に全クラブ員が参加し1人当たり15ドルの寄附に参加致しました。

- ② 当クラブ創立以来毎年地区大会に参加出席されている会員1名の表彰。
- ③ 世界大会出席参加者4名の表彰であります。

私共ロータリアンはこの記念すべき75周年を充分理解し世界中のロータリアンが平和の使者としてよりよい明るい未来を旨とし道を照らしながら、次の100周年に挑戦することを祈念し事業の発表と致します。

20周年記念事業発表

20周年記念実行委員長

委員長 日高文雄

この度当クラブは創立20周年を迎えることができましたが、これを記念して何かそれに相応しい事業を行なって社会に役立てたいと昨年からの記念事業委員会を発足させて色々と検討をかさねて参りました。



その結果当クラブにあります社会奉仕基金の利息を基に、宮崎商業高等学校生徒に対する奨学金として活用していくことに決定されました。以下これに至った経過につきまして御報告申しあげます。

この社会奉仕基金は昨年亡くなられた木浦義雄会員が1971年(昭46)竹内会長時代、社会奉仕委員長として活躍されている時に、クラブに設けられたものであります。それから今日まで9年の才月が経ちましたが、その間に西クラブの会員・家族の喜びや



宮崎商業高校に対する育英奨学金制度制定目録を受領され
謝辞を述べられる同校の河野伝校長

数々の思い出を秘めた多くの寄附がこの基金に寄せられまして、今年の2月末で、6,025,659円の額に達しました。

以前からある程度の基金が貯ったらその利息を社会奉仕に役立てようということでありましたので、当クラブの創立20周年を機会に記念事業として活用することになりました。その活用方法につきましては、広く会員の御意見を拝聴しながら検討して参りました。単年度事業としての一時的な寄附や、記念樹等の意見もありましたが、財源としてあげられる社会奉仕基金は毎年増加して行き、利息の方もそれに比例して増えていくものでありますから、継続的な事業として奨学金制度を導入することに決定しました。

将来に希望のもてる有能な素質を持ちながら、経済的理由で修学が困難な学生に対

し奨学金を援助することにより、立派な社会人に育ってくれることを願っての決定であります。

奨学生につきましては、現在西クラブは宮崎商業高等学校インターアクトを担当しておりますが、これは当クラブ創立5周年記念事業の1つとして当時川辺政明会員が諮問して昭和40年結成、爾来今日まで15年間、その目的のため活潑なクラブ活動を展開しております。そこで私共は宮崎商業高等学校の生徒ということになりました。

本制度発足の現在では年に2人ずつということになっておりますが、この基金が年々増加していき、1人でも多くの生徒に与えられることが出来るようにしたいものです。そしてこれらの生徒が地域社会に大きく貢献してくれるように、いわゆるロータリーが提唱する健全な青少年の育成に取り組み、たくましく巣立ってくれば、私共ロータリアンが奉仕の理想を1歩1歩追求することが出来るものと願っているものであります。以上対外的事業として宮崎商業高等学校を対象とする奨学金制度、内部的事業として創立20年史の発行、この二つを宮崎西ロータリクラブ創立20周年記念事業とすることに決定いたしましたことをここに発表申しあげる次第であります。

表 彰



1. 地区年次大会最多出席者 植 松 熊太郎君
2. 世界大会（国外）参加者
佐原伝次郎君・竹野融君・竹内三郎君・柘本正久君
3. 10年以上の永年無欠席者
4. 社会奉仕古紙回収最大貢献者 田 中 博 規君
5. 社会奉仕切手回収最大貢献者 新 恵 誠君
6. ダリア賞提唱者 日 高 文 雄君

永年無欠席者表彰受賞者



19年以上	長 峰 市 次	14年以上	岩 井 隆 一
”	住 田 静 一	”	藤 井 勝
”	竹 野 融	13年以上	百 野 弘
”	植 松 熊太朗	”	竹 内 三 郎
”	田 中 博 規	12年以上	中 山 正 一
18年以上	吉 賀 幸 夫	11年以上	郡 嗣 彦
17年以上	堺 久	”	角 地 次 男
”	橋 本 善 吉	10年以上	日 高 照 雄
16年以上	日 高 文 雄	”	菊 池 皓一郎
15年以上	橋 本 一 郎		
”	菊 池 彰		以上 22名
”	大 賀 義 人		
14年以上	後 藤 満		(昭和54年12月未現在)

祝 辞

第273地区ガバナー

井 上 和 人



大淀河畔の桜も咲き初める頃、宮崎西ロータリークラブにおかれましては輝しいロータリー創立75周年の年度に当り、クラブ創立20周年目のお目出度い式典を挙行せられますことは誠に慶賀の至りに存じます。

貴クラブは宮崎県においては6番目のクラブとして「県下初めてのアディショナルクラブとして」昭和35年4月8日に創立以来、地域に目ざましい奉仕活動を続けてこられました。

職業奉仕部門においてはダリア賞の制定、社会奉仕部門においては古切手・古紙回収、献血運動社会奉仕基金制度、国際奉仕部門においては青少年交換学生の派遣・受入れ、又、青少年奉仕部門においては青少年のための本の寄贈などをクラブの継続事業として実施しておられますことは特筆に値すると存じます。ロータリクラブにおいてはこのような、クラブの奉仕活動は会員個人の「奉仕の心」を訓練するためのものであり、奉仕への意欲を引き出すためにあるのだということも銘記して頂きたいと存じます。然らば、我々がかねてから信奉している「奉仕の心」「奉仕の理想」とは何でありましょうか。それは我々が自己の職業を遂行するときは、常に相手の立場に立って物事を考え、決して金銭獲得を直接の目的とせず、つまり金銭獲得の前に自分の為すべき義務を置いて考えることだとポール・ハリスは言っております。

医者、弁護士、宗教家達はもっと厳しい職業倫理が要求されていることを自覚すべきであります。医者は診療や研究のために、たとえ自分の身が危険にさらされようとも、又貧しい治療費を払えない患者であろうともその使命は放棄出来ないのであり、又弁護士は依頼人が進んでお礼のお金を出すからということだけで訴訟手継を開始することは許されないのであります。又宗教家はその信者を金持ちであるから、貧乏人であるからと区別することは出来ないのが伝統であります。では、商売人の方（実業人のことを敢えてこう申し上げましたが）には、専門職業人にみられるような生命を

賭してでも守るべき職業倫理というものは無いのでしょうか。否、医師や宗教家たちが不正に与するよりはむしろ生命を投げうつ時があると同様に、商売人においてもやはり政府の許可制度や業界や協同組合で決めた倫理基準を守り、これを向上させるために生命を賭ける位の責任感が要求されているのだと自覚すべきであります。

今日の豊か過ぎる程の物質文明の中に生きている人類の心の中には「快楽主義」や「拝金主義」が次第にむしばんで参り、倫理道德の頹廃ぶりは私が更めて申し上げる必要はありません。

終戦後の食糧難の時代に、ヤミ米を買わずに餓死した裁判官がありました。皆様方も御記憶の方もいらっしゃると思います。法を守るという自分の職業に、この位忠実な人が現在1人でも居るでしょうか。

今日我々が「奉仕の理想」を掲げて闘うべきは、正にこの「快楽主義」「拝金主義」に対してであると、地区大会のR I会長代理マツ・カパラス氏は叫ばれたのであります。

闘うべき相手は、又、照らすべき道は、自分たちの心の中にあるのだという事を御理解頂きたく存じます。

本日の式典に当り、私の所信の一端を述べさせて頂きましたことを光栄に存じます。最後に日高文雄創立20周年記念委員長が公式訪問報告書に明言せられましたように、「過去の20年間の足跡を明らかにすることは過去の事象が現代への行動の基準を与えてくれる重要なものである」という点を、もう一度共々に味わって頂きたいと思いません。

本日は本当にお目出度うございました。

祝 辞

第273地区パストガバナー

日 高 安 壮



本日西クラブが創立20周年を迎えられ、ロータリー7周年とを併せてその記念式典を挙行されますことにお祝い申し上げます。

過去20周年間の輝しい皆様の業績に対し心から敬意を表します。

ロータリー誕生の時から奉仕の理想があった訳ではなく、この思想はかのクレデリック・アーサー・シェルドンに至って導入されました。自己の職業を遂行し、その果実をもって他に奉仕できるのであって、利益なき職業は無意味であり、ロータリアンは、自分の職業を充実してこそロータリアンである。

ここで私は皆様方をお願いとご提案をいたしたい。

一つは、当クラブは次期年次大会のホストクラブとして、地区大会の在り方をご検討していただきたい。東京方面においてはぜいたくな大会となり高額な会費になっているやに聞いている。別府大会にも種々な反省がなされているようだが、高額なギャラの必要な芸能人より、その土地に育った郷土芸能を考慮することも必要であろう。

もう一つは省エネルギー問題である。この厳しい国際経済情勢の中で、日本の生きる道をさぐる為、家庭でも職場でも如何にすべきか、この石油入手難の時代にこの省エネルギーを次年度は焦点にして欲しいと希んでいます。

記念式典と祝賀懇親によせて

先輩会員にとっては、20年前の創立時から5周年、10周年、15周年記念と、今日に至るまでの日々がなつかしく、すでに故人となられた6名の同志の方々との交友の日々が思いだされた式典であつたらうと思われました。

10年から19年間無欠席の方々と年次大会に毎年出席されている植松会員には本当に頭が下る思いでした。私ども新人会員にとって、こうした行事の一つ一つに参加しながら、先輩のたどってこられた西クラブの足跡を知りロータリアンとして1日も早く意識づけられ、このクラブの伝統づくりに参加したいものだと思ったことでした。

それにしても記念式典での橋本会員の活躍ぶりは圧巻でした。



司会者としてソツのない流れるような司会ぶりから、一転して自分の名を呼びあげてからの17年無欠席の受彰者へ早替り!!そして司会者から会長エレクトとしての閉会のことばの中に、日高PGの警告を次期年次大会へ会員の歓心をひきつけていくアプローチぶり、これは本当にお見事なものと会場の隅で感じ入っておりました。

祝賀会は、3階高千穂の間、2階式典で使用した看板類をそのまま3階に転用して費用を節約、そのため会員は5分間ロビーにて待機、予定より10分ほど遅れて開宴。乾杯は竹野パストガバナー。

例会場のホテルフェニックスの祝意で豪華な和洋の飾りつけの会場で、宮下会長の挨拶から和気あいあいの祝賀会となりました。

途中、公用のための記念式典に欠席された中村宮崎市長もご出席され、当クラブが国体・身障者スポーツ大会、また市内での社会奉仕を通じての地域社会への貢献ぶりとその業績に対し謝意を述べて祝辞とされました。

終宴は、午後8時、全員が手に手をつないで輪になって、ソングを合唱。

橋本一郎会員の音頭で万才を三唱してお開きとなりました。

祝 賀 会



次 第

1. 会 長 挨 拶
2. 乾 杯
3. 開 宴
4. 手に手つないで
5. 万 才
6. 閉 会

司 会 江田 祐典
 会 長 宮下 広計
 パストガバナー 竹野 融



竹野バスターガバナー（会員）の音頭で20年を祝し乾杯



ちょっ…と下の方が気になるが座つきの舞踊から



公務多忙の中駆けつけられ祝辞を述べる中村宮崎市長



20年の喜びをこめてホテル側の真心の料理を求める手もと…と眼は勇みがち



交換学生も共に20年を祝す

717区タイム・ガーギッチ君と741区テリ・コビエロさん



20年の記念美酒もかなりきいて会員の皆さん御機嫌だが…何んの話に花を咲かしての…？



津軽三味も最高潮

定刻には後髪をひかれながらも手に手……と歌って締めくくればなりません。
20年の才月をかみしめて。



なんで私に万才を…
それは声が大いという条件

弥栄を祈念して高らかに万才三唱

おめでとうございます。

20周年記念座談会

参加者

		歴代会長					
4	代	住田	静一	15	代	日高	文雄
6	代	長峰	市次	16	代	田中	博規
7	代	竹野	融	17	代	菊池	彰
9	代	植松	熊太郎	18	代	安倍	友彦
13	代	郡	嗣彦	19	代	平山	輝男
14	代	川辺	政明	20	代	宮下	広計

欠席者

3	代	佐原	伝次郎	11	代	橋本	一郎
10	代	吉賀	幸夫	12	代	竹内	三郎

司 会 20周年記念実行委員長 日高文雄
 記 録 " 委 員 角地次男



- 20周年を記念しまして歴代会長さんの座談会を催しました。

- 宮崎西R、Cは昭和35年4月8日に誕生いたしました。その当時の状況をお話し願いたいと思います。

- 基礎メンバーとして、橋口重則、大川弥、日高新太郎、栗林東五、田崎亀夫、住田静一以上の6氏が指名されました。昭和34年10月頃から西クラブ世話人として、志多熊吉氏、中村英太郎氏両氏が中心に福田甚二郎氏が特別代表として活躍され、区域限界を考えずに正会員の充填に努力された。しかも、最も困難であったようです。厳選に厳選を重ね幾度か会合をもって25人のチャーターメンバーが出来たと、住田さんは当時の状況を話されました。

- 御出席者のチャーターメンバーの方の入会の動機

竹 野 融さん

田崎亀夫さんと学生時代からの知り合であったので田崎さんからのすすめでした。

住 田 静 一さん

田崎亀夫さんがロータリーの勉強をよくされておりましたので勧誘にこられ入会をことわっておったが、その頃にライオンズを作ってくれないか依頼があって、これを断るためにロータリーに入会した。

植 松 熊太郎さん

志多熊吉さんの説得で入会した。

長 峰 市 次さん

栗林東吾さんよりの勧誘であった。ロータリークラブができるからはいらないか自分もはいる。ロータリークラブと云うのは何をするのか尋ねると、私もわからん、はいつて見ればわかるだろう。

宮 下 広 計さん

田崎亀夫さんと池田綱四郎さんの勧誘であった。若い内から勉強をして見ないかと。私は当時35才でした。

田 中 博 規さん

栗林東吾さんの説得により入会しました。

宮崎クラブは全員で西クラブ設立の正会員勧誘に努力されたようであります。
当時の宮崎クラブ会員は勉強されていた。特に宮銀の大原頭取は熱心であった。

- 当時県内のロータリークラブはいくつありましたか。

宮崎 R. C.	創立	昭和28年 2月17日
日南 R. C.	”	昭和29年 6月17日
延岡 R. C.	”	” ”
都城 R. C.	”	昭和29年 8月25日
日向 R. C.	”	昭和35年 4月 3日
宮崎西 R. C.	”	昭和35年 4月 8日

(県内で6番目に誕生した)

- 現在はいくつありますか。

小林 R. C.	創立	昭和36年 3月15日
延岡東 R. C.	”	昭和41年 1月26日
都城北 R. C.	”	昭和41年10月 1日
えびの R. C.	”	昭和43年 9月20日
宮崎北 R. C.	”	昭和44年10月22日
宮崎南 R. C.	”	昭和50年 3月24日
日向東 R. C.	”	昭和50年 5月28日
都城西 R. C.	”	昭和51年 3月10日
高鍋 R. C.	”	昭和51年 6月17日
日南中央 R. C.	”	昭和52年 9月16日
延岡中央 R. C.	”	昭和54年 5月25日

(県内全体17クラブ)

• 当時の宮崎クラブ会長伊地知休三さん、幹事の西村春生さん特別代表福田甚二郎さん、世話人志多熊吉さん、中村英太郎さん、ガバナー増永茂己さん、全員がなくなっており、又、我がクラブの初代会長も亡くなられてさびしくなっております。

20年もたつとこんなに変わるものかと思います。皆さんは元気であられますように。

•現在のチャーターメンバー

植松 熊太郎 住田 静一 竹野 融 佐原 伝次郎
長 峰 市次 宮下 広計 田中 博規 塚 久
以上8名の方が元気で活動されております。

•昭和35年3月8日に観光ホテルで結成打合せあり、会長、幹事が決定したようです。会長（故）田崎亀夫さん、幹事（退会）栗林東吾さんに、又、4月5日にはチャーターメンバー25名全員が宮崎観光ホテルに勢揃いして、宮崎RCの太田良一さんからロータリー情報を拝聴し自信の程をつけられた。

•創立発会式前に何にか。

宮下 会長、幹事決定後橘百貨店でリハーサルを開催した。SAA後藤則良さん、私が副SAAをおおせつかっていたので、4、5日前に準備はどうだろうか見に行った所が、何んにもしてなかったのでびっくりしてこれはたいへんと思い、SAAを竹野さんに変更しました。

•西クラブの例会日はなぜ金曜日になったのでしょうか。

川辺 デパートが木曜日は休みのために金曜日になった

•昭和35年4月8日に創立総会が開催されておりますが、盛大だったでしょう。

植松、竹野、住田 第一回の総会であったが、それぞれねまわしがしてあって簡単に決まったようでした。場所は橘百貨店5階の日本間でした。スポンサークラブから福田代表、伊地知会長、西村幹事、川島真蔵前会長、太田良一情報委員長及び志多熊吉さん、中村英太郎さんの両世話人等直接の創立関係者が来賓として出席され、それぞれからの祝辞を頂きました。

宮下 小倉東がチャーターナイトを開催するので、勉強に（故）大古殿さんと小倉のステーションホテルまで見学にいったことがあります。

・なんといっても認証状伝達式が重要であったと思いますが、昭和35年11月12日、午後四時から宮崎市東雲町宮崎市郡医師会館で盛大に行われました。

竹野 その日は朝から小雨が降り続き、あいにくの天気だった。医師会館も出来たばかりできれいだった。収容人員が200名位でせまかった。

植松 吾々ホストはかけられず2階にすわった。会場がせまかった。

田中 なぜ日向クラブと合同でやったのですか。

植松 日向には当時会場がなかったので合同でやった。現在みたいにビル等建っていなかった。

・川辺さんはチャーターナイトの時には入会されておりましたか。

川辺 6月に入会しておりました。



菅野副知事、有馬宮崎市長ら来賓多数と、遠く本州から竜野、宇部西九州の各地、県内からスポンサークラブの宮崎をはじめ延岡、都城、日南など18クラブ243人が出席、宮崎西クラブ発足に祝福を送った。

認証状伝達式が終り、ひきつづき5時から余興にうつり、日向の民謡などの舞踊を島興業提供により観賞し、さらに9時から会場を橘百貨店5階ホールに移して披露宴にはいり、7時すぎまで盛大に行われたようです。

竹野 私はチャーターナイトのSAAであった。SAAが来賓参加クラブの

紹介をやれと云うことになり（なんでS A Aが紹介することになったか？）最後に紹介もれはないか聞いたら、わあっと、大きな声で返事があってびっくりした。日南クラブをおことしてしまった。一番最初にペナルティーを取られた。

宮 下 私が副S A Aでした。S A Aが会場を設立しろと云うことになったので2、3日前に宮崎興社にたのみに行った所、やらんといわれて非常にこまったことがあった。その理由は何か栗林さんが頼んでおるじゃないかと云うことであった。宮崎興社と佐原さんとが知合いであると云うことで、手みやげをもって2人でことわりについて朝の4時頃までかかって仕上げた。

それからソングリーダー（コンダクター）を宮大の音楽部生徒にお願いした。君が代はなんとかやってくれた。こんどは橘百貨店会場に移動してロータリーソングをやる時にはいなくなってびっくりしました。しかたがないから号令をかけて、1、2、3、で歌っていただきましたがひや汗をかきました。あまりにもりっぱな式典であったので学生は驚いて出来なかったのではないかと思います。

• この式典の中で奨学資金を贈呈したと記録されておりますがどのようなものですか。

住 田 米山奨学資金のことだと思います。

• 翌11月13日は市内観光、えびの高原と参加された。ゴルフ愛好者は完成したばかりの青島コースで。こうして宮崎西R Cも創立して20年を経過いたしました。皆さんはぜんぜんおかわりになられないんじゃないでしょうか。

川 辺 見原、田中さん方が還暦で赤いちゃんちゃんこを頂かれて嬉しいだろうなあと思っておりましたが、自分がその年になってしまいました。

• クラブバナーのデザインは誰れの作品ですか。

1. サボテン 橘百貨店の宣伝担当者
2. 青 島 工業高校の高橋義考先生の作品

• 以上でチャーターナイトまでの話しは終りまして、各年代での主なことを話して頂きたいと思います。

会 長 時 代

1962年—1963年（昭和37年—38年）

3代 会 長	佐 原 伝次郎
副会長	金 丸 忠 夫
幹 事	橋 本 一 郎
ガバナー	近 藤 誠 一

ロータリーの創立当時の事を思い浮べると楽しい事より苦しかった方が多く思い出される。その一つ二つを拾ってみました。

1. 認証式場の装飾の件

認証式場（東雲町市郡医師会館）の装飾並に看板の注文の手違いから看板組合の感情を害しその製作を断わられると云うハプニングであった。

組合長が私の友人だとのこと。私から三拝九拝して頼み込みようやく開会に間に合せたと云う誠に苦しい思いではあった。

2. 幹事辞任の件

二代目会長栗林東吾君、幹事菊池稔君と決定し小倉の地区協議会（会長、幹事の勉強会）にも出席されて間もなく、幹事の（故）菊池さんが病気を理由に辞任されました。その後任に私にとの事でしたが、その任に非らずと極力断ったのですが、栗林君とは昵懇の間柄でありましたので、仕事は、私（栗林）がするから名前だけでも貸せと強引に押し付けられ、書類をドッサと届けられました。それから間もなく公式訪問があり、ガバナーは（故）松本兼次郎さん。公式訪問前に会長幹事との懇談会がありましたが、何ぶんにも幹事を押し付けられて間もない時でも西も東もわからず、ガバナーから何を聞かれても珍粉漢粉、いやはやとんだ幹事があったもので、冷汗三斗と云う誠に情けない話で、今だから云える私だけが知っている秘密の一つです。

3. 卓話者替玉の件

橋百貨店社長後藤さんの欧州旅行土産話をして貰う様話しがしてあったのですが、どうしたことか例会1時間前に出席出来ぬと断って来たのです。開会一時間

前では何とも手の打ち様もなく全く御手あげ。ママヨー、何んとかなると腹をきめて居りました所、丁度ビジターに岩切章太郎さんが御出になりました。ビジターに卓話を頼むなんて誠に失礼なことですが、ワラでも攔む気持の時だったので、幹事の橋本一郎さんとも相談して恥をしのんで御願いをすることにしたのです。

心よく御引受け頂き誠に有難く、地獄で仏とは、こんなことだろうと嬉んだ次第です。

今から考えてみますと、橋の後藤さんの穴を宮交の岩切さんが埋めて頂いたと云う、誠に皮肉な取り合せだったと微苦笑しています。

1963年—1964年（昭和38年—39年）

4代 会長	住 田 静 一
副会長	植 松 熊太郎
幹 事	菊 池 稔
ガバナー	嘉 村 平 八

ガバナーは資金力では日本でも虚位であった人でした。しかし風彩のあがらない人であったけど、日本では有名な人でした。

当時は地区大会は九州一ツで行なわれていた。ガバナーのスローガンとして地区対地区の友好クラブを作ると云うことが方針でした。西クラブはイギリスの地区との姉妹区を作ることになった。メッセージを送らなければいけないと思っていた所、幸に宮大の中島教授がイギリスに行くことになり、クラブメッセージ、市長のメッセージ、宮崎の絵はがきなど中島先生にもっていってもらった。帰ってきての報告は非常に感度は良かった。ところがお礼状ただ一つなかった。九州全部で地区対地区でやるのにイギリスはだめであった。後進国地域は感謝状などが送ってきたとかで、イギリスは第2次大戦のことで日本をバカにしていたのではないか。

地域奉仕—ロータリーは慈善団体でないので体を動かして出来る奉仕をすると云うことが主眼で、何にかきづいたことをやる。その一つとして公園の子供のあそぶ機具が損傷してあぶないものがあったので、修理をして廻った思い出があります。

1965年—1966年（昭和40年—41年）

6代 会長	長 峰 市 次
副会長	橋 本 一 郎
幹 事	吉 賀 幸 夫
ガバナー	島 津 久 厚

ガバナーは今までは御年輩者が多かったが、青年ガバナーとしてさっそうとして登場された時でした。なかなか評判もよかった。

私の時が丁度5周年記念でございました。何か記念事業をやろうではないかと云うことになりまして、インターアクトが誕生いたしました。幸に当クラブに川辺さん以下8名の宮商卒業生の方がおられ、この方々の努力によって宮崎商業高校にインターアクトクラブを設立することが出来た。

ロータリーが生まれて60周年、西RC出来て5周年、創立5年史が完成しました。
(故) 田崎亀夫さんの努力でした。

西日本連合地区大会が京都で開催されました。長野、愛知から西の5地区405クラブが参加した。登録者7,626名でマンモス大会でありました。西クラブより15名が参加した。内10名が家族でした。

1966年—1967年（昭和41年—42年）

7代 会長	竹 野 融
副会長	田 中 博 規
幹 事	鈴 木 唯 吉
ガバナー	吉 村 常 助

ガバナーは理論的に非常にくわしい方でした。

私の年度は7月1日が例会日で、年度最終例会が6月30日で、例会回数が最も多い年度でした。

農村とロータリーとの対話をやりたいと計画いたしまして、生目で開催したことがありますが大まかじゃなかった。

例会場の移転、橋百貨店より現在のホテルフェニックスへ。昭和42年5月12日より例会を開催した。

1968年—1969年（昭和43年—44年）

9代 会 長	植 松 熊太郎
副会長	大 賀 義 人
幹 事	日 高 文 雄
ガバナー	大 津 篤 造

私はロータリーにたいしての知識がないので会長には不向でありますから辞退したのですが、幸い名幹事である日高文雄さんを迎えることができ力づけられ、会長を引受たのでございます。引受た以上はやりとげるのが私の性分でありますので、なまはんかなことはやらない。それいらいマツダ会社の専務室に日高幹事のところに毎週一回はおとづれ、打合せと勉強に一年間通いました。

会長になっての方針の原文ができて、それを読んで見ますと、今まで皆さん方の前で話した中ではこれだけ立派なものはなかったと自負しております。これは一重に日高幹事のアドバイスを頂いた結果がこのような立派な所信表明ができたことを感謝しております。これが第一の思い出。

第2は毎週打ち合せをしておるなかで過去の色々な洗練とか問題を取りあげるのに過去の資料を参考にしようと思っていたが、初代からの資料の保管がズサンであったので、何が何だかさっぱりわからなかった。

まづ書類の体系づけにあると云うことで整理にかかった。その時に文献その他整然と整理されたのであります。

日高幹事の功績をたたえたい。

• この年度に九州全域 370 地区が二分され南九州が 373 地区になり、お別れ年次大会が佐世保でありました。

• 本部からの要請もありましたが、西クラブのロータリー財団基金が少くなかったので 200 %の目標にした。

• ガバナー公式訪問の時に、西クラブの旗はまちがっていると指摘があり作り替えました。

• 丁度明治 100 年の年でありました。10月23日に県体育館で記念式典がありまして会長、幹事が出席しました。

• 日本人では始めて国際ロータリー会長に東ヶ崎会長が就任されました。

• 交換学生を始めて受入れることになりました。

交換学生受入の要領

1. 本人を呼ぶ時には愛称かあだなで呼ぶか、日本名をつけてやって呼ぶようにすれば良い。
2. クラブの例会に最低月一回は出席させるようにして下さい。
3. 日本の学校に転校して来た時は日本語がわからず困難であるので、一週17時程度の日本語の勉強をさせてほしい。
4. 食事は早く日本食になれてもらうこと。味噌汁、ご飯等も出して特別の配慮は必要はない。本人の部屋は本人にまかせる。休む時にはベッドの用意は不用、便所、風呂等もそのままが良い。家族の一員としてあつかうこと。

受入家庭の責任事項

1. 病気の場合の配慮は万全をきし、必ず担当医師をきめておき、急病の場合の対応策が取れるようにしておいてほしい。
2. 自家用車は本人に運転させないこと。日本にくる時に禁止要項として承諾が取ってあるので問題はない。
3. 県内を一人で旅行する時には、それぞれのクラブとの緊密な連絡をとって自由にさせても良いが、県外は特別の場合を除く以外は禁止する。
4. 異性の友達の行為は家庭の監督のもとにやらせること。
5. タバコ、酒は一切厳重に取締ること。

以上のことが指示されたので受入れようと云うことになった。何しろ始めてのことで心配が多かった。姉妹地区がアメリカニューヨーク州の 719 地区、ポールストンス

ーパークラブがホストクラブで、高校生で18才、カール・アレン・フックハーバー君を受入れることになりました。ホストファミリーとして、郡、竹野、山口、西村、橋本（一）、清水の6氏にお世話を願いました。この時には西クラブ独自で受入しました。

1969年—1970年（昭和44年—45年）

10代 会長	吉 賀 幸 夫
副会長	堺 久
幹 事	杉 山 正 一
ガバナー	日 高 安 社

ガバナーが非常に精力的に情熱を傾けていられた姿が印象に残っています。

特筆すべき奉仕

職業奉仕賞（ダリヤ賞）の制定（日高文雄職業奉仕委員長発案）

- 10周年記念事業（昭和45年4月10日）
 - 1) ホテルフェニックスに於て式典を挙行し、記念事業として宮崎市に「市役所公園内照明甲フットライト」を寄贈した。
 - 2) 10周年記念誌の発行（田崎亀夫編集委員長）
- 宮崎北ロータリークラブが誕生いたしました。（10月22日）

1970年—1971年（昭和45年—46年）

11代 会長	橋 本 一 郎
副会長	後 藤 則 義
幹 事	橋 本 善 吉
ガバナー	八 田 秋

1. 年末餅つき行事について

歳末たすけあい運動の一環として社会奉仕委長（岩井隆一君が主催、これに青少年

奉仕委インターアクトクラブ諸君の応援にてカリタスの園にて、おじちゃん……もちつき初めて見たよという園児の声に励まされて、50数名の全員はりきったものでした。時は昭和45年12月20日でした。爾来当クラブの毎年の行事として、マンネリ化の声をきいて廃止する昭和53年度まで、数々のエピソードを残して続いてきたのでした。

2. 天神山公園に児童の滑台設置について

昭和46年4月18日、宮崎西、宮崎（日高信輔会長）宮崎北（黒木勝会長）三クラブ合同の最初のチャリティーバザーを開催しましたが、開場（橋百貨店）1時間位にて大半の出品物は売切れの状況にて大盛況裏に終了したのですが、その時の益金約40万円にて、宮崎市側の要望により滑台を天神山公園に設定することに決しました。

現在天神山公園を散策する機会があれば是非ご覧下さい。三クラブ合作の記念柱も建っています。

3. 当クラブのバナーについて

現在使用しているバナーは創立後つくり直しをされたものです。クラブ創立草創の間につくられたバナーを創立5周年を迎えるに亘り、又、地区年次大会が当地にて開催されるので、これを機会につくり直しをしてはと云う意見が抬頭いたしまして、昭和40年（長峰会長）にクラブ内に特別にバナー委員（橋本一郎委員長、栗林、郡、橋本（善）、黒木勝委員）が設置されまして、専門的にこの問題に取り組み作製することになりました。

さて、デザインや経費の点で色々と経緯がありましたが、結局県立宮崎工業高校デザイン部の高橋義孝先生ダッシュかつて当クラブの卓話をお願いした「ろうけつ染」の一人者に依嘱、図案から東京の織元など先生を煩はして、経費の関係より写真版にて調製することになりましたが、完成するまでには一年有余かかり、今もクラブの一つの飾りとして使用されていますが、その責任者のひとりとして懐しい思い出となっています。

（1980年5月19日東京にて）

1971年—1972年（昭和46年—47年）

12代 会長	竹 内 三 郎
副会長	日 高 文 雄
幹 事	栞 本 正 人
ガバナー	小 田 一 昭

日高文雄副会長以下各委員長の協力により、極めて活発な委員会活動を実施することが出来ました。

1. 社会奉仕委員会は、故木浦義雄委員長により
 - (イ) 社会奉仕基金制度の制定。
 - (ロ) 青年団協議会の協同で老人ホームを慰問
クラブの多数のメンバーの参加者を得て、ホームの皆さんのベットサイドに花を飾り、又歌謡大会を開いて慰問した。
 - (ハ) 会員の持ち寄りによるチャリティーバザーを山形尾デパートで盛大裡に実施、その益金を社会奉仕基金にした。
2. 青少年奉仕委員会は市内各小中学校を廻り、善行少年を選考し表彰した。
3. その他夜の例会を4回実施し、四大奉仕部門について十分な討論を行い、且つ一方では親睦を深めるに役立てた。
4. 移動理事会で高知に一泊旅行し、鰹のたたきを食べながら夜を徹して語った事が忘れられない楽しい思い出となった。

1972年—1973年（昭和47年—48年）

13代 会長	郡 嗣彦
副会長	川 辺 政 明
幹 事	新 原 秀 丸
ガバナー	東 博 仁

• 新原幹事は非常に几帳面な方でした。書類の整理は抜群でした。幹事報告に時間をとりすぎてはいけないので、あらかじめ事項をプリントし配布して報告をされた。

• 6月末に三原七郎さんがなくなられた。例会にて追悼式をおこなった。

• 青年団との交流を図ろうと話し合いしたところ、新聞その他の媒体には青年団の名は出ずロータリーだけが出るのでかんべんしてくれとのことでした。青年団はロータリークラブの手の届かない所をやります。

• ガバナー公式訪問の時に、アデショナルクラブを高鍋か西都に作ってくれと強く要請を受けたことがあります。

• 11月に 373 地区年次大会が宮崎で開催されました。ホスト宮崎クラブ大会委員長は増田吉郎さんでした。2,000名の参加者で西クラブ活動は大会後に本格的な委員会活動をしました。

• 新原幹事の調べで、12月ごろ、今年度より始めて会長エレクトが誕生いたしました。日高文雄さんが選ばれました。

1973年—1974年（昭和48年—49年）

14代 会 長	川 辺 政 明
副 会 長	黒 木 正 光
幹 事	木 浦 義 雄
ガバナー	杉 原 頼 三

- インターシティーゼネラルホールを、西クラブホストにてサンホテルで開催しました。
- 夜の例会を開催いたしましたあまり良くなく、半年で夜の例会を止めました。
- 事務局が各年代の幹事の所でありましたが、第一宮崎ビル内に移転しました。

1974年—1975年（昭和49年—50年）

15代 会 長	日 高 文 雄
副 会 長	菊 地 彰
幹 事	藤 井 勝
ガバナー	竹 野 融

- ① ウィリアム R・I 会長
ターゲット（ロータリー精神を振いおこせ）
- ② 創 立 35.4.8. チャーターメンバー25人
- ③ 当時会員74人 平均年齢52才 1万人当12人
- ④ 出席率 97.60% 11位（7月～4月）
ロータリー財団 600% 13位（宮崎 c 500% 北 C 200%）
米山奨学金 750% 750 500
- ⑤ 新年度予算
会 費 1,000円アップ（当時 6,500円）
入会金 30,000円へ（〃 20,000円）

ビジター費 900円へ (当時700円)

その理由

- ① 人件費 35,000 × 16.5ヶ月 = 577,000
45,000 × 16.5ヶ月 = 764,000
- ② 食費 800円へ (当時610円)
- ③ 人頭分担金半期 4\$ → 50年1月から6\$へ値上げ

【政治環境】

- ① 49年% ニクソン大統領ウォーターゲート事件弾劾訴追を受け辞任
フォード “ 誕生
- ② “ 8/19 韓国朴大統領そ撃事件 陸英修夫人死去
- ③ “ 11月 田中角栄総理退任に追い込まれ、三木体制スタート
- ④ 50年4月17日 カンボジアプノンペン陥落、ロンノル大統領亡命
50年4月21日又アジア反共軍事政権南ベトナムチュー大統領は「米国はパリ協定で調印したときに助けると約束したはず、われわれを支援する気がなければ出ていってくれ」と小国指導者の血の叫びとも映る非難して倒れる。

【経済環境】

- ① 第1次オイルショック政治経済一大恐慌となる。
- ② 景気は益々不況色を強め倒産49年11月度1,100件を超え、失業者75万人普通の倍となり、やがて100万人が予想された。
- ③ 消費も相変わらず沈滞気味、インフレとデフレが混在している複雑な局面であった。
- ④ 公定歩合は9ヶ月の間5回の引上げで9%空前の高水準となった。

【ロータリー関係】

- ① 初代会長田崎亀夫君死去
- ② 7月より西クラブより、第373地区ガバナーになる (竹野融君)
- ③ ロータリー70周年記念
- ④ 宮崎西ロータリー15周年 15代会長 (日高文雄君)
記念史は20周年でつくることで決定 (15年は止める)
15周年記念式典を盛大に挙行 (ホテル・フェニックス)
- ⑤ 11月22日～24日地区大会 第370区・第373区連合年次大会
於熊本～3,114人参加 (竹野ガバナー) 75名中32名出席 43%率

⑥ 50年2月7日第743回例回

ロータリーの現況報告

世界 151ヶ国 R・C 16,173 R e 153ヶ国 101 %
(18,553) 115 % 857,000
世界ロータリアン 758,750名

新ロータリークラブ (1974年7月以降 97R・e)

日本のロータリー (49年10月末)

R・C 1,239 R e 1,472 クラブ 113 %

人員 65,945人 81,555 124 %

- ・ 出席率 (21地区の中) 日本一悪い 373地区 89.96 %
90%以下 (青森・秋田) 354地区 89.96 %
日本一よい地区 神奈川 359区 97.41 %
西クラブ上半期12月迄 97.46 %

⑦ 江南地区に拡大 南ロータリークラブ設立でわれわれ宮崎西ロータリークラブスポンサークラブとなる。

特別代表 日高真太郎君を決定

⑧ 宮崎南ロータリークラブ 昭和50年3月24日創立

” ” 5月29日認証さる。

初代会長 日高真太郎君

チャーターメンバー 33名 伝達式昭和50年9月21日 (ホテル・プラザ)

【設立に伴う裏話】

① 昭和49年11月15日 日高 (文)、竹内 (三)、菊池、日高 (真) 話合う。

江南地区 R・e 設立の要請 竹野ガバナー15周年、ロータリー70周年記念してロータリーの拡大をはかる。

日高真太郎君 基礎メンバーとなるべき4~5名の人が欲しいそれが条件だ。

宮崎交通 (岩切省一郎社長と打合せ) 了解、黒木静也 (常務)

宮崎銀行 (増田吉郎頭取 ” ”) ” ”、年澄清部長

② 北クラブ時任会長

宮銀の人事について 場合によっては住居が北クラブ所属 (区域) から出すかも知れない了解して欲しい。

北クラブとしては理事会に話しをとおしておく、良いと思う。

③ 11月30日 宮交・宮銀ガバナーへ連絡

- 1) 特別代表を移籍する。
- 2) 宮銀テリトリの件がOKなら年澄部長でも出す（北のように支店長一重役）
- 3) ガバナーは早く特別代表を決めるのが筋だという本人は基礎メンバーをしっかりつくってからという。
- 4) 基礎メンバーをつくるためには、区域限界を改善する必要宮崎、西、北、会長、幹事の会を再三にわたりもつ。

（協定書）

第3条、全市を対象とした職業のうち宮崎大学、NHK、九電、宮日、宮崎交通、宮銀、宮崎瓦斯の各社は必要に応じ各クラブに入会することができることの協定書を作成した。

④ 第756回

ポール・ハリスフェロー1万人目日本に誕生

3月21日 鳥取クラブ第369区八村信三君

⑤ 第759回

会員80名の大台に乗る。

⑥ （西クラブの方針 49年～50年）

◎ すべての向上をはかろう

- ① 出席率の向上 ② 親睦の向上
- ③ 会員増加の向上 ④ 会員の質の向上

1975年—1976年（昭和50年—51年）

16代 会 長	田 中 博 規
副 会 長	松 岡 正 作
幹 事	牧 圭 司
ガバナー	後 藤 基 彰

ガバナースローガンは、会員増強と青少年育成

- ・公式訪問先日のクラブ協議会ではガバナーの熱がはいりまして深夜の12時過ぎまで延々5時間の勉強会でありました。

- 宮崎南クラブ設立に当り、前会長の努力によって下準備されました発会式を私の年度に盛大に開催しました。
- 例会を非常にたのしくしてくれました前川出席委員長毎例会俳句で出席促進された。

その一部 ガバナーの熱意時間を忘れさせ
 前取りで心もゆたかに出張し
 報告にはづむ無欠席
 あなたホラロータリーよ妻おしえ
 出席は紳士の顔で増強

1976年—1977年（昭和51年—52年）

17代 会 長	菊 池 彰
副 会 長	田 中 秀 男
幹 事	菊 池 皓一郎
ガバナー	塘 一 郎

- 会長の方針として親睦を第一にクラブのムードを良くしてたのしい例会を実施したい。そのためには会長が欠席してはならないと努力してホームクラブに100%出席しました。
- インターシティーゼネラルホールを当クラブホストとして開催しました。会場はサンホテルフェニックス。これも一重に会場準備に関しては日高文雄委員長に副委員長に橋本善吉さんを中心に、お骨折りを頂きまして盛大に開催出来ました。
- 過去を思うと、50名位の時が親睦が図られ良かったように思いましたので、現在人員より増減しないように現状維持をすることにしました。

1977年—1978年（昭和52年—53年）

18代 会 長	安 倍 友 彦
副 会 長	木 浦 義 雄
幹 事	角 地 次 男
ガバナー	西 田 武 雄（八代RC）

ターゲット：全人類を結びつける為に奉仕せよ。

- 地区が変更になりました。373 地区より 273 地区へ。
- 会長エレクトに指名された頃が銀行を退職した頃でした。お前は暇になったろうから会長をやれと云うことになりました。資格がないからことわりでしたが、後でどうせやらなければならないから今のうちにやっておったほうがよいと云うことになり引受ました。
- 何かしら最初の第一例会 7 月 1 日、最終会 6 月 30 日。
- 昭和52年 6 月 29 日、川辺プログラム委員長が福岡の国立ガンセンターに入院されプログラムの機能が半減した。
- 昭和52年 8 月 6 日～7 日、宮崎西、北ホストにてインターアクト年次大会をサンホテルフェニックスに開催しました。市毛委員長、前田青少年委員、外委員の方の御努力によりまして盛大に開催することが出来ました。総人員 468 名が参加しました。
- 昭和52年 8 月 31 日にロータリー財団寄付 1000 %になりました。
- 事務局員 日高節子さん退職、横井みよ子さんが入会されました。
- 昭和52年 9 月 16 日、日南中央RCが誕生しました。
- 昭和53年 3 月 24 日、創立して18年目に 900 回例会を迎え会員に記念品を贈った。
- 昭和46年10月 1 日に創立された社会奉仕基金制度が、以来かなりの資金になりましたので、運営委員会の発足及び社会奉仕基金運営委員会規定が制定されました。
- 地区協議会が延岡で開催され安倍会長が職業奉仕部門のリーダーをつとめた。カウンセラーは竹野さんでした。
- 第69回国際ロータリー年次大会が東京で 5 月 14 日～18 日に開催されました。当クラブからの出席者：竹野、橋本(一)、竹内、長峰、植松(熊)、安倍、以上 6 氏が参加されました。

1978年—1979年（昭和53年—54年）

19代 会 長 平 山 輝 男
副 会 長 橋 本 善 吉
幹 事 笹 栗 紘 二
ガバナー 吉 村 武 文

私はロータリー歴4年でした。会長はどうかと話がありましたが、会長は理事経験者でないと資格がないと云うことでこれこれと思っていたところ、エレクトで1年職権理事をするので合格と云うことになった。アシスタントにいい人をつけるからと云うことでやらざるをえなくなった。副会長に橋本善吉さん、幹事に新恵さんになって頂きました。新恵さんは貴重面な人で、まだいいんじゃないかと思う時に組閣されてこれではどうか見せられ、どうせ幹事にやってもらうことだからお願いしますでした。ところが何もかも出来てスタート間近になって、血圧が高く悪いからやめなければならぬことになった、と云うことになり、大変にこまりました。橋本さんと打ち合せ早急に人選をして頂きまして、笹栗さんに幹事を引き受けて頂きました。

心配もしておりましたが順調に進みました。

◦公式訪問が8月10日で早く、準備にあわただしかった。クラブとしてはまだ何も活動してないことですから計画のみであった。協議会で挨拶をしなければなりません。そこで今年は特別に変ったことはないがただマンネリ化にならないようにつとめたいと申したら、公式訪問でのガバナー挨拶で、西クラブは20年になるうとしているのでマンネリ化しないように注意があった。

クラブ協議会前に会長、幹事に面接がありますが、私も笹栗さんも何にも知らない、こまったなあと思っていた所助けの神があらわれて、副会長も呼べと云うことになり、非常に助かりました。

◦社会奉仕基金運営委員規定が前年度後半に出来て、私の時代から実施しなければならぬ。その基金の利息で運営することになっておりまして、奨学金制度も考えましたが、金額が少ないため次年度にお願いした。幸いに20周年にて出来るこ

とはよかった。

- プログラム委員長の日高文雄さんの計画は、3ヶ月前に総べて作られ、例回を進めるのに非常に助りました。
- クラブで一番大切なことは親睦だと思います。秋山委員長が良くやってくれました。

1979年—1980年（昭和54年—55年）

20代 会 長	宮 下 広 計
副 会 長	鈴 木 敏 道
幹 事	池 田 成 彬
ガバナー	井 上 和 人

20周年と云う重大な時に会長を引き受けて、私は最初は意識していなかったわけでありまして、たまたま店先に立っていた所、安倍さんがやって来て会長をやれと云うことでなにげなく引き受けてしまった。

ところが20周年、3H、ロータリー75周年とロータリーとしての行事が多い年でありました。

私としてこのような重大な式典をやるのにたいして、一番優秀で人がついて来てくれる、人柄の良い、いいかげんなことをする人でない日高文雄さんをお願いしました。重大な式典、永遠にのこる20周年誌作成等を私にかわってやってもらっている。来年在地区大会で金もいるしじみにやらせて頂いた。

想い出は10月の国体に於いて天皇陛下から、目の前でロータリーの皆さん御苦労さんと声をかけられたことです。市内のロータリークラブ会長は皆な出席していた。御召自動車のドアをあけて中を見たり出来た。昔ならこのようなことは出来ない、このようなことチョットない事だと思います。

木浦君が10月に亡くなった。彼が生きていればアイデアにとんだこともあったかもしれなかったと思います。

20年たって優秀なクラブに成長したのも、歴代会長の努力のたまものだと思います。

この20周年に関しましては、日高文雄さん、橋本善吉さんに感謝いたします。

今年度はプログラムの前田委員長、ユニークな卓話者を呼んできてもらった。今までにない卓話者であった。

池田幹事も丁度10億円をかけて新築中で、後半になって例会を休みがちであります。これはしかたがないと思っております。

私として20年にしてロータリーが理解できるようになり、やっぱりロータリーにはいっておってよかったと思っております。

第 2 編

ロータリーの発生

第1章 ロータリー・クラブの構成と諸目的

ロータリー・クラブは各職種の企業又は専門職業から選ばれた者を以て構成し、かつ次に掲げる諸目的を達成するために組織されたものである。すなわち、

第一、会員個々人の向上

第二、会員の企業を、理想と実際の両面において向上せしめること

第三、会員の属する職種全体の向上

第四、会員の家、町、州および国、ならびに社会全体を向上せしめること

1. 各会員の個人的向上

各会員に対して、ロータリーは次のような活動を行なわしめる。すなわち、

- (1) 各自の企業経営の体験を交換し合うことにより互に識見を広めること
- (2) 自己の思想の限界を自覚し転機を得せしめること
- (3) 他者への奉仕の気持を涵養せしめること
- (4) 自己発展の機を最大限につかむよう助力を与えること
- (5) 各自を社会の指導者たらしめること

2. 理想・実際の両面にわたる会員の企業の向上

実際面において、ロータリーの活動から各会員間に親密なつき合いが生れ、これを通じて取引増加の機会が与えられる。ただし、与えられるものは、ただ《機会》だけだという点に注意のこと。会員が会務に参画することによって他の会員達の信頼を得ることでこの信頼という企業にとってもっとも大切な資産を基として、優れた商品・正

しい価格とサービスにつとめるならば、各会員のもつこの機会は、しばしば、多くの結果をうみ出すのである。

ロータリアン同志の取引はロータリーの義務ではない——その本質ではない——またロータリーの存在理由でもない——ロータリアン同志の取引はロータリーの附随的要素にしかすぎないのである。理想面においては、各会員はロータリーに加わることにより、企業の正しい経営方法と倫理性の高い商法を体得できる。ロータリーにあっては、理想とはたんなる夢の彼方にあるものではなく、各会員の日常生活で実践すべき生きた手本なのである。ロータリーの理想は各会員の個人生活にも、また企業経営にも均しく実践できるものである。ロータリーの理想は、職業倫理の全体に及ぶばかりでなく、いわゆる《奉仕》なる概念を構成するすべての場に及ぶのである。幸いにも、各会員の企業に関する経営方法と理想とを示すロータリーのスローガンとして次のものがある。曰く、《奉仕だ、私利・利欲ではない》Service, Not Self《儲けんと欲すれば先づ奉仕に徹せよ》He Profits Most Who Serves Best.

このように各会員の心のみならず各会員の企業経営の精神にもあてはまるところのこのロータリーの活動こそ、そもそも、ロータリーの創立者が考え、そしてその後継者たちがその初志を追求してきたところのものなのである。

ロータリー理論に基づくインスピレーションの結果主として生ずるところの、いま一つのロータリーの活動があり、これを《ロータリーの実践》と呼ぶ。各会員がロータリーの経験を積み重ね、勉強を重ねて行くにつれて、何かやってみよう、つまり、いわば、後世に残るようなものとして何かやることはないかという気持になってくる。各会員の教育が十分に行なわれたならば、あたかも、昼の後に夜がつづくように、《ロータリーの実践》が始まるのである。

このロータリーの実践においては、各会員は二つのはっきりした奉仕の分野に立入らなければならない。

3. 会員の属する職種全体の向上

ロータリアンはロータリーからそれぞれの職業分野に送られた代表者である。それぞれの職種にロータリーの理念たる職業倫理と奉仕とを普及させることによって、各会員の属する職種全体を向上させることができる。ロータリー・クラブ会員が、ロータリー精神を帯し、自己の企業経営をロータリーの理念に即して行なうようになった

ときにも、なおその故を以てロータリーに属していない他の同業者にも同じ行動をとるよう働きかけるべき義務を免がれるものではない。全ロータリアンは自分の奉仕に由来する義務をこのような面で果さなければならないのであって、この態度こそ企業界全体を潤すことになるのである。これこそまさに、ロータリーの最大の奉仕の機会なのである。

4. 会員の家・町・州および国ならびに社会全体の向上

上に述べてきたような諸々の向上を行なおうとするロータリアンの活動は、当然のことながら、市民生活と慈善行為との二つの主な生活分野で、おのずから実ってくる。ロータリーの世界は、各会員をよりよき市民・よりよき商工会議所会員・よりよきアメリカ人・カナダ人その他の国民たらしめるようしつけることである。地域社会の動きについては細大もらさず、ロータリーの会合において自由な討議を行わなければならない。また、クラブ役員は各会員に対して、地域社会向上のため積極的に加わるよう知識と知恵とを授けるようにしなければならない。一般的に言えば、ロータリアンの地域社会に対する関心の顕われは、ロータリー・クラブの名を用いる活動というよりは、むしろロータリアン個人としての活動、又は商工会議所会員としての活動の形をとらなければならない。しかしながら、特殊な場合においては、社会奉仕のため、ロータリー・クラブが団体行動をとる必要がある場合もある。だがこのような団体行動をとるに当っては、事前に最も慎重な配慮をなさなければならない。ロータリー・クラブの活動は、いずれの都市にも存在する多くの専門事業団体の事業と重複するようなことがあってはならない。

各政党が態度決定を行なったような問題については、ロータリー・クラブはその賛否の意思決定を行なってはならない。この禁止は、明らかに、ロータリー・クラブ内に存在する尊い友情を守るためである。

ロータリーの慈善事業の分野でのことどもにはこれといった制限もなく、また積極的にこうすべきだと述べるべきこともない。したがって、この種の分野では、千差万別な慈善活動を行なうことができるのである。

ロータリーには他のクラブにない特徴があり、その特徴は主として教育的性格にある。ロータリーが他の団体と異なる点は、(1)限定会員制をとる点、ならびに、(2)各会

員と各会員の企業とにわたる活動を行う点、ならびに (3)各会員に各自の職種に職業倫理向上の念を植えつけるべき義務を課する点にある。

ロータリーは、1905年に、特に基礎となる論文もなく、インスピレーションから生れた。その時以来、ロータリーについては多くの所説が著わされ、幾つかの先例が確立された。常に念頭におかねばならぬ重要なことが二つある。一つは「ロータリーの会合では酒気を帯びて論議を行なってはならない」ということである。

第二の先例は「ロータリーの会合では、発言者は無意味な冗談を話してはならない」ということである。この先例のお蔭で下品な話ができないだけでなく、聴衆が卓話者に対して発する皮肉まじりの反論をも避けることができる。他にも沢山の先例がある。しかしこの二つほど強く認められたものはない。

ロータリーに対して自らを与えよ、その限りにおいて与えられん。与えるものを越えて与えらるることなし。

第2章 ロータリー宣言

ロータリー・クラブは、現代生活の商業的基盤こそ人類進化の必要条件であることを認め、社会を構成するところの、個人の利益と個人の利益の融和との適切な関係を示すために組織された。

この目的を一層効果的に達成するため、限定的かつ代表的会員制度が採用され、ロータリー・クラブは職業又は専門職業の各分野から一名の代表を以て構成する。各会員は異った職業に従事する代表的人物と接触することによって利益を受け、また、それによって、公共生活と職業生活の責任を、一段と理にかなった方法で果すことができるようになる。

クラブのこの会員制度という基礎があればこそ、あらゆる階層の代表の加入が保障されると共に、企業に関する公の問題を討議するに際して何人の独裁をも認めないことが保障されるのである。ロータリー・クラブは、その限定会員制の故に、社会全般に関する問題について社会全体の声を自ら構成するものではない。しかし、かかる問

題についてのその活動は、社会の公共的かつ企業上の福祉を推進するに当って、大きな影響力をもつものである。

ロータリー・クラブは企業上の公正な取引、正直な方法および高い倫理基準を要求する。現実又は暗々裡に、企業に強制的影響力を加えるべき義務はロータリーには存在しない。ロータリーの会員に選任されたことは、当該クラブが被選任会員に対する信頼と被選任会員に対する善意の表明である。被選任会員の企業はその者自身の表明とみるべきものであるから、被選任会員はその企業を積極的に代表することを期待される。

ロータリー・クラブの会員たることは特権であるとともに契機である。そしてその責任は、同僚に対して正直かつ効果的な奉仕と思いやりを実践すべきところにある。

奉仕こそ全企業の磁石たれ。

奉仕に徹する者に最大の利益あり。

第3章 全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓

— 1915年7月19～23日、サンフランシスコにおける

第6回ロータリー・クラブ国際連合会年次大会決議—

この職業倫理基準は、われわれに共通な人間性を求める心その骨子とするものである。自分の取引、自分の野心及び自分をめぐる諸関係は、常に、社会の一員としての自分の最高の義務を考慮に入れてのことでなければならない。職業生活のすべての地位において、自分の当面するすべての責任において、自分の主たる思考は、かかる責任を果し、かつかかる義務を履行し、かくして、その各々の任務を完了したとき、自分は人間の理想と業績とを、当初よりも幾分向上させなければならない。この見地から、本委員会の議決によれば、国際ロータリーの商業倫理訓の基本は次に掲げる原則となるものである。すなわち、

1. 自分の職業に価値を認め、これにより自分は社会に奉仕すべき好箇の機会を与えられたものと思うべきこと。
2. 自分の身を修め、自分の実力を涵養し、自分の奉仕を広めるべきこと、ならば

にそれを通じて奉仕に徹する者に最大の利益ありとするロータリーの基本原則を
実践すべきこと。

3. 自分は企業経営者であり、したがって成功の野心を抱いていることを自覚すべきこと。だが、自分は道徳を重んずる人間であり、最高の正義と道徳に基づかざる成功はこれを欲するものでないことを自覚すべきこと。
4. 自分の商品、自分の労働、自分のアイデアを金銭と交換することは、全当事者がこれによって利益を受ける限りにおいてのみ、適法にして道徳にかなうものであるとの信念をもつべきこと。
5. 自分の従事する職業の水準を向上させるため最大の努力をはらい、かくして、自分の業務の処理の仕方は賢明であって、利益を産み、この実例にならば幸福の道が開けることを同業者の者に知らしむべきこと。
6. 同業者と同等ないしそれに優る完全なサービスを尽くすような方法をもって企業経営を行なうべきこと。また、もし完全なサービスか否かに疑念の生ずる場合には、当該債務上妥当な範囲を越えてまでもサービスを行なうべきこと。
7. 専門職業にたづさわる者又は企業経営者の最大の資産の一つはその友人であることを理解すべきこと。また友情に基いて手に入れたものこそまさに倫理的かつ正当なものであることを理解すべきこと。
8. 真の友人は互に何も要求するものではなく、利益のためにみだりに友人の信頼を利用することはロータリーの精神と相容れないばかりかその倫理訓にもとるものと考えべきこと。
9. 社会秩序の立場から他人が絶対に認めないような不正な方法によって機会を利用し、これによって得た人の成功を正当又は倫理的なものと考えるはならないこと。また、物質的成功を得るがため、人が倫理的に問題ありとしてしりぞけるような機会に乗ずるが如きことをしてはならないこと。
10. 自分は一般人に対して義務を負う以上に同僚たるロータリアンに対して義務を負うものではない。けだしロータリーの真髄は競争ではなくして協力であるからであり、また党派心はロータリーの如き制度においてはあってはならず、かつ人権はロータリーの内部に限られるものではなく、その範囲とその重要性とにおいて人類そのものの存在と同程度のものであることをロータリアンは主張するものだからであり、かつまた、ロータリーはこの高邁な理想に向ってすべての制度に

属するすべての者を教化するために存在するものである。

11. 最後に「すべて人にしてもらいたいと欲することを人に対して行なうべし」という黄金律の普遍性を信じ、われわれは、地上の天然資源がすべての者に均等な機会として与えられてこそ、人類社会は最良の状態となるべきことを主張してやまないものである。

要 旨

この倫理訓の目的 この倫理訓の目的は、個人の完成をその基礎とし、国家の永続はただ自我を温存するためなりとの立場をとるギリシャ的倫理観ではなくして、この倫理訓の根本前提は愛なのである。すなわち、ロータリアンが正しいことをなすのは単に自我を温存させるためだけではないのであって、他人を滅すよりはむしろ他人に滅されむことを選ぶという立場をとるからなのである。

この倫理訓の価値 この倫理訓は保守派と進歩派との間に現に存在する争いのいづれかに加担するものではない。単に進歩的ならどうなるか保守的ならどうなるかといった点には何もかかり合いはない。この倫理訓の求める点はただ一点であり、それすなわち、価値、言いかえればこの倫理訓の説く倫理の有用性である。この倫理訓の進歩主義でも保守主義でもなく、その有用性がこの起草者の理想である。この有用性によってこそ、その存在根拠がある。けだしこの有用性あればこそこれを否定できないからである。

第4章 ロータリーの誕生

1. ロータリーの誕生とその成長

今から75年前の1905年、その頃経済恐慌で人心の荒れすさんでいたアメリカ社会特にシカゴの状態を憂えた青年弁護士ポールP. ハリスが奉仕の精神によって人の和をはかることこそ、よりよい社会をつくりだす道であると考え、3人の友人と語らって、2月23日この理想を広く人々に呼びかけようと、第1回の会合を開いたのがロータリー・クラブの誕生である。ロータリーとは、会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所でひらいたことからロータリーと名付けられた。この理想は着実に成長し、現在153の国家および地域にひろめられ、クラブ数18,497、会員数

853,000名に達し、さらに大きな発展を期待されておる。

2. 日本のロータリー

わが国のロータリークラブは、1920年(大正9年)10月20日、当時三井銀行の重役であった米山梅吉氏が初めて東京にこれを創立し、翌10年4月1日、世界で855番目のクラブとして加盟承認された。その後太平洋戦争の結果、一時国際ロータリーから脱退するのやむなきに至ったこともあったが、その間もよくロータリーの精神を堅持して会合につとめ、その真髓と組織を維持し、戦後国際ロータリーに復帰するや、益々発展、現在では、北は北海道、南は沖縄までクラブ数1,470、会員81,406名に達し、なおすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力をつづけておる。

会員は地域内の理想にもえる堅実な実業家、専門職業人の中から、定款により1業種1人を選び、週1回のクラブ例会出席によって、各種職域人の交友を通じて、地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっている。

3. ロータリーの目的

社会生活における人間の幸福は、他人への思いやりと助け合いにあるとするロータリーでは、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、の4部門を設け、各自の職業を通じて奉仕の理想を推進することを目的としており、そのためには、

- 1) 広く知己を求めて、奉仕の機会を多く持つ。
- 2) 各自の職業に誇りをもってその道徳的基準を高める。
- 3) 公私の別なく奉仕の理想を実行する。
- 4) 国際的にも理解と友情を広めかつ深める。

という四つの道をひらき、そして各自が、

- ① 真実かどうか。
- ② みんなに公平か。
- ③ 好意と友情を深めるか。
- ④ みんなのためになるかどうか。

という四つのテストに照らして行動することが大切である。

第5章 第273地区の概要

1. 戦前のロータリー

大正9年に創立された東京クラブを筆頭とし、最後は、解散直前の昭和15年7月に結成された宇和島クラブに至るまで、戦前の日本のロータリークラブの数は内地に37クラブ、外地に11クラブで、合計48クラブに過ぎなかった。

その内訳を見ると、北海道8、東北地方3、京浜地区2、東海地区5、北陸2、近畿5、中国2、四国6、九州4、外地は台湾3、朝鮮4、満州4であった。北海道と四国とが比較的多いことが注目される。

九州の4クラブは、福岡（昭和8年）、門司（昭和9年）、長崎（昭和11年）、熊本（昭和14年）である。

従って現在の273地区としては熊本クラブが唯一の戦前クラブである。

昭和15年の夏から秋にかけて、日本のロータリークラブは国際ロータリーを脱退して、ロータリークラブの名称を廃したので、一応ロータリークラブとしては解散したことになるが、大多数のクラブはほぼ従来の組織を残して○曜会とか、○○会、○○クラブ等の名称を以って、定期的な会合を続けていた。従ってその様なクラブに於ては、戦後のR.I.復帰は比較的容易であったわけである。

戦後の復活と発展

昭和24年春、R. I. と G. H. Qとによって、いよいよ念願の R. I. 復帰が認められることとなり、同年3月の東京クラブを皮切りに、続々と戦前クラブの復帰が始まった。

九州では福岡が先頭で4月、熊本は10月、門司、長崎はちょっと遅れて翌25年に復帰した。注目すべきは、戦前クラブでない戦後の新クラブが逸早く誕生し始めたことで、小倉クラブの如きは、門司、長崎の復活よりも早く24年の11月に早くも結成されている。更に25年の暮には大分クラブが出来ている。かくて28年の宮崎クラブを殿りとして九州各県の県庁所在地にはすべてクラブが出来揃い、その他門司、小倉、別府佐世保、久留米等の有力都市にもロータリーの展開が完了し、以後昭和29年からそれ等のクラブを核として、急速にロータリーの輪が九州に広がって行くのである。

2. 地区分割の変遷

ロータリーの発展に伴って、地区の数もふえて来ているが、現在当地区に属する各県のこれ迄の地区の変遷を見ると次のようになる。

年 代	地区名	日本の地区数	当地区に属する県名 (アンダーラインは現第273地区の県)
1920－28	無 地 区		
1928－39	第 70 地区	1	全国 1 地区
1939－40	第 71 地区	3 (但含 外地)	滋賀・京都・奈良・大阪・和歌山・兵庫・香川・徳島・高知・愛媛 岡山・鳥取・島根・広島・山口・福岡・佐賀・長崎・ <u>大分</u> ・熊本・ 宮崎・鹿児島・沖縄・台湾
1940－49	R I	脱退中	
1949－52	第 60 地区	1	全国 1 地区
1952－55	第 61 地区	2	福井・滋賀・京都・奈良・大阪・和歌山・兵庫・香川・徳島・高知 愛媛・岡山・鳥取・島根・広島・山口・福岡・佐賀・長崎・ <u>大分</u> ・ 熊本・宮崎・鹿児島
1955－57	第 64 地区	4	岡山・鳥取・島根・広島・山口・福岡・佐賀・長崎・ <u>大分</u> ・熊本・ 宮崎・鹿児島
1957－59	第 370 地区	5	全 上
1959－60	全 上	6	山口・福岡・佐賀・長崎・ <u>大分</u> ・熊本・宮崎・鹿児島
1960－61	全 上	7	全 上
1961－64	全 上	8	全 上
1964－65	全 上	10	福岡・佐賀・長崎・ <u>大分</u> ・熊本・宮崎・鹿児島
1965－67	全 上	11	全 上
1967－68	全 上	13	全 上
1968－70	第 373 地区	14	<u>大分</u> ・熊本・宮崎・鹿児島
1970－71	全 上	17	全 上
1971－73	全 上	18	全 上
1973－74	全 上	20	全 上
1974－77	全 上	21	全 上
1977－78	第 273 地区	22	全 上
1978－80	全 上	23	全 上

※ この表の「当地区に属する県名」は必ずしも厳密なものではなく、県境に於てはクラブの地域が行政の境界と一致しない場合もある。

3. 歴代ガバナー一覧表

当地区における初めてのクラブである熊本RCが設立された1938年度(昭和13年度)以降に就いて記載する。

年次	氏名	所属クラブ	当時の地区番号	年次	氏名	所属クラブ	当時の地区番号
1938-39	※松本 健次郎	福岡	第70地区	1965-66	島津 久厚	都城	第370地区
1939-40	※大沢 徳太郎	神戸	第71地区	1966-67	吉村 常助	熊本	第370地区
1940(9月迄)	※岡崎 忠雄	神戸	第71地区	1967-68	向笠 広次	中津	第370地区
1940-49	R I脱退中			1968-69	大津 篤造	鹿児島	第373地区
1949-51	※手島 知健	東京	第60地区	1969-70	日高 安壮	宮崎	第373地区
1951-52	※星野 行則	大阪	第60地区	1970-71	八田 秋	別府	第373地区
1952-53	※鳥養 利三郎	京都	第61地区	1971-72	小田 一昭	熊本南	第373地区
1953-54	※北沢 敬二郎	大阪	第61地区	1972-73	東 博仁	熊本東	第373地区
1954-55	※小菅 金造	神戸	第61地区	1973-74	杉原 頼三	鹿児島南	第373地区
1955-56	※君島 武男	福岡	第64地区	1974-75	竹野 融	宮崎西	第373地区
1956-57	※黒川 巖	広島	第64地区	1975-76	後藤 基彰	竹田	第373地区
1957-58	※田中 文男	岡山	第370地区	1976-77	※塘 一郎	鹿児島西	第373地区
1958-59	※久保田 豊	長崎	第370地区	1977-78	西田 武雄	八代	第273地区
1959-60	※中牟田喜兵衛	福岡	第370地区	1978-79	吉村 武文	延岡	第273地区
1960-61	※増永 茂己	熊本	第370地区	1979-80	井上 和人	出水	第273地区
1961-62	※松本 兼二郎	八幡	第370地区	1979-80	※長野 正	大分	ノミニ-の時亡
1962-63	※進藤 誠一	福岡西	第370地区	1980-81	福島 親比古	大分	ノミニ-
1963-64	※嘉村 平八	戸畑	第370地区	1981-82	大久保圭一郎	熊本	ノミニ-
1964-65	町田 秀実	鹿児島	第370地区				

(※は物故者を示す)

4. 地区内クラブ一覧表

この表はロータリー文庫が作製した日本RC承認順序一覧、全日本ロータリークラブ会員名簿、日本ロータリー50年史、ガバナー月信、クラブ史等によって作製したものである。尚、承認順位は日本国内に於ける順位であるが、R Iが正式に発表しているものではない。又、承認順位と創立順位は必ずしも一致しないが、ここでは承認された順位によった

地区内 承認 順位	日本 承認 順位	クラブ名	承認 年月日	創立 年月日	初代会長	スポンサ ークラブ	特別代表	チャー ターメ ンバー	備考
1	35	熊 本	(1939) 昭14. 4. 20	昭14. 3. 25	中島為喜 西承後豊 三浦	福 岡	芝 染 太 郎 (東 京)	35 27	再承認 24. 10. 24
2	56	大 分	(1951) 昭26. 4. 23	昭25. 12. 14	後 藤 三 郎	大 阪	星 野 行 則	23	
3	81	別 府	(1952) 昭27. 9. 8	昭27. 7. 30	岡 本 忠 夫	大 分 大 分	首 藤 定 (大 分)	28	
4	89	鹿 児 島	(1953) 昭28. 1. 16	昭27. 10. 10	勝 田 信	福 岡 熊 本	松 田 昌 平 (福 岡)	25	
5	96	宮 崎	(1953) 昭28. 3. 3	昭28. 2. 17	岩 切 章 太 郎	神 大 戸 分	久 米 孝 藏 (神 戸)	39	
6	114	中 津	(1954) 昭29. 2. 8	昭29. 1. 6	安 田 勇 治	別 府	宮 岡 謙 二	21	
7	127	川 内	(1954) 昭29. 5. 18	昭29. 4. 6	上 野 四 男	鹿 児 島	上 野 喜 佐 衛 門	24	
8	137A	日 南	(1954) 昭29. 6. 30	昭29. 6. 17	小 林 猛 臣	宮 崎	岩 切 章 太 郎	23	
9	137B	延 岡	(1954) 昭29. 6. 30	昭29. 6. 17	植 木 善 三 郎	大 阪 大 宮	岩 切 章 太 郎 (宮 崎)	21	
10	145	都 城	(1954) 昭29. 10. 14	昭29. 8. 25	島 津 久 厚	宮 崎	岩 切 章 太 郎	31	
11	216	竹 田	(1954) 昭32. 6. 6	昭32. 5. 23	加 藤 新	大 分 別 府	首 藤 定 八 田 定 秋	20	
12	217	人 吉	(1957) 昭32. 6. 6	昭32. 5. 25	神 戸 政 郎	熊 本	吉 村 常 助	21	
13	250	八 代	(1957) 昭33. 4. 23	昭33. 3. 9	坂 田 静 夫	熊 本	吉 村 常 助	25	
14	253	鹿 屋	(1958) 昭33. 6. 2	昭33. 4. 5	上 松 栄 吉	鹿 児 島	三 輪 嘉 雄	20	
15	272	熊 本 南	(1958) 昭33. 11. 24	昭33. 9. 1	深 水 六 郎	熊 本	藤 井 利 七	22	
16	286	鹿 児 島 南	(1958) 昭34. 4. 4	昭33. 12. 1	犬 伏 綾 次 郎	鹿 児 島	福 田 得 志	27	
17	351	佐 伯	(1959) 昭35. 3. 14	昭35. 2. 22	出 納 菊 二 郎	大 分 別 府	岡 本 忠 夫 (別 府)	25	
18	353	本 渡	(1960) 昭35. 3. 18	昭35. 2. 23	松 田 隆	熊 本	上 田 滋 穂	21	
19	363	日 向	(1960) 昭35. 4. 30	昭35. 4. 3	江 川 栄 助	宮 崎	川 島 真 藏	27	
20	365	宮 崎 西	(1960) 昭35. 5. 8	昭35. 4. 8	田 崎 亀 夫	宮 崎	福 田 甚 二 郎	26	
21	377	臼 杵	(1960) 昭35. 6. 30	昭35. 6. 2	小 手 川 金 次 郎	大 分 別 府	木 下 常 雄 藤 沢 徳 太 郎	26	
22	380	津 久 見	(1960) 昭35. 6. 30	昭35. 6. 15	増 田 英 一	大 分 別 府	河 村 友 吉 (別 府)	24	
23	391	水 俣	(1960) 昭35. 9. 16	昭35. 8. 17	北 川 勤 哉	熊 本	吉 村 常 助	26	
24	420	名 瀬	(1961) 昭36. 4. 24	昭36. 1. 10	里 嘉 栄 則	鹿 児 島	福 田 得 志	25	当初無地区 36.7より358地区 37.7より370地区
25	437	豊 後 高 田	(1961) 昭36. 5. 18	昭36. 3. 16	尾 形 恒 治	中 津	村 上 健 一	32	
26	443	小 林	(1961) 昭36. 6. 7	昭36. 3. 15	横 山 通 幹	都 城	島 津 久 厚	26	
27	553	大 分 東	(1963) 昭38. 5. 27	昭38. 3. 6	佐 藤 健 一	大 分	木 下 常 雄	39	
28	560	鹿 児 島 西	(1963) 昭38. 6. 27	昭38. 3. 23	桜 美 四 郎	鹿 児 島	福 田 得 志	25	

地区内 承順 位	日本 承認 順位	クラブ名	承認 年月日	創立 年月日	初代会長	スポンサ ー クラブ	特別代表	チャー ターメ ンバー	備 考
29	612	日 田	(1964) 昭39. 5. 18	昭39. 3. 14	石 田 友 逸	中 津	向 笠 広 次	26	
30	643	熊 本 東	(1964) 昭39. 11. 7	昭39. 7. 7	東 博 仁	熊 本 南 熊 本 本	吉 村 常 助 (熊 本)	27	
31	654	牛 深	(1964) 昭39. 12. 24	昭39. 6. 17	原 田 安 記	熊 本 本 熊 本 渡	上 田 滋 穂 (熊 本)	31	
32	683	指 宿	(1965) 昭40. 6. 24	昭40. 5. 8	若 松 甫	鹿 児 島 南	吉 田 勇 蔵	30	
33	693	別 府 北	(1965) 昭40. 8. 12	昭40. 7. 30	児 玉 房 雄	別 府	高 安 慎 一	32	
34	694	山 鹿	(1965) 昭40. 8. 19	昭39. 11. 18	松 延 栄	熊 本	吉 村 常 助	29	
35	699	串 木 野	(1965) 昭40. 10. 15	昭40. 5. 21	有 田 貞 二 郎	川 内	上 野 四 男	26	
36	769	都 城 北	(1966) 昭41. 12. 27	昭41. 10. 1	大 窪 之 利	都 城	丸 田 美 徳	26	
37	773	延 岡 東	(1967) 昭42. 1. 16	昭41. 1. 26	津 野 田 嘉 彦	延 岡	野 村 嘉 成	28	
38	813	宇 佐	(1967) 昭42. 8. 5	昭42. 6. 9	本 田 正 道	豊 後 高 田 中 津	尾 形 恒 治 (豊 後 高 田)	31	
39	814	玉 名	(1967) 昭42. 8. 7	昭42. 6. 29	平 山 静 雄	熊 本 南	小 田 一 昭	22	
40	819	加 治 木	(1967) 昭42. 9. 23	昭42. 6. 24	大 山 綱 男	鹿 児 島 西	土 橋 英 夫	21	
41	826	阿 蘇	(1967) 昭42. 11. 30	昭42. 11. 8	阿 蘇 惟 友	熊 本 東	東 博 仁	23	
42	847	多 良 木	(1968) 昭43. 4. 8	昭43. 3. 14	犬 童 俊 一	人 吉	堤 治 助	31	
43	886	串 良	(1968) 昭43. 11. 14	昭43. 11. 5	入 部 兼 道	鹿 屋	田 中 千 尋	25	
44	887	え び の	(1968) 昭43. 12. 4	昭43. 9. 20	渡 辺 千 秋	小 林	朝 廣 裕 二	28	
45	889	松 橋	(1968) 昭43. 12. 16	昭43. 11. 9	中 山 良 之 助	熊 本 南	清 永 宇 蔵	30	
46	892	出 水	(1968) 昭43. 12. 18	昭43. 12. 5	大 西 又 市	水 俣	堀 円 乘	25	
47	895	杵 築	(1969) 昭44. 2. 12	昭44. 1. 4	安 倍 信 義	別 府 北 別 府	八 田 秋 (別 府)	24	
48	929	鹿 児 島 東 南	(1969) 昭44. 6. 13	昭44. 5. 6	厚 地 規 矩 也	鹿 児 島	大 西 栄 蔵	21	当初鹿児島谷山 49. 1. 1改称
49	945	伊 集 院	(1969) 昭44. 8. 22	昭44. 7. 12	有 馬 俊 郎	鹿 児 島	玉 川 秀 一 郎	19	
50	963	宮 崎 北	(1970) 昭45. 1. 6	昭44. 10. 22	境 大 和	宮 崎	志 田 熊 吉	31	
51	972	八 代 北	(1970) 昭45. 2. 4	昭45. 1. 23	魚 住 重 造	八 代	西 田 武 雄	31	
52	983	熊 本 江 南	(1970) 昭45. 3. 11	昭45. 2. 18	佐 藤 秀 盛	熊 本 東	東 博 仁	25	
53	1120	大 分 臨 海	(1972) 昭47. 5. 29	昭47. 5. 15	狭 間 正 年	大 分 東	長 野 正	28	
54	1129	芦 北	(1972) 昭47. 6. 26	昭47. 6. 18	佐 藤 続	水 俣	本 田 真 雄	25	
55	1133	肥 後 大 津	(1972) 昭47. 7. 27	昭47. 6. 27	坂 本 篤 美	熊 本 南	和 泉 重 雄	35	
56	1137	菊 池	(1972) 昭47. 9. 8	昭47. 8. 5	松 本 新 吉	熊 本	木 下 嵩	30	

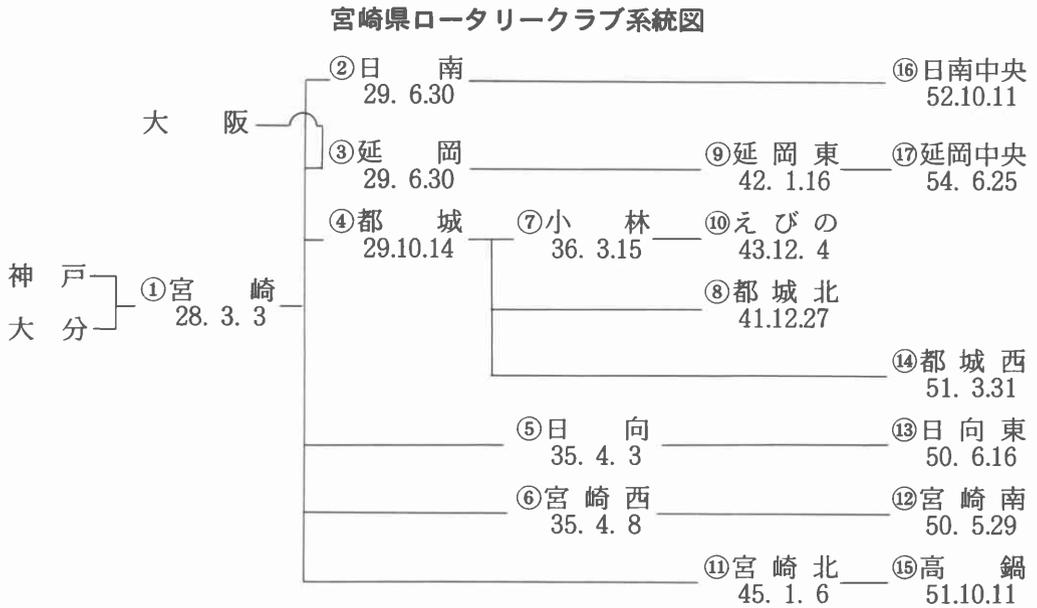
地区内 承認 順位	日本 承認 順位	クラブ名	承認 年月日	創立 年月日	初代会長	スポンサ ークラブ	特別代表	チャー ターメ ンバー	備 考
57	1142	颯 娃	(1973) 昭48. 1. 6	昭47.11.15	海江田 綱 重	指 宿	俣 江 善 蔵	33	
58	1147	加世田	(1973) 昭48. 3. 8	昭47.10.18	椎 原 竜 夫	鹿兒島西	柴 山 一 雄	21	
59	1148	枕 崎	(1973) 昭48. 3. 8	昭47. 12. 4	野 村 秀 夫	鹿兒島西	柴 山 一 雄	30	
60	1234	阿久根	(1974) 昭49.10. 7	昭49. 6. 19	武 田 知三郎	出 水	井 上 和 人	31	
61	1247	西天草	(1975) 昭50. 3. 4	昭50. 1. 3	青 砥 一 雄	本 渡	松 田 隆	25	
62	1265	宮崎西	(1975) 昭50. 5. 29	昭50. 3. 24	日 高 真太郎	宮崎西	日 高 真太郎	33	
63	1268	日向東	(1975) 昭50. 5. 16	昭50. 5. 28	安 藤 幸 男	日 向	江 川 恵之助	27	
64	1271	中津中央	(1975) 昭50. 6. 17	昭50. 6. 10	小 川 吉 治	中 津	井 上 政 治	24	
65	1294	大 口	(1976) 昭51. 1. 20	昭50.10.12	星 野 元 豊	水 俣	西牟田 融	26	
66	1297	国 分	(1976) 昭51. 2. 23	昭50. 11. 6	前 田 耕 志	加 治 木	岩 沢 光 男	26	
67	1305	八代南	(1976) 昭51. 3. 18	昭51. 3. 9	宮 田 時 好	八 代	飯 田 卓 郎	30	
68	1307	都城西	(1976) 昭51. 3. 31	昭51. 3. 10	妹 尾 良 秋	都 城	永 田 利 満	26	
69	1324	日田中央	(1976) 昭51. 6. 15	昭51. 4. 20	後 藤 桂 一	日 田	伊 藤 隆 (故 佐藤藤左)	26	
70	1339	熊本西南	(1976) 昭51. 9. 27	昭51. 6. 17	戸 川 常 雄	熊本江南	米 村 耕 次	26	
71	1340	高 鍋	(1976) 昭51.10.11	昭51. 6. 17	井 上 正 人	宮崎北	野津原 英雄	34	
72	1346	鹿兒島 中 央	(1977) 昭52. 1. 27	昭52. 1. 10	大 津 篤 造	鹿兒島	有 馬 啓	30	
73	1375	日南中央	(1977) 昭52.10.11	昭52. 9. 16	内 田 晴 雄	日 南	照 屋 全 功	30	
74	1376	大分南	(1977) 昭52.11. 3	昭52.10.28	渡 辺 渡	大 分	橋 本 新 一	33	
75	1379	鹿屋西	(1977) 昭52.12. 7	昭52.11.28	田 中 千 尋	鹿 屋	川 原 正 雄	33	
76	1422	荒 尾	(1978) 昭53.11.18	昭53. 9. 6	出 口 昇	大牟田南	藤 村 量	32	
77	1435	熊本北	(1979) 昭54. 3. 8	昭54. 2. 15	河 上 壽	熊 本 山 鹿	三 浦 洋 一	31	
78	1443	名瀬中央	(1979) 昭54. 5. 24	昭54. 4. 21	奥 山 恒 満	名 瀬	朝 沼 勇 雄	30	
79	1448	延岡中央	(1979) 昭54. 6. 25	昭54. 5. 25	加 藤 徳 男	延 岡 東	津野田 嘉彦	29	
80	1455	別府東	(1979) 昭54. 8. 17	昭54. 5. 24	黒 木 健 夫	別 府 北	長 野 弘	37	

5. 地区年次大会一覧表

年月日	当地の地区番号	ガバナー	ホスト	R.I会長代表	大会委員長	大会幹事	会場	参加人員()はクラブ数	備考
1939. 4. 29-30	70区	松本 健次郎	福岡・門司・長崎	村田 省蔵	なし	田中 次郎 (門司)	別府公会堂	(42) 346	
1940. 5. 4-5	71区	大沢 徳太郎	横浜	日満ロータリー 連合会 梅山 長吉			開港記念館	(47) 542	日満ロータリー 連合会として
1941-1949		R・I 脱退中							
1950. 4. 8-9	60区	手島 知健	京都	A. SMitchell	絹川 清	森田 二郎	同志社栄光館 醍醐三宝殿	(30) 647	
1951. 4. 7-8	60区	手島 知健	東京	手島 知健	大島 義清	相原 孫左衛門	上野精養軒 日本工業クラブ	(54) 1,477	
1952. 4. 25-26	60区	星野 行則	大阪	G. E. Marden	北沢 敬二郎	露口 四郎	中央公会堂 宝塚	(74) 1,529	
1952. 11. 15-16	61区	鳥養 利三郎	福岡	H. T. Thomas	山脇 正次	松田 昌平	電気ビル	(47) 625	
1953. 10. 11-12	61区	北沢 敬二郎	神戸	O. DA. Oberg	直木 太郎	百崎 辰雄	朝日会館 宝塚大劇場	(68) 1,075	
1954. 10. 16-17	61区	小菅 金造	京都	A. SMitchell	大沢 善夫	竹上 藤一郎	京都市勲業館	(147) 3,106	60, 61両区連合
1955. 10. 29-30	64区	君島 武男	広島	F . S. Spain	田中 好一	横山 周一	公会堂	(51) 687	
1956. 10. 25-26	64区	黒川 巖	長崎	H. J. Taylor	中部 悦良	今泉 佳三郎	三菱会館	(79) 915	
1957. 10. 5-6	370区	田中文 男	神戸	G. R. Means	岡崎 忠	末正 久左衛門	神戸国際会館	(128) 2,260	365, 370 両地区連合
1958. 10. 13-14	370区	久保田 豊	岡山	H. B. Knapp	伊原木 伍郎	佐藤 弘	天満屋草川会館	(73) 812	
1959. 10. 17-18	370区	中牟田 喜兵衛	大阪	S. K. Guernsey	中野 静夫	栗本 順三	フェスティバル ホール	(170) 2,793	365, 368, 370 三区連合
1960. 10. 24-25	370区	増永 茂己	鹿児島	A. W. Dakin	上野喜左衛門	町田 秀実	山形屋百貨店	(114) 1,171	
1961. 10. 21-22	370区	松本 兼二郎	熊本	A. Thevathanan	吉村 常助	金沢 大四郎	高細学園	(92) 1,102	
1962. 10. 20-21	370区	進藤 誠一	小倉	C. W. Woodward	菊池 安右衛門	為末 博	市民会館	(93) 1,361	
1963. 10. 2-3	370区	嘉村 平八	福岡	Lloyd Holister	木曾 重蔵	中牟田 喜一郎	市民会館	(117) 1,975	
1964. 11. 29-30	370区	町田 秀実	大分	小林 雅一	上妻 享	佐藤 通夫	別府 国際観光会館	(104) 1,569	
1965. 10. 23-24	370区	島津 久厚	京都	C. W. Pettengill	大倉 治一	西村 大治郎	京都市体育館 京都館	(430) 7,626	360, 365, 368 369, 370区 5地区連合
1966. 11. 13-14	370区	吉村 常助	宮崎	東ヶ崎 潔	岩切 章太郎	中村 英太郎	宮崎市民会館	(122) 1,630	

年 月 日	当地の 地区 番 号	ガ バ ナ ー	ホスト	R・I会長代表	大会委員長	大会幹事	会 場	参加人員 ()は クラブ数	備 考
1967.11.11-12	370区	向 笠 広 次	佐 賀	F. C. Delgado	田中丸 善次郎	横 尾 千 三	県体育館 市民会館	(105) 1,809	
1968.10.19-20	373区	大 津 篤 造	佐世保	西 村 二 郎	坂 田 重 保	松 尾 弘 司	佐世保市民会館	(114) 1,908	370, 373 両地区連合
1969.11.8-9	373区	日 高 安 壮	鹿児島	白 山 源三郎	鷹 野 孝 徳	吉 田 信 夫	鹿児島 文化センター	(50) 1,627	
1970.11.7-8	373区	八 田 秋	熊本南	J. G. Werner	深 水 六 郎	和 泉 重 雄	熊本市市民会館	(94) 1,795	
1971.11.13-14	373区	小 田 一 昭	別 府	W. C. Carter	堀 永 忠次郎	佐 藤 博 士	別府 国際観光会館	(80) 1,610	
1972.11.25-26	373区	東 博 仁	宮崎西	湯 浅 恭 三	増 田 吉 郎	岩 切 省 一 郎	宮崎市民会館	(91) 1,997	
1973.11.17-18	373区	杉 原 頼 三	鹿児島南	J. F. Conway	犬 伏 縫次郎	春 田 陽 三	鹿児島 文化センター	(90) 1,938	
1974.11.23-24	373区	竹 野 融	熊本東	H. A. Stewart	木 村 清 孝	三 浦 義 弘	熊本市体育館	(88) 3,110	
1976.313-14	373区	後 藤 基 彰	大分東	鮎 谷 賢太郎	塚 本 直	川 崎 力 太	大分文化会館	(88) 2,045	370, 373 両地区連合
1977.4.23-24	373区	塘 一 郎	都 城	竹 田 恒 徳	丸 田 美 徳	林 実	都城市市民会館	(100) 2,500	
1978.4.22-23	273区	西 田 武 雄	鹿児島西	石 渡 三 郎	新 福 栄 熊	柴 山 一 雄	鹿児島 文化センター	(101) 2,102	
1979.3.17-18	273区	吉 村 武 文	熊本江南	岡 野 正 美	荒 川 辰 彦	斉 藤 忠	熊本市市民会館	(96) 2,168	
1980.3.22-23 (予定)	273区	井 上 和 人	別府北	M. A. Caparas	児 玉 房 雄	前 岡 志 郎	杉ノ井ホテル		

6. 宮崎におけるロータリー発展の概況（地区史より）



宮崎県下に於ける第1号クラブは宮崎RCである。同RCの昭和28年2月の創立に当っては、宮崎市の出身で神戸RCの会員であった橋本修三氏が熱心に働きかけられ又、大分RCからも強い勧誘があったということである。又、丁度別府RCが大分RCから会員が相当数移籍して創立されていたので、元大分RC会員であった別府RC会員もこの創立の援助に加わっている。

宮崎RCが創立されると、同RCでは直ぐに県下の他の都市にもRCの創立を計画され、同RCの認証状伝達式には延岡・日南・都城の3市のキーメンになりそうな人にも招待された。

昭和29年の春から上記3都市の設立が積極的に働きかけられて、当時の北沢ガバナーが来宮された機会にもそのキーメンが集められて勧誘された。

その結果、北沢ガバナーの年度内に延岡・日南の両RCが創立し、又、認承も受けたのであるが、都城RCの創立は次のロータリー年度に入った後であった。

その後約5年余は県下のRCはこの4RCだけであったが、昭和35年に至って第5番目の日向RCが誕生し、続いて同年に宮崎市内に、県下始めてのアディショナルク

ラブとして宮崎西RCが創立された。

翌36年には県西に小林RCが誕生した。当クラブについてはその数年前から宮崎RCが熱心に働きかけて、まさに創立の直前迄進んでいたが、ガバナーと連絡をとることを忘れていたためにガバナーの注意を受け、意気込が挫けてしまって、一旦は取り止めになった経緯があったそうである。更にその5年後に、都城北RCが出来たが、これはスポンサークラブの都城RCからガバナーが出たので、何かこの機会にという意味もあったようである。

その次に昭和41年1月に創立したものの、RIの承認が翌42年1月迄おりなかった延岡東RCがある。これは当時RIが地域分割の条件を非常に厳格に守ろうとして、何回も文書の往復が重ねられた為ではあったが、創立から承認迄1年間もかかったというのは珍しい事例であろう。

昭和43年には「えびの」RCが誕生する。このクラブの地域限界は「えびの」市と鹿児島県の吉宮町に跨がっていて、両県から会員が加入することになっているが、其意味では県下唯一の一つのクラブである。

昭和44年には宮崎市内の3番目の宮崎北RCが出来た。宮崎市の発展と共に、RIが同じ都市内のアディショナルクラブの設立を強く勧めていたのに応えたものであろう。

更に昭和50年には宮崎市の南部地域の発展に応じて宮崎南RCが誕生する。

同年、日向東RCが誕生するが、このクラブはスポンサークラブの日向RCと地域限界を共有して居り、RIが所謂2階建のアディショナルクラブを認めるようになって後、当地区としては初めてのRCである。

昭和51年には都城西RC出来るが、これは都城市の西部地域が発展したことで、スポンサークラブの都城RCの創立20周年の記念行事の一環でもあった。

同年に、長年の懸案であった高鍋町に高鍋RCの誕生を見ることが出来た。

昭和52年には日南中央RCが、昭和54年には延岡中央RCが誕生したが、何れも親クラブと地域限界を共有するRCであって、ロータリーの最近の傾向を示している。この延岡中央RCは延岡RCと延岡東RCの地域限界を併せて自らの地域限界としたもので、この制度が認められた後の、日本でも1、2番目の例となるようである。

以上の各RCは夫々の地域社会に於て、ロータリーの奉仕の理想を目指して活動している処であるが、県下には市制をひいている都市でも未だRCのない地域社会も存在するので、そのような土地への設立も含めて、未だ拡大の余地を有しているものと思われる。

7. 宮崎西ロータリークラブ誕生と伝達式

1960年（昭和35年）というと、昭和20年代が日本の経済が復興期と名づけるなら、30年代は成長期で第二次大戦の傷跡も少しずつ全治し、前進へのステップを踏み始めたところである。

このような頃、ロータリークラブは宮崎県内でも宮崎クラブ、延岡クラブ、都城クラブ、日南クラブがある位で、ロータリーは県内初期の時代である。

昭和34年、宮崎ロータリークラブに故伊地知休三会長がいて中牟田ガバナーの公式訪問をうけ、当時R I本部で取り上げていたExtentionについての話から、外部拡大に積極的に取り組むことが取り交わされ、日向市、小林市、宮崎市にもうひとつクラブが必要だと決定された。

このようにクラブ新設の気運は盛りあがり、日向クラブは川島真蔵特別代表、わが宮崎西クラブには（故）福田甚二郎特別代表、世話人として（故）志田熊吉、（故）中村英太郎会員が選ばれた。

創立までにはかつて経験のなかったロータリーの全般について教示を得ながら、宮崎RCから当時の伊地知会長、今は亡き西村春生幹事、新らしく誕生しようとする西クラブ側は田崎亀夫、宮崎銀行橋口重則、宮崎相互銀行（故）大川弥、宮崎交通日高真太郎、栗林東五、住田静一の有志が相集い、準備も不馴れながらも着々と進められた。

(1) 特にクラブが増設されることになるとテリトリの割譲である。従来宮崎クラブが市内全域にわたっていたものを、この時から橋通りを中心に国道10号線で東西にわけ、「高鍋町—宮崎市—田野町を経て都城市に至る国道幹線を境界線とし宮崎市を東西に分け其の西側地域」と決定された。

(2) 次に大事なものが創立会員の編成である。正会員の資格は品性高潔にして事業上よい世話ある成年男子とされ、当時としては特にきびしい資格条件を実施し、幾度か会合の末25名メンバーが厳選されたのである。

× 田崎亀夫・住田静一・竹野 融・長峰市次 橋口重則 日高真太郎×大古殿利丸、
× 中村秀人・宮下広計・植松熊太郎 曾木 卓 上田合邦×日高順一×菊池 稔
望月金之助×金丸忠夫・佐原伝次郎 重永久助×大川 弥・塚 久 三城鑄次
栗林東五×猪野 勇・田中博規 後藤則義

（昭和55年4月8日創立20周年在籍者・印 故人×印）

(3) 昭和35年3月8日、宮崎観光ホテル広間に於いて新クラブ結成打合せ会が開かれ福田甚二郎特別代表、中村英太郎、志田熊吉世話人の方針通り「新しい革袋には新しい酒を」のことわざ通り役員人事は進められ、会長田崎亀夫、幹事に栗林東五が選ばれ、宮崎西クラブ創業時代が始まったのである。

(4) 創立総会 昭和35年4月8日(金曜) 橘百貨店(現橘ジャスコ)5F日本間
スポンサークラブ、福田代表、伊地知会長、川島前会長、太田良一情報委員長、志田、中村両世話人のこれまで直接関係のあった創立関係者が来賓として迎えられ、創立総会も無事終了し会員一同前途に希望を期待し奉仕の灯は明々と点火され、明実共に宮崎西ロータリークラブは誕生した。

(5) 晴れの認証状伝達式昭和35年11月12日

於宮崎市東雲町宮崎市郡医師会館

日向ロータリークラブと共催

宮崎西ロータリークラブの認証状伝達式は、日向ロータリークラブと合同で11月12日午後4時から宮崎市東雲町市郡医師会館ホールで盛大に行なわれた。この日は朝から小雨が降り続きあいにくの天気だったが、管野副知事、有馬宮崎市長ら来賓多数と、遠く本州から竜野、宇部西、九州の各地、県内からスポンサークラブの宮崎をはじめ延岡、都城、日南など18クラブ243人が出席、宮崎西クラブの発足に祝福を送った。

伝達式は君が代の斉唱にはじまり、ガバナー、パストガバナー、来賓、来訪ロータリークラブ会長の紹介があって、増永茂己ガバナーから田崎亀夫会長に認証状が伝達され西クラブから奨学資金を贈呈した。

さらにガバナーのあいさつ、来賓からの祝辞がおくられた。ひきつづき5時から余興にうつり、日向の民謡「ひえつきつ節」「刈り干し切り唄」など舞踊を観賞、さらに6時から会場を橘百貨店5Fホールに移して披露宴にはいり、7時すぎ、東藤市宮崎ロータリークラブの会長の音頭で万才を三唱してすべての行事を終わった。

翌13日は前日の雨もからりと晴れあがり、来訪各ロータリアンは市内観光、えびの高原、ゴルフ愛好者は完成したばかりの青島コースで秋の日を楽しんだ。

・ 海外クラブからの祝電

① エバンストン2通 ② サンフランシスコ ③ ロザリオ ④ ボーデスター

第 3 編

ク ラ ブ 関 係

R・I 会 長 指 針

1959～60 トーマス会長 (中牟田ガバナー)

生氣を与えよ

身につけよ

友愛の橋をかけよ

R・I 会 長 指 針

1960～61 マックローリン会長
(増永ガバナー)

あなたはロータリーだ

ロータリマンとして生きよ

ロータリーを表現せよ

ロータリーを拡大せよ

クラブ運営方針 (昭和35～36) 初代会長 田 崎 龜 夫

本年度のクラブ運営方針は次の通りであります。

1. [ロータリアンに徹すること]と目標達成に努める。
2. ロータリー規約慣習を尊重する。
3. [四つのテスト]の普及に努める。
4. 奉仕の理想を積極的に行動に表わす。
5. みんながよいロータリアンになることに努める。

R・I 会 長 指 針

1961～62 エピー会長
(松本ガバナー)

A-C-Tで表現

行動に努めよ

理解に道を求めよ

指導力を高めよ

クラブ運営方針 (昭和36～37) 第2代会長 栗林東五

前会長の方針を継承しロータリーのルールに従い円滑な運営を図りたい。

尚各委員会の計画と活動に期待するとともに、全員のロータリーに対する熱意と、家族の協力を得て、社会よりの理解を深めたい。

東京大会に於けるR・I会長の本年度の目標である行動に徹せよの実践に邁進し、奉仕の理想の実現に努力したい。

R・I 会長 指 針

1962～63

ラハリー会長

(進藤ガバナー)

内部に火を燃やせ

自分の力を養え

自分自身を再発見せよ

自分の目的を实践せよ

クラブ運営方針 (昭和37～38) 第3代会長 佐原伝次郎

ラハリーR・I会長の新年度の目標を本年度の運営の根幹として定められたロータリーのルールに従い友愛に満ちた運営を図りたい。

特に本年度の実施目標として

- (1) 会員の増強をはかる
- (2) 全会員の100%出席を強調する
- (3) ほほえみのある例会とする

以上の3項目を関係委員会に諮り全会員の協力を得て強力に推進し奉仕の理想の実現に努力したい。

R・I 会長 指 針

1963～64

ミラー会長

(嘉村ガバナー)

宇宙時代におけるロータリーの進路

地区対地区

クラブ対クラブ

個人対個人

クラブ運営方針 (昭和38～39) 第4代会長 住田 静一

カールミラーR.I会長の新年度の目標

A. 過去のR.I年次会長より示された優れたスローガンを深く掘り下げ之が実践を期すること。

B. 国際親善を深める第一歩として国際間の

地区対地区	}	の友情を深め親交を重ね、国際間の固い紐帯を結んで行きたい。
クラブ対クラブ		
個人対個人		

これを本年度運営の根幹として定められたロータリーの定款及細則に従い友愛に満ちた運営を図りたい。

特に本年度の実施目標として

- (1) 未充填職業分類に適格者の充足を図り、会員の増強を図る。
- (2) 全会員の出席を100%たらしめるためクラブの若返りと活動力の旺溢をはかり、常にほほ笑みの会合としたい。
- (3) 国際親善については、宮崎クラブと共同して専門委員を選任して、之が実践を期したい。

以上3項目を各委員会に諮り、全員の協力のもとに強力に推進し、ロータリーの理想実現に努力したい。

R.I会長指針

1964～65 チャールズ・W・ペッテンギル (アメリカ)

Let Us Live Rotary

ロータリーに生きよう

- ・ロータリーを分ち合うことにより
- ・あらゆる職業関係において
- ・地域社会の指導的任務を通じて
- ・世界的友好を通じて

クラブ運営方針 (昭和39～40) 第5代会長 菊池 稔

チャールズW.ペッテンギルR.I会長の新年度の目標を本年度の運営の根幹として、定められたロータリーの定款及び細則に従い、友愛に満ちた運営を図りたい。

特に本年度の実施目標として

- (1) 未充填職業分類に適格者を充足し、会員の増強を図る。
- (2) 全会員の100%出席を強調する。
- (3) 常にほほえみのある例会としたい。

以上3項目を関係委員会に諮り全会員の協力を得て、強力に推進し、ロータリーの奉仕の理想の実現に努力したい。

R・I 会長 指 針

1965～66	スパット・ティーンストラ (オランダ)
Action	・行 動
Consolidation	・強 化
Contmuity	・継続性

クラブ運営方針 (昭和40～41) 第6代会長 長 峰 市 次

スパット・ティーンストラ R・I 会長の新年度の運営方針としては

- A. ロータリーは理論ではなく実行である。
- B. 強化を続けよ。良いと判ったプログラムは強化し継続せよ。
- C. 国際性を尊重する。

これを本年度の運営の根幹として定められたロータリーの定款及び細則に従い友愛



島津ガバナー公式訪問

に満ちた運営を図りたい。

特に本年度の実施目標として

- (1) 未充填職業分類に適格者を充足し、会員の増強を図る。
- (2) 全会員の出席を100%たらしめる。
- (3) ほほえみのある例会としたい。

以上3項目を関係委員会に諮り、協力を得てロータリーの奉仕の理想の実現を期したい。

R・I 会長 指 針

1966～67 リチャードL・エバンズ (アメリカ)

A Better World Through Rotary

ロータリーでよりよい世界を

1. 新会員をふやすことに依って、ロータリーを分かち合うこと。
2. 新クラブを結成することに依って、ロータリーを分かち合うこと。
3. ロータリーの友好を享受すること。
4. 地域社会が必要とすることを見出し奉仕すること。
5. 各自の事業及至専門職業をよりよくすること。
6. 青少年へ奉仕すること。
7. 広報を効果的に推進すること。
8. ロータリーの国際性を強調すること。
9. 世界的社会奉仕に参加すること。
10. ロータリー財団を支援すること。

クラブ運営方針 (昭和41～42) 第7代会長 竹 野 融

今年度R・I会長の提唱になる10項目について努力する。その中当クラブの具体的事項としては

1) 会員の増加

職業分類未充てん職種について適格人を見出し会員増強に資したい。

2) 社会奉仕に関しては

イ) 焦眉の急は、インターアクトの育成、強化である。新入会員の減少は由々しい問題である。

ロ) 近接農村との親睦



第 370 地区 吉村常助ガバナー公式訪問（1966～1967年）

農村との親睦の間に農村の求めるものを見出し、協力援助致し度い。

3) 国際奉仕に関しては

イ) 交かん地区との文通等による交友の積極化

ロ) 地区としての国際奉仕事業に対する協力

4) 年次大会に対する全面的積極的活動

5) 各委員会の会合の機会を多くすることにより、各委員会の活動をより活動的ならしめる。

R・I 会 長 指 針

1967～68 ルーサーH・ホッジス（アメリカ）

Make Your Rotary Membership Effective

ロータリアンとしてのあなたの資格を効果的に

- ロータリーの活動に自ら進んで参加すること。
- あなたの職業に成功を収めることにより指導力を発揮すること。
- あなたの地域社会や国家に対し忠誠を捧げあらゆる機会に奉仕すること。
- 他国の人々の問題によく通じ、これが理解を深めること。

クラブ運営方針 (昭和42~43) 第8代会長 大古殿 和 丸

クラブの活動についてはR・I会長の提唱された4項目を基本として推進するが特に当クラブとしては、下記の項目について力を注ぎたい。

- 1) 会員相互の人間関係を重要視するので、例会の雰囲気のを和気合々とした楽しいものにしたい。
- 2) クラブを隆盛にする為新会員を8名~10名増加したい。
- 3) 奉仕活動に関しては、目下社会的に重大な関心事である青少年の善導の為に力を注ぎたい。
- 4) 各委員会の会合の度数を出来るだけ多くして各委員会の活動を活発ならしめる。
- 5) 予算の編成を職業、社会、国際、青少年の四大部門に重点的にもって行く。
- 6) クラブ成立後すでに7年を経過しているので、親クラブに依頼することなく、自主自立の精神を確立する。



国際ロータリー第370区ガバナー向笠広次氏公式訪問記念 於宮崎市ホテルフェニックス

R.I 会長 指 針

1968~69 東ヶ崎 潔 (日本)

Participate

- 1) Participate in your club

- 2) Participate …… through your work
- 3) Participate …… in building your community
- 4) Participate …… through international contacts

参加し敢行しよう

- 1) 貴クラブに於て……………参加し敢行しよう
- 2) 職業を通じて……………参加し敢行しよう
- 3) 地域社会づくり……………参加し敢行しよう
- 4) 国際的接触を通じて……………参加し敢行しよう

クラブ運営方針 (昭和43～44) 第9代会長 植松 熊太郎

A 方針

私は本年度R・I会長東ヶ崎潔氏のメッセージにある4項目の精神を理解し、「参加し敢行しよう」との呼びかけに応え其の目標を達成する為に次の運営方針を強力に推進して行きたい。

1. 会員の増強

ロータリーを分ち合い奉仕の理想を達成する為には、会員の増強をしなければならぬ。先ず職業分類表の未充填分を埋める事を優先させ徒らに量にとらわれず質に重点を置き5名程の新会員を入会させたい。

2. クラブ運営は正しいルールで

クラブ運営の基本はあくまで、真のルールに則って行われるべきなのに、応々にして軌道に外れ又は、其れに類した場合が見られるので、今年度は平凡な事だが比の点について特に意を配りクラブ運営に過りなき様留意したいと思う。

3. 委員会活動の実行化

当クラブも創立9年目を迎えロータリーの錆が出初めた感がありこれを落とす為にも低調になりがちな委員会の積極的なクラブ活動こそ早眉の急と思われるので炉辺会合其の他を数多く持ちロータリーに関する問題につき理解増進の機会を作る様にして行きたい。

4. ロータリー情報を例会を通じて

今迄の例会のプログラムを見るに卓話と協議会が重点でロータリー情報は組まれていない。60名を越すクラブに発展した事であり新旧何れの会員にロータリーを更に深く理解し、勉強して貰う為にも大切な事なので、今年は例会の時間の許

す限り流すことにしたい。

5. 交換学生の受入

友好地区 719 よりの交換学生を 8 月に迎えた。之は当クラブとして本年度の重大施策の一つであり、之の受入を通じて国際理解と世界的社会奉仕に結びつく事が出来る又とない機会なので、クラブをあげて関心を持ち其の目的を果たしたい。

6. 社会奉仕と青少年奉仕への協力

社会奉仕と青少年奉仕がクラブ活動の中で今日程強力に推進を叫ばれて居る時はない。本年度は其の為に予算も大巾に増額してあるので、新施策を打出し実行に移す事にしたい。

7. ロータリー財団資金

上記資金は事ある毎に上積の要請を受けて居るが、成果があがらず其の達成率は微々たるものだ。今年度は P. R に勉め、10+1 弗献金の外に方策を考え少なくとも 150 % 達成に努力したい。

8. 10周年記念誌発行準備委員会の発足

当クラブも 1970 年には満 10 周年を迎える事になった。何事も 10 年 1 節と言われ非常に意義深いものとされて居る。それでこれを契期に、10 周年史を発行、更に今後の発展を期待したい為に其の準備委員会を発足することにした。



第 373 地区 大津篤造ガバナー 宮崎西 R・C 公式訪問

R.I 会長 指 針

1969～70

ジェームスF.コンウェイ (アメリカ)

Review And Renew

検 討 し、更 新 し よ う

- 1) 貴下の諸プログラムを検討し、統合、排除乃至は拡大すること。
- 2) 貴クラブ内のロータリー生活を更新すること。
 - (イ) 新しい分野を探ること。現状に満足しないこと。
 - (ロ) 更新すること。
- 3) これで充分だと思わないこと。
- 4) 行動、楽観、並に情熱の火を、再度もやすこと。
- 5) 新会員を探ること（探せば見付かるでしょう）それは、次のためであります。即ち、
 - (1) 新しい人々に、ロータリーを共にする機会を与えるため。
 - (2) 拡大した活動分野のために、委員会に必要な人材を集めるのを助けるため。
- 6) 評判だけでなく、事実においても指導者であること。
- 7) 毎日貴下の事業活動または、専門的職業活動で四つのテストを実行すること。
- 8) 公共の利益を増進し、腐敗を根絶し、不正と戦い、貴下の地域社会の存続のために働くこと。
- 9) よりよき社会、よりよき世界への希望を先頭に立って再び、燃えあがらせること。
- 10) 改めて超私の奉仕に我身を捧げ、我身の更新によって新たにロータリーに活気をつけること。

クラブ運営方針 (昭和44～45) 第10代会長 吉 賀 幸 夫

本年度はR.Iテーマ「検討し更新しよう」を主軸として会員の増強、四大奉仕の外に青少年とロータリー財団に関する事項を重点行事として推進して行きたい。

1. 会員増強

5人1組のチームを作って年間少くとも1人以上の新会員を入会させ正味5%以上を確保する。

2. 社会奉仕の新しい試みの一つとして献血を実施し、会員並びに家族、従業員の登録運動をすすめる。
3. 青少年奉仕としてボーイスカウトに対し、育成援助したい。
4. 国際奉仕は米国717区との文通を盛んならしめるよう努力する。
5. ロータリー財団の活動に協力する為、各人のハッピーボックスの中から少くも1ドルを寄附に回したい。



日高ガバナー公式訪問記念・宮崎西ロータリークラブ

会長指針

1970～71 ウィリアムE・ウォークJr (アメリカ)

Bridge the Gaps

隔りを取り除こう

- ・ 人と人との間の
- ・ 諸国間の
- ・ 人とその生活環境の

クラブ運営方針 (昭和45～46) 第11代会長 橋本 一郎

RI会長の目標を基本理念として、当クラブは次の運営方針に基き、本年度は意義深い70年代のスタートとしたい。

1. クラブ内会員の親睦、融和の強化、新入会員の同化

2. 会員の増強

3. 対外的奉仕活動

職業奉仕部門	ダリア賞
社会奉仕部門	救援活動
青少年奉仕部門	インターアクト・クラブの育成
国際奉仕部門	研究グループ交換



八田ガバナー公式訪問記念・宮崎西ロータリークラブ

会長指針

1971～72 アンストG・ブライトホルツ（スウェーデン）

Good Will Begins You

善意はまずあなたから

クラブ運営方針 (昭和46～47) 第12代会長 竹内三郎

R.I会長の本年度のターゲット「善意は先ずあなたから」基本理念として、全員参加のプログラムのもとに多彩な奉仕活動を活発に推し進めたい。

主たる方針として

(1) クラブの親睦

委員会活動の中核をなすものが、クラブの親睦である。本年もクラブの親睦に意を注ぎたい。

(ロ) 会員の増強

委員会の活発なる活動の為に若い会員の増強に努力したい。

(ハ) ロータリーの公式集会の出席奨励

特に本年は年次大会出席奨励委員会を設置した。

(ニ) 奉仕活動

(A) 職業奉仕 ダリア賞（職業奉仕賞）事例研究

(B) 社会奉仕 社会奉仕基金制度の制定

チャリティバザー

全員参加の精神的奉仕活動

(C) 青少年奉仕 善行青少年の表彰

青年団協議会と座談会—指導奉仕

奨学資金制度

(D) 国際奉仕 交換学生の選出、受入



小田ガバナー公式訪問記念 宮崎西ロータリークラブ

会長指針

1972～73

ロイD.ヒックマン（アメリカ）

Lets Take A New Look

もう一度見直そう

クラブ運営方針 (昭和47～48) 第13代会長 郡 嗣彦

R. I 会長の本年度のターゲット「もう一度見直そう」をかかげ、ロータリーの綱領について各人がその立場において自問し、親睦と奉仕活動を活発におしすすめたい。

(イ) クラブの親睦

クラブの団結の強さをたかめるための親睦に力を入れ、特に新入会員の同化を早め、又内部広報の徹底をはかりたい。

(ロ) 会員の増強

数も力であるから各人一人づつ若い会員を推選してもらおう。

(ハ) 公式集会への出席奨励

年次大会への協力

(ニ) 奉仕活動

A 職業奉仕 ダリア賞、職場訪問の実施

B 社会奉仕 社会奉仕基金制度の拡充

チャリティバザー

全員参加の奉仕活動

C 青少年奉仕 青年団との座談会

善行青少年の表彰



東ガバナー公式訪問記念 宮崎西ロータリークラブ

D 国際奉仕 交換学生の選出受入

財団への寄附奨励、奨学生の選出

会長指針

1973～74

ウィリアムC・カーター（イギリス）

A Time For Action

今こそ行動のとき

昨年度「もう一度見直そう」をテーマにしてお互いに研究したわれわれは、みなあるいくつかの真実を悟ったのであります。そこで今年は「今こそ行動のとき」をテーマに、私にご協力くださるよう皆さんにお願いいたします。まずわれわれの悟った真実を、次の四つの方法によって行動に移そうではありませんか。

（クラブ会員として）

クラブ会員としての質の向上をはかる。

今年度は同僚会員が助け合い、その潜在力を十分に発揮して、より充実した豊かな人生を送るように真剣に努力する。

（職業人として）

職業人としての質の向上をはかる。あなたの同業者に、なによりも完ぺきなサービスやよい製品の提供を最優先するよう説得するために、最善の努力を注ぐ正当な報いはおのずから伴うものとして。

（社会人として）

社会人としての質の向上をはかる。孤独に悩む若者や老人の要望するものを見極めてそれを充たす。住むため、働くための環境をよりよくすることを市やその他の当局とはかりできれば、その実行に協力する。

（国際人として）

国際人としての質の向上をはかる。あらゆる困難を排して、世界中のロータリーアンとロータリー独特の交信によるつながりを維持する。

そして、援助を必要とする人びとを慰問し、救済する。

皆さん、お互いの間の隔てるものを捜さないで、われわれが共通に持っているものを捜し求めようではありませんか。

クラブ運営方針 （昭和48～49） 第14代会長 川 辺 政 明

R. I 会長の本年度のターゲット「今こそ行動の時」の主旨にそって理論より実践に

徹することを基本理念とする。

特に当クラブの和気あいあいとした親睦の良き特徴をますます高めるとともに、青少年指導に意を注ぎ、若い会員の増強によって活動を高め、老年層の若返りと意欲増進に努めたい。

1. クラブの親睦

月1回夜の例会を行い、新会員の同化のテンポを早めたい。

2. 会員増強

増強委員長が青年会議所の理事長なので、10名位の若い新会員を増強する。

3. 公式集会の出席奨励

年次大会などの公式集会へ新会員、未参加会員の積極的参加を奨励する。

4. 奉仕活動

(イ) 職業奉仕

グリア賞

(ロ) 社会奉仕

チャリティバザー・古紙回収

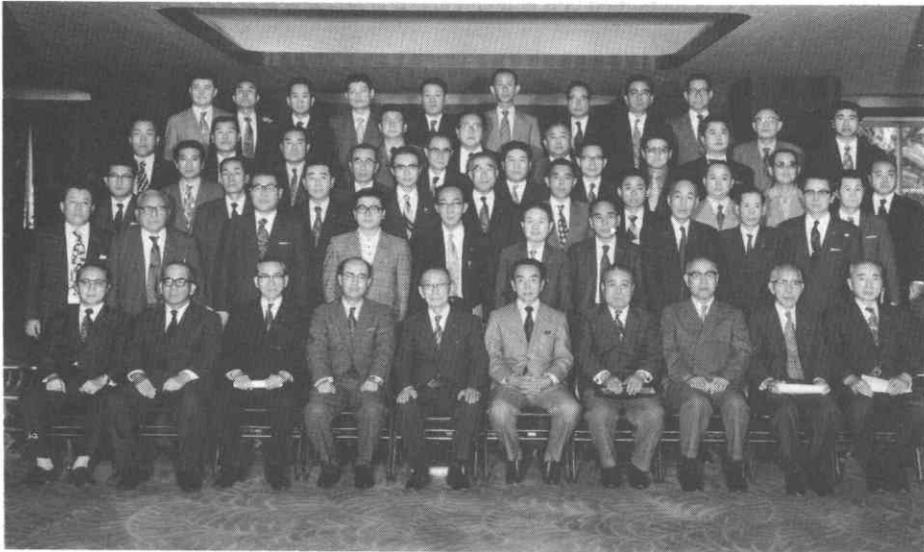
社会奉仕基金の増大

(ハ) 青少年奉仕

インターアクト拡充

インターアクトとの交換学生の交流

(ニ) 交換学生の選出



杉原ガバナー公式訪問記念 宮崎西ロータリークラブ

会 長 指 針

1974～75

ウィリアム・R・ロビンズ

Review the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

1. 人をつくることによって
2. 優秀な会員をふやすことによって
3. 新しいクラブを結成することによって
4. 青少年と共に働くことによって
5. あなた自身の平和への道を進むことによって
6. 我々のあらゆる行動にロータリーを生かすことによって
7. 親しく地域社会とかかわることによって

クラブ運営方針 (昭和49～50) 第15代会長 日 高 文 雄

ウィリアム・R・ロビンズR.I会長の今年度の方針は「ロータリーの精神を振るい起こせ」を基本としています。

ロータリーの力は、ロータリアンの1人1人が他人のためにつくすという奉仕の理想に自らを献げることから生まれてくるのであり、これがロータリーの精神であって、もしすべてのロータリアンが1人残らず至るところでロータリー精神のために一層身を献げ、善い事、正しい事を守るためにつくすことを誓い、よりよい世界を造るために自分にできるかぎりの事をまず自ら先んじて行動するならば、ロータリーは末永く世界にいまだかつてなかったほどの強大な勢力の一つとなる事ができるのであると指導されております。

そこで、今年度はかつて経験したことのないスタグフレーションという経済恐慌の中にありますので、極めて緊縮財源のクラブ運営を余儀なくされております。クラブ財源の効率化と本来のロータリー精神の涵養につとめる事にしました。

従って継続事業では、

1. 職 業 奉 仕……ダリア賞、会員の勉強会
2. 社 会 奉 仕……古紙回収、社会奉仕基金制
献血運動、歳末餅つき、チャリティーバザー
3. 国 際 奉 仕……交換学生選出、受入、グループスタディの受入
4. 青少年奉仕……ワンダーフォーゲル、ボーイスカウト

以上のことを実施し、

特に別途重点方針は、

1. 15周年記念式典

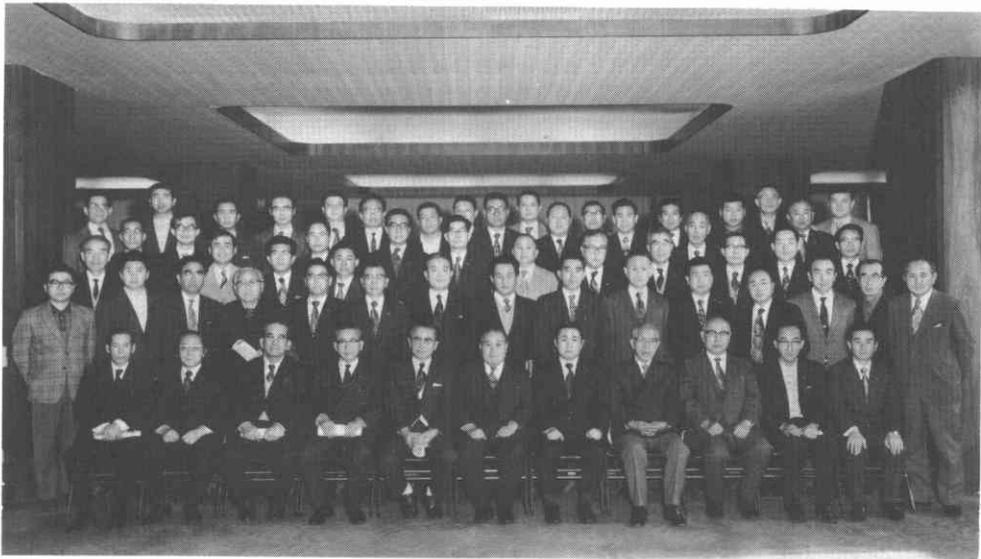
2. すべての向上をはかろう

イ 出席の向上 ロ 親睦の向上

ハ 会員増加と質の向上

3. 外部拡大の江南地区ロータリークラブ設立の達成（ホストクラブ）

これはロータリーがあくまで個人的、精神的且頭腦的であることが根本的特色であり、ロータリーの奉仕は例会及びその他のクラブ活動を通じて、地域社会の代表的な職業人がその職業観と人生観を接触させ、その反省の中から新たな境地によって精神力を向上させ、実践し、職業奉仕に目覚め、ひいては社会の改良につながり社会奉仕となり、そのような輪を全世界にひろげ国際奉仕しようという遠大な理想を目標におくものであります。



竹野ガバナー公式訪問記念 宮崎西ロータリークラブ

R.I 会長 指 針

1975～1976 エルネスト・イムバッサイ・デメ・メロー

To Dignify the Human Being

人間に威信を

クラブ運営方針 (昭和50～51) 第16代会長 田中博規

インバッサイ・デ・メロ R I 会長の今年度の進路として、「人間に威信を」発表されました。これを基本としてわれわれは、クラブ運営に全力を集中しなければならない。特に今年度は、下記の事業を企画、または継続事業として実施する方針であります。

ロータリーの目的は、他人への思いやりと、助け合いを各自の職業を通じて奉仕の理想を推進することを目的としております。

そこで今年度は、青少年奉仕はどうあるべきか、年々非行化の傾向をたどっている青少年の行為は真に憂慮すべき面があります。青少年奉仕委員会は、積極的に青少年に関する諸活動に参加し推進したい。効果が直ちに見えないほど息の長い難問題と思われませんが、今後青少年奉仕活動が重視され、熱意を示すならば必ずや10年、20年後には、立派な実を結ぶであろうと確信しております。



後藤ガバナー公式訪問記念

R. I 会長指針

1976～77 ロバート・A・マンチェスター

Service I Believe in Rotary

奉仕 ロータリーを私は信奉する

クラブ運営方針 (昭和51～52) 第17代会長 菊池 彰

本年度は、各委員会の活動を更に盛んにしたいと思っておりますが、特に私は親睦

とプログラムを柱として、その他の委員会とも、充分なる連絡を持ちながら、クラブの運営に努力し全力を注ぎたいと思います。

この1年間は楽しい例会であり、出席せずには居られない様な例会として、宮崎西ロータリークラブのロータリアンである様に努力して、他人への思いやりと助け合いを各自の職業を通じて奉仕の理想を实践したいと思っております。



塘ガバナー公式訪問記念 宮崎西ロータリークラブ

R.I 会長 指 針

1977～78

W. ジャック. デービス

Seve To Unite Mankind

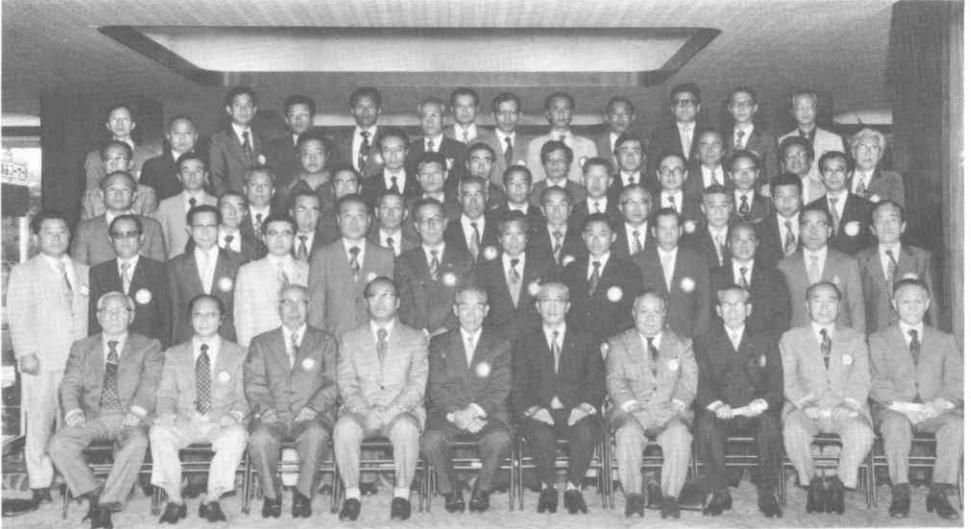
全人類を結びつけるために奉仕せよ

クラブ運営方針 (昭和52～53) 第18代会長 安倍 友彦

ロータリーは、初めに親睦・友愛があり、ここから職業奉仕が生れ、社会に成長奉仕し、それが拡がって国際奉仕になったと教えられた。本年度は自分の職業の見直しつまり自分の仕事がうまくいっているか、ひいてはそれが、奉仕につながっているかを会員と共に研究したいと思います。

そして、この一年間、伝統的特徴である親睦、友愛、和気アイアイとした雰囲気の例会を持続しながら、強いて問題として取りあげるならば、発足以来18年、ややマンネリ化していないか、例会を楽しみながら修養の場となっているか否か、反省してみ

たい。



国際ロータリー第273地区ガバナー西田武雄公式訪問 宮崎西ロータリークラブ

R.I 会長 指 針

1978～79 クレム・レヌーフ

Reach Out ……

手をさし伸べよう

クラブ運営方針 (昭和53～54) 第19代会長 平 山 輝 男

R.I 会長は本年度のターゲットとして、「手をさし伸べよう」と示され、超我の奉仕のために全力を尽すことを求められ、地区ガバナーはこれを承けて「ポケットから手を出して行動する」ことを訴えておられる。このターゲットは当然当クラブのターゲットでもある。各委員会がこの精神に則り、全員参加の自主的、活発な行動をすること。又各会員は四つのテストに照らして行動し、宮崎西クラブの美しい伝統である友愛と親睦の雰囲気をつやが上にも昂揚すると共に、肩の凝らないクラブ運営を致したいと思う。

継 続 事 業

1. 職業奉仕 ダリア賞
2. 社会奉仕 古切手、古紙回収、献血運動、歳末餅つき、社会奉仕基金制度
3. 国際奉仕 交換学生選出、受入

4. 青少年奉仕 ワンダォーゲル、青少年のための本を寄贈



国際ロータリー第 273 地区ガバナー吉村武文公式訪問 宮崎西ロータリークラブ

R. I 会長指針

1979～80 ジェームスL・ボーマー Jr

Let Service Light The Way

奉仕の灯で道を照らそう

クラブ運営方針 (昭和54～55) 第20代会長 宮下 廣 計

ロータリー活動とは、社会をより良くする為の弛みない道徳運動でもある。

R. I 会長は本年度のターゲットとして「奉仕の灯で道を照らそう」と示されている。

奉仕こそ吾が務めと、ロータリー精神の実践倫理の基本理念をクラブの各自がつねに認識を新たにしながら、全員参加の自主的で活発なクラブ活動をする事。

その為には宮崎西クラブの伝統である親睦と友愛に満ちた良い雰囲気を一層昂揚してより良いクラブの運営に当り度い。尚、今年はR. I 75周年、宮崎西クラブ創立20周年の記念すべき年でもあるので、これらの記念行事を全員の協力に由って内容の充実した有意義なものとして成功させて、クラブの歴史と伝統を深めて、宮崎西クラブの発展を図り度い。

継 続 事 業

1. 職業奉仕 ダリア賞

2. 社会奉仕 古切手、古紙回収、献血運動、社会奉仕基金制度
3. 国際奉仕 交換学生選出、受入
4. 青少年奉仕 ワンダーフォーゲル、青少年のための本を寄贈



国際ロータリー第 273 地区ガバナー井上和人公式訪問 宮崎西ロータリークラブ

ガバナー公式訪問講演

第 273 地区ガバナー 井 上 和 人

輝かしいロータリー創立75周年の年度を迎えて、私は、ミシガン湖畔で幕が切って落とされた一場の劇（ドラマ）を憶い浮べるのであります。その劇がかくも偉大なるロータリーの発展の歴史となることは、誰が想像していたでありませんか。ロータリー創立30周年の時に（1935）Paul Harris が創立の頃を偲んで書いた本の中において当時の古い懐かしい会員達のことを書いております。

「当時この劇の登場人物は世の平凡な常道を行く実業家及び職業人であっただけで、必ずしも一頭地を抜くほどの特質を備えた人々ではなかったが、「良質の人達」といい得るものには相違なかった。勿論皆、時代に即応した自然の性格を持つ人々であって、一面またその脆弱性をもっているものであった。1950年この

集団の中には雄蜂のように働かないものは一人もなかった。そして彼等は会員相互間においてのみならず、会員の家族に対する尊敬と愛情をも等しく交していた。現在顕著な成果に恵まれて洋々たる輝く将来をロータリーは目前にしていながらも、やはり古い創立当時の過去を友愛の黄金時代のように追慕しているものすらある。それ程に、1905年のグループは堅く契り合っていたのであって、この結合を断ち切ることが出来るものは、ただ死あるのみであった。」

とその書の中に述べております。そして当時のこの4人の中でロータリアンとしての一生を終ることを得たのはポール・ハリスと初代会長をしたシルベスターシールの二人だけであります。残りの1人がスターバスロア、彼は教育の造詣は余り深くなかったけれども言葉は鄭重で正しくとくにその思想の表現に用いる言葉はどこから持ち出して来るのかと思われる位に豊富でありました。彼は不景気の波によって事業の不振で会員を辞退し、その後数年して病のために亡くなります。ポールは「安らかにあれ親愛なるガスよ、君のこの世に存ることの何と短かりしことよ」と追悼の辞を贈っております。もう一人のハイラム・ショーレイも止むを得ない事情によって長く会員として留まることが出来なかったのでありますが、退会後もロータリーに対して常に關心を持ち、創立当時の記憶をととも懐しがって抱擁するように大事にして一生を過しております。ここで私が申し上げたいのは、彼等の中の二人もがロータリアンとしての一生を何らかの原因で全う出来なかったにも拘らず、後に残った会員は彼等を一生懐しい友達として過し、又立去った会員も死ぬまでロータリーを大事にして居たという事実であります。我々が現在、止むなく退会して行かれる会員に対し、これ程の友情を持ち続けているか、又退会された会員がなお今でも我がクラブを懐しい思い出として過しておられるか、たとえ短期間の会員生活であったとしても、その間に得たロータリーの精神を世の中に吹聴してくれ、又彼自身からも、たとえ一時期であっても会員であったことの感激が得られる位に、自分達のクラブの友情親睦が徹底しているか、をもう一度考えてみる必要があるのではないかということです。しかしロータリーは単なる友情親睦に浮身をやつしているのでは世間にざらにある一般的な社交クラブと何ら変わるところがないわけでありまして。ここで私はシカゴクラブ5人目の入会者ハリー・ラグルスという会員についてお話を申し上げたいのであります。彼の家計は火の車で、ただ親爺さん譲りの正直だけがとり得の単なる一介の印刷屋でありました。ポール・ハリスは彼が入会した時に「果して彼は皆と巧くやって行けるかどうか」と

心配したということでもあります。当時は何事も新しいクラブのことで色々な意見が衝突し、興奮のルツボとなったことがしばしばありました。そういうときハリーは壇上に上って「諸君歌でも歌おう」と指揮棒を振り皆の心を童心に返らせたというのであります。これが現在のロータリーソングであります。1910年彼は、自分の職業が印刷屋でありますから、歌曲集を印刷して例会の机の上に配ったのでありますが、それを続けている中、歌曲集を会員が持ち帰ってしまいそれがシカゴ市内に流れて、シカゴ市内に合唱団が出来たという位になったのであります。しかしそれでも彼は何の不平をいうこともなく自費でもって歌曲の印刷を続けその数2万部にも及んだということでもあります。ハリーはその後シカゴクラブの第4代会長になり、10以上のクラブの名誉会員に推され、何時でも頼まれれば指揮棒をふるい、卓話をして廻ったのであります。あるクラブに招かれて行く途中で亡くなったということもございます。その時91才でありました。皆さんロータリーの偉大さはここにあるのであります。ロータリーの未来は、地位の差、職業のちがいが又都会クラブと地方クラブの差など全く関係なく、弾力性のある頭脳、積極的な実践力こそが、友情親睦から湧き出てくるエネルギーを奉仕に向けさせて行く大事な要素であることをお気づきと思うのであります。

ひるがえって一般の人々のロータリー運動についての意見に耳を傾けてみたいのであります。それらの人々はいずれも善良な市民であります。ロータリー運動について正しい知識をもっている人は殆んど皆無であります。そして、これらの人々のロータリークラブに対する評価は、ロータリークラブの催し物またはロータリアン個人の行為でたまたま目にとまったものに基づいていることがわかります。まことにロータリアンはお互いに襟を正しく行動しなくてはならぬと思われるのであります。あらゆる優れた社会運動がそうであるように、ロータリー運動も、その正しい発展が期待されるためには、内においてたえず建設的な反省が行われると同時に、外においては一般人の正しい理解と支援がなければならぬのであります。そこで、まず一般人の批評が奈辺にあるかに耳を傾けてみたいと存じます。ロータリークラブは偉い人たちの集りだとする考えがあります。この《偉い》というのが、どういう意味かはっきりしないがどうも一般より上の階層の人たちということらしく、そこから、お高い人、《お偉い人》という意味で使われているようであります。しかしロータリー運動は社会に存在するあらゆる企業の中で管理的立場におかれた人々のクラブでありまして、そういう立場の方なら誰でも一応の対象になるのであります。したがってロータリークラ

ブには、大鉄鋼会社の社長から大貿易会社の平取締役が入会していることは勿論であるが、反面床屋、おもちゃ屋、み取り屋といった比較的零細な企業の経営者でも入会出来るのであります。でありますから、いかなる意味においても《お偉い方々のクラブ》ではないのであり、大会社の社長と、日頃顔も合せられないような一商店主と一緒に歌を歌い食事をとれるのを喜ぶのではなくして、むしろ一商店の主人と仲良く肩を並べて飯を食べる社長の寛いだ実業人同士としてのつきあい、喜び、これがロータリーでは大事なのであります。

現にロータリーの初期の頃には、学歴、教養、財産、政治的、宗教的信条においては千差万別でありましたが、ただ一点、企業の基礎に確固たる倫理的信念を置き、企業の発展を通じて社会の正しい改良を行おうという熱い人類愛において共鳴一致した人たちの集りであったのであります。日本のロータリー運動は、そのはじめは、東京クラブや大阪クラブなど初期の六大都市のクラブに見られるように、その会員がいずれも少数の日本の経済的、社会的指導者の集まりでありました。しかし、昭和六・七年頃になると、それらの人々の間でロータリー哲学の勉強が進むにつれて、ロータリーの本質と拡大について反省が起って参りました。しかし一般人には偉い人たちでなければロータリアンになれないという印象がやはり根強く残ったのでございます。

戦後ロータリーの拡大運動が起り日本全国各地にロータリーができあがった時進んでこれに参加した人たちの中には、いわゆる《名士、お偉い人、お高い人》のレッテル欲しさの者が皆無だったとは言いきれぬ実態が生じたようであります。もしそういう人があるとすれば、たしかに恰好だけならそのロータリアンは《社会の名士》であります。しかしその《社会の名士》たることの内容が何であるかを考えていただきたいのでございます。ロータリアンが《名士》とされる地位は全世界のロータリアンたちが半世紀以上にわたり全身全霊を傾けて《社会奉仕》に従事してきた結果なのであります。したがって、その一員となった以上は、この伝統の担い手として、単なる《名士》名だけに飛びつかないで、名士を生むロータリー運動の伝統的努力に飛びついてもらいたいものであります。

ここで少し余談を申し上げますが、私達医者は、職業柄人間の胎生学を勉強いたしました。胎生学というのは、人間の母親の胎内に芽生えてから誕生するまでの過程を研究するものですが、人間はこのままの体をただ縮めた形で母親の胎内で育てられ落ちるものではなくて、最初は単細胞で、これが何度も分裂を繰り返して細胞が殖

えて次第に発育して参るのでございます。その間の姿というものは、或る時期はハ虫類の様でありまして、現にその時期にあったえらの痕跡が生れてからも残っている人がみられるのでありますが、丁度この過程は、生物の未分化のものから最も高等な人間迄の系統図を作ってみますと胎児は、母親の体内において、この系統図をだんだんと実現しながら最後に人間としての姿で生れ落ちるというわけでございます。そこで我々は此の過程を「個体の発生は、生物の系統の発生を繰り返す」と申すのでありまして、これは生物発生学の大原則となっているのであります。

以上余談になりましたが、さて皆さん、我々が初めてバッチをつけたとき、或いは自分達のクラブが創設されたとき、その時すでに一人前のロータリアンとなったのでしょうか。もちろんそうではありますまい。それらの新しい会員の方々は必ずこう申します。「ロータリーは固苦しい」或いは「ロータリーは難解だ」「自分は何をしたらよいのか」「奉仕、奉仕というけれども、ロータリーの奉仕とは何だ?」とかいろいろあります。当然ある筈の質問であり悩みであります。然し良く考えて下さい。1905年のあのシカゴの町の片隅に誕生したロータリークラブが、1920年頃迄の間に経験した苦悩や難問題、果ては会員同志の争い、それを解決するために壇上に向け上げて楽しい歌を歌い続けた彼等の努力、これらの歴史的事実に眼を向けて頂きたいものであります。

初期のロータリアン達の苦悩、努力、難問題に対する勇氣には全く感服せざるを得ないのでございます。そして此の中にあつて最も大事なことは、ロータリーにあつては必ず実践が先に行われ理論は後で体系づけられたという事実であります。このようにして連綿として続けられて参りました多くのロータリアン達の奉仕の理想の実現へのひたむきな努力が、今日の洋々たる将来を目指しているロータリーを作りだしているのであります。

我々個々のロータリアンも、その出発点をロータリー創立の1905年に置き、その時点から、ロータリーが75年間に悔み歩き続けた歴史の歩みを自分自身に経験し始めなければならないと思うのであります。即ち個々のロータリアンの一生、又個々のクラブの歴史は、ロータリー75年間の歴史を繰り返すというべきでありましょう。私はこの姿が先程申し上げました「個体の発生は系統発生をくり返す」という生物発生学の大原則に良く似ていると思うのであります。ロータリーの原点に返れという合言葉も正にこれであつて欲しいと思うのでございます。どうか皆さん、そういう意味で、個

人として或いはクラブとして、諸種の難問題に直面したとき、或いは自分は何をなすべきかと考えた時には、ロータリーの歴史、特に 1905 年から 1920 年頃迄の間に初期のロータリアン達が発見した事、実行した事を具体的に勉強をしてみて下さい。そのようにすることにより、歴史的な事実が75年の時間の経過を忘れさせる位に鮮明にしかも明快に解答を与えてくれるものと信ずるものであります。でございますから、社会的地位や財ばかりを誇って、自己満足に陥り、頑迷固陋な精神的動脈硬化を起している人や、もう功なり名とげたからあとはロータリーにでも入って名を確保しようなどという怠惰型の人を入会させるよりは、社会的地位はなくとも頭脳に弾力性があり、あらゆる問題についても建設的に考える思考力と実践力をもつ若人を多く入会させてロータリーの精神を教育し体得させることが、日本の将来のロータリーの発展にとってまことに肝要だと思っております。

ロータリー運動は衆知を集めての実践理論の探究を行うクラブであり、したがって各ロータリアンの知性の優秀さに期待がかけられることはいうまでもありません。つまり平たくいえば、ロータリアンはその学歴などという薄っぺらな尺度は必要でなく、真の積極的な意味で頭が良くなければならぬのであります。頭が悪くてはロータリアンは勤まらないのです。知能指数は高くても建設的な判断ができなかったり、また頭が良くても実践的努力が欠けていてはロータリアンとしては困るのであります。

我々は今日輝しいロータリー75周年の年度を迎えるに当り、老人の偉業を学び、真の友情親睦を培い相手の心を鑑として自分を磨き、そこから生れ出るエネルギーを奉仕に向けて行くという素晴らしいロータリーの伝統を身を以て体得すると共に、強固な信念を以て来る創立 100 周年に向っての第一歩を踏み出さなければなりません。

ここで最後にロータリー創立30周年のとき、ポール・ハリスがロータリーの誕生を祝って述懐した言葉がありますのでこれを皆様方に申し上げて講演を終わりたいと思います。

「ロータリー生誕の 2 月 23 日はロータリーの暦で最も重要な祝日である。誕生日の祝福ということが必ずしも特殊な事項ではないにしても、およそ個人も団体運動もその生誕の日を祝うことは人間社会の風習である。まして僅かに、30年の短時日をもって微弱な出現より雄大な勢力へと発展し来ったロータリーにあっては、特にこの祝福は当然のことに帰するのであって、それが会員のロータリーに対する真の心を発揮し、その信念を更新鼓舞する最良の手段となるからである。地球が一回転するとき、全世

界に群がる同意の大衆に対して、ロータリーの誕生を知らしめるのであると思うごとに、そこに言い知れない靈感の湧き上るものを感じずにはいられない。ロータリーの上に太陽は没することなしと考える時、そこに言い知れぬ感激が生ずるのではあるまいか。」とっております。そして又、「ロータリーが今日見るように偉大な世界的勢力であることは、その当初は思いもかけなかったところであり、予期せぬ幸運に恵まれたからであろうと言う考があるが、これ程事実を誤った観察はない。ロータリーの初期においては、身近なる期待と偉大なる希望などが複雑しており、これらの期待も希望も容易に達成することは難しかったが、ただ凡有分野を通じて常に根本的な必須条件が存在してしていただだけである。即ちそれは信念があった。信念なくしてはコンブスも西半球発見の雄図を前にして、逆巻く風浪と斗いおおせなかったであろうし、栄光のガリレオも忍辱のパスツールもこれなくしては、はかなき鳥合の衆に終わってしまったであろう。」こういう風に述懐しておるのであります。我々は栄光のロータリー75周年を迎えている現在これら先人の信念努力というものをもう一度しっかり噛みしめる必要があります。特に若い新しい会員の皆さん、あなた方は今後来るべき4半世紀に素晴らしいロータリーの夢を託することが出来る方々であります。そして来るべき創立100周年にその夢を実証することの出来る方々であります。ロータリーを愛して下さい。奉仕の灯をわかち合ってください。最後に皆様方のクラブのご隆昌と会員各位とともにご家族の皆様方のご健康を御祈り致しまして講演を終りたいと思います。

クラブ概況の推移

創 立 年 月 日	昭和35年4月8日（日本374番目）
認 証 年 月 日	” 35年5月8日
認 承 状 伝 達 式	” 35年11月12日
チャーターメンバー数	25名

クラブ概況の推移について、次頁に表示しました。

クラブ概況一覧表(初代～20代)

	初代	2代	3代	4代	5代	6代	7代	8代	9代	10代	11代	12代	13代	14代	15代	16代	17代	18代	19代	20代
	1980-81	1981-82	1982-83	1983-84	1984-85	1985-86	1986-87	1987-88	1988-89	1989-90	1990-91	1991-92	1992-93	1993-94	1994-95	1995-96	1996-97	1997-98	1998-99	1999-00
1. 創立後入会者	24	19	19	26	36	43	43	49	66	74	84	97	99	107	121	131	149	153	156	161
2. 創立後退会者	0	3	6	10	14	20	17	20	31	38	42	52	55	61	77	77	88	93	99	102
3. 現在会員数	37	52	37	40	46	48	52	55	60	61	67	70	69	71	75	79	86	85	82	84
正会員	37	52	37	40	46	45	49	51	55	55	53	56	56	56	60	56	62	59	54	55
アテシヨナル正会員	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0
シニア・フクチア会員	0	0	0	0	0	3	3	3	2	2	12	12	12	12	14	15	22	24	26	27
バスト・サービス会員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
4. 会員の平均年齢	50.0	51.5	50.0	49.4	50.4	51.0	52.5	51.4	51.5	51.3	49.9	49.9	51.3	52.1	51.0	51.0	51.0	51.9	52.8	53.5
最 高									69	70	71	72	73	74	74	75	76	77	78	79
最 低									34	35	36	34	34	34	34	30	31	32	33	30
30才台	6	7	7	11	9	7	5	7	8	9	7	9	6	3	7	8	13	10	6	6
40才台	11	13	11	9	13	9	13	16	20	20	26	25	28	31	35	36	34	29	30	27
50才台	13	19	11	11	15	22	19	18	17	12	15	19	18	21	14	16	19	26	27	29
60才台	7	13	8	9	9	10	15	14	15	18	17	14	14	11	13	12	12	12	10	10
70才台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	3	5	6	7	8	8	9	10
80才台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
5. 例会出席率順位	39位		46位	39位	47位		30位	24位	19位	12位	17位	7位	8位	12位	10位	16位	13位	16位	18位	22位
6. 地区大会出席率	63.3%	42.1%	41.1%	37.5%	35.0%	46%	29%	69%	26.7%	20.3%	44.5%	34.4%	47.8%	73.9%	39.0%	37.3%	24.1%	100%	20.2%	33.7%
7. 本年度予算総額	1,777,465	1,479,656	1,721,998	1,963,586	2,823,613	2,427,483	3,026,243	3,987,406	4,126,631	4,502,106	4,830,959	5,594,362	6,638,201	8,329,480	10,798,226	12,284,400	13,654,841	12,712,589	13,363,797	
8. 入会金	13,600	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	15,000	15,000	15,000	20,000	20,000	20,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
9. 会費	2,100	2,000	2,000	2,500	2,500	3,000	3,000	3,000	3,700	3,700	4,000	5,000	5,500	6,500	7,500	9,000	9,600	10,500	10,500	11,000
10. 食費	250	250	250	250	250	250	300	350	350	450	500	550	550	610	800	1,100	1,200	1,300	1,300	1,400
11. ビジター会費	300	300	300	300	300	300	400	400	500	500	600	700	700	700	900	1,300	1,300	1,400	1,400	1,500
12. 例会平均出席率	89.84	89.84	89.24	92.12	92.26	94.49	95.83	95.69	97.86	97.37	98.85	98.09	97.83	97.61	98.09	96.37	97.76	97.56	97.03	96.86

第 4 編

職 業 奉 仕

(1) 職業奉仕の意義

職業という言葉は社会人の「一定の業務、稼業、事業、専門職業、或は職務」を指すものである。ロータリーは、職業奉仕という言葉を使うことによって、奉仕という言葉をその一番広い意味で使っており、単に職業或は専門職業の取引によってなされた業務或は売られた商品を指すのみでなく、相手の必要と境遇に対して正当な考慮を払うと共に、常に他人に対し思いやりの心を似て当ることをも指しているのである。

職業奉仕はロータリーの要領に於いて次のような言葉をもって強調されている。

実業及び専門職業の道徳的水準を高めること、あらゆる有能な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること、そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するために、その職業を品位あらしめることを鼓吹育成する。

職業奉仕は職業の世界に於て、奉仕の理想を推進することを目的とするものである。

(2) ダリア賞の制定

1969年(昭44)7月

職業奉仕委員長 日 高 文 雄

職業奉仕副委員長 三 原 七 郎

職業奉仕委員 田 中 博 規

ロータリーは行動における理想であり、他人に対する思いやりと援助をすることである。他人に対する思いやりが奉仕の基盤であり、他人を助けることがその表現である。人類こそ職業であって、慈善、恵み、堪忍、そして博愛は凡て自分の職業であり、商売上の取引などは自分の職業という広範な海洋中の一水滴に過ぎない。

職業奉仕はロータリアンの目標と業務に限られるものでなく、広くロータリアンでない他の人々と共に分かちことである。即ちロータリーの理想を共に分かち、奨励且育成して奉仕することこそロータリーの挑戦である。

われわれロータリーは地域社会でなすべきことが沢山あるその中で、地域社会を明るく、平和な、しかも職業を通して手近かに奉仕できることは人々の親切な行為である。自己の職業を立派に果し、また真心のこもったその親切な行為は、大小にかかわらず人々を救い人間社会を潤おしてくれるのである。

我々ロータリアンは先づ自分の職場から卒先してこの運動を展開し、広く地域社会に善意と親切が波及され、究極の「奉仕の理想」が達成されるよう努めるものである。

ここに「ダリア賞」となづけ、広くこれを顕彰することにより初期の目的が果たされ、地域社会全体に可憐なそして愛され、親しまれ、親切なこのダリアの花を一杯咲かそうと希うものである。

※ ダリアの花言葉

原産はメキシコ。命名者 カヴニレス神父。17世紀初頭に欧州に渡り、その後改良が重ねられ、多く品種が生まれ、我国への渡来は天保13年(1842年)、オランダ船が積んで来たことが記るされている。

夏から秋にかけて見事な花を咲かせるダリアは、可憐なものから、大輪に至っては華麗そのもので誰からも愛され、親しまれ、親切を喜ぶ感謝の花とうたわれている。

※ ダリア賞贈呈規定

- 第1条 ダリア賞はロータリーの職業奉仕の理想を具現した個人又は法人に贈呈するものとする。
- 第2条 受賞者には表彰状並に賞品を贈呈する。
- 第3条 ダリア賞該当者(候補)を推せんした者に薄謝を呈する。(但しロータリアンを除く)
- 第4条 受賞者は原則として月1名とし都合によって変更することもできる。
- 第5条 受賞者は次条に定むる選考委員会に於て宮崎市内及びその周辺より選考する。
- 第6条 選考委員会は会長、副会長、職業奉仕委員から構成する。
- 第7条 表彰は毎月第 例会を原則とする。

ダリア賞受賞者一覧

年 回	受賞者名	年齢	奉 仕
1969. 1	甲斐 易	19	献血で人命救助
2	大久保宏二		多年にわたって子供会の育成に尽力
3	藤岡 芳穂	61	永年業務のかたわら献身的に交通指導にあたる
	鳥丸 満雄	49	〃
	川口 敏明	55	〃
4	飯塚 春子	60	江南病院開設から停年迄雑役婦としつとめあげる
5	藤田 盛治	60	詩吟を地域社会に普及し特に受刑者、身障者へ奉仕
6	島中 保	42	昭和22年以来ボーイスカウトの育成に奉仕
7	坂元 孝紀	30	献血運動に積極的協力、20回以上
	久家 静子	59	〃
	荒川 省次	24	〃
	宮本 善則	55	〃
8	川添 栄光		青年団活動に積極的に参加、市青年団協議会をつくりその隆盛を見るに至る
9	斉藤 友則	48	32年間無事故で国鉄勤務、機関士養成に尽力
10	日高 鉄夫	54	厳しい風雪を冒し40年間郵便集配職を果す
1970. 11	大宮中生徒会		自発的に平和台の清掃を6年間にわたり続行
1971. 12	松本 貞六		30年にわたり安全運転無事故で後輩指導
13	黒木征士露		身障者を指導して特産の銘木ユス箸を製造、明るい目標を与えた
1973. 14	宮崎 サト		按摩業を長期間営み身障者の灯となり指導した
15	恒吉 増夫		県公園協会職員として長年緑化運動に一身を捧げた
1973. 16	有馬 静夫	67	市清掃課に長年勤務、その状態は同課の範である
1974. 17	小田 国雄	58	新聞発行の緑の下 に長年働く
1974. 18	甲斐フサ子		看護婦さんの職業倫理訓であるナイチンゲール誓詞の実践者として
1975. 19	林 国夫		自然と人情の美をキャッチフレーズする観光宮崎のタクシー運転手
1975. 20	中武 良久	52	身障者として肢体不自由者に社会復帰の希望を与えている障害センターの先生
1976. 21	大宮司国男	66	ナベ、カマ、傘の修理をしながら小中校に 校に楽器を送る救世主
1977. 22	有村 政則	41	「観光は心を奉仕することから」をモットーにハンドルにぎるタクシーの
1978. 23	宮本 美雄		盲学校教師として誇りと愛情をもち27年遂に自力でエデンの園 <small>運転手</small> を作られた
1979. 24	渡辺 中		市の清掃事業一途に30年
1980. 25	野門 幸一		学校用務員として環境整備にうちこみ児童に慕われる。

全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓

1915年7月19日～23日サンフランシスコにおける第6回ロータリー・クラブ国際連合会年次大会決議

この職業倫理基準は、われわれに共通な人間性を求める心その骨子とするものである。自分の取引、自分の野心及び自分をめぐる諸関係は、常に社会の一員としての自分の最高の義務を考慮に入れてのことでなければならない。職業生活のすべての地位において、自分の当面するすべての責任において、自分の主たる思考はかかる責任を果し、かつかかる義務を履行し、かくして、その各々の任務を完了したとき、自分は人間の理想と業績とを、当初よりも幾分向上させなければならない。この見地から本委員会の議決によれば、国際ロータリーの商業倫理訓の基本は、次に掲げる原則となるものである。すなわち、

1. 自分の職業に価値を認め、これにより自分は社会に奉仕すべき好箇の機会を与えられたものと思うべきこと。
2. 自分の身を修め自分の実力を涵養し、自分の奉仕を広めるべきこと、ならびにそれを通じて奉仕に徹する者に最大の利益ありとするロータリーの基本原則を実践すべきこと。
3. 自分は企業経営者であり、したがって成功の野心を抱いていることを自覚すべきこと。だが、自分は道徳を重んずる人間であり、最高の正義と道徳に基づかざる成功はこれを欲するものでないことを自覚すべきこと。
4. 自分の商品、自分の労働、自分のアイデアを金銭と交換することは、全当事者がこれによって利益を受ける限りにおいてのみ、適法にして道徳にかなうものであるとの信念をもつべきこと。
5. 自分の従事する職業の水準を向上させるため最大の努力をはらい、かくして自分の業務の処理の仕方は賢明であって、利益を産み、この実例にならば幸福の道が開けることを同業者の者に知らしむべきこと。
6. 同業者と同等ないしそれに優る完全なサービスを尽くすような方法をもって企業経営を行なうべきこと。また、もし完全なサービスか否かに疑念の生ずる場合には、当該債務上妥当な範囲をこえてまでもサービスを行なうべきこと。

7. 専門職業にたづさわる者又は企業経営者の最大の資産の一つは、その友人であることを理解すべきこと。また友情に基づいて手に入れたものこそまさに倫理的かつ、正当なものであることを理解すべきこと。
8. 真の友人は互いに何も要求するものではなく、利益のためにみだりに友人の信頼を利用することは、ロータリーの精神と相容れないばかりかその倫理訓にもとるものと考えべきこと。
9. 社会秩序の立場から他人が絶対に認めないような不正な方法によって機会を利用し、これによって得た人の成功を正当、又は倫理的なものを考えてはならないこと。
また、物質的成功を得るがため、人が倫理的に問題ありとしてしりぞけるような機会に乗ずるが如きことをしてはならないこと。
10. 自分は一般人に対して義務を負う以上に同僚たるロータリアンに対して義務を負うものではない。けれどロータリーの真髄は、競争ではなくして協力であるからであり、また党派はロータリーの如き制度においては、あってはならず、かつ人権はロータリーの内部に限られるものではなく、その範囲とその重要性とにおいて人類そのものの存在と同程度のものであることをロータリアンは主張するものだからであり、かつまた、ロータリーはこの高邁な理想に向ってすべての制度に属するすべての者を教化するために、存在するものである。
11. 最後に「すべての人にしてもらいたいと欲することを人に対して行なうべし」という黄金律の普遍性を信じ、われわれは、地上の天然資源がすべての者に均等な機会として与えられてこそ、人類社会は最良の状態となるべきことを主張してやまないものである。

要 旨

<この倫理訓の目的>

この倫理訓の目的は、個人の完成をその基礎とし、国家の永続はただ自我を温存するためなりとの立場をとるギリシャ的倫理観ではなくして、この倫理訓の根本前提は愛なのである。すなわち、ロータリアンが正しいことをなすのは、単に自我を温存させるためだけではないのであって、他人を滅すよりはむしろ他人に滅されぬことを選ぶという立場をとるからなのである。

<この倫理訓の価値>

この倫理訓は、保守派と進歩派との間に現に存在する争いのいずれかに加担するものではない。単に進歩的ならどうなるとか、保守的ならどうなるといった点には何もかかり合いはない。この倫理訓の求める点はただ一点であり、それすなわち価値、言いかえればこの倫理訓の説く倫理の有用性である。この倫理訓の進歩主義でも保守主義でもなく、その有用性がこの起草者の理想である。この有用性によってこそ、その存在根拠がある。けだしこの有用性あればこそこれを否定できないからである。

第 5 編

社 会 奉 仕

(1) 社会奉仕

ロータリーは個人個人を啓発することに努め、この啓発を通じてその人が社会における自己の立場を見出し、その立場において奉仕を行うことができるように、又、その人が世界、国家及社会との関係において自己の市民たる身分を考え、かつ自己の職業を奉仕への途と考えさせるように努力している。

社会奉仕活動に対する方針

社会奉仕に対するロータリーの方針は、1923年国際大会に於て採択され、その後の国際大会に於いて、改訂された決議23～34号に述べられている。

(2) 青少年奉仕(目標)

R Iの理事会はクラブへの示唆として次のような目標を定めた。

1. 成長しつつある青少年に影響を及ぼしている都市及び農村の事業、並びに要員に関する実際的知識の把握並びに理解。
2. 青少年に対する健康、円満なる精神、精神的資質の向上、職業の賢明なる選択及び十分な職業予備教育の重要性を認識。
3. ロータリークラブ及びロータリアンは青少年に関する活動の最適任者であり、又その活動を通して、最大の奉仕ができるのでその活動を奨励すること。
4. 社会人としての権利は、その地域社会に対する個人的責任の自覚を通じてのみ保持することができるのである。自覚させることによって、青少年に良い市民たるべきことを激励すること。
5. 青少年が世界事情を一層理解するよう、又自国人だけでなく他国人にも正しい

態度をとるよう育成、指導すること。

6. ロータリアンと青少年の個人的接触と、他国の青少年との直接及び間接の接触をもたらし手段方法の増進を計ること。

(3) 社会奉仕基金制度発足

昭和46年10月(1971年)制定者 故木浦義雄社会奉仕委員長

「善意はまづあなたから」 この言葉のもつ意義を認識し全員参加の意識をたかめ、社会奉仕活動推進、その中で特に社会奉仕基金制度を新設する。

社会奉仕基金運営委員会規程

〔総 則〕

第 1 条 当クラブが昭和46年10月1日に創設した社会奉仕基金(以下基金という)運用に関しては、この規程の定めるところによる。

第 2 条 基金は会員の寄附金によって積立てる。但しこの基金の主旨に賛同して寄附せられた会員以外からの資金もこれに充当することができる。

第 3 条 基金は原則として有価証券、定期性預金に投資して、その運用益の増加を図らなければならない。

第 4 条 基金の使用は、原則としてその運用益の範囲内において、国際ロータリーが提唱する社会奉仕のために行うものとする。

〔運営委員会〕

第 5 条 基金の運用を行うため会長はクラブ細則第7条(b)により、社会奉仕基金運営委員会(以下委員会という)を任命する。

第 6 条 委員会は当クラブの各年度毎に、会長、会長エレクト、社会奉仕委員長、直前社会奉仕委員長、会計及び会長が指命するその他の会員2名を以って組織する。

第 7 条 会長は委員会の委員長となり全務を統括する。
社会奉仕委員長は委員会の副委員長となり、会長を補佐する。
基金の出納、係管、管理は、会計である委員がこれに当たる。

第 8 条 委員会は委員長が必要に応じて招集する。
委員会に附議する事項は次の通りとし、議決はその過半数で行う。

1. 第3条の基金運用に関する事項
2. 第4条の基金使用に関する事項
3. この規程の改正に関する事項
4. その他基金運営上必要と認めた事項

第9条 委員会が第4条の基金使用に関して決議したときは、その内容を会員に報告しなければならない。

(会計)

第10条 この基金の会計年度は当クラブの会計年度と同じとする。

第11条 基金の収支決算状況は、理事会の承認を受けて会計年度終了後1カ月以内に会員に報告しなければならない。

(附則)

1. 本規程は昭和53年4月1日より実施する。
2. 本規程を改正したときは遅滞なく、その内容を理事会の承認を受けて会員に報告しなければならない。

以上

(4) 宮崎西ロータリークラブ奨学資金規程

第1条 (目的)

この資金は、宮崎商業高等学校の生徒で向学心に富み、優れた素質を有する者に授与し将来有能な人材を育成することを目的とする。

第2条 (授与金額)

授与金額は月額5,000円とし返済を要しない。

第3条 (授与期間)

授与期間は4月1日より翌年3月31日までとし、継続授与を妨げない。

第4条 (授与資格)

授与の対象となる生徒は、次の各号に掲げる要件のいずれかを備えたものとする。

1. 学習成績の優秀な者
2. 熱心に部活動を実践し、優秀な技量を修めた者
3. インターアクトクラブに属し、その精神を理解し、積極的に社会奉仕活動に

従事した者

第 5 条（選考）

この資金を授与する生徒の選考は、宮崎商業高等学校の推薦を経て行ない、当クラブの理事会で決定する。

第 6 条（施行期日）

この規定は、昭和 55 年 4 月 1 日より施行する。

第 7 条（源資）

この資金は、宮崎西ロータリークラブが積立している社会奉仕基金の利息をもって、これに充当する。

第 8 条（事務取扱い）

事務手続き等は、社会奉仕基金運営委員会で行なう。

(5) 古紙、古切手、回収の奉仕実施

1976年(昭51)7月 日高文雄社会奉仕委員長制定

奉仕する者は活動しなければならない。ロータリーは単なる心の持ち方だけでなく、またロータリーの哲学も単に主観的なものでなく、実際的な行動に移さなければならない。

ロータリアンも又ロータリークラブでも奉仕の理論を実践しなければならないのであり、金銭とか物品を贈ることを以って満足するもののみでなく、これからは特に心と頭と労力の社会奉仕として計画された。

又、古紙を売却する代金は年間 4 万～5 万円位のものであるが、各個人、職場における資源を大切にするという理念に外ならないのである。

① 古紙

わが国では 1 年間に 1 人当たり約 154 Kg の紙を消費している。このうち 43% を回収、なかでも新聞古紙は 76%、段ボール古紙は 61% の回収率に達している。

こうした古紙で紙の原料の 4 割強もまかなっている。古紙 1 トンは電信柱 12 本分の原木に相当するといわれ、家庭で読み終わった新聞 1 年分で電信柱 1 本の木を切らないで済む計算。「街の森林資源」と呼ばれるのはこのためである。

わが国の昭和 54 年度紙の生産量は 1,800 万トンに近い。これに使った古紙の量はざっと 800 万トン、古紙の回収率は世界でも最高水準なのだが、それでも足りず

にはるばる米国などから13万トン余り古紙を輸入している現状である。

古紙の利用度は紙以外にも広がろうとして、資源の少ない日本にとって国家的課題であり、通産省も55年4月から毎月1回古紙整理日を設け、全省あげて古紙回収に乗り出す。又、全国の地方自治体にも同様の運動を呼びかけ、古紙回収を国民運動にまで発展するような情勢となった。

◆会員の心がけによるこの運動は省資源運動への提起であり塵も積もれば山となる。

昭和51年度	8,325 Kg	58,295円
昭和52年度	9,245 Kg	46,225円
昭和53年度	10,546 Kg	53,635円
昭和54年度/3月	7,150 Kg	58,288円



② 古切手

東南アジアの子どもたちへBCGを！

公益団体 日本BCG基金協力会の提唱。

ネパールは世界の屋根ヒマラヤ連峰を背負った2,000年以上の歴史をもつ王国であるが、北海道の約2倍という小国である。

1,200万の国民はけわしい山岳地帯にちらばっており、約30年前に鎖国を解い

た、いわば日本の夜明けともいうべき明治初年の社会情勢である。

このネパールは現在国をあげて近代化への努力をつづけている。しかし開発の主導権を握るネパールの人々の健康状態は極めて悪い。

国民の生活をむしばむ最大の敵は結核で、人口密度の最も高い中部地帯では100人中12人は結核で、ただちに入院治療を要する患者は、推定実に112万人にのぼるそうである。

とぼしい資材を集結して移動診療所が開設されると、押しかけてくる患者は100人について60人までは結核なのだそうで、母親の咯血(かっけつ)した血が抱かれている赤ん坊の頭にこびりついている惨状である。

辺地で1年間に生まれた赤ん坊100人のうち22人が死んで行き、その80%までが結核だといわれている。

ネパールの子供たちを救うために、BCG接種はきわめて有効である。

日本のBCGの優秀性はすでに立証済で、是非この優秀な日本のBCGをネパールの子どもたちに接種しようというBCGキャンペーンが展開されたのが制定の理由である。

現在西部ネパール地区で公衆衛生医として、島根県出身の岩村昇先生が1962年1月から主として結核の診療活動に従事されている。

わが宮崎西ロータリークラブとしては、

あなたの善意で古切手を集めネパールへ

BCGを送りましょう。

の運動が昭和51年7月度から実施され、別途の通り好成果をあげつづけている。

使用済みの古切手を集めて活用することにより、ツベルクリンやBCGなどの薬品を送る資金となり、結核撲滅運動への愛の手をさしのべようとするものである。

- ・古切手約400枚で1人分のBCGが買える。
- ・ネパール共和国の気の毒な結核患者を助ける。
- ・切手をはがし整理する作業が身体障害者の機能回復訓練に役立つ。
- ・日本の切手を世界中に配布することにより、日本国の紹介や理解に役立つ。

● 回収実績は以下の通りである。

昭和51年度	103,288枚	昭和53年度	154,496枚
昭和52年度	161,517枚	昭和54年度3月	96,814枚

⑥ インターアクト…………〔宮崎商業高等学校〕

① インターアクトの目的と目標

インターアクト・クラブの目的は、奉仕と国際間の理解に貢献するため、世界的親交を以て共に働く機会を若人に与える事である。

インターアクトの目標は次の通りである。

- (1) 建設的指導能力と個人的誠実性を認識し、発展すること。
- (2) 他人に対し思いやりがあり、又役立つように奨励し且つ実行すること。
- (3) 家庭と家族の重要さの意識を深めること。
- (4) 各個人の価値の認識に基づき他人の権利を尊重すること。
- (5) 個人的成功、地域社会の改善及び団体的業績の基礎として、個人的責任の受諾を強調すること。
- (6) 社会奉仕への機会として、総て有用な職業の真価と貴重さを認識すること。
- (7) 知識の増進と地域社会、国家及び世界情勢の理解を得るための機会を提供すること。
- (8) 世界の人々に対する親善と、国際的理解の増進に導く個人及び団体活動の道を開くこと。

② インターアクトの歌

作詞作曲 藤 山 一 郎 君

(東京西R・C会員)

こゝに集ひし我等は	ほゝえみをもて
誇りもたかしインターアクト	さしのべよ手を
地域社会に奉仕の理想	世界を結ぼう
示せ今こそ そのまこと	インターアクト我等

③ 認証状授与式 昭和40年11月22日

仮クラブ結成 昭和40年 6月12日

創 立 会 員 47名

④ インターアクト設立経過

ロータリー60周年と西クラブ創立5周年を記念して、その記念事業として設立したいと、昭和39年10月頃から故菊池稔元会長、故田崎亀夫元会長、元上田合邦会

員、その他西クラブ会員で宮崎商業高校出身者を中心に機運を高め、学校側とはかり深い理解のもとに宮崎商業高校インターアクトは誕生したのである。

⑤ インターアクトクラブはどんな仕事をするのか。

o 地域社会への奉仕と国際理解への奉仕である。

地域社会への奉仕として

1. インターアクト会員が夏休みを利用して僻地の中学校を訪れ各会員がそれぞれ得意とする科目、数学、英語、国語、理科等を生徒へ教えることによって、自分自身の勉強になり効果をあげている。
2. いかにして勉強するようになるか、言いかえればいかにしてなまける生徒をなくするかについてお互いに研究している。
3. 学校を美しくする運動に協力している。
4. 自転車の左側一列行進に協力して成果をあげている。
5. その他多数、地域社会へ奉仕し、自己の人格形成に役立っている。

※ 国際理解への奉仕として

1. 海外のインターアクト・クラブと文通し、お互いに勉強する。
2. ライシャワー大使がかって負傷されたとき、すぐにお見舞の手紙に青年の気持ちを伝え、理解を深めたこともある。
3. 交換学生の世話をし、又交換学生として留学の道も開けている。
4. 海外の事情を知るため、スライド又映画により知る方法もある。
5. 外国人と直接英会話を希望するインターアクト・クラブの会員には、たやすくできる方法がある。
6. その他いろいろの問題について多くの実例がある。

⑥ インターアクト担当の先生と会員（1980年5月 昭55）

教諭	真芳	カズ子			
〃	藤井	博利			
部長	有村	美枝子	副部長	上村	菜穂美
会計	鈴賀	里美	会計	岩切	孝恵
3年	磯野	富江	2年	清山	明美
〃	黒木	ゆみ子	〃	大村	ひとみ
〃	東井上	映子	〃	南	弘美

3 年	吉 武 登志子	2 年	蔵 屋 由美子
"	川 野 由右子	"	田 村 千 穂
"	上米良 栄 子	"	後 藤 直 美
"	長 友 真由美	1 年	川 上 京 子
"	辻 礼 子	"	楠 元 純 子
"	柴 倉 久 美		
"	米 良 千寿美		
"	小 川 香世子		
"	宮 田 菜穂子		
"	岩 田 貴 子		
"	甲 斐 典 子		
"	小 坂 ゆき枝		



⑦ インターアクトクラブ一覧表(1979.12.31現在)

I A C	提唱RC	結成年月日	備 考
中津商業高校	中津	1963. 7. 29	
大分東明高校	大分	1963. 12. 20	
佐伯鶴城高校	佐伯	1963. 12. 20	
鶴丸高校	鹿児島西	1964. 10. 8	
佐伯高校	佐伯	1964. 11. 10	
八代第一高校	八代	1965. 1. 16	
延岡高校	延岡	1965. 4. 19	
水俣工業高校	水俣	1965. 6. 6	
水俣高校	水俣	1965. 6. 6	
宮崎商業高校	宮崎西	1965. 6. 12	
鹿児島中央高校	鹿児島	1965. 7. 16	
熊本マリスト学園高校	熊本東	1965. 7. 3	
大分商業高校	大分東	1965. 12. 5	
川内商工高校	川内	1966. 2. 12	
別府商業高校	別府	1966. 5. 1	
都城商業高校	都城	1966. 6. 24	
別府大学附属高校	別府北	1966. 7. 30	
高田高校	豊後高田	1966. 10. 1	
小林商業高校	小林	1967. 2. 25	
鹿児島商業高校	鹿児島南	1967. 6. 20	
竹田商業高校	竹田	1968. 5. 25	
臼杵商業高校	臼杵	1968. 5. 28	
日田商業高校	日田	1968. 6. 22	
鹿屋高校	鹿屋	1969. 6. 9	
鹿児島実業高校	鹿児島	1969. 7. 12	
鎮西高校	熊本	1969. 10. 13	
鹿本商工高校	山鹿	1969. 11. 18	
柳ヶ浦高校	宇佐	1971. 1. 21	
鹿児島高校	鹿児島西	1972. 6. 17	
野津高校	臼杵	1972. 7. 13	
玉名女子高校	玉名	1972. 4. 2	
宮崎日大高校	宮崎北	1976. 4. 24	
熊本西高校	熊本南	1976. 6. 19	
聖ドミニコ高校	都城北	1977. 2. 12	
津久美高校	津久見	1965. 12. 11	1978. 5. 19解散
日向工業高校	日向	1966. 1. 29	1976頃解散
熊本農業高校	熊本南	1969. 4. 19	1975頃解散

⑧ ご挨拶



宮崎商業高校インターアクト部長 有村 美枝子

今日は、ご招待いただきましてありがとうございます。

それでは現在のインターアクト部について、少しお話ししたいと思います。

昨年の5月に同好会から部に昇格したばかりです。正直言って、3月までは下級生がいなくて、その上活動もあまり活発ではなかったので廃部になるのではないかと心配していたのですが、4月には1年生と2年生が数名入部してくれましたので、私たち3年生としてはホッとしているところです。

現在部員は1年生2名、2年生6名、3年生20名の計28名です。人数も28名と多くなりましたので、部員一同はりきっております。

4月29日に青島学園に行ってきました。昨年行った時より人数が少なくなっていました。仲良くなった子供達と会えなくてとても残念でした。

子供達と一緒に海に行ったり、部屋で話したり遊んだり、外でバレーをしたり、とっても楽しい一日でした。子供達が私たちを本当のお姉さんのようにしたってくれるから、いっそううれしくて楽しかったです。

又、近いうちに行けたらいいなって思っています。

老人ホームへ慰問すると、私たちを本当のお孫さんのように思ってくれて、色々とお話しをしてくれたりかわいがってくれます。私達の慰問する老人ホームは、体の不自由な方、目の不自由な方の多いところです。

目の不自由な方でも明るく私たちと話しをしてくれます。

体の不自由な方も車いすで一緒におりがみをしたりして、楽しくすごします。

6月くらいに老人ホームを慰問する予定です。

青島学園や老人ホームを慰問する度にあたたかさを感じます。

今学期は先生方の中にも、生徒の中にもインターアクト部について知らない方が多いので、みんなにわかってもらおうと言うことで、インターアクトの花壇を作ろうということになりました。その花壇できれいなかわいい花を作って慰問の時に自分達の育てた花を持って行ってあげたいと思います。

それから古切手の収集を全校生徒に呼びかけようと思っています。学校内に何箇所

か古切手を入れる箱を設置して、たくさんのお切手が集まるように努力するつもりです。私たちの古切手収集で身体障害者の機能回復、ネパールの方の結核予防に少しでもお役にたちたいと思っています。

私たち3年生にはあと3カ月程しかありませんけど、1・2年生と協力して一生懸命やりたいと思います。

最後になりましたが、先日はお能の観しょうをさせていただき、ありがとうございました。狂言の2人ばかりはとってもおもしろかったです。

お能など日本的なものを見るのもたまにはいいものだと思います。何だか見ていると心が洗われるような落ちついた静かな感じがしました。本当にありがとうございました。

以上で終わります。

⑨ 挨拶

インターアクト担当教官 真茅先生



本年度も私ともう一人藤井教官と二人でインターアクトのクラブを受け持つことになりました。何年もやっている訳ですが、仲々活動が盛り上がりたくなくてすまないなあと思っているのですが、出来る丈頑張りたいと思います。先程部長が話しましたように、去年の年次大会までは現在の3年生と今年卒業しました上級生で2年生1年生がいなかった訳で、生徒総会で部に昇格したもののうまくやっていたか不安が大きかった訳ですがどうか2年生があと2名入会する予定です。1年生も2名はいりましてこの頃では珍しく3学年部員が揃った年になりそうで期待しております。部長も申しましたとおり、校内での認識がまだまだ不足して、インターアクトとはどういうことなのか、と言う質問が多いのですが、まだ質問してくれる人はそれに関心があるということですが、全然目にもかけてくれないと言った状態もある訳で今年は是非校内の空地を利用して、花壇を作りインターアクトの花壇を表示して全校生徒の認識を深めていきたいと考えております。

それから古切手の収集も箱が少なくなっておりまして、新しく作りかえまして校内のいたる所にインターアクトのマークのはいった収集箱をさげたいなあと計画してる

わけです。古切手は先日も卒業生から大きな封筒一杯寄贈してもらいましたし、又、一般の生徒からも寄贈がありました。そういう生徒とか先輩の厚意に接するたびにああやっぱりインターアクトを理解してくれてる人も案外いるんだなあとこちらがハッとすることもあります。やはり地道にやっていると、1,000人もいる生徒の中に何人かは協力してくれる人がいます。卒業してからもいると言うことは大変有難いことだと思っています。今後も部員の確保、それから全校生徒への理解を中心としながら活動をもり上げていきたいと思っております。それから市内には宮崎商業高校と日大高校と二校しかないのですが、仲々日大との交流も出来ていませんで、年次大会に参加した時丈顔を合わせる程度で折角近くに同じ活動をする友達をもち乍ら機会を逸しているわけで、今年こそは年次大会の前に一回でも顔合せがしたいと新たに思っているところです。それから慰問関係も沢山の生徒が関係してくれておりますけれども出来る丈回数を多くしてプレゼントとかも持って行くわけですけれども、それもさることながら心の交流の方を大いにしたいと思っているところです。それから公園清掃等も土曜日の午後平和台公園をやっているわけですが、ゴミも至る所に落ちているようで、私も一ノ宮町に住んでいるのですが、あそこに後田川緑道公園が出来まして、私達も地区の方で日曜日の朝早く各家庭から奉仕活動に出ています。毎週やるのですが相当なゴミの量でやはり清掃することも大事なんです。奉仕活動を広めていく中で散らさないような教育ももっともっていかねばならないと思います。あそこは公園になっておりますので、小中学生、小さな子供が多いわけで、家の二階から見えますと大人でもやはりベンチで物を食べてチリをポイと捨てるのを見かけます。子供のしつけもさることながら私達大人も公共の場所をよごさないような心がまえを痛感いたしました。高校時代にこの様な奉仕活動を体験していると、地域での良いリーダーとなってくれる人ではないかと卒業後を期待しています。昨年でしたが「道路は灰皿ではない運動」をしましたけれどタバコの吸いがら同様大変むずかしい問題で奉仕活動としつけをインターアクトの手で少しでも向上させたいと思っています。又、今年は8月に熊本の青年の家で年次大会が予定されていますが、昨年お聞きしたところによりますと人数の制限がありまして、各学校から7名しか参加出来ないということで部員が多くなったのをみまして、人選に困っている次第です。来年は又宮崎だろうと思っておりますが、やはり出来る丈活動しているものが沢山参加出来るような年次大会を計画していただけたら有難いと考えております。以上あらまし御紹介いたします。

⑩ 社会奉仕委員会年度裏奉仕状況

○ 1970～71年

- ・老人ホームへの援助（7月）
- ・身心障害児への援助
- ・チャリティーバザー（4月）
- ・もちつき奉仕（12月）

○ 1971～72年

- ・社会奉仕基金制度発足（10月1日）
- ・施設慰問（10月）
- ・献 血（11月）
- ・もちつき奉仕（12月）
- ・チャリティーバザー（4月）

○ 1972～73年

- ・災害地区に義捐金を贈る
- ・献 血（10月）
- ・老人ホーム、施設への慰問（10月）
- ・もちつき奉仕（12月）
- ・母子寮、施設慰問
- ・チャリティーバザー（4月）

○ 1973～74年

- ・古紙回収（毎月第一例会日）
- ・献 血（10月）
- ・もちつき奉仕（12月）
- ・チャリティーバザー（3月）
- ・社会施設への援助
- ・交通安全運動推進（3月）

○ 1974～75年

- ・古紙回収（毎月第一例会日）
- ・献 血（10月）
- ・もちつき奉仕（12月）

- 社会奉仕施設への援助 (3月)
- チャリティーバザー (5月)
- 1975～76年
 - 古紙回収 (毎月第一例会日)
 - 献 血 (10月)
 - もちつき奉仕 (12月)
 - 施設慰問 (6月)
- 1976～77年
 - 古紙、古切手回収 (毎月第一例会日)
 - 献 血
 - 公共施設等の清掃 (11月)
 - もちつき奉仕 (12月)
 - 歳末助け合い運動奉仕
 - 交通遺児を励ます会 (3月)
- 1977～78年
 - 古紙、古切手回収 (毎月第一例会日)
 - 献 血 (9月)
 - もちつき奉仕 (12月)
 - 社会奉仕基金の運営委員会の設立 (4月1日)
- 1978～79年
 - 古紙、古切手回収 (毎月第一例会日)
 - 献 血 (10月)
 - 公共施設の清掃 (9月、11月)
 - もちつき奉仕 (12月)
 - ボランティア活動グループの表彰 (2月)
- 1979～
 - 古紙、古切手回収 (毎月第一例会日)
 - 献 血 (9月)
 - 各団体との連絡会 (11月)
 - 福祉施設へのクリスマスケーキ配布 (12月)

⑪ 第15回インターアクト年次大会

インターアクト委員長 佐伯 司 朗

日 時 54年8月2日～4日(3日間)

場 所 霧島町牧園「国民保養センター」

参加人員 男子60名、女子270名

テ ー マ 「国際理解と野外活動」

小手川地区委員長のあいさつ

鹿児島西R/C鮫島会員の記念講演「西郷隆盛の人生とその少年期」という演題で人生において青少年期がいかに大事な時期であるかを2時間にわたり話された。続いて派米教師の報告があり、767地区の活動状件につきスライドにより発表がありました。767地区はインターアクト発祥の地だけあって、インターアクトとロータリアンの親睦、話し合が非常に良く行っているようでした。

翌日は朝6時から体操で始まり、9時より野外活動が40名程度づつに別れ登山、池巡り、サイクリング、水泳、アスレチック、乗馬とコースに別れ活動が行なわれた。夕方より指導教師との懇談会が行なわれ、その中で、大会が年々活気が無くなっていくようだという意見や、他校との話し合いの場を作って欲しい、他校の奉仕活動の状況が知りたい。もう少し高校生に主導権を持たせて欲しい又毎年参加されるロータリアンの顔ぶれが違うので少なくとも2～3年位は続けてもらえないものだろうかという意見であった。

地区インターアクト委員会の活動方針についての連絡協議会に於て、ロータリアンとインターアクトの親睦をはかると云う事が相方から意見が出され、その件を1つの目標にする事に決りました。その他、宮崎商業と日大高校のインターアクトとの交換会、道路は灰皿ではない運動等をやってみようという意見が出ました。

⑫ 昭和51年8月7・8日、インターアクト年次大会に参加

国立阿蘇青年の家(思い出)

河野 仁 美

年次大会、それはすでに思い出となってしまいましたが、私達にとっては忘れられないことです。

9人がそれぞれの感じ方をし、それぞれの意見をもちました。

まず多かったのが、年次大会本来の目的である他校との交流があまりできなかった

という事です。

交流が目的の大会であったかと問われたら返答にこまったと思います。

この原因の一つに、全体の人数が多すぎたのではないかという見方もありました。それからグランドファイヤーの時間が短かすぎた、意見の交換の場が少なかった、という声もありました。

また、講堂に集まってからの生徒の態度の問題、会の進め方についての問題点もあげられました。

来年私達がホストになる事があれば、この点に留意しておく必要があるようです。

しかし、我々9人悪いことばかりを感じてきたのではありません。

短いながらも楽しかったグランドファイヤー、感激したいろいろな方々のお話し、勉強になった分科会など。

分科会では、いろいろな学校の意見・活動などを聞いてきたのですが、私達が活動のうでで迷っていたことの回答がずい分得られ、今後のクラブの内容がかなりいいものになると思います。

また、高千穂先生の記念講演では、私達は考え方にいちいちうなずき、考え、拍手したのです。

先生のお話しは、私達と同世代の方のお話し・・・と錯覚さえおこさせました。

雄大な自然の中で、全く知らない人達と2日間寝起きを共にし、共に食事をし、共に語り合い、その中でたくさんの事を学び、感じとってきたと思います。

来年もより充実した年次大会を望みます

23HR 餅丸

私がインターアクトクラブに入部して、約10ヶ月が過ぎました。

その間、施設訪問・公園清掃・英会話・鶴折りなどいろいろな活動に参加してきました。

8月に行なわれた年次大会は、クラブに入部してからはもちろん、生まれて初めての経験とあって、前日からとても楽しみでした。

阿蘇青年の家について、人数の多さに驚きと同時に「こんな多勢の人達と一緒に3日間活動するのか」と思い、不安になってきました。

年次大会を終えて最初に感じた事は、参加者との交流の時間が少なかったことです。

青年の家について、すぐ行なわれたフォークダンスにしても、グランドファイヤーにしても、今まで全々会った事もない人達と初めて会い、一緒に手をつなぎ、一緒に歌い恥かしさもうすれ「さあこれからだ」と思った時に「もう時間なので終わります」という風になり、中途半端な気持ちで終わってしまうという事になってしまうのです。

だから、来年は是非グランドファイヤーなどの、参加者との交流を深める時間をもっとふやしてほしいと思います。

そのことで、よりいっそう友情を深め、お互いの活動をわかり合い、よりよい活動ができるように思います。

鮫島 ひとみ

私が年次大会で一番覚えていることは、何ととっても全員参加で楽しんだグランドファイヤーだ。

火の矢が予定通りうまくいかなかったりしましたが、フォークダンスを踊ってから各県の出し物だった。

これに関して私は次のように思った。

○ 県単位だと人数が多すぎてまとまりがつかない。

○ 民謡という出し物が多くパッとしなかった。

次に年次大会を全般的にみた感想を書くと、

○ 開会式、閉会式ともに司会者に元気がなかった。

○ 映画を見る時間を何か他の時間にしてほしかった。

○ 青年の家の近景の美しい自然は忘れることはできない。すばらしかった。

○ 分科会はみんなで意見を出し合ったが、いま一つ盛りあがらなかった。

○ 服装がまちがった。これは各学校の先生方の指導に違いがあるのではないだろうか。服装は徹底してほしい。

と以上のような事だ。

この年次大会は、これからのインターアクトの活動に意欲を出させたと共に、よき青春の思い出ともなった。

安田 良江

年次大会はものすごくスケジュールが多く、はっきり言って私は、息がつまりそう

で、時間にしばられてるって感じでとても窮屈だった。

それに、ご飯の献立も食欲を不振にさせる物が多かった。しかし、講堂ではいろいろな方々から大変意義のあるお話を聞かされて、非常に勉強になったと思います。映画の方は、途中でとぎれとぎれだったので、あまり意味・内容が分からなかった。

夜のグランドファイヤーの時は、わがICはもちろん、他のICも出し物が急だったので、インスタントであまりうまいとはいえなかったが、そこがまたおもしろかった。しかしながら、今度は最初から考えて練習しておいた方がいいだろう。

服装の事は、他の高校のICは大半が私服、`我校は制服だったので、今度は先生と話し合っどどちらにするか決めようと思います。

消燈は10時半だったが、なかなか寝つかれなく夜遅くまでさわいでいたので、これからは気をつけたいと思います。

ベットの作り方も最初はめんどろだったが、あとでは、今後この様な事をしなければならぬ時がくるだろうから「ためになる」と思った。

「青年の家」は、しつけがきびしいので少々驚いてしまった。

その反面、ためになる事もたくさんあったので、これからも年次大会をこういう所でどんどんやってほしいと思った。

24HR 中 蘭 玲 子

私達のクラブには3年がおらず、2年も1年の2学期以後にはいったので年次大会の経験者が1人もいませんでした。

その為、行くまで不安でしたが、その反面期待もありました。

青年の家について最初に感じた事は、「きびしそろだ。ここで3日間無事に過ごせるかしら。」ということでした。

青年の家の規則の中では時間どおりに行動する事がいちばん大きな所だと思いました。時間どおりの行動は、学校でもやっているのでそう苦ではありませんでした。

大会の中でいちばん印象に残ったのは、グランドファイヤーでした。

青年の家の人達が、音楽を流して下さりアナウンスをしてムードを出して下さった事もですが、何より阿蘇の勇大な自然、さわやかな空気のもとで楽しめた事が感激の理由だと思いました。

分科会でも、他の学校の意見が聞け、とても有意義な大会だったと思います。

森 田 ゆかり

私が「年次大会」という初めての体験をして一番プラスになったのは分科会でした。他の県のいろいろな学校のICの方々のお話を聞いてとても参考になりました。しかし、1つだけ驚いたのは、活動日が週1回という所がとて多く、我校の週3回というのが一番少なかったことでした。

週1回でも内容的に充実したものであれば良いと思いますが、集まりが悪いなど時間のロスが多いようでした。

次に私が一番印象に残ったのは「記念講演」でした。

高千穂先生のお話しがとてもゆかかったし、私達の世代をよく分かってらしたように思えました。

お話の後、みんなで話したのですが、内容的に言わんとしていることがわかったし、とてもいいお話だったという事でした。

不満というと語弊があるかと思いますが、残念だったのは、あまりにも交換の場が少なすぎた様に思います。

もう少し話し合える場を持ったらもっと交流があったと思いました。

ホストについて、はっきりいって司会、その他の点についてまずかったと思いました。

舞台上ってからの態度も見ていてはらだたしくなった時がありました。我々がホストになった場合、少なくとも今年よりましな年次大会にしたいとみんなと合意しました。

これからも年次大会を参考にがんばっていきたいと思います。

「我の他は皆師なり」

これも年次大会において学んだことでした。

2年 秋 山 真貴子

私はインターアクトにはいって初めての年次大会でした。

8月7日のお昼頃入所、そしてオリエンテーション、なにしろ初めてなので緊張しました。

規律正しいという事を一番初めに感じました。

朝と夕方に、朝のつどい。夕べのつどい。広場に集まり旗に向かって、おはようござ

います、などといってつどいをおわります。

初めの日には恥ずかしいような気がしましたが、2日めは気持ちよく言えました。就寝準備のとき、初めて他の高校の人と話をしました。

毛布のしき方がわからなかった時、前の部屋から、それはこうしてしくんですよと教えてくれました。その時、はじめに管理の人がここにはいたらみんな友達だという意味がわかりました。

朝6時に起き、朝食をとり、9時より分科会がありました。

他校の人たちがいすをまるくならべての話し合いです。

議題の1つに奉仕とはというのがありました。

その中で、私が一番良いと思うのに、自分のためになり、人のためになるという仕事がありました。

インターアクトといっても他の人にはわかりにくいものです。

私は、奉仕活動といいながら、ただがむしゃらにやっているように今では思えます。奉仕という意味をよく考えてこれからの活動をしなければいけないと思いました。

8月8日の夜、グランドファイヤーがありました。

炎が熱く感じられて、何ともいえない楽しい時間でした。

県にわかれての出しもの、中にはユカタまで着ておどるところもありました。精一杯声をあげ、おどり、最後の夜を楽しみました。

8月9日、6時半起床、もうここともおわかれかと思うと「残念だなあ」という気持ちがありました。

朝のつどいの時は、まわりの学校の人とももうきょうでお別れですねなどと話をしました。

清掃などをするうちにもう退所式の時間、部屋をはなれて廊下では「さよなら、さようなら」という声が聞こえて、本当にお別れなんだなと思いました。

帰りは前から知っている友達のように思えてなりませんでした。

この年次大会は、私にとって規則正しい生活、きびしさの中に友達との楽しい時をつくってくれました。

夏休みで不規則になっていた私の生活を、学校へ行っているのと同じにしてくれました。

また来年もあるのならば行きたいと思いました。

那 須 日登美

インターアクトクラブ員として最大の行事である年次大会に参加できてとても良い経験になったと思っている。

各県から集まったクラブ員との交流もいろいろな面で深めることができた。

その大きな一つは、2日目の夜に行なわれたグランドファイヤーだったと思う。しかしその後、時間の短かさで少しあっけなく終わってしまったように思えた。時間の関係で仕方がないことかもしれないが、もう少し時間がほしかった。と今になってそう思う。

また、青年の家での生活も良い勉強になった。

日常、そう考えもしない時間がいかに大切なものであるか、また集団生活のやり方など考えさせられる点が多かった。

それから、高千穂先生のお話もユーモアを混えた随分ためになる話だったと思う。

このインターアクトの年次大会は、楽しく、とても有意義なもので、高校生活・クラブ活動を通してとてもよい思い出になったと思う。

そして、またこのような機会があったら是非参加して、インターアクト会員としての自覚と誇りを高めていきたいと思う。

今後、インターアクト会員としていろいろな面で活動したいと思っている。

23HR 成 合 郁 子

今、年次大会をふり返ってみて、私自身いろんな事を学んだ様な気がします。

何しろ初めての経験なのでとまどった面も多かったけど、その分学ぶ事も多かったようです。

まず、青年の家での規律正しい生活、いままでだらだらと生活してきた私にとって何よりも勉強になりました。

それから講堂での話しや、各県何名かずつにわかれての分科会も大変良い勉強になりました。

講堂での話しの中で特に印象に残っているのが高千穂先生のお話しです。

大変長い講演だったけど、話される一つ一つがみな聞きのがしがたいお話しで、とても感激しました。

それから、分科会では各学校の活動内容などを聞いて、これもまた大変参考になり

ました。

私は、年次大会に参加して本当に良かったと思っています。

そして、できたら来年もまた参加したいと思います。

最後に、もっと多くの人達にインターアクトクラブを知ってもらい、その活動内容を理解してもらいたいと思いました。

⑬ ロータリクラブの水泳大会

西クラブ青少年奉仕委員長 村 上 四 朗

宮崎市四クラブ合同青少年奉仕委員会は、今年度の野外活動協議会の活動として、宮崎国体のため夏休みの活動をさけ、今年春休み頃にその活動をする事を協議し、昨年暮より十数回の合同委員会を重ねた結果、去る4月19日(土)県総合運動公園室内温水プールにて、午後2時30分より水泳教室を開校致しました。

宮崎県水泳連盟、県及び市の教育委員会の御協力を得まして、宮崎市内の中学生を対象とし、青少年がスポーツの平和理論と技術の認識を深め、心身を鍛練し、水泳を通じてお互いの友好を深める機会を提供しようと企画したものであります。

3月10日頃より市内各中学校にパンフレット案内状を配付し、当日142頁に表示した如く多数の参加を得ました。



ぼ集人員を大幅に上まわる盛大なものとなりました。交通の便を考え1時30分生目中より宮交貸切バスを出し、県庁前、大淀中に寄り、2時30分プール着。3時開

校式。村上委員長挨拶。森川水連理事の技術講習、実技。学生達は水を得た魚の如く冬得位とする種目別に別れ実習、コーチ陣は伊東水連強化委員長始め10名、内現役宮崎国体選手女子選手4名(旭化成)、男子2名、中でも旭化成山本敏光選手は日本選手権3年連続保持者であります。そう言った著名選手が学生と同じくプールに入って一緒になっての指導で、学生達の熱心な実習ぶりは企画者にとって全く喜ばしい光景でありました。又初心者グループのボーイスカウト達、始めは僕は2mしか泳げませんと言っていた子供が、そのていねいな指導によって長く泳げる様になって顔からしたたる水をぬぐいもせず、にこにこ笑って取るガッツポーズ等、ほほえましい光景で、5時30分の終了まで時間が短かくてあっと言う間でありました。

5時30分、開校式。日高兵馬北クラブ委員長あいさつの後、全員にかんじゅースを配り又お会いすることを約し開散致しました。翌4月20日宮日新聞にロータリークラブ水泳教室の記事がのせられ好評でありました。又学生達より次の如く感想文がよせられました。

大淀中3年 吉原貴子

「私達は驚いた。その指導も、普通は学校などの練習の様に、先生達は上からあれこれ言うが私達はわかりにくい。今日は一緒に水の中に入ってくれた。大変わかりやすくすぐマスター出きた。本当によい経験だった。旭化成の選手の摸はん演技はすばらしかった。又冬中会えなかった友達にも会えた。又機会があったら参加したい。水泳教室を続けて下さい」

生目中3年 川崎一光

「ロータリー水泳教室に参加してとてもよかった。なぜならもう一度基礎からやりなおしたかったからだ。又有名なコーチや先生に指導を受けられたのでとても勉強になった。又ロータリー水泳教室に参加したい」

大変盛會に終った事を委員会一同喜び感謝するものであります。

参 加 者		コ ー チ	主 催 者
鏡 洲 中	1 名	伊藤 尊見（県水連強化委員長）	西クラブ 村上 委員長
木 花 中	1 名	森川 信（旭化成水連理事）	吉田 副委員長
附 属 中	10 名	三ヶ尻茂樹（宮大附属中）	幸 重 委員
宮 崎 中	7 名	倉 幸要（大淀中教員）	佐藤次期委員長
西 中	7 名	吉里 光弘（県国体選手）	宮 崎 戸高 委員長
生 目 中	12 名	山本 敏光（旭化成日本代表選手）	馬 渡 委員
大 淀 中	22 名	諏訪 法子（旭化成国体選手）	福 田 〃
計	60名	川添千代子（ 〃 〃 ）	中 島 〃
ボーイスカウト	25名	木村 和美（ 〃 〃 ）	北 日高 委員長
		水島千江子（宮崎短大国体選手）	菊 池 委員
			植 木 〃
合 計	85 名		南 丸山 副委員長

第 6 編

国 際 奉 仕

(1) 国際奉仕の由来

ロータリーに国際奉仕の分野が開けたのは、1914年の第1次世界大戦の勃発の時のことである。当時のロータリーの拡大の状況は今日からみればまだ微々たるものであったが、しかしロータリーは、アメリカ合衆国内の都市ばかりでなく、1911年にはイギリスのロンドンを始めとする数都市やアイルランドのダブリンにも創立された。これらのクラブに所属するロータリアンたちはロータリー哲学の追求には極めて熱心であり、一面において彼等は地域社会の職業人の奉仕の心をクラブ親睦の中から会得するとともに、他面においては各ロータリアンがその奉仕の心をクラブ以外の実生活で実践に移すことこそロータリーの本体である。という一般的理解に到達しており、そして、彼等はその場を世界大戦において見出したのである。

かくして彼等は出征軍人や、傷病兵の慰問等に手を染めたのである。

しかし国際奉仕の実践を通じてロータリアンたちが反省したことが二つある。

一つは、国際奉仕は単に個々の事例で人のためになるというよりは、その実践から民族間に善意と友愛の尊さを教え、その間接的効果として民族間の感情的不信感から発生した悲惨な戦争発生の防止に大いに役立つということであった。

それからいま一つは、前にものべたようにこの国際奉仕は、ロータリークラブ活動の基本原則であるクラブの地域限界の外で効果が発生するという点で、他の奉仕活動とは異なるという点である。

これらの点で理論的に解決するために二回にわたってロータリーの綱領が改正されている。一つは1919年のソート・レーク・シティの国際大会において、国際奉仕は正式にロータリーの独立した奉仕の分野として明文を以て認められ、ついで1921年のエジンバラ大会において国際奉仕の条項に世界平和に資する旨の文言が現れた。

このような国際奉仕の分野の発展とともに、忘れてならないのは1919年のカン

サス・シティ大会で、時の国際ロータリー会長アーチ・C・克蘭フの提唱による教育および慈善を目的とする基金の創設である。

これは当初はあまり全世界のロータリアンの好感を以て迎へられなかったが、1947年1月27日にロータリーの始祖ポール・ハリスが死去するや、全世界のロータリアンはこれを契機として何か画期的な奉仕活動を行なおうということになり、その目標を1931年以来ロータリー財団と名が改められていたこの基金においたのである。

かくして全世界のロータリアンの浄財を集めて、ロータリー財団は世界中の大学生や大学院学生や研究グループに対してその海外留学についての学資を支出するようになり、ロータリーの国際文化交流助成への積極的な姿勢が確立されることになった。

このようにしてロータリーの国際奉仕は戦時中の活動から出発して、平和時における国際理解助長のための活動に移って行ったと言ってもよい。そして大学生以上を対象として行なわれるロータリー財団の活動の他に、高校生のような比較的若年層ではあるが人生に対して最も感受性の強い時期の若者の相互交換を、地区がバナーを媒介として各クラブ間で奨励しているのも動機は全く同じところにあると言える。

言語、風俗、文化、宗教の相違にもかかわらず、人間の心の中には善意が流れていること、およびこの限られた地球上に、それらの多様な要因にもかかわらず互に何等かの因縁によって結びつけられているという認識は、ロータリーの国際奉仕の実践とともに高まるばかりである。

第二次世界大戦が終了した時は、原子力の開発による人類破滅の道は異常なほどまでに有識者の危機感をそそった。

国際ロータリーが平和への七つへの道を刊行し、ロータリーの説く奉仕理念の追求は、各ロータリアンの職業倫理や人間形成のみにとどまるだけでなく、各ロータリアンとその国家社会や国際社会との関係についても適用できるものであることを説いたのも、決してこの危機感と無関係ではない。

しかし第三次世界大戦の危機よりもっと恐ろしい問題が、実は世界中の先進国と後進国との間の貧富の差から生ずるということが判明したのである。貧しい国々における人間の無自覚と無気力と驚くべきほどの人口増加は、やがて富める国の経済的繁栄に対する脅威となって現れることが確実となった。

そして1961年のR・I会長は世界が狭くなりつつある今日、地球上のどこかに不幸な人がいる限り、われわれは幸せになれない旨強調した。

このような動きが1967年に結実し、国際ロータリーの仲介の下に、先進国のロータリアンが後進国を訪れ、政治性の全くない助力を与えようとしたり、また要請のあった援助と物資を供与するという奉仕活動が生れた。

これを技術的に世界社会奉仕とよんでいるが、こういう特殊概念を作りだすことに意味があるかどうかは別として、この積の国際奉仕の実践活動が出発点となって、世上しばしば自明の理とされているところの、勤勉と正直には幸福の報酬があり、怠惰と不正直には貧困と不幸の報いがあるとする自己中心的な考え方だけでは、全人類の幸福は実現できないのだとする自覚の生れつつあることは、ロータリアンの誇りとして良いであろう。この自覚があればこそ、われわれロータリアンは自国の繁栄と幸福だけに満足することなく、他国の貧困と不幸な立場に立って、その現状たる厳しい土壌に対して、慈雨の如き助言を与えることができるのである。

このロータリーの理念は、未だ達成されてはいない。しかし一步一步の前進は現になされつつあるのである。

(2) 国際奉仕のねらい

ロータリーは親睦にはじまり、職業奉仕に目覚め、それが社会奉仕に展開、そして国際奉仕に花をさかせようとするのである。

ロータリーの国際奉仕はロータリーの世界的発展の賜であり、奉仕の理想の共鳴者が世界中に拡がり、自己の繁栄と公共への奉仕が両立するロータリー哲学の信奉者が、853,000人153ヶ国に散在することによって成り立っている。

すなわち、志を同じくする人が手をつなぐことによって、期せずして国際親善、国際理解が出来るという訳である。

こうして世界のロータリアンがその善意を交換し、理解を深めることによって世界平和をうち立てることがロータリー国際奉仕のネライである。

(3) 西クラブが実施した交換学生

年 度	派 遣				受 入			
	氏 名	スポンサー ク ラ ブ	ホストクラブ	地区	氏 名	スポンサー ク ラ ブ	地区	ホスト クラブ
1968～69					カール パッケーバー	ボールドン スパー	719	宮崎西
1970～71	森 洋三	宮崎3	コリンス	719	ロン・ ハバード	シェナンドア	719	宮崎3
1971～72	樋口 昇	宮崎3	ビッグ ラピッツ	629	トム・ウルフ	トラベース・ シティ	629	〃
1972～73	山本 速人	〃	スコチア	719	ブライアン・ ゴレドソン	シェルトン	502	〃
1973～74	森山美穂子	〃	メナン・ヅ	719	ゲイル・ ジャクソン	ミドルバーグ	719	〃
1974～75	勝浦 昌子	〃	シャロン スプリングス	719	ボブ・ ホーキンソン	タム ウォーター	503	〃
1975～76	藤本 紀恵	宮崎4	デ・モインズ ミッドウエイ	503	フリス・ ケリー	グラント ラピッツ	629	宮崎3
1976～77	西道 隆臣	宮崎3	コリンス	719	フリス・ ケリー	グラント ラピッツ	629	〃
1977～78	萩原 貴子	〃	ウエスト シカゴ	644	ペリー・ レンショウ	コロニー ギルダerland	719	〃
1978～79	新恵 晶子	宮崎4	セーラム	719	デイビット・ アペル	レイクシティ	503	宮崎4
	山崎ひろみ	〃	シアトル	503	ジュディ・ ホワイト	ブルーミントン ノース	658	〃 4
1979～80	赤木 由佳	〃	ビンガムトン	717	テリ・ コビエロ	セイカー	741	〃
	松田 博	〃	ボール ストンスパ	719	ティム・ ガーギッチ	ウースター	717	〃
1980～81	田中 陽子							
	海野 るみ							

(4) 交換学生報告

勝浦昌子（宮崎3， Sharon Springs, N・Y）

11月報告

ホストとの最後の週末をロング・アイランドのお母さんの両親の家で過しました。“The Greatest Show on Earth”と銘うってあるサーカスを観て、ショッピングをして、4日間忙しく過ぎました。ジャパニーズレストランにも連れて行ってもらったのですが、そこは高島屋が出してるお店で日本人従業員も多く、久しぶりに日本語を話しました。

15日の金曜日には、ホストファミリーをかかりました。

26日は待ちに待ったバスケットのはじめての試合!!わがシャロン Springs は25点差で勝ちました。

28日は感謝祭。オネオンタの近くの“おばあちゃん”の家に家族揃って行き、3日間滞在、七面鳥はあまり好ましくありませんがよくたべました。日本人の女の人が近くに住んで、おすしをごちそうしてくれました。

12月報告

あけましておめでとうございます。（12月報告ですけど、今日は1月1日ですから）本当になんとはやいことでしょう。私がここに来てからもう4ヶ月以上も過ぎたなんて。あと7ヶ月!!

12月は忙しい月でした。毎金曜日バスケットの試合、毎月水曜はチアリーダーの練習。我シャロン・Springスのバスケットチームは今のところ無敗を誇っています。

初めての“Whit Christmas”は素敵でした。24日は少し風邪気味でしたが、7:30~9:30に教会に行って、讃美歌を歌ったり、何て呼ぶんでしょうか、ろうそくに灯をともして.....。

25日の朝は妹（6才）、弟（10才）とに7:30に起されて眠い目をこすりながら居間へ降りて行ってびっくり!!昌子のプレゼントがテーブルの上に山と積みあげてあったのですから。

31日は12時まで起きていました。年越しそばがなつかしいなって思いました。

(6) 1979年3月交換学生報告

新 恵 晶 子



Hi! 皆さんお元気ですか。3月も半ばを過ぎて、宮崎は春らしくなったことと思います。Salemも最近、暖かい日が続いています、とはいえ、まだまだコートは手離せません。今日はとてもよいお天気で、青く澄んだ空には雲1つありません。春が来るとなんとなく気分がうきうきして、ちょっとしたことがおかしかったり、とってもいい気持ちですね。

さて3月。私のアメリカ生活もしだいに短くなり、毎日なにかとても貴重なものを感じられ、時のたつ速さにためいきをついたり。もう1年……、などと無理なことを考えたり。でもそろそろ帰ってからの覚悟をしなければ、とも思っています。昨日友達から手紙がきて3月8日は卒業式だったとか。今、私の学校も昨年の留学生が2人いますが、2人共泣いていたらしく、友人曰く“やっぱりいっしょに卒業したかったのね、来年の今頃は新恵も泣くのかな……。”そういわれると“そうだろうな”と思うし、でも、たとえいっしょに卒業できなくとも、私がアメリカで生活した1年間に見聞したこと、体験したことは、他の人にはできなかったことだし、これからの私にとって大きな影響を与えるであろう1年間は何物にも変えられないと思うのです。とにかく、残り少ない日々。1日1日を大切にすごして行きたいと思います。

今日は3月22日。今日からSilderlandという所でExchange Weekendがあります。そこには昨年アメリカからの留学生として宮崎に滞在していたPerryの家があるのです。先日彼の家滞ること、彼も大学から帰ってくることなどを知らせてくださったのでとても楽しみにしています。それではこの続きはWeekendから帰って来てまた書きます。

さてさて今日は3月31日。前文を書いて1週間もたってしまいましたが実は4日程前からかぜをひいていて、木曜、金曜と学校は休んだし、熱は無いのですが、せきがひどくて夜、なかなかねむれないのです。月曜～水曜と暖い日が続き、薄着していたのが原因のようです。では先週のWeekendについて。8ヶ月ぶりに会ったPerryは鼻ひげなんかはやして、すごく大学生っぽくなっていてびっくり!!昨年黒の制服を着ていた彼を思い出すとなんだかおかしくなるほど。制服といえば、彼は大切にしま

っていて、土曜日におこなわれたパーティには制服を着ていったんです。彼には15才の双子と13才の3人の弟がいるのですが、いずれもハンサムぞろいで私はびっくり。弟がいない私には、13才のCarlが弟のようで、とにかく楽しい日々が送れました。御両親もとてもよい方で、お父様は大学の先生と聞いていたのでおっかない人かな、と思っていたら大まちがい。とてもfriendlyで気軽に話せる方でした。このWeekendは今までのうち一番楽しかったような気がします。ちなみにPerryから私を見ての彼の感想をひと言“かなりアメリカの女の子的になったけど、少し太ったな!”あゝそうそう、彼は今でも日本語がじょうずに話せます。又、彼と同じく熊本へ留学していたEricは大学で日本語を勉強しているそうです。とにかく楽しかった3日間。2週間後のEaster Vacationに会うことを約束して別れました。

今月のレポートは体調がよくないのでこれで終わります。最後に、その他3月に私にした事を箇条書きにしておきます。

3月1日 Salen Shi Club といっしょにスキーへ。暖かい日で雪の具合もよくなるころでばかり。今回はスキーが大嫌いになりそうでした。

3月4日 何か日本料理をつくってほしいという希望にお答えして、“茶碗蒸し”に挑戦。自分でも驚くほどいい味にできて大満足!!ただし、Host SisterとBrotherの2人はあまり好きでないようでした。

3月10日 ロータリーがお金をつくるために、ハンバーガー、ホットドッグなどを売るのにお手伝い。すごいそがしい午前中でした。実は今日で3番目のHost Carolin家ともお別れ。午後4番目のWirkki家へ移りました。

(6) 地区世界社会奉仕の状況

No	年	ガバナー	事項
1	1966~67	(吉村ガバナー)	フィリピン農村の再建復興運動 3ケ年間 米貨 3,000ドル
2	1967~68	(向笠ガバナー)	韓国緑化援助 ロータリアン1人1\$ (360円づつ) 135万円
3	1968~69	(大津ガバナー)	台湾の青少年の体力向上のための奉仕 体育館建設「一人一元運動」 (本件辞退のため中止)
4	1969~70	(日高ガバナー)	韓国難民住宅自動推進に協力

			フィリピンのマロイカ部落子供に鉛筆240ダース ロータリアン1人1\$拠金(360円) 2,311.83\$に達した。
5	1970~71	(八田ガバナー)	(イ) ペルー大地震救恤 (ロ) 延世大学(韓国375区)日本図書寄贈 地区内会員1人250円、614,350円に達す (ハ) 韓国第376区と姉妹関係を締結
6	1971~72	(小田ガバナー)	(イ) 韓国児童福祉協会 職業施設 (ロ) 西釜山R・Cスポンサークラブとして、印刷機械、切断機一切 会食1人当たり700円 1,675,139円となる。
7	1972~73	(東ガバナー)	(イ) 姉妹地区第376区と協力、慶尚大学に復写器を整備する。 (ロ) ニカラグァ市震災見舞金を贈る。
8	1973~74	(杉原ガバナー)	(イ) スポンサー南ソウルR・C協力 財団法人 慈行会経営慈恵学校(精神薄弱児収容)寄宿舎、教室増設米貨2,000\$ (ロ) 金泉R・Cと協力、陰性癲病患者自 村福祉会館建設 米貨3,500\$
9	1974~75	(竹野ガバナー)	(イ) 韓国金泉R・Cと協力、上記癲病患者、自活村福祉会館建設に協力 1,000\$ (ロ) 西釜山R・Cと協力、韓国児童福祉協会貧窮児童印刷技術工養成所にオフセット印刷施設増設 米ドル3,500\$
10	1975~76	(後藤ガバナー)	(イ) 韓国中釜山R・C、心身障害児童学校物理治療室内器材整備 4,000\$協力
11	1976~77 1977~78	(塘ガバナー) (西田ガバナー)	(イ) 西釜山R・C協力 智異山に登山者のための宿泊、救護施設の建設 計10,000\$
12	1978~79	(吉村ガバナー)	(イ) 韓国金泉R・Cと協力、陰性癲病患者入植地耕耘用のミニトラクターの購入協力金 3,000\$ (ロ) 第330地区ペターリングディアヤR・C(マレーシア)学童に対する栄養補給 協力金 2,000\$

(7) アテネ北R・Cメイク、アップの思い出

日 高 文 雄

私は昭和53年6月8日ギリシャのアテネ北ロータリークラブの例会に出席した時ヨーロッパ的風習というのか実感をもって体験した。アテネ北ロータリークラブは月の第1例会が昼間に開催し他の3回は夜9時からになっていた。日中は旅行のスケジュールで見落したくない私にとって夜の例会は有難かった。例会場は有名なキングジョージホテル。

100人程のギリシャ人の中に日本人は私と通訳してくれたエミコ・フィオラヤさんの2人で他のビジターはイタリア、フランス、イギリス人10名近くいたであろうか。原則的に日本の例会は正味1時間であるので9時開会、10時には閉会、10時30分頃にはホテルに帰投できると通訳と前もって話し合っていた。しかし何時までたっても始まる気配もなく、テーブルは殆んど満席で話だけは陽気にやっている。私のテーブルは菓屋を営んでいる人とアテネの銀行頭取で愛想よく話してくれたが、



アテネ北R・C会長、幹事役員席

午後9時から11時頃こんなになっている、それから食事、例会、終了は12時過ぎとなる。

どうも開会が気になってとうとうシビレをきらして尋ねると、今から食事をしてからだから、11時頃になって12時すぎには終るだろうと答えた。その時は9時から1時間経過してタッタ2人のボーイでのんきに食事を運んでくる場所であった。実に不規則で日本人の私なんか、とても我慢のできない風景である。食事も終りようやく開会されたが、日本人の私もビジター一同に混って紹介され、あらかじめ用意して行った宮崎西ロータリークラブのバナーと交換を終え何やら言葉はわからないが大学設置運動についての卓話を尻目に早々に退散した。のんきでくつろぐ雰囲気は充分わかるが、こうも時間の観念のないのには全くあきれたものである。

このようなことはヨーロッパ随所で見受けるところであるが、信号無視をする歩行者と車、平気で飛行機やバスの出発、日本であればきびしく問題化することでも、ここでは当然の如く気にしない。このようなことは果してこの国民はどのように受け止めているのであろうか。

かって世界を征覇した神聖ローマ帝国は豊かさ故に1年のうちに3分の1しか働かなくなり、放縦と精神の墮落から滅亡したが、どうも今日のヨーロッパ人を総合的に観察してみて、誰れかが言った、先祖伝来の遺産のみにしがみついているという言い方は酷であらうか。

(8) 昭和54年度のロータリー世界大会(ローマ大会)に参加して

竹内三郎

始めて訪れたローマの街は、丁度終戦当時の東京の焼け跡を思はず様な、赤褐色の煉瓦状の遺跡が街の各所で眺められる。

この都市とは全くその趣を異にした観光都市であった。

写真1は映画「ローマの休日」で有名となったスペイン広場でアイスクリームを片手にした家内と会員の榎本氏夫妻

写真2は大会前広場に於ける小生夫妻

大会はその運営、内容ともに前年行はれた東京大会とは比較にならず、改めて日本ロータリーのすばらしさを痛感した。

しかし、各地のロータリアンとの二週間の団体旅行は全く快適な楽しい旅であった。



(写真 1)



(写真 2)

第 7 編

ローターリ－財団

1 ローターリ－財団の発祥

ロータリー財団の発足は遠く1917年にさかのぼらねばなりません。

1917年と申しますとポール・ハリスがロータリークラブをつくったのが1905年ですからロータリー創立から12年目に当り、今から丁度63年も昔のことになるのであります。

当時のロータリーは未だその規模も小さく、名称も今日のように国際ロータリーとは言わずに、ロータリークラブ国際連合と申していましたが、その国際連合の会長であったアーチC・クランプ氏がアトランタ市における国際大会の席上で「偉大な教育奉仕をするための資金を持ちたい」という提案をしたのであります。

この提案に対して大会の雰囲気は極めて好意的であり、ミズーリー州のカンサスシティロータリークラブの如きは、早速26\$50セントという最所の寄付を行ったという記録が残されていますが、この構想は残念ながら未だその機熟せずという有様で、それから6年後の1923年になってもその資金は僅かに709\$92セントが集まったに過ぎなかったのであります。

ところがそれから10年を経た1927年の国際ロータリーオンステント大会で、再びこの提案は蒸し返されたのであります。10年間のブランクを取り戻そうではないかという話し合いが行なわれ、翌1928年のミネアポリス大会では、ロータリー財団の設立が決議され、つづいて1931年11月12日にはロータリー財団の資金をロータリー財団管理委員会の保管に委ねる旨の信託宣言が行われたのであります。これが、今日のロータリー財団のはじまりであります。

ロータリー財団の機構は、このようにして次第に整備されてきましたが、肝心の資金の集りは、その後も余りかんばしい成績を挙げることはできなかつたのであります。

1947年という年はロータリー財団にとっては画期的な年であり、重要な記録がしるされた年でもありました。

その一つは、1月27日にポール・ハリスが亡くなったということであり、もう一つは、国際理解と親善の為の財団奨学金プログラムが発足した年でもあったからです。ポール・ハリスはその病気重く、命日々に迫ったことを悟って次のような遺言を残したのであります。

“若し同僚であるロータリアン諸君の心の中に、私自身の名誉を讃え後の世に何かを残してやろうという気持ちがあり、企てがあるならば、どうか皆さんそれで国際間の理解と推進に関する企てに力を尽して頂きたい”と

そして彼は、彼の愛するジェニー夫人のために何がしかの生活費を残して、すべての財産である15,000\$をロータリー財団に寄付したのであります。

彼の死とその遺言、そして彼のとった行為は、当時のロータリアンに強い衝撃と深い感銘を与えたと言われます。そして過去何十年に亘ってゆき悩んできた財団200万\$募金は、一挙にして解決せられ、その年のうちに早くも第1回の財団奨学生18名が送り出されたのであります。

こうして国際連合会長アーチ・C・クランプ氏の提唱した“若人に対する教育という奉仕”という彼の願いは30年後ポール・ハリスの遺言に依って漸くその一步をふみ出すことができたのであります。

2 ロータリー財団の諸活動

国際ロータリー理事会及びロータリー財団管理委員会は、その目標を達成するために最も効果的な企画として、次の諸活動を行っている。

A 国際理解の奨学金及び補助金の種類

- (1) 大学院課程奨学金
- (2) 大学課程奨学金
- (3) 専門的訓練補助金
- (4) 研究グループ交換補助金
- (5) 教師奨学会：身体障害者、肢体不自由及び教育の遅れている者のための教師奨学金
- (6) ロータリー財団に合致する活動のための補助金

財団の目的にふさわしい国際理解の増進のための企画に対して一定の条件

のもとで、補助金の支出ができます。

しかしこれは、ロータリークラブ又は地区が提唱し、しかもその経費の一部をクラブ又は地区が負担しなければならない。

B 申請資格の内容

	大学院	大学	専門的訓練	研究グループ交換	教師
教育程度	学士又は同程度	大学2年修了又は同程度	研究機関に於ける入学資格に合致し常勤2カ年の専門的経験を有すること。高校卒又は、同程度以上	健全な一般教育及び過去少なくとも、2カ年の事業上又は、教育上の満足な経験を有すること	高等学校卒又は同程度の人であって身体障害者の教師として、最少2カ年の経験を有すること
年齢	20～28	18～24	21～35	25～35	25～30
性別	男子及び女子	男子及び女子	男子及び女子	男子	男子及び女子
自元未婚の別	既婚又は独身の男女	未婚の男女	独身者又は既婚者	独身者又は既婚者	独身者又は既婚者

C 奨学生及び補助金受領資格者の選考基準は次の通り。

1. 親しみ易い個性の持主で、海外及び自国での公開講演のできるもの
2. 高度の学研能力又は熱心な研究態度をもち、協力的で、上品であること
3. 留学国の言語に熟練すること。

※ ロータリー財団教育補助金の改正

ロータリー財団奨学金の志願者は毎年3月1日までに、完全に記入した申請書および補足資料をスポンサーロータリークラブに提出することになっています。この申請書は提出してから一年半後の学年度における奨学金を受けるためのものです。本年3月1日にスポンサークラブが受付を締め切った申請書は1981-82学年度の奨学金を対象としたものです。

今年は奨学金の授与規定が大幅に変更されておりますのでご注意ください。

まず第一に、ロータリー財団管理委員会では教育補助金の名称を変更しました。これは、補助金の種類が逐年増加しているので、混乱を避けるため、名称を統一しようとするものであります。

これまでは、奨学金、補助金と名称が異なっておりましたが、今後はすべて「奨学金」と呼ぶこととなります。したがってロータリー財団が授与する奨学金は下記の五つとなります。1) 大学課程奨学金、2) 大学院課程奨学金、3) ジャーナリズム奨学金、4) 職業研修奨学金（従来専門的訓練補助金と呼称されていたもの）、5) 心身障害者教師奨学金。

各地区は毎年ロータリー財団への寄付金額に関係なく、これら五種類の奨学金のいずれか一つを受けられることになっております。どの奨学金を選ぶかは、各地区に委ねられます。従来各地区は基本的には大学院課程奨学金、大学課程奨学金、専門的訓練補助金の三種類のいずれか一つを選べるようになっていましたが、今回の変更で上記五種類のなかから選ぶことができるようになったわけでありす。

ロータリアン一名当りの寄付額が一定の金額を越える地区に対して授与される追加奨学金も上記の五種類のなかから選べることになりました。

今年の3月1日に締め切った申請のうちから規準に該当する候補者が選ばれ、クラブおよび地区での所定の手続きを経て、ロータリー財団の指定した締切日までに完備した申請書が提出された場合、1981-82学年度の奨学金が受けられることとなります。なお各地区は、正候補者が奨学金を辞退または受けることができなくなった場合にそなえて、補欠候補者を選んでおくことになっております。

以上は、各地区が財団の規定にもとづいて自動的に受けられる奨学金に関するものですが、そのほか世界各地から推薦された候補者全部のなかから選考によって授与される奨学金が設けられております。今年は、この奨学金に関する規定も少しく変更されました。従来はジャーナリズム奨学金と心身障害者教師奨学金の二種類だけでしたが、今回より職業研修奨学金（これまで専門的訓練補助金と呼ばれていたもの）が加えられております。1981-82学年度は、職業研修奨学金が100名分とジャーナリズム奨学金および心身障害者教師奨学金の二つを併せて150名分、合計250名分の枠が認められました。財団では各地区に対して、この三種類の奨学金を受ける候補

者をそれぞれ一名ずつ推薦し、それぞれ申請書を提出するよう奨励しております。ただしこの奨学金は、候補者を推薦したからといって必ず受領できるというわけではありません。また補欠の候補者を用意する必要もありません。

この奨学金受領候補者の選考は世界的におこなわれ、財団管理委員会では、スポンサー地区あるいは国に関係なく、基準に最も該当し優れた候補者のみを選ぶことになっております。

専門的訓練補助金の名称が変更され、職業研修奨学金となったのは、すべての有用で価値ある職業及び専門職業を奨学金支給の対象とするためであります。

ロータリー財団のプログラム拡大のため、以上のような変更がおこなわれました、これを周知徹底するため、各地区、各クラブ、各会員の広報努力が望まれます。各クラブでは例会でこれをテーマに討論会を持ち、まず会員間で理解の徹底を計る必要があります。さらにまた各クラブがこの点について地域社会住民の関心をたかめるために、できる限りの手を打たれることを望みます。特に区域内居住の学生には必ず知れわたるようにする必要があります。ロータリー財団では、各クラブがそれぞれの地元の新聞に掲載してもらえるように新聞発表用の原稿の見本資料を作成しております。英、スペイン、フランス、ドイツ、イタリー、ポルトガル、フィンランド語版で用意されていますので、希望者はR I事務局へ直接お申し込みください（日本語版はありません）。

注意 スポンサークラブによる奨学金申請書の受付締切は1980年3月1日。クラブはそれを同年4月1日までに地区ガバナーの手許に届けること、地区ガバナーは同年5月15日までにR I事務局に届けること。今年の申請書式では、奨学金の名称は以前のおりになっていますが、そのまま使って差し支えありません。

上記の変更について疑問があれば地区ガバナーにご質問ください。そして、せっかくの奨学金の機会を、志願者がいないために逃がすというようなことのないようにしてください。

3 ロータリー財団寄付者

わが宮崎西ロータリークラブロータリー財団寄付は、1979年12月(昭54)現在、会員数82名、13,641.26\$、1,600%に達しました。会員各位の御協力は当然のことではありますが、更らに下記会員その他の方々の御理解の賜であり、誠にありがとうございます。

ポールハリス・フェロー	竹内三郎	会 員	1,000\$
	阿南育男	〃	1,000\$
	竹野融	〃	1,000\$
	植松熊太郎	〃	1,000\$
	標本一郎	〃	1,000\$
	郡嗣彦	〃	1,000\$
ポールハリス準フェロー	堺久	〃	100\$
	小川次男	〃	100\$
	日高文雄	〃	100\$
	金丸一平	元 会 員	100\$
	新原秀丸	〃	100\$
メモリアル・コントリビューター	田崎松代	元会員婦人	20万円

4 教 育 補 助 金

ロータリー財団のプログラムの中、我々に一番身近な財団奨学生は1963年、英国に留学した今山喜久子君が、当地区内RCがスポンサーした奨学生の第1号である。以下、本年留学が決定している者まで、合計43名(下記)を数え、そのスポンサークラブは28RCである

留 学 年 度	種 類	氏 名	留 学 先		スポンサー RC
			国	大 学 等	
1963	A	今 山 喜久子	英	ダーラム大	熊 本
67	A	荒 川 義 弘	加	ダルハウジー大	熊 本
70	A	片 平 研 二	米	デューク	鹿 児 島 西
71	A	平 井 君 博	米	ブラッドレー大	別 府 北
	A	松 木 祐 子	米	フィリップス大	鹿 児 島
72	A	池 辺 啓 子	米	カソリック大	佐 伯
	A	浜 田 達 夫	米	ロチェスター大	延 岡
	A	中 西 賢 二	米	ケース・ウエタン・リザーブ大	鹿 児 島
73	A	阿 部 成 治	西独	シュシットガルト大	都 城 北
	A	池之上 克	米	南加大	鹿 児 島 西
	C	田 尻 恒 憲	濠	ブリスベン・トロピカル・パステリア	熊 本 南
74	A	横 手 信 子	伊	サンタ・チェチリア音楽院	山 鹿
	A	野 間 明 博	米	ブリガム・ヤング大	鹿 児 島 西
◎	A	二ノ方 俊 治	米	ジョージア・サザン大	鹿 児 島
	A	中 村 竜 彦	米	南ダコタ大	中 津
75	A	坂 本 泰 雄	米	南加大	熊 本 東
	A	山 崎 美 智 子	米	インディアナ大	鹿 児 島 西
	A	山 本 智 和 子	米	アウント・ホリオーク大	佐 伯
	B	大 山 哲	米	バンダービルト大	鹿 児 島
76	C	池 田 俊 雄	米	ランチョ・ロス・アミゴス病院	水 俣
	A	長 野 と よ	西独	RTヴィルヘルムス大	山 鹿
	D	原 田 新 也	米	シアトル大	鹿 児 島

留学 年度	種類	氏 名	留 学 先		スポンサー R C
			国	大 学 等	
	A	萩 尾 光 美	加	オンタリオ黙医大	延 岡 東
	A	有 山 道 夫	米	ケース・ウェタン・リザーブ大	鹿 児 島
77	A	宮 崎 洋 一	仏	プロバンス大	宮 崎 南
	A	森 一 郎	米	ニューヨーク州立大	伊 集 院
	A	伊 藤 重 剛	米	ミズーリ大	熊本江南
	D	佐 藤 賢之助	米	シラキューズ大	別 府 北
	A	北 本 康 則	米	エール大	熊 本
◎	B	前 田 真 一	米	ボウリング・グリーン州立大	玉 名
78	A	山 下 潤 思	米	クレイトン大	熊 本 東
	B	橋 本 悦 子	米	ワードバーグ大	熊 本 南
	A	林 田 信 夫	米	コロラド大	熊 本
	A	仮 屋 まゆみ	米	オハイオ大	鹿 児 島
79	A	長 谷 英 昭	米	フロリダ大	熊本江南
	B	岡 本 哲 明	米	ウイスコンシン大	別 府 北
	A	押 川 真 弓	英	ウエールズ科学工芸大	宮 崎 北
	A	高 野 定	米	ウイスコンシン大	熊 本 南
80	C	窪 田 恭 子	米	マイヤミ・デイド短大	延 岡
	B	松 元 美 紀 子	米	アラバマ大	鹿 児 島
	A	佐 藤 宣 明	米	イリノイ大	熊本西南
	A	内 田 晴 敏	丁	デンマーク工科大	宮 崎 西
	A	山 本 康 道	澳	ウイン音楽芸術大	菊 池

Aは大学院課程。Bは大学課程。Cは専門的訓練。Dは心身障害者の教師奨学金

☆ 氏名のうち姓は留学当時のまゝとした。

☆ 留学年度は表示した年から1カ年である。◎印のふたりの実際の留学は1年あとであった。

5 研究グループ交換（GSE）

1968-70年、第370地区との交換で来訪した第646地区（米国イリノイ州）チーム、団長ホバート・プレー君ほか6名を70年5月に3日間、受け入れたのがGSEを経験した最初であった。

チームメンバーの紹介

	氏 名	年 令	職 業
1	ホバート・D、プレー		保険代理業（R・C会員）
2	ロバート・リーチ	35	特別教育区次長
3	ウェーン・E、ハーショウ	34	新聞社次長
4	ハリー・ウィンドランド	31	電話会社勤務
5	ステファン・ギャクニー	28	船舶業者
6	ロバート・F、ハリソン	28	新聞社編集長
7	ノーマン・トーマス・トレンス	27	農林省勤務

宮崎地区での訪問、見学先

		訪 問 、 見 学 先			訪 問 、 見 学 先
5. 15	金	AM 都城発 ひる 宮崎西RC例会 PM はにわ工場、西都原古 墳見学 知事招宴	5. 17	日	教会礼拝 自由行動
16	土	AM 青島、サボテン公園見学 ひる ドライブイン・レストラン PM フリータイム	18	月	美々津ドライブインにて、 日向RCに引継ぐ

1969-71年、当地区第1回のGSEが米国ニューヨーク州の第717・719地区との間で行われ、69年9～10月、団長・伺笠広次君（中津）と下記6名の団員が2カ月にわたって先方を訪問した。

メンバー

	氏 名	推薦RC	当 時 の 職 業
1	加 治 屋 寧 人	都 城	藤屋(株)社員
2	山 本 良 高	中 津	医 師
3	大 園 純 也	鹿 児 島	南日本新聞記者
4	安 永 毅	熊 本	マリスト学園教師
5	吉 村 啓 右	熊 本	農林漁業金融公庫職員
6	村 上 忠 彦	佐 伯	二平合板(株)社員

先方からは70年9～11月、団長トーレ・ランダール君ほか6名が来訪、当地区に40日、第370地区に20日間滞在した。

チームメンバーの紹介

	氏 名	職 業
1	トーレ・ランダールPG	通信器製造 シャーバーンRC会員
2	アレン・E・キャスウエル	オネオンタ大学教授
3	ロバート・E・ジェナス	工場技師
4	ポール・ヘンヤル	電話技師
5	ジョン・O・リンデル	大学教授
6	デーヴィット・N・モッシャー	高校教師
7	ジョン・T・ローチ	航空写真

宮崎地区での訪問、見学先

		訪 問 、 見 学 先			訪 問 、 見 学 先
9. 19	土	AM 日向RCより引継ぎ PM 自由行動	9. 23	水	日南海岸観光
20	日	教会礼拝、自由行動	24	木	AM 工場見学 PM 平和台、西都原見学

9. 21	月	AM 市内会社、銀行、工場等見学 PM 県庁訪問、教育委員会訪問	9. 25	金	AM 都城北R Cに引継ぐ
22	火	AM 神社、学校見学 ひる 宮崎クラブ例会出席 PM 学校見学			

1973-5年、第2回が第642地区（米国イリノイ州）との間で行われ74年3～4月、団長・井上精一君（延岡）と下記5名の団員が1カ月にわたって先方を訪問した。

メンバー

	氏 名	推薦R C	当 時 の 職 業
1	前 田 賢 治	熊 本	高校教師
2	野 崎 勉	鹿 児 島	鹿児島大工学部助手
3	高 司 正 夫	中 津	高校教師
4	富 永 清 美	熊 本	弁 護 士
5	安 武 謙 二	熊 本	九州電気通信局職員

先方からは75年3～4月、団長バーナード・ガーキー君ほか5名が来訪した。

チーム・メンバーの紹介

	氏 名		氏 名
1	バーナード・ガーキー	4	ロバート・ヒル
2	デービット・マレー	5	ジョン・ミンク
3	トーマス・ピュー	6	ラリー・ジューラ

宮崎地区での訪問、見学先

		訪 問 、 見 学 先			訪 問 、 見 学 先
3. 23	日	大分から延岡へ	3. 27	木	市内観光
24	月	旭化成、延岡東R C例会、 恒富小等	28	金	市役所訪問 宮崎西R C例会
25	火	高千穂町へ	29	土	都城へ

3. 26	水	日向臨海工業地帯、日向RC例会、西都原古墳等			
-------	---	------------------------	--	--	--

1978-80年、第3回が第760地区(米国バージニア州)との間で行なわれ、79年4-5月、団長・岡村俊一君(鹿児島)と下記5名の団員が一ヶ月先方を訪問した。
メンバー

	氏名	推薦RC	当時の職業
1	池田憲二	別府	杉乃井ホテル社員
2	大崎孝一	宮崎	宮崎県庁職員
3	谷口博通	熊本江南	熊本支役所職員
4	浜崎泰昶	鹿児島中央	鹿児島大学医局員
5	大野達郎	鹿児島南	南日本新聞記者

先方からは本年(80年)3-4月、ティモシー・カー君ほか5名が来訪した。
チーム・メンバーの紹介

	氏名	年齢	職業
1	ティモシー・H・カー	42	カレッジ事務総長
2	デナード・スパディー	32	農場経営
3	ジョン・サムエル・ローディー	31	肥料販売
4	ウィリアム・リッチン	28	銀行員
5	S・ポール・パワー	27	株取引業
6	ダビット・ローリング	25	NASA研究センター勤務

宮崎地区での訪問、見学生

		訪問、見学生			訪問、見学生
3. 31	月	別府発9.35 宮崎着13.21 AM 宮崎神宮、平和台 市内4RC主催夕食会	4. 3	木	AM 宮崎医大 PM はにわ工場 県農業試験場 宮崎銀行招待夕食会
4. 1	火	AM 神前結婚式、県知事、 市長訪問 ひる 宮崎RC例会 PM 西都原古墳	4	金	AM (ヴォケーショナル ルスタディ) ひる 宮崎西RC PM 宮崎JC会員との 懇談会

4. 2	水	ヴォケーションナルスタディー (宮銀、経済農協連、建設 現場、ビニール・ハウス 園芸、宮崎交通センター、 宮崎高等工科学校)	4. 5	土	AM 宮崎上ノ都城へ
------	---	--	------	---	------------

1980.4.1～4の宿舎(西クラブ関係)

- | | |
|------------------|---------|
| 1. Dr・Kerr : | 小 田 真 道 |
| 2. Mr・Lorincz : | 志 田 克 彦 |
| 3. Mr・Powers : | 陶 山 信 |
| 4. Mr・Richeson : | 秋 山 久 |
| 5. Mr・Roady : | 新 恵 誠 |
| 6. Mr・Spady : | 阿 南 育 男 |

1980年(昭.55.4.4)

第760地区研究グループ交換チーム来る

団 長 ティモシー・カー

団 員 デナード・スパディー ジョン・ローディー

ウイリアム・リッチソン ポール・パワー

ダヴィッド・ローリング

【団長の挨拶】

宮崎西RCの皆様こんにちは。私はアメリカバージニア州の760地区からまいりました。我々のガバナー・ジムポップスと我々のRCのメンバーより、くれぐれもよろしくとメッセージとバナーを預ってまいりましたので、会長にお渡し致します。「バナーを交換します」(たどたどしい日本語のため皆爆笑)、GSEのプログラムは、すばらしい企画で、昔の諺の通り「共に歩こう、共に語ろう」と言う態度がお互を近づけると思います。我々が宮崎で過すときも、このようにやろうと思います。我々は人々の進歩のためにこの機会に日本の習慣や色々なことに参加し、アメリカに帰ってから役立てようと思っております。



第 8 編

主催した主たる行事

第 1 新会員懇話会

新会員懇話会の目的はロータリー歴 1～2 年未満の新入会員の同化に役立つようにとの趣旨で計画されたものである。

日 時 昭和 43 年 3 月 24 日
場 所 宮崎市ホテルフェニックス
登 録 12 時 30 分 - 13 時
懇談会 13 時 - 16 時
懇親会 16 時 - 17 時

ホストクラブ 宮崎西ロータリークラブ

出席者 総計 (84 名)

延岡 R.C	10 名
延岡東 R.C	10 "
日向 R.C	8 "
小林 R.C	3 "
都城 R.C	14 "
都城北 R.C	6 "
日南 R.C	7 "
宮崎 R.C	10 "
宮崎西 R.C	16 "

来 賓	R.I 第 370 区	ガバナー	向 笠 広 次
	R.I 第 370 区	パストガバナー	島 津 久 厚
		分区代理	田 崎 亀 夫
		"	川 越 信 一
	ビジター	鹿児島西 R.C 会長	島 津 忠 丸
		副幹事	紫 山 一 雄

プ ロ グ ラ ム

- 12:30-13:00 登 録
進行係 川 辺 幹 事
- 13:00-13:05 点鐘開会
国家斉唱 ローターソング 奉仕の理想
- 13:05-13:10 歓迎挨拶 来賓紹介 ホストクラブ会長 太古殿 和 丸
- 13:10-13:20 挨 拶
向笠ガバナー
島津パストガバナー
- 13:20-14:00 ローター解説 職業奉仕 菊 池 稔(宮崎西)
社会奉仕 竹 野 融(宮崎西)
国際奉仕 津 田 剛(宮崎西)
青少年奉仕 金 丸 一 平(宮崎西)
- 14:00-15:30 質疑応答
向笠ガバナー
島津パストガバナー
- 15:30-16:00 スライド
- 16:00 閉 会 川 辺 幹 事
- 16:00-17:00 懇 親 会
- 17:00 ローターソング(手に手つないで)
散 会

質 問 事 項

職 業 奉 仕

- 職業分類が限定されているとお聞きしましたが、限定された以外はなぜいけないのでしょうか。又同一職業は制限がございますか (宮崎西)
- 職業分類の範囲がせまいように思うが、これ以上拡大することは出来ませんか。
(宮崎西)

社 会 奉 仕

- 交通事故とロータリアン(延岡東)

- 金品の寄附や善行の表彰だけでなく、会員各自が手を下して奉仕することが望ましいと思われるが、各クラブの奉仕活動を見ると（これは年数が浅い者の考えかも知れませんが）あまりないようですが如何なものでしょうか。具体例を御教へ下さい。（延岡）

国際奉仕

クラブ奉仕

- 新会員を選任する場合何か選考基準がありますか（宮崎西）
- S.A.Aと親睦委員との任務の相違点及びその限界（延岡東）
- 100%出席者へ年数入徽章が贈呈されるが、これは正式のものではない由、贈呈及び着用の可否如何（延岡）
- ロータリーでは会員の親睦に重点をおいているが、例会だけでは仲々お互に親しみにくいので、もっと親しむ時間が欲しい（延岡）

その他

- ロータリーとライオンズとはどんな相違がありますか（宮崎西）
- ロータリークラブの入会には女子はなぜいけないのですか（宮崎西）
- バッジはネームプレートかどちらでしょうか、又大きさに制限がありますか
（宮崎西）
- クラブ定款第8条、第6節、其の他の理由に依る資格終結の基本線（延岡東）
- ロータリー協議会の討議では結論を出されない様ですが、その理由は（延岡）
- バナーはロータリーの正式なものか、又その意味と使用方法は（延岡）
- 推奨クラブ細則、第7条第一節（イ）の中の常任委員の意味と任務は（延岡）
- 米山財団のようなものを九州又は日本の全ロータリークラブで日本人の国内大学生の奨学制度を作ってはどうか（延岡）

ホストクラブ会長の歓迎挨拶

ホストクラブ会長 大古殿 和 丸

当西クラブがホストクラブになって今回の懇話会を開催します。会員の皆さん方多数ご出席頂きまして本当にありがとうございます。この懇話会は宮崎県地区では今回が初めてでございます。今まではインターシティ・ゼネラル・フォーラムがありました、それに代わるもの



と承っております。これを開催するに当りましては向笠ガバナー先生のご配慮とご指示を頂き又、本日はパストガバナーの島津先生、分区代理の田崎、川越両先生、ガバナーノミニ候補者の日高安壮さん方にご臨席頂いております。

こういう関係で我々がこれからより良いロータリアンになるための研究会でございます。限られた時間ではございますがお互いに各時間真面目に朗らかな気持で楽しいムードのうちにこれを終りたいと思います。どうぞ皆さんよろしくご協力下さいますようお願い致します。

ガバナー 挨拶

ガバナー 向笠 広 次

今日の会合でこれだけは是非とも守って頂きたいということを真先に申し上げておきますが、これは堅くならないで頂きたいということでございます。折角新会員懇話会という名前をつけまして懇な雰囲気の中で話し合おうと企画をしておりますが、多くの公的なロータリーの集まりがそうでありますように堅い雰囲気になってしまいますので、これを一番先に申し上げておきます。ここでたばこをお吸いになっても結構でございますし上着をお取りになっても結構でございます。どうぞ気を楽にしてやって頂きたいということをお願いしておきます。このクラブは佐賀、別府、戸畑に次い

で4番目でございます。外のクラブでは大体期待通り砕けた雰囲気の中で行われて参りました。やり方は全部ホストクラブにお任せ致しましたので各々様々でございます。このクラブでは後程ロータリーの各々の奉仕部門について一人が10分宛4人の方に解説をして頂くやり方になっております。その後「よりよき世界



のために」「ロータリーの情勢」という二つのスライドを行います。この時間が30分しか取ってありませんが40分かかると思っています。それで質疑応答の時間が1時間30分ございますが、ご質問をみますとそんなに沢山かからないような気が致しますので、10分減らしたいと思っております。

今年は明治100年といわれておりますけれどもポールハリスが生まれてから100年でございます。ポールハリスは100年前の4月に生まれております。1905年2月23日シカゴで国際ロータリーが生まれましてから63年目でございます。ご承知のように石炭屋さん、講談師、洋服屋さん、弁護士のポールハリス、この4人が最初にクラブを作りました。このいわれというのは大体ご存じだと思いますけれども、ポールハリスはシカゴのウィスコンシンで生まれまして3つか4つの時にニューイングランドのお爺さんお婆さんの所に連れて行かれ、そこで育てられたわけでございます。ニューイングランドの田舎が非常に純朴で人情が厚い隣人愛にあふれた人達が住んでおる所でございまして後にシカゴに移って弁護士を業とするようになりました。ポールハリスはそこで寂しくて仕様がな、何とか友達が欲しい、昔暮したニューイングランドの田舎のように人々が助け合って誰もが挨拶し合って暮せるようなそういう雰囲気の友達が欲しいということで考えた結果、違った職業の人が一人宛集まってクラブを作ったらどうだろうというので出来たのがロータリークラブでございます。順番に会員の家を回ったのでロータリーという名前がついたのだと言われておりますけれども、出来た一番始めはブスタークラブと言ったとこの本に書いてございます。ブスターというのは電気のブスターと同じ意味で定義付をするという意味でございまして違った職業の自分の友達の後押しをし、友達の仕事がうまく行くようにしてやろう。こうい

う意味でつけた名前でございます。そういうふうに自分が助けてもらおうということより人を助けることを考えたわけでございます。例えば洋服地の注文をするならば、会員の洋服屋さんに頼む、石炭を買うなら友達の石炭屋さんから買うというふうにしよいうというのがクラブの出来た一番最初でございます。しかし折角シカゴに住んでいながら自分の土地に対して何の奉仕もしないのはまずいのではないかとということで、地域社会に対する奉仕をする。更に又自分の職業を通じて奉仕をするというふうに承仕の範囲が段々と広まって参りまして現在言われておりますような世界社会奉仕というところまで広がってきたわけでございます。

一番新しい数字は先月末の数字を3月21日付の手紙で承ったものでございます。世界の141の国及び地理的地域という言葉を使いますが、地理的地域と申しますのは沖縄のような所が一つの区画になっているというふうにお考え下さればいいわけでございまして、141の国及び地理的地域の中に13,126クラブ、会員数627,500ということでございます。370区は会員数3860これが一番新しい数字で昨年度より300位増えています。

パストガバナー挨拶

パストガバナー 島津久厚

ロータリーというと若干窮屈な気持ちを持たれる場合があるようでございます。これは出席がやかましいとか或いは職業分類が厳しいとかこのようなことから来ているのだと思います。結局ロータリーは綱領を推進しなければならぬ、綱領というのは何かと言えば一つは沢山の人と仲



良くなるということ、その外に社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕などが歌われているのが綱領でございます。いわばその綱領を推進するための方法である会務というものは何よりも大事であり、国際奉仕や社会奉仕或いは隣と仲良くなろうということが常識として偶には現われて来ているように思うのでございます。今の4つの綱領の中でも

一番主になって参りますのはお互いに仲良く気持よくつき合うということではないだろうかという感じも致します。365区つまり関西地方のガバナーをやっておられました元京都大学総長の平沢さんが書かれた月信の中におもしろいことが書いてございます。平沢さんが方々の公式訪問をなさってある社長さんにその方の工場を案内された時のことでございます。例会場では堅苦しくションションとしていらっしゃった社長さんが自分の工場へお入りになった途端に水を得た魚の如くに元気発刺としていかにも気持良げに案内して下さった。それを見ながら例会に於いてこそもっと友達と一緒になのだからゆっくりした気持でのんびりと話が出来る時間なのにこれでは逆ではないか、自分の仕事場で肩の凝ったのをロータリーの例会ではほぐすということがあってもいいのに逆にロータリーでは疲れてしまって自分の工場に帰った途端に元気が出るということではこれはロータリーとしておかしいのではないかという事を書いていらっしゃいます。

当地区の様子を見ても又私自身の経験から致しましても日本人はともすると社交下手な中々人と会合を楽しむ、社交を楽しむということが苦であるという面が多いように思うのでございます。それを勉強するのもロータリーの一つの目的でもあろうかと思うのでございます。今日は特に各クラブの新しい方々が中心になりましてこの会合をお持ちになったわけでございます。先程ガバナーからも最初にお話がありましたようにロータリーというのは決して肩を凝らして勉強するものではございません。みっちりとのんびりと話合うのが今日の会合の親睦であろうかと思えます。どうぞそのように寛いで、自由活発なご意見を出して頂く事を私からもお願い申し上げます。

ロ　ー　タ　リ　ー　解　説

職　業　奉　仕

宮崎西R.C. 菊池 稔

本日お集り頂いております新会員の方の中には既によくロータリーを研究されて私以上に立派な見識を持っておられる方が沢山いらっしゃることと思えます。しかし話をするようにと仰せつかりました以上責任を果さなければなりませんので皆様のご協力を頂きまして耳を貸して頂きたいと思えます。

ロータリーの綱領の中に職業奉仕の原則が載っております。これを読み上げますと長くなりますし内容が非常にむずかしいのでありまして一回や二回読んでもわからな

いだらうと思います。これを私なりに解釈をしてみましたところ、これはロータリアンの各自が自分の職業を通じてその自分の地域社会に貢献することが職業奉仕である。こういうことであろうと考えます。この職業奉仕というものがあるのがロータリーの本当の目的であり、本質的な大事なこ



とであると思うのであります。何故それ程職業奉仕が大事なことであるかと申し上げますと、ロータリーの会員というものは第一の条件が当地社会に於て沢山の職業がございしますが、その職業を小分類の職業の中から一人選んでこのロータリーの会員であるという資格が与えられるからでございます。従ってこのロータリーの四綱領の一つである職業奉仕はロータリアンになった人に義務づけられるわけでございます。私共は自分が従事しておる仕事を天職だと思って励んでおるわけで、自分の仕事を決して疎かにしている者はいない。だから天職として恥じないような立派な仕事をして行かなければならない。立派に仕事をして行く事それ自身が職業奉仕であるそういうふうな考えておるのであります。然し乍らロータリアンの他にも私達の周囲には立派な職業奉仕をされておる方が多いのでございます。その方々と共に私共が社会を明るくし、立派にして行かなければならない義務があると思うのであります。私の方は毎月4回例会を開いてクラブ員同志お互いに話し合い或いは他に協力しあって自分の職業に努めておるものでございます。私共は今後皆さんや会員以外のあらゆる大勢の人々と接触し、ロータリーの会員でない人達にもロータリーを分かち与えて立派な社会を作らなければならぬと思うのでございます。社会奉仕の一つとして例えて言いますれば、この雇主と使用人の関係をどのようにしたらよいか、これは大きな職業奉仕の問題になると思います。又売買については一番討議される問題でございまして買う人は自分が金を溜めてその金で自分の欲するものを買うのですから買う人には買うという楽しみがあります。その買う楽しみを満足させる為には、売る人が買う人の気持になって十分サービスをして買う人の為になる品物を勧めて行く、こういう事が大事なことなのです。そうすることによってその売買は成立し、非常に滑らかな取引も行われそして又お店の繁栄にもつながるといふわけでございます。競争者関係の色々

なものもありますが、ロータリーの中には最も良く努める者には最も報われるという標語がございます。標語の通り努力をする者には多くの報いが来るこれは当然のこと、職業奉仕として大変立派なことだと思います。その他4つのテストというのがございますのでこれを増々研究してロータリアンとしての知識を広め勉強をして頂きたいと思います。奉仕については「奉仕こそわがつとめ」という本がございます。この本は以上述べましたような事について非常に詳しく懇切丁寧に説明がなされております。成程そうかな、人間というものはそのうでなければいけないのかな、という感じを再三受け核心に触れる言葉が載っております。新しい会員の方でまだ「奉仕こそわがつとめ」の本を読んでおられない方がもしあるとすれば一つ今日を期して読んで頂いてこのロータリーを益々盛んにして頂きたいと思います。

社 会 奉 仕

宮崎西R.C. 竹野 融

本日はガバナーから大に愚問を歓迎するとのことですので、私も不勉強の上、ブツケ本番で愚解説を提供して皆さんの質問の材料に資し度いと思います。

ロータリーの友誌の写真の大部分が社会奉仕に関するものであると云うことは、どのR.C.でも社会奉仕



的な活動が活発であり、又行い易いとも云へる併し乍ら社会奉仕活動はそれを主体にした他の団体もあり、ロータリーの真随とは云い難い。あくまでもロータリーの真骨頂は職業奉仕でありこれがロータリー独自のものとされている。したがって社会奉仕活動に関しては余り予算を使わない所謂アイデアを以って行うべきであると云うのが立前になっている。日南R.C.が与論を喚起し立派な市民会館を造ったことはよい例である。その地域の最も必要とするものを見出してそれに集中的に活動することが望ましいと云われているが、各クラブ共に頭を悩めているのが実状ではなかろうか。都市安全、交通問題、青少年の問題、精神肢体不自由児の問題、都市農村親睦等種々の課題があり、何れも難問題である。我がクラブでも農村との親睦について足掛りを

つけたが未だ足踏みのまゝに留っている。最近では社会奉仕も世界社会奉仕等と広汎となって来た。

島津パストガバナー等のお骨折もあって、フィリピンの農村復興や、韓国の緑化運動等にわが地区が協力していることは御承知の通りである。

ロータリーは慈善団体ではないとよく云われる。種々の寄付や、施設等に年々きまった様に物品を贈ると云うことは余り好ましくないとされている。

要は先に述べた如くその地域の最も欲するものを見出し、それに対して自主的に種々の方法を行って行くのが真の社会奉仕と云うべきであろう。

国 際 奉 仕

宮崎西R.C. 津 田 剛

各ロータリークラブに国際奉仕委員会というのがあるわけでございますけれども、この目的というのはどういうことであるかと申しますと、世界中のロータリーの無類の資源を利用して国際理解、親善及び平和を増進する努力に各自のクラブの全員を参加させること、こう一応規定し



てございます。先程から色々と言が出ておりますけれども狭い日本におりますとどうしても地域社会だけに目が向きます。会員の中には随分海外に旅行なさる方もいらっしゃるわけでございますけれども、一度海外に出てみますとロータリークラブがどんなに大きなものか又国際的なつながりを持っているかということを実に強く感ずるわけでございます。私は一昨年海外を旅行したのですがパリからローマまで2週間程のバス旅行をしました。ロータリーの徽章をつけておりますので私はロータリアンだといううちのボスもロータリーには入っているという事で俄然待遇が良くなり大にお陰を被ったことがあります。又パリの西ロータリークラブの例会に出席したのですが会長、副会長が出て来まして(フランス人から見ればベトナム人と余り変わらないような顔の黄色い小さい奴が行ったわけですが)大変歓待してくれまして、中には商売の話を持ち出して一儲けしようかと言い出したり、クラブ員ですら話すのは上手でござ

いまして、このようなことで成程これはここに書いてありますように国際的な大きな団体だということをも身をもって感じた次第でございます。大いに海外に目を広め友好の団体であるという意味から目標を発揮させると同時に又それによってお互いが国際知識も吸収しようという点で国際奉仕委員会というものは大いに活動しなければならない委員会であると思います。放っておけば目が地域社会に閉じこもってしまい何もしないで済んでしまうという恐れもあるのですが、やればいくらでも仕事があります。この仕事が4つ揃いまして1.世界社会奉仕2.組合せ地区とクラブプログラム3.国際青少年計画4.ロータリー財団、こうなっております。世界社会奉仕計画というのは国際ロータリー全体として目下世界中に12の計画を遂行しております。例えばチリ、タイ、ベトナム、ケニア、マレーシア、フィリピン等で病院を作ったり、学校建設に協力したり、農業技術を提供したり、無灯地区或いは韓国の緑化等の計画から判断することは皆さんご承知の通りでございます。このような事を各々計画して行っているわけでございます。

2番目の組合せ地区とクラブプログラム、当370地区は今年全国の717、719、721地区と組合せになっておりまして、当西クラブはニューヨーク州の719の組合せでクリスマスカードを送ると色々なことを行い親善を深めようというふうに努力致しております。3番目の国際青少年計画と申しますのは何と申しまして外国の留学生を受け入れ親善を深める又同時にこちらから外国に留学生を送り出すことであると思います。例えば延岡クラブにおきましてはミス アリソンミスという高校生を受け入れお世話なさっていらっしゃいます。この高校生は今緑ヶ丘高校に通学しております。私の所属します西クラブの例をみますと、今年の夏からアメリカの男子高校生を一人受け入れようということで目下準備を進めておるような格好でございます。これを受け入れますと今度は逆にこちらから一人優秀な青年を送り出すことも出来るわけですから。次は4番目のロータリー財団でございますけれども、これは各クラブによって色々違うかと思いますが入会の時に10ドル宛出しその外に年1ドル宛寄附する。その金の出し具合によって100%クラブ、200%クラブに分けられ、その他色々細かい規定がありますけれどもそのようにしてロータリー財団に寄附するわけでございます。外に委員会と致しまして、今週一杯国際ロータリー週間(3月17日～23日)でございますから各クラ

ブでも国際奉仕委員会が色々と催し物を出していらっしゃると思います。私の所属しております西クラブの例を上げますと本年は少し繰り上げまして3月15日に延岡に来ておりますところのアリソンスミス嬢を招待致しましてここで食事をし、本人の希望によって新聞社に案内致しました。続いて宮崎商業高校のインターアクトとの交歓会をやり、その後花嫁になってみたいと言うわけで大賀会員のご好意により花嫁衣裳を打掛で着せましたら我生涯最良の日であると喜んで帰ったということで親善になったと思うのでございます。昨年は宮大卒業のマレーシアから来ておるピオフィンカ君というのがおりまして卒業してマレーシアに帰るというものですからこの人をお送りするのに在宮外人を7~8名夕飯に招待致しまして色々四方山話をしたのでございます。

国際奉仕委員会というのは目先の問題ではございませんから放っておけばどうでもいいような事になってしまいますが、目を開けば広く世界につながって友達はどこでもおるのだということが実感出来るような同時に世界の知識を吸収出来るような委員会であると思いますのでどうぞこういう委員会の活動をお願い致したいと思います。

青少年奉仕

宮崎西R.C. 金丸一平

始めにお断り申し上げておきますが、私自身未だ新入会員を出したばかりでございます。話をせよと言われましても自分自身甚だおぼつかなく存じています。その点お許しを頂きたいと思います。

青少年奉仕につきましては色々なパンフレットが出ておりまして、こ



れは当然皆様方のクラブの方にもございますし、有能な皆様方を前にしまして迷惑かと思いますが、私なりに要約をしてみました。私が委員長を命ぜられまして9カ月、この間当クラブ内外のロータリアンの方々からお教えを受け又話を交しましたことを基としまして基本となる2,3の事項につきましてお話しをしてみたいと思います。青少年活動は各クラブの意志に基いて実施されているようでございますがR.I.が何

を考え何をしようとしておるのかということとは私共一応認識していなければならない事であろうと思います。R.I.はロータリアンがまず身近な青少年の手本となることであり、基本を示すことが今日我々が青少年奉仕活動として何もかもしていくことではないかというふうに考えております。近く実施に当ります重点は青少年の為にではなく、青少年と共にという基本的方針を示しております。具体的に身近な例を上げてみますと我々の周囲にも色々な青少年を対象としました行事が行われておりますが、私共がみまして立派な機関だなと思うようなことでも必ずしも青少年はそれに圧倒的な参加を示しておりません。その原因はその対象たる青少年の意向等が反映されていないということにあるようでございます。青少年活動の第一歩と言いますか、それは我々自身が若い者の考え方の中に溶け込んで行く事が大事かと思っております。それにつきまして、伊万里クラブでは勿論青少年教育に対するところの経済的援助であるとか品物を送るということは別になさっておりますが、その外に青少年との接触による一つ一つの積み重ねで参りまして身近な所から明るい青少年を作って行こうという基本的な考え方に依りまして、ロータリアン各々の立場を利用し趣味特にスポーツを通じて青少年と日常の話しを持つ機会を出来るだけ作るということに力を入れておられます。地域社会におけるところの多くの機関との協力という事が上げられております。1923年のセントルイスの大会に於きまして、世界奉仕活動に関するところのロータリーの方針決議34号が採択されました。これは当然クラブが手がけて行くべき事でございますが、すでにこの仕事を適当な団体が行っている場合クラブがその団体と協力してこれを増強し団体に重複した努力をするべきではないと言われております。個々の差がありますけれど、これは我々が常に考えて行かなければならない事だと思っております。又ロータリーの内部としまして3クラブ或いは4クラブとなる事態も起ころうかと思っておりますが、福岡市では昨年、年間事業計画を4クラブ合同でおやりになったところがございます。この仕事は合同でやろう。その仕事はクラブ単位でやろうという打合せ協議会というものをやっておられるところがあります。このような事も綱領の中に入れておかなければならないことだと思っております。ロータリークラブも社会奉仕活動をする事が望ましいと言われております。ロータリークラブの主要活動としてなされるのでございますから全員がそれに協力するという事は当然でございますし又ある意味においてはそれは確かに協力されておるといふことなのでございますけれども、この言葉はもっと積極的に理事会が手を添えて全員がやるのだという意味だと存じます。

一つ一つの活動として考え、特にそういった何かをやろうということになりますと、これは確かに難しい問題であろうかと思えます。しかし個々のロータリアンがそれぞれの職場に於て青少年との接触があるはずはありません。その場合により積極的にこれを進めて行くならば、我々には奉仕の理というものがあるのでございます。それで解決されて行くことではないかというふうに存する者でございませぬ。クラブの大部分が継続的に行われる活動としてボーイスカウトの協力、ワンダーフォーゲル、インターアクト、今度新しくローターアクト、この4つを聞いております。

第2 インターシティ、ゼネラル、フォーラム

昭和45年1月25日
於 県農協会館

プログラム

		進行係	ホストクラブ幹事	杉山 正一
12:00~12:50	登 録	(司会者、解説者、リーダー打合せ)		
12:50~13:15	点 鐘		ホストクラブ会長	吉賀 幸夫
	斉 唱	(君が代、奉仕の理想)		
	歓迎のことば		ホストクラブ会長	吉賀 幸夫
	ガバナー紹介		〃	〃
	ガバナー挨拶		ガバナー	日高 安壮
	顧問、司会者、解説者、		〃	〃
	リーダー紹介		〃	〃
	出席クラブ紹介		〃	〃
	分区代理挨拶		分区代理	田村 忠雄
13:15~13:25	部門別会場へ移動			
13:25~14:55	部門別討議			
	(A部門…商工会館3階)		司会者(分区代理)	田村 忠雄
1.	クラブ委員会活動と資金の配分		解説者(宮崎)	太田 良一
2.	青少年と対話の機会を持つために如何にすべきか		〃 (小林)	柳田 定美
	今後の老人問題に如何に対処するか		〃 (日南)	鈴木 善明

(B 部門…商工会館 2 階)

1. クラブ内部拡大と外部拡大の実績と反省
2. ロータリー財団への寄付の強化とその方策

(C 部門…本会場)

参加者の持ち寄り議案による

14:55～15:05 本会場へ移動

15:05～16:35 全 体 討 議

(部 門 別 報 告)

16:35～16:40 休 憩

16:40～17:10 研究グループ交換派米団員報告

17:10～17:20 講 評

17:20～17:25 感 想

17:25～17:30 閉会のことば

17:30～17:40 休憩、おしらせ

17:40～18:30 懇 親 会 (商工会館 2 階)

斉 唱 (手に手つないで)

散 会

司会者 (前分区代理) 吉村 武文

解説者 (都城) 林 実

// (延岡東) 園田 博典

司会者 (分区代理) 押川 公信

司会、ガバナー 日高 安壮

ガバナー 日高 安壮

パストガバナー 島津 久厚

分区代理 押川 公信

加治屋寧人



斉 唱 (奉仕の理念)







歓 迎 の こ と ば

ホストクラブ会長 吉 賀 幸 夫

本日は皆さんようこそ県内各地からお出下さいました。このインターシティー・ゼネラル・フォーラムは、過去数年間、中絶しておりましたが、今度、日高ガバナーにおかれましては、その重要性を考えられまして、今年度はぜひ実施したいというご意向でございまして、そのホストクラブを引受けるようにとのご依頼を受け、誠に光栄であると感激している次第でございます。

そこで準備を色々と致しましたが、何分にも不馴れのため何かとご不便をかけたり、不行届の点が多々ありますことを心配致しておりますが、どうぞご気付の点などは係の者に仰せつけ下さいまして本日のこのフォーラムを、短時間ながら有意義に、しかも爽りの多い会議にして頂くように祈念してやみません。これをもちまして私の歓迎のご挨拶と致します。

ガ バ ナ ー 挨 拶

ガバナー 日 高 安 壮

本日は皆様、多数ご参集下さいまして有難くお礼申し上げます。実は、今日は非常に残念なことに、ご参集が予想よりも少なくなりました。色々な事が重なりまして…一つはご承知のように流感でございます。風邪のためにお休みになっている方が非常に多うございます。それから一つは、あいにくと日南の市長選にぶつかりまして……それからもう一つは延岡市の仲田名誉市民のお葬式にぶつかりまして、こういうことがございまして南北両地区からのご参集が予定よりも相当減ります。非常に残念なことでございますけれど、これは地域社会の事でありますので己むを得ないことでございます。さて、まず、まだお正月でございますので明けましておめでとうでございます。それから一言お礼を申し上げたいと思います。それは昨年(1997)の11月8、9日に行いました鹿児島での地区大会に関しまして、当県から多数の会員並びにご家族がご参集いただきまして、ご承知のような盛大な地区大会を開催することができましたことを、皆様の、これは一重にご協力の賜として、ここに改めてお礼を申し上げる次第でございます。

インターシティー・ゼネラル・フォーラムという言葉は、皆さんは最近聞きなれない言葉だと存じます。さっき、吉賀西クラブ会長さんからお話がございましたように、最近インターシティー・ゼネラル・フォーラムは新人懇話会という形で、向笠パストガバナーのガバナー時代から行なわれておりまして、インターシティー・ゼネラル・フォーラムという名前は使われておりませんでした。しかしこれは私共のガバナー教育法にしましても是非やれということが大きく書いてあるのでございます。又かつて私共がロータリーに入会した時代には、インターシティー・ゼネラル・フォーラムは非常に大きな規模で活発に行われていたのでございました。私は長崎でその会合に参加したことも覚えております。当時私は入会早々でございまして、例の大丸の社長がその当時ガバナーでありまして非常に権威のある方でございます。その時の強烈な印象が今だに私は忘れることができないのであります。

どうか、今日は今年度も後半期に入りまして、いよいよ仕上げする時期になりましたので一日を有意義に勉強していただきまして、あと6月までの期間を充実して頂きたいのであります。そのためのこれは勉強会でございます。今までR.I会長が言われましたようにデビュー・アンド・レジャー。今までデビューし、そしてプログラムをリニューアルした筈でございます。地区大会で色々勉強されたことを検討していただくように、クラブフォーラムをお願い申し上げます。クラブ協議会で検討された新しいプログラムによって、この後半の半年を、一つ充実して頂きたいというのが私の願いでございます。どうぞよろしくお願い申し上げます私の挨拶と致します。

部門別討議 (A部門)

(司会者 田村忠雄)

テーマ(二)

青少年と対話の機会を持つために如何にすべきか

解説者(小林) 柳田定美

この青少年と対話の問題につきましてテーマを頂いたのですが、私自身が青年のつもりであったものですから一寸あわてました。色々テーマをひっぱり出してみたのですが、ざっくりばらんに言って各クラブにアンケートを出して、このテーマの通り実施したことがあるかどうか、そういうことをお尋ねしてみたのです。そのアンケートの

答が参っておりますのでご参考に申し上げます。尚後程この集計したものを各クラブに差上げますのでお持ち帰り願いたいと思います。先ずあなたのクラブは青少年との対話の機会を作ったことがありますかという問題でございますがこれについて返事がありましたところでは、その機会を作った、実施したというのが、宮崎・宮崎西・延岡・小林・でございます。尚断わっておきますが昨日までにこのアンケートの答が私の所に到着していないのが、日南と延岡東の二クラブでございます。それ以外は全部参っております。次に実施したその方法でございますが、宮崎西と小林はインターアクトの例会に会員が委員を含めて出席して話し合っていく。延岡はBBS運動を行っている人達と懇話会を開いたということでありまして。又宮崎西と小林は交換学生とインターアクト会員との会合に出席して彼等の声を色々聞いてみたということ。宮崎と小林はローターアクト会員の代表と懇話会を実施したということでありまして。

どういふ懇話会を行ったのかは後程お尋ねしてみたいと思います。その3番目は対話を行った場合に効果があったか、或いは成功だったということでございますが、全部(宮崎・宮崎西・延岡・小林)効果があったということでございます。次に各クラブはどの委員会が青少年問題については一番力を入れているかという問題でありまして、勿論一番多いのが青少年奉仕委員会でありまして、その次がローターアクト委員会、それに社会奉仕委員会もとり組んでいるというのが都城北・宮崎・宮崎西・小林であります。それからアイデア交換第1号に記載してありますが、若い人々に青少年問題を論議させ、あらかじめ示唆された計画によるデスカッションは、不平不満の緩和に効果があると言われているが、その可能性は、あなたのクラブにおいてその実施方法如何によっては可能であると思いませんか、或いはそうでないと思いませんか、ということについては殆んどどのクラブが可能性があるということでございます。第6番目がクラブとして或いはロータリアンとして真に青少年の声を聞く機会を作り或いは与える場として何が最も効果的であり且つ実施できる方法としてクラブ又はロータリアンのあなたの考え方は如何ですかということに関しましては、会員の職場において実施しているというのが宮崎西・都城北の2クラブでございます。ローターアクトを結成したほうがよいというのが宮崎西、日向。インターアクトを結成するんだとご返事があったのがえびのクラブでございます。7番目は、一つの機会としては、インターアクト・ローターアクトのような青少年のためのクラブを結成し育成することが国際ロータリーとしては提唱しております。

そこであなたのクラブとしては、インターアクトクラブは結成されていますか、或いは近々結成されますか。まだ全々見透しを立てていない。この三つの質問に対し、インターアクトクラブを結成したというのが宮崎西・都城・延岡・日向・小林で、ローターアクトクラブを結成したというのが宮崎・小林。ローターアクトを近く結成するんだと予定されているところは宮崎西・都城・都城北・日向でございます。第8番目にあなたのクラブにおける青少年対策に関する総ての予算は、クラブの総予算の何%にあっているかという問題ですが、宮崎12%、宮崎西5.3%、都城20%、都城北8%、えびの5%、延岡5%、日向5.5%、小林16.8%でございます。

では最初のテーマにかえりまして、青少年問題について色々の例を申し上げたのでございますが、話し合いの接点として、あなたのクラブはどのような問題を重点的に取り上げていますか。少くとも二つ以上チェックして下さいという問題ですが、教育のテーマとしましては高校、大学の問題、これが都城・宮崎西。それから入学試験の競争害の問題、之れが延岡。職業の部門におきまして社会人教育が大事だとおっしゃるのが都城・宮崎西・延岡・小林。それから対人関係を重くみるとおっしゃるのが宮崎西。就職問題だというのが同じく宮崎西。それから青少年の非行化問題、これについては環境を整備することにあるというのが都城・都城北・宮崎西。社会全体知識の向上を図るとというのが都城北・えびの・小林。話し合いの場として家庭の日を作るというのが都城・小林。出稼ぎの留守家庭、鍵っ子の問題をえびのクラブがやっております。日向クラブは現在のモーターレーゼーションの交通事故に耐える問題。大体以上のような集計となっております。これにつきまして何がご質問がありましたらお答え申し上げようと思っておりますが一応之れで私の解説を終わります。

(註。青少年奉仕部門の予算の総予算に占める割合が宮崎12%とあるのは6%に、都城20%とあるのは7%に訂正の旨発言あり。尚小林の16.8%はローターアクト結成準備費用合算の旨説明あり)

平田会員(延岡)第5番目のアイデア交換第1号のあらかじめ示された計画をたどり云々ということは、これは例へばどんなことですか。

解説者 クラブによって色々考え方がありますが、青少年を集めての場として、テーマをお作りになって、それに関する青少年達の主張といたしますか、ディスカッションの場といたしますか、討論をさせることでありますが、何かそのテーマをあらかじめ作る事……例えば交通問題でもよろしゅうございます。非行の問題。或いは大

学の問題。色々あると思いますが、そういうことでございます。

小金丸会員（都城）インターアクトとかローターアクトとか、そのどちらでもよいのですが、例へばインターアクトでみますと、どこのクラブでも殆んど商業高校といったような学校が多いようです。ところが、最近では普通高校におきまして非常に非行がふえたことが目立ちますし、現に都城でも先輩等とスクラム組んで高校生がパンフレット等を配って歩いたり、街頭を練り歩いたりした例があります。インターアクトクラブにつきましては一定の商業高校なら商業高校をとりあげてクラブを結成させ、ロータリーとしても一生懸命やっているようでございますが、その成果がそういった一般の高校或いはインターアクトに入っていない学校に対してどの程度に良い影響を及ぼしているのか、或いは又その他のそういった高校は放つてよろしいものか、そういう点につきましてガバナーなりのご意見を聞きたいと思っております。

日高ガバナー 私共は社会事業家ではない訳です。又行政当局でもないのです。そこで私共は可能な範囲で手をさしのべて行く。そしてそれを拓げて行くということが私共のやり方です。例へば商業高校にはやるけれど普通高校にはやらんでもというお話しでございます。今年のようなご承知のようなむつかしい状況で、いくらこちらから働きかけても向うが乗ってこないというものには、どうにもならない訳です。それですから先ず可能性のあるところからもっていくということをやらざるを得ない訳です。それですから延岡では普通高校をおやりになった。やはりある所では普通高校もできる。ある所では商業高校ができる。一つのクラブで二つも三つもというようには手が回らないというので可能性のある所で手をのべるという訳です。若しもあなたのクラブで余力があられるなら商業高校のみならず普通高校にも手をのべられることは何等差支へない訳です。それをおやりになることを私共に願う訳です。そこまで行かないということは、やはり色々な社会的条件が非常に影響しているということではないかと思っております。何もかもいくという程私共の力がまだ充実していない。先程も申し上げましたように予算の問題もございまして、やはり私共の限度内の仕事をやらざるを得ないということではないかと思っております。あなたのクラブが力があるなら都城市内のどの高校と同時にやりになってもちっとも差支へありません。皆さんのおやりになることを奨励している訳でございます。一つもロータリーは制限したことはございません。

鈴木会員（日南）私この席におきまして日南クラブからアンケートが届いていないと

いうことで非常に恥しい思いを致している訳でございます。実は事務局が宮銀の行内にございましてその文書が幹事に参りますのが遅れた訳でございます。今日は間に合わないから会場で説明するようにということで幹事と打ち合せを致しておりますが、会長として責任上日南の仕事のことにつきましてご説明申し上げたいと思います。

青少年問題につきましては日南ではロータリー奨学生を作っております、これは毎年1名ずつ優秀な生徒、特に家庭貧困という家庭環境からくるものと、成績の非常によい子ということで青年会議所とも連絡をとりましてロータリー奨学生を1名ずつ毎年出しております。選考は11月にありまして、既に本年度の分は終わっております。これは青少年委員会のほうから月額2,000円にしてくれという要求もきておまして、今年度の予算の編成につきましては一応2,000円ということでやっていたかと考えております。現在1,800円ずつやっております。唯今3名でございますので青少年委員会の大きな固定的な予算になっております。それと成人の日……これかずっと以前から続けてやっているのでありますが……成人者の代表に食事をしてもらおう。これは成人式にロータリーからも出席致しまして記念樹を渡しております。今年は特に代表者に和歌を一首額縁に入れまして、裏には日南ロータリークラブと署名を致しまして渡しました。代表者に額縁をやりましたのは今年が始めてでございます。

これは非常に好評でございましたので来年度からは各地区（日南には7地区ありますが）に対しまして代表者に一つずつやりたいと考えております。これは次年度の会長に申し継ぎをしたい。特に花にちなんだ訳でございますが私のクラブの今日出ていらっしゃる副会長の福岡さんが、「さざんか」にちなむ和歌を一首色紙に書きお渡しを致しました。これは読み人知らずでございますが、「さざんかが咲きさだまりて静かなり、花の咲く位置の確かさ」、という歌でございますが、これを特に下旬の意味を成人式で説明したいと考え準備して行きましたが、時間の都合で和歌を2回ほど朗読しただけでございます。そういう方法もいいのか……市長が非常に喜びまして、このアイデアはなかなかいいから是非続けてくれというようなこともございます。それから日南の場合におきましては、過疎地になっていくような傾向もございますので若年労働者の定着率ということを考えまして、ロータリークラブから勤労青少年ホームの建設という世論を起こしまして、これは本年

度着工することになりました。これはロータリークラブ、商工会議所、青年会議所
がそういう世論を全部持ち寄りまして市長のほうに提出しまして、既に敷地も決っ
ておりますので本年度実現できる見透しになっております。 以 上 、

解説者 唯今日南の方からお話しがございましたが、一寸テーマからはずれて別で
ございまして、あくまでも青少年との対話という問題を私はとり上げているつもりで
ございます。そのためには如何にあ べきか。あくまでもそうした多くの青少年と
集まる場を作る。ロータリーとしましてはインターアクト、ローターアクト、こう
いうのが一番適当じゃないかと思えます。そこで私共小林のほうでローターアクト
を昨年作りましたけれども、このたび宮崎クラブにローターアクトができましたし、
そこの会長さんと副会長さんがみえております。一つじかに青年のなまの声で、ロ
ーターアクトができて、その後いかがでございましょうか、或いは年配者との対話
や例会での話し合いの中にもどのようなものが出たかを簡単にご説明願います。

宮崎ローターアクトクラブ佐藤会長 私は宮崎ローターアクトクラブの会長を致して
おります佐藤でございます。宮崎ロータリークラブと会を持ちまして、私達若い者
の声というものを、一応集まりまして検討したのですが、若い世代における吾々の
考え方というものと、年配の方の考え方というものが果してどの考えにおいて一つの
接点を見い出して、その接点をお互いが納得できるような状態で、その話なり主旨
を理解できるなということとはなかなか難しい問題だと思えます。私達若い者にとっ
て将来というものがあります。その将来というものに夢をかけたい。先程ガバナー
がおっしゃいましたように可能性というものを信じたいという純情な、所謂無垢な
気持で社会というものに生きて行きたいという気持があります。ロータリークラブ
に何を求めるかという、私達に出来ない面のよきアドバイザーになって頂きたい
ということであります。私達若い者がある面では出来るのではないかと一つ
の考えと申しますか信念と申しますか、そういう気持に立って行動して行きたいと思
います。それは社会的にみて、道徳的にみて、それが美德と道徳観念にかなった美
しい行為である。そういう事だけに走るのではなくて、そういう気持が自然に、或
いは自分から出ていく、そういう気持に早く私達がなりきれるように……………そ
ういう気持になりきれ人間が沢山集まることによって社会というものは非常に美
しくなっていくのではないかと思います。ロータリークラブが果して必要か否かと
いう問題を私に問われた時に、先ずロータリーの定款を読みました。その主旨

は非常に立派なものでございます。

これは一つの国ということに例えれば憲法という問題があるし、一つのグループ或いは会社にとりまして一つの定款というものがああります。それは一つの国を作る単位とか会社個々の単位における事業目的或いはどうあるべきかという目的、これは非常に立派なことだと思います。その立派な目的、それは皆さん誰しもが理想として、又その理想に近づきたい、これは人間本来の本能だと私は思いますが、そういう美しい、そういう理想的なことに素直には入って行って、それが又素直に行動に移して行ける、そういう人間になるため私は今回のローターアクトクラブに参加させて頂きまして、一つ純情な気持でやってみたいと思いました。ロータリークラブに何を求めるかという問題ですが、私は今までそういう機会もありませんでしたし、素直に申しますと会社なり商店の経営者の方々所謂宮崎県の財界の方々のお集まりというような印象を私共受けておりました。それはそれなりの立派な主旨を持って社会に奉仕する、その精神を私共も尊重して、私共の力のない点、或いは財源の足りない点、それはそれなりに相談を致しまして一生懸命ロータリークラブのその主旨に基いて頑張ってみたいと、かように考えております。唯今のところ私共は一つの型にはまっておりますが、その型にはまった足かせ手かせ、そういう窮屈……今のところ確かに一寸窮屈ですけれども、そういう窮屈さが素直に自分の手からはずして行って、それが社会に早く環元できるような、そういう人間に自分というものを自からの足かせにして頑張ってみたいという気持であります。

解説者 どうも有難うございました。さて、ローターアクトクラブはどうやって出来るか。多くのクラブではまだ準備に追われていらっしゃるかと思います。宮崎クラブにお聞きしましたところ、ロータリアンの事業所から数名ずつ会員として出されたそうでございます。一方小林クラブは、ローターアクトは会員の事業所からは現在1/3程度でございます。残りの2/3は殆んど一般からでございます。というのは何故かと申しますと、小林クラブとしては所謂PRということも考えまして、会員からは頂き易いけれど、一般の中から若い青年男女を集めようではないかということで引張ってきた訳でございますが、その選抜は会員が推薦したり、ローターアクト会員が推薦したものをローターアクトの理事会で審議にかける。そして実際的に例会に出席する。そして成績の悪い者はどんどん落していくということで46名程度までふくれ上ったのですが、そういったものをカットしまして現在36名で

す。しかしまだ現在ふえつつあります。非常に素質のいい青年男女の集まりになるうかと思えます。それから経費の面でございますが、殆んど最初作る時だけで、あとは経費はいりません。あくまでもその青年男女の自主運営ということを目指してしております。青少年と対話の問題。インターアクト、ローターアクトを作り、これを接するという事。しかしあまりにも地域社会が広すぎます。何かの目標を決めて、それから対話の場を決めて行く。それがよろしいのではないかと私は考えております。

どうも永い間有難うございました。

テーマ(三)

今後の老人問題に如何に対処するか

解説者(日南) 鈴木善明

今日は突然私がピンチヒッターに立った訳でございます。実はこのテーマの解説者伊勢木さんは高野山のある会の副議長もしていらっしゃいますし高野山でのいう位では2番目だそうでございます。大僧正でございますが、非常に老人問題についてご研究なさっておる訳でございますけれど、急に流感のために出席できなくなりました。急拠今朝交替致しまして私が解説者ということでございます。資料も整えませんが私自身とまどっているような訳でございます。特に現在では、これは経済同友会のある講演の場合でございましたが、現在老人問題をいかに対処するかということになりますと、これは比重を占めるものが一番行政面の問題であろうと、こう考える訳でございます。施設の問題と教育の問題の二点があるのではないかと。教育の問題につきましては我田引水のようなことを申しまして大変失礼ですが、私県の社会教育委員長も致しております特に家庭教育学級のカリキュラム、いわゆるプログラムを作る責任がございます。その家庭教育学級でやる高齢者に対する学習のプログラムを昨年作り上げまして各学校その他には渡しておる訳でございますけれども、こういうような家庭学級の教育資料というものを渡してございます。この中で高齢者を対象とした所謂学習内容というものを作っております。これは宮大の先生2名と社会教育担当者が2名、

P T A関係その他約8名で構成している委員会でございます。その方面につきまして老人対策という意見を少し述べさせて頂きたい、こう考える訳でございます。大変粗雑でございますが、昭和43年の簡易生命表によりますと、現在の寿命というものはどれ位伸びているか、これは男が69.05、女が74.3というような平均寿命になっているようでございます。ところが今までの伸び率をみますと43年度は非常に減っております。その減った原因と申しますのは矢張り交通事故が一番大きく響いている。それと公害による生活環境が非常に悪くなってきておる。それから生活環境による老人の抵抗力が非常に弱まってきておる……………というようなことが言われております。

ちなみに昭和10～11年の平均寿命は男46.2歳、女は50歳でございます。それが太平洋戦争の終わった20年、これの平均寿命はなんと男は23.90、女は37.50というように減ってきております。ところが現在核家庭という言葉がございますが、昭和40年までは核家族、所謂世帯人員の構成と申しますと4.48でございます。これが昭和60年になると3.38になる見通しである。これは経済同友会の講演で聞いたことを記録していた訳でございますけれども、ところが中央社会福祉審議会というのがございますが、これは確かにあてはまっておりますして44年度には60歳以上の人が全人口に占める割合は6.9%でございます。昭和60年になりますと9.5%に変って参ります。昭和70年度には12%と非常に高齢人口という問題が大きな比重を占めてくるということでございます。現在ロータリークラブで老人問題についての討論会は、私はロータリー歴は非常に浅いのですが初めてではないかという気が致します。青少年問題については、インターアクトなりローターアクトなりワンダーフォーゲル、そういうもので盛んに論議されて参りましたが、老人問題については私はこのフォーラムが初めてではないかという気が致します。

先程申し上げましたように数字的に見ましても今後の日本の全人口のうち高齢人口の占める割合が昭和60年には既に一割に達するのだ。昭和60年日本の人口を一億二千万と仮定しましても千二百万というのが60歳以上の人になってくる訳でございます。そのかわり若年労働者が非常に少なくなっていく。核家族が発達してくるというようなことで、今後は平均寿命が伸びに従って、特に老人の生活が非常に精神的にも物質的にも苦しくなるのではないか。こういうことを言われております。

その点から申し上げますと、これはロータリーとしてはどうにもならない問題でございますが、所謂施設の問題と教育の問題が出てくる。現在教育の問題では、ライフ

ンスターディ即ち障害教育という言葉が使われておりますけれども、老人に生甲斐を見出すためにはどう教育を施していけばよいか、又ロータリーとしてはどのような方法で具体的にやっていくか、というようなことを考えていかねばならない。今まで老人クラブの訪門だとか養老院の慰問、それだけにロータリーの仕事は終わっているのではないか。養老院の慰問につきましても例えばお金を一万円包んで持っていくとか、そのようなことで終わっていたのではないかというようなことを考える訳でございます。これは私が経験したことでございますが、私が社会奉仕委員長をしております時に養老院に参りました。その時に話を聞かせて下さいという要求がございました。養老院に行きましてそこに入っている54名の人達が全部集まりまして約一時間半に亘ってお話をしたことがございます。私学者でもなければ教育者でもございませんで何を話してよいかわかりませんでしたのでロータリーというものについてお話しを申し上げたことがございます。

この養老院に入っていられる方々をみますと、実際には自分の子供が成人して立派に社会生活を営んでおりながら親を養老院にやっているという方も見受けられます。これは同じ日南市のことでございますのでそういう家庭を私共はよく知っている訳でございます。そういう問題から考えてみましても、これは施設と教育の問題、この二つの柱が今後の老人の対策ではなからうかと考えます。現在養老院に入りたいと希望している人は……………これは老人ホームでございませが……………約20万人おるそうでございます。その中で実際に入ることのできる施設の定員は7万人しかない。あとの $\frac{2}{3}$ は入ることができない。これは国家や政府の行政の面もありますが、やはり市町村におきましてもそういう面が出てくるのではないかということを考える訳です。コミュニティー・サービスということ考えた場合には、先程一寸余計なことを申しまして柳田さんにご迷惑かけましたけれども、その時出しました勤労青少年のホームの問題のように、そういう世論の喚起というのがロータリーの一つの仕事ではないかと考える訳でございます。特に養老年金制度である国民年金におきましても無拠出、即ち金を出さずに出てくる金というのは1年1,800円しか出してない訳です。現在これは10年年金でございまして1,800円。ところが今度妻の加給金も加えて20,000円となるというようなことも新聞の社説に書いてございませが将来吾々もそういう立場になる訳です。どうやって本当に生甲斐を見つけながらやっていくか。唯政府の年金だけに頼って生活していくのか、という考えでは駄目でございます。働

く意欲というものを持たせるということを考えていかねばならないのではないかと、こう考える訳でございます。私は解説者ではなくて、皆さんの中からそういう対策についてのご意見、こういうものをお聞かせ頂きたいと存じます。

司会者 宮崎クラブの社会奉仕委員会で老人クラブの対策について老人の方の意見を色々聞かれたことがございます。宮崎クラブの社会奉仕委員長にその事を報告させたいと思います。

宮崎クラブ、菊池社会奉仕委員長

去る1月14日、老人クラブの方々……といっても宮崎市の老人クラブの会長その下に宮崎市内に色々の老人クラブがありますがその会長さん達に集まってもらい、それを世話する宮崎市福祉事務所の方お1人と計6名集まってもらいました。私の方からは会長、幹事、社会奉仕委員長、それからここにいらっしゃる司会者の田村先生に出て頂いて老人にぎっくばらんなことを聞いたわけです。何故こういう目論見をしたかと申しますと、本日この会合で唯老人クラブのことをしゃべっても仕様がなかろう。何か一つ思い切ったことをやってみようというのでやった次第でございます。今解説者が言われました通り私達の社会奉仕委員会も年末に老人ホーム、カリタスの園や綾町という田舎の寝たきり老人を訪ねて沢山の贈り物をしておりますが、こういうことをしてどうなるのだろうか、年々物価は上るし、持って行く金額も年々上っていきますので、こんなことばかりしていて何の為になるのだろうか………と考えたものですから今回このような会を持つことになったのでございます。老人達の話聞いてみますと、彼等は解説者が言われた通り吾々にも仕事を与えてほしいということでございます。老人でございますから昔だったら簡単な仕事がありました。例えば孫の守りをするとか、風呂たきするとか。そういう簡単な仕事もあったのですが現在は教育ママというのがおりまして孫の養育をしていると、そんなことをしてもらったのでは子供の為にならないと言って孫を取り上げる。風呂をわかそうと思ってもガス風呂になったりしておって仕事なくなった。全く簡単な仕事さえ取り上げられてしまっ仕事してほしい。それで宮崎ロータリーからは、では仕事についてこういうのはどうかということで色々話し合ってみました。例えばエレベーターガールは今日のように人手不足の時は老人にしたらどうかとか、或いは県庁の守衛等とかエレベーターも全部老人にする、そういう法律を作れば老人の仕事の場というもの是可以ののではないかと。或いは簡単な事業、粘土

細工を作ったり焼き物を作ったりするようなこともできるのではなからうか。一つこのように法律化していけばだんだん老人でも出来る仕事。老人でできる仕事には若い者はつかせないという事でやれば相当できるのではなからうか。或いは花作りの問題、そういうような話し合いもありました。それから今講演の話がありました。ある老人クラブの会長さんは講演を聞いて何の為になったこともないというようなこともおっしゃいました。何故かと言うと、例えば講演を医者がすると、色々医者が健康になる話をしても宮崎市という地域にいる老人にそういうのはピンとこない。やはり本当の老人の人の体験というものが、必要ではなからうか。私がかつて老人クラブで話をしました時、キス、接吻の話をして、つばにはムチンというのがあるから、キスしてもそう不潔なものではないというようなことをある本で読んだものだからその話をしたことがあります。そういうことをよく覚えていて、数年前に話したのですが、この前の晩にああいう話は面白かったと言う方がおられるのでございます。だからまだ健康で、そして働き盛りの私達の考えで講演してもピンとこない。というのは、そんなことは俺達は知っている。そんな話はもう嫌だというような講演が相当あるのではないかと思います。講演というものは職業のないああいう老人に対しては色々考えてしなければよくわからないと思います。老人クラブは現在宮崎に100近くありまして8000人の人がおります。そしてその中に入っていない老人も沢山いるのです。職業を持っている老人と職業を持っていない老人、即ち老人クラブには入っている人が一体どの位の年金をもらっている人がいるかという約1%とか言っておりました。以上その概況をご報告申し上げます。

細川会員（宮崎） 先程のお話の中にありました寝たきり老人と元気な老人の二つに分けて、寝たきり老人は、これは、働くことができませんのでこれは別と致しまして元気な老人に対する仕事のごとでございますが、例えば公園の掃除をする場合にニコヨンにさせずに福祉事務所のほうで老人にやらせるというような条例を作ったらどうですか、というふうに申し上げました。又、私達の職場の中に、ひょっとしたら老人に適する草むしりであるとか、その他色々な仕事があれば、うちにはこういう仕事があるんだという事を老人クラブのほうに持っていくことが差し迫って具体的な案じゃないかと思います。

解説者 東京都では昨年12月に老人の医療費の公費負担制度というのが出来ておる

ようでございますが、そういう問題もロータリーの世論として起こすということも考えられるのではないかと思います。

司会者 時間が参ったようでございますので、非常にまずい司会でございましたがこれをもちましてA部門の討議を終らせて頂きます。

部門別討議 (B 部門)

(司会者 吉 村 武 文)

(テーマ 1)

クラブ内部拡大と外部拡大の実績と反省

解説者 林 実

(テーマ 2)

ロータリー財団への寄付の強化とその方策

解説者 園 田 博 典

(本討議分は全体討議より収録)

報告者 吉 村 武 文

B部門は第一がクラブ内部拡大と外部拡大の実績と反省。第二がロータリー財団への寄付の強化とその方策でございます。

先ず第一のテーマにつきましては都城の林さんが解説者として色々ご説明を願った訳でございます。内部拡大につきましてはその責任者は会長であるとか、又はそれに直接タッチしている役員の方のみの責任ではない。それは会員一人一人が、内部拡大のための委員会の一人であり又は委員長であるという自覚の下に自分のクラブに優秀な会員を誘い込んでくることに責任を持ってもらわなければならないということでございます。第二に職業分類委員会に責任がある。時々職業分類委員会を開きまして新しい職業分類を検討したり、又は未充填職業分類を会員に周知せしめて新会員獲得の途を開いてやるのが大切であります。三番目には会報委員会の責任です。ということは開放された職業分類に対しまして会報委員は十分なる知識を会員に与える義務がある。次にロータリー情報委員会は当然新会員を迎えるに当たってのロータリー情報を十分に流さなければならぬし、その外新会員の増加につきまして各会員は協力一致して速かにその会員を優れたロータリアンにする義務を持っている。又広報委員会におきましてはロータリーの知識というものを常に広報して新会員が或いは候補会員が

ロータリーには入り易いようにする必要があるということです。次に外部拡大の問題でございますが、昨年度のR I会長東ヶ崎さんが会長に就任された頃のことと思いますが、私の会長時代に全世界に1,000クラブ、10,000人の会員増強を図りたいと書かれた文章を見たことがございます。その昨年度におきましては世界で540クラブが出来ました。これはロータリー始まって以来の新記録だそうであります。そういうような大きな強化ができました丁度次の年の今年に当りまして果してそれだけのものができるかどうか。本年度上半期におきましては112クラブができて、そのうちの25が10月からであります。後半期の約半年の間にどれだけ吾々が努力していかなければならないかということについて色々と考えなければならぬと思います。

私考えますことに、ガバナーという職責は、皆さんご存じでございましょうけれど、その一年間のロータリーの前進のために多大の努力を要求されておりますが、と同時にその地区地区に新会員を増強し、或いは新クラブを設立していくという義務を負わされているものでございます。そのためガバナーは日夜非常な努力をなされておられるのでございます。吾々国際ロータリー第373区の会員はガバナーがどういう目的を持って一年間ご苦勞をなさっていらっしゃるか、もう少し考えてみなければならぬと思います。

歴代のガバナーがその在任中にお作りになったクラブの数はそれぞれでございます。最近宮崎北クラブが出来て非常に喜んでおりますが、吾々の県から選出した日高ガバナーの時代において吾々はもう少し努力しなければならないことを反省しております。丁度拡大委員の増田さんが見えになりましたので本年後は宮崎県はどういう傾向になっておりますかとお尋ね申しましたところ、高千穂クラブ……………これは前々から準備中でありましたが、その他串間、西都、高鍋というふうな三つの新クラブ結成に関して色々調査していらっしゃるということでございます。どうか各クラブの皆さんは吾々の任期、所謂今年度の後半期になんとかこのうちからクラブを一つでも作りあげて行きたいというご決意をお願いしたいと思います。あのクラブの担当はあの地区の何クラブ、あの地区はこのクラブが担当、あのクラブが担当ということになりますと、あのクラブは何もしないということになる訳です。新クラブの結成は、その地区内の皆さん方の努力によるものでございます。あのクラブの担当だから口を出さないでおこうということがないように、全クラブの方々がそれぞれ担当しているようなお気持ちで情報を提供してもらったり或いはその他色々ご援助をして頂きたいと思

うのでございます。

では次にロータリー財団への寄付という問題に移ります。ロータリー財団の仕事につきましては解説者の園田さんが非常に立派な資料をお持ち下さいまして、ロータリー財団が発足以来今日までにどれだけの奨学金や補助金が出されその受領者数はどうなっているかというものを図解によって解説願った訳ですが、そういった費用と申しますのはこの10年間に飛躍的に増加致しまして大変な額に昇っております。例へば1964年1965年の年度におきましては奨学金を受けた学生は125名であったものが、1970年1971に至りましては296名、というふうに増加致しております。従いましてそれに要しますお金も最初は30万~40万前後のお金を使っておりましたが、現在におきましては121万140ドルという非常に多額の額に昇っておる訳です。ロータリー財団に対する寄付額もだんだん増加しておるのでございますけれども、財団から出しますところの奨学生の数及びそれに要しますところの金額も増加しておるのでございまして最初の頃から参りますとだんだん尻すぼみになっております。このようなことからR Iの委員長が年度の始めに全世界のクラブ会長にあてましてロータリー財団の指針はこうなっているから、どうか一つ皆さんのご援助を仰がなければロータリー財団の将来の計画は赤字になってしまう、或いはその一部を変更しなければならぬ状態になる訳で、何分よろしくお願ひしたいという苦しみを訴えられています。これに答えて全世界のロータリアンの方々の非常なご熱意を頂きまして、この間のガバナー月信にもありました通り1968年1969年度の帳尻を締めましたところが、153万7,669ドル、その前の年の帳尻が118万5,448ドルでございましたから、その差が大体40万ドル近くの非常な飛躍を遂げたのであります。このように財団の寄付が沢山残りましたのは今度が初めてでございまして、お蔭様でロータリー財団は非常に喜ばれ、これからも奨学補助金を与えるところのロータリー財団の活動に非常な力となるものであります。これはひとえにロータリーの皆さん方のご援助の賜であるということをおスミス会長の方からの礼状が一緒にはいっておりました。このように68年69年は飛躍を見ましたが、しかしこれは特別の手紙が皆さん方のお手許に参りますと皆さん方はそれに対してお答え頂いた訳でございまして、これをそのままおきますと、こういう風な自然的な資金の増加というものは何時までも続くものではありません。そのうちに又支出と収入とのアンバランスが起きるのではないかと。そういう問題もあるのではなからうかということがロータリー財団の今後の在り

方として非常に問題になってきました。それにつきまして色々話し合いが行なわれた訳でございます。その結果、ではどうやって財団の運営をしたらよいか、ということの話し合いをした訳であります。

ロータリー財団には皆様ご存じの通り各クラブロータリー財団の友というのがあります。ロータリー財団に寄付をするというのがロータリー財団の友という一つの方法でございます。この財団の友が出来ましたのが1959年でございますので今から十数年前の話でございます。その当時年間一人1ドルずつ寄付を致しましたならばロータリー財団の運営は非常に楽に出来た訳でございます。ご承知の通りに15年も経ちますと1ドルの価値も随分下る訳です。今日の1ドルと15年前の1ドルでは貨幣価値が違いますので財団の支出面において非常に苦勞が多いということです。

そこで皆さん方をお願いしたいことは、どうか15年、20年一率に年間1ドルではなくて、この辺で10対2、10対3というふうな値上げを実施して頂きたい。そういうふうになると財団の年間計上経費がだんだん楽になるのではないかと思います。どうか皆さん方お帰りになりまして先ず年間1ドルは一寸上げてやってもよいのではないかとご相談をお願いしたいと思います。現に延岡東クラブにおきましては本年度におきまして10対2の方式を採用したということを知りて非常に喜んでる訳です。どうか外のクラブにおかれましては10対2或いは20対2という新しい方式を採用して頂きまして、ロータリー財団寄付への絶大なるご協力をお願い申し上げます。それからロータリー財団の友に加入しているかいないかという問題でございますが、昨年の地区大会におきまして「おたくのクラブはロータリー財団の友にはいつていらっしゃいますかどうですか」というご返事を求めたところ、はいつているというクラブが26クラブ、はいつていないという返事をしたところが20クラブでございます。そうしますと半数近いクラブが財団の友に加入しておらないということになりますので、どうか皆さん方お帰りになられまして財団の友にはいつているのかいないのか、その辺から一つご協力をお願いしたいと思います。このように一体ロータリー財団にうちのクラブは必要であったのか、なかったのか、……………というのはこれはロータリー財団に対するところの知識が足りなかつたのであって、その足りないところをどうしたらよいかということでございます。

それにつきましてはガバナーからも色々ご説明がございましたし、私からもご説明申し上げましたけれども、どうかロータリー財団という仕事は非常に世界に誇るべ

き仕事をしているということをお先ずご認識願いたいと思います。今から約50数年前に始まりましたこの交換学生18名は、現在では年間300名近くを数え、今日まで約4,000名を越えようという大学生、高校生、研究グループの人達等を世界各国に交流させて知識なり経験なりを習得させているのであります。財団本来の目的は各国につながる友情と理解を深めることを主としている。その根本の目的は世界平和につながるものであります。こういう多くの財団学生を交換しているところは世界広しと雖も今までないようでございますし今後もないと思います。ロータリー財団と申しますのは非常に大きな奉仕をやっているというふうに考えていいのではないかと。吾々は善意をもちまして資金を出し合い、50年、100年、200年、300年に亘りまして若い青年達を各国に送っている訳です。そして彼等が持って帰った知識や経験がやがて世界平和に直接響いてくるのだということを確信してやっております。

現在既に第1回目を出ましたところの財団学生は24年経っておりますのでそれぞれ地域社会において立派な社会人となられておると推定致します。その一つの例としてデンマークの国連大使として今ニューヨークで活躍しておられる方も第1回の財団交換学生だったと聞いております。彼の話によりますと、私がこういう国連大使になったのはロータリー財団学生として1年間アメリカに留学させてもらったお蔭であるということをお公式の席上で述べておられますが、このことは吾々はその目的としたものへの収穫ということで大きく評価してよろしいのではないかと思います。

どうか皆さん方にはロータリー財団の認識を更に深めて頂きたい。そのためにはロータリー財団の認識を更に深めて頂きたい。そのためにはロータリー財団のお話を例会で2分や3分やっても駄目なんです。例会におきましては国際奉仕部門とか、職業奉仕部門等の部門におきましてはクラブアッセンブリーがございまして、ロータリー財団のためのクラブアッセンブリーというものも一つお作り下さいまして、十分な時間をもってご討議を願いたいと……………こういうふうをお願い致します。

その外財団学生を自分のクラブから送り出してほしいというお話もございました。金ばかり出して、この金をよそに持って行かれるとばからしいではないかというようなことになっては何にもならないのでございまして、皆さん方のクラブ一つ一つが奨学生を出せる権利がある訳でございますから、どうかこの点もご利用願いたいと思います。最後に仮りに皆さん方が誕生日に500円をお出し下さいましたら373区全員で、2,500ドルを超える寄付金が集まります。373区で2,500ドルの財団資金が出来る訳です。どうかこの2,500ドルの財団資金が出来ますよう皆さん方の絶大なご協力を申し上げます。B部門の報告と致します。

部門別討議 (C部門)

(司会者 押川公信)

No.	1	テーブルリーダー	藤	吉	雄	二
〃	2	〃	槇		清	敏
〃	3	〃	永	田	利	福
〃	4	〃	河	野	敏	雄
〃	5	〃	島	田		弘
〃	6	〃	大	野	正	年
〃	7	〃	小	泉		久
〃	8	〃	高	崎	竹	熊
〃	9	〃	竹	野		融
〃	10	〃	栗	林	東	五

(本討議は主として新入会員の持ち寄り議題についての討議であったが録音されなかったため、各リーダーから提出されたレポートによって収録した。)

安藤(延岡東)

職業奉仕とはどういうことかと質問があり、一同で討論の結果、R・I理事会のSERVICE THROUGH BUSINESSの宣言を4つのテストに照らして実行するということ結論した。

井脇(宮崎)

新入会員は入会時に新人卓話の機会がある外には、発言の機会が殆んどないがJ・Cで行なっているように、もっと個人意見の交換の時間も欲しいとの意見があり、大部分の人が同感であるのでその旨司会者に伝えた。

尾藤(宮崎西)

ロータリークラブの用語は理解しにくい直訳的なものが多いが、もっと解り易く出来ないかとの意見があり、この問題は何時も出る意見で、従ってそれらを取り入れられて逐次解り易くなる傾向にあるが、新入会員のための解説者の発行が望ましいという結論を、司会者に伝えた。

石神(都城北)

ロータリークラブの目的は職業を通じて社会に奉仕することとなっているが、結局自己のためにもなると考えてよいのかとの質問に対し、奉仕の精神とその実行が各

自の職業を繁栄せしめる最良の策であることについて理解して頂いた。

井脇（宮崎）

最も道徳的水準の高い筈のロータリークラブにおいて無届欠席があとをたたないことは遺憾であるが、この対策はないのかとの意見について、この問題は、公共心のレベルの問題であり、やはり無届欠席を恥じるムード作りと各自の自覚に俟つ外はないとの結論となった。

吉野（宮崎）

出席について最初は負担に感じたが最近はなれてきてあまり負担に感じなくなったが、例会については、その在り方がマンネリズムになったような気がする。

泷（延岡）

農業部門として入会したためか疎外感を特に強く感じる。特にメーキャップに行ったときにこの感じが強い。各クラブでは農業部門の推薦が少ないのではないか。

第 3 地区協議会

昭和49年6月22日～23日

於 サンホテルフェニックス



第 373 地区ガバナー

杉原 頼三（鹿児島南）

鹿児島いすゞ自動車株式会社 社長

昭和33年

鹿児島南ロータリークラブ創立会員



第 373 地区次期ガバナー

竹野 融（宮崎西）

竹野医院 院長

昭和35年

宮崎西ロータリークラブ創立会員

カウンセラー

竹野 融 (G・E)
 大津 篤造 (P・G)
 小田 一昭 (P・G)
 後藤 基彰 (G・N)
 八田 秋 (P・G)
 島津 久厚 (P・G)
 東 博仁 (P・G)
 吉村 武文 (延岡)

リーダー

杉原 頼三 (D・G)
 村川 健 (宮崎)
 右田 道夫 (熊本南)
 小池 歳男 (竹田)
 此本 正憲 (別府)
 丸田 美德 (都城)
 泉 喬 (熊本)
 佐々木 典綱 (鹿児島南)

次期分区代理

熊本県	北部	笹田 一	(阿蘇)
	西部	鶴田 令三	(牛深)
	南部	堀 円乘	(水俣)
大分県	北部	安部 信義	(杵築)
	南部	川田 重信	(竹田)
宮崎県	北部	津野田 嘉彦	(延岡東)
	南部	照屋 全功	(日南)
鹿児島県	北部	土橋 英夫	(鹿児島西)
	南部	副島 敏靖	(鹿児島)

1974年373地区 地区協議会プログラム

第 1 日

6月22日 土 (ローズA・Bアカシヤ会議室)

(参加者) ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、次期会長
 次期幹事、次期分区代理、地区資金委員長(当期次期)
 地区幹事(当期次期)

13:00 登録開始

14:00 点 鐘

国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

	開会のことば(ホストクラブ)	宮崎西RC会長	川 辺 政 明
	あいさつ・紹介	ガバナー	杉 原 頼 三
14:15	地区協議会の目的並びに構成説明	ガバナー	杉 原 頼 三
14:20	クラブ運営管理について説明及び質疑応答		
	1. クラブの委員会の編成	}	パストガバナー 小 田 一 昭
	2. クラブ例会の司会		
	3. クラブ協議会の司会		
	4. 理事会の目的とその会合の司会	}	パストガバナー 東 博 仁
	5. 財 政		
	6. 地区ガバナーの訪問		
16:00	休 憩		
16:10	地区運営報告		
	1. 地区財政について		
	(1) 会計報告	地区資金委員長	斉 藤 盛 吉
	(2) 予算案審議説明	〃	斉 藤 盛 吉
	2. 地区委員会について		
	(1) 地区世界社会奉仕委員会報告	委 員 長	日 高 安 壮
	(2) 地区ローターアクト委員会報告	委 員 長	八 田 秋
	(3) 地区ワンダーフォーゲル委員会報告	委 員 長	吉 村 常 助
	(4) 地区インターアクト委員会報告	委 員 長	大 津 篤 造
	(5) 米山記念奨学会報告	理 事	大 津 篤 造
	(6) 地区国際青少年交換委員会報告	委 員 長	島 津 久 厚
	(7) 地区ロータリー財団委員会報告	委 員 長	東 博 仁

(8) 地区拡大会員増強委員会報告

委員長 東 博 仁

3. 新たに採択された立法事項

ガバナーエレクト 竹 野 融

18:20 点 鐘

18:30 懇親晩餐会(1F芙蓉の間)

20:00 ロータリーソング「手に手つないで」

解 散

第 2 日

6月23日 ㊦

(参加者) 第一日参加者の外、カウンセラー、リーダー出席義務者

8:15 登録開始

8:20 カウンセラー、リーダー打合せ(会議室A)

9:00 点 鐘(開会) ガバナー 杉 原 頼 三

国歌斉唱

ロータリーソング「それでこそロータリー」

歓迎のことば 宮崎西RC会長 川 辺 政 明

あいさつ・紹介 ガバナー 杉 原 頼 三

9:20 講演「共に奉仕するわれらの年度」 ガバナーエレクト 竹 野 融

9:40 G.S.E 渡米報告 リーダー 井 上 精 一

9:50 休 憩(グループ別会場へ移動)

10:00 グループ別研究会

グループ	出 席 者	会 場	カウンセラー	リ ー ダ ー
1	ク ラ ブ 会 長	大ホールA	竹 野 融	杉 原 頼 三
2	〃 幹 事	大ホールB	大 津 篤 造	村 川 健
3	〃 奉仕担当理事	カトレヤ	小 田 一 昭	右 田 道 夫
4	職 業 奉 仕 担 当 理 事	ロ ー ズ A	後 藤 基 彰	小 池 歳 男
5	社 会 奉 仕 担 当 理 事	ロ ー ズ B	八 田 秋	此 本 正 憲

6	国際奉仕担当理事	アカシヤ	島津久厚	丸田美徳
7	ロータリー財団委員長	芙蓉の間A	東博仁	泉喬
8	広報委員長	芙蓉の間B	吉村武文	佐々木典綱

12:00 休憩 昼食(大食堂樹海) 食後本会議場に移動

13:00 研究と討論

クラブ定款細則

パストガバナー 吉村常助

14:00 閉会のあいさつ

ガバナーエレクト 竹野融

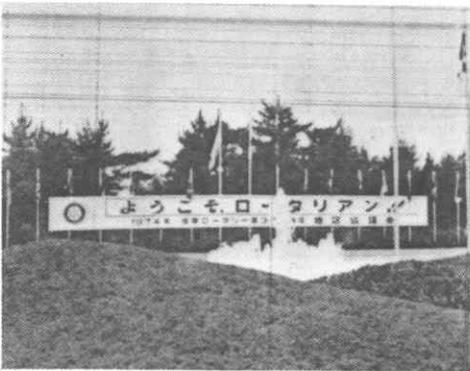
〃

ガバナー 杉原頼三

14:10 ロータリーソング「手に手つないで」

点鐘(閉会)

第 1 日



登 録



国歌斉唱



開会のことば



ガバナー挨拶



懇親晚餐会

第 2 日



会長あいさつ



ガバナーあいさつ



ガバナーエレクトあいさつ



クラブ会長部会



クラブ幹事部会



クラブ奉仕部会





職業奉仕部会



社会奉仕部会



国際奉仕部会



ロータリー財団委員長部会





広報委員長部会



第 1 日

開会のことば

宮崎西R・C会長 川 辺 政 明

ただいまより次期会長幹事協議会を開催致します。本日は遠路お越し下さりまして、まことにありがとうございました。

私共ホストと決まりまして以来、全会員が心をこめて準備に当りましたが、何分不慣れの為にミスが多々ありまして申し訳なく思っています。しかしながら、ご覧の通り、環境は申し分のないところでありますので、皆様のご熱心なご討議によりまして、より盛り上った会議にして頂きたいと思ひます。

そして次年度の373区のロータリーが益々さかんになりますことを、お祈りしまして、簡単ではありますが、開会のことばとさせていただきます。

あいさつ、紹介及び地区協議会の目的 並びに構成説明

ガバナー 杉原 頼三

ただいまホストクラブの宮崎西R・C川辺会長からご挨拶がありましたように、本日は国際ロータリー、373区の地区協議会に全地区内の次期会長幹事の方がご出席頂きましたことを心からお礼申し上げます。

(PG、GE、GN、分区代理の紹介あり)

「地区協議会の目的並びに構成」

第1日目は地区内の次期会長幹事だけにお集り頂きクラブ運営管理についての説明、及び質疑応答としてクラブの委員会の編成等6項目について小田パストガバナー、東パストガバナーにご担当をお願いしまして又、地区会計長の本年度の会計報告と次年度の予算案の審議をお願いします。

地区委員会については各委員長さんにご報告をお願いし、新たに採択された立法事項については竹野ガバナーエレクトからご報告をお願いします。

そして第2日目は出席義務者全員が出席して竹野ガバナーエレクトから次期RI会長ウィリアム・R・ロビンズ氏のターゲットの紹介と「共に奉仕するわれらの年度」についてのご方針をお話しになりますので、皆様充分おくみとり下さいますようお願いいたします。そのあと、グループ別研究会になりますが昨年度と違いますのは、ロータリー財団と、広報の委員会が加わって、8分科会となりました。

更にクラブ定款細則につきまして吉村パストガバナーからお話しを願うことになっています。どうか皆様方の次年度はみのある活動方針のもととして、頂くことをお願いしまして、挨拶をおわらせて頂きます。

(ここで本年度新設された阿久根クラブの紹介あり)

財 政

P.G. 東 博 仁

ロータリーの財政収入は年会費が主体となり、別に臨時或いは特別の会費がある。

(1) 年 会 費

R.Iでは入会金20ドル年会費25ドルを徴収しなければならないことになっ

ている。この年会費は甚だ少いと考えられるがこの中には食費及びその他の分担金は含まれていない第373地区各クラブの年会費は最高88千円から最低40千円となっているがその数字だけで、その高低を論ずることは出来ない。その地域性、行事の内容、特別会費の徴収方法等により差異が生ずる。

(2) ビジター会費

ビジター会費は食事代+通信費+手数料として食事代との差額を大きくすることは好ましくない。

(3) スマイル（或いはニコニコ）箱による献金

この金は徴収の性質からいって経常費に入れず社会奉仕、国際奉仕等に使用することが望ましい。支出については義務的支出或はこれに類するものがある。即ち人頭分担金、地区資金、地区国際青少年交換資金、ロータリー財団寄付金、ロータリーの友講読料、ガバナー月信講読料、ロータリー米山記念奨学会費、研究グループ交換資金、地区大会資金等がある。現在ドル換算率が277円となっているのでこれ等の義務的支出は半期11,127円となっている。ドル換算率は変更されることがあるので、送金の際は換算率を附記するとともにその資金の種目を明記するよう要請されている。

会費の収入の中に占める割合は65%～80%食事代はその30%～40%を占めている。

地区ガバナーの訪問

P.G. 東 博 仁

ガバナーの訪問には公式訪問の他にガバナーが随時訪問することもあり、或は又クラブの要請によって訪問することもあるが、最も重要な公式訪問について述べることにする。公式訪問は年度の前半なるべく早い時期に終了するよう推奨されている。

(1) 訪問の目的

公式訪問はガバナーがクラブを監査するためのものでなく同僚或は助言者として訪れ会長幹事と接触し相互に連携を密にするために行うものであり、その目的はつぎの通りである。

- (イ) ガバナーがすべてのクラブに個人的奉仕をすることが出来る情報を得るため。
- (ロ) クラブを励まし、有益な示唆を提供するため。
- (ハ) クラブに奉仕するのに参考となる情報を中央事務局に提供するため。

(2) 訪問の準備

ガバナーが必要書類を事前に関係先に送付し回答を求める。各クラブは事前に協議会を開くことが必要である。必要書類とは

- (イ) 公式訪問スケジュール照会文
- (ロ) スケジュール表
- (ハ) 諸報告資料用紙（委員会報告書をもって替えず、必ず会長自身が書くこと、又新クラブ設立については設立見込みが確実なもののみ記載すること）
- (ニ) クラブ計画及び目標の要約（全部記入しブランクを作らないこと）等であり、少くとも訪問の1週間以前にガバナーに到着するよう回答期日を厳守すること。

(3) クラブ訪問

- (イ) 会長、幹事との協議
 - a 腹藏なく話すため他人を交えない方が望ましい。但し分区代理は参加する。
 - b 最少1時間を要する。
 - c 準備する書類（省略）
- (ロ) クラブ協議会
 - a 2時間以上の時間をとり、全員の発言が望ましい（単に委員長からの報告のみに終らせないこと）
 - b 出来るだけ新入会員を参加せしめることが望ましい。
- (ハ) 例会出席

ロータリアンを励まし会員に感銘を与えるのが目的である。

例会日が月曜日である場合は必ずしもその前日会長幹事との協議会及びクラブ協議会をやる必要はなく、ガバナーと協議の上例会日の午前実施しても差支えない公式訪問が終って気が弛みその後の活動をおろそかにすることのない様注意が必要である。

第4 インターシティ・ゼネラルフォーラム

昭和52年1月23日

於 サンホテルフェニックス

プログラム

10:00~10:30	登 録		
10:30~11:00	点 鐘		
	開 会	S・A・A	鈴木敏道
	斉 唱	(奉仕の理想)	
	歓迎のことば	ホストクラブ会長	菊池 彰
	分区代理挨拶		
	並びに参加者紹介	南分区代理	安 楽 清
		北分区代理	藤 吉 雄 二
11:00~12:30	分科会討論		
	第1分科会(職業奉仕委員会の役割)		
		カウンセラー	島 津 久 厚
		リ ー ダ ー	永 田 利 満
	第2分科会(青少年奉仕の具体的方策)		
		カウンセラー	竹 野 融
		リ ー ダ ー	長 友 孝 允
	第3分科会(国際奉仕の推進)		
		カウンセラー	日 高 安 壮
		リ ー ダ ー	井 上 精 一
12:30~13:20	昼食 休憩		
13:20~13:50	激励のことば	ガバナー	塘 一 郎
13:50~14:20	分科会報告	第1分科会リーダー	永 田 利 満
		第2分科会リーダー	長 友 孝 允
		第3分科会リーダー	井 上 精 一

14:20~15:20	ロータリー情報	ロータリー情報地区委員	吉村 武文
15:20~15:25	分区代理謝辞	北分区代理	藤吉 雄二
15:25~15:30	閉会のことば		田中 秀男
15:30~15:35	斉唱	ホストクラブ副会長	
	点鐘	(手に手つないで)	
	散会		

R・I会長のメッセージ

ロータリーを私は信奉する

ロバートA・マンチェスターII

ロータリーは、1905年に、友好と職業における協力という理想を抱いた少数の人達で発足しました。

ロータリーの創始者、ポール・ハリスは、一つの地域内のさまざまな実業人および専門職業人の中から指導的な人物を選んでロータリー・クラブの会員にする、という方法を始めたのであります。この職業分類方式は、個々の各クラブにも、また国際ロータリーにも、広汎な視野を与えるという意味で、ロータリーという組織にとってきわめて大きな力となったのであります。

1911年に、当時既に結成されていた16のクラブが米国オレゴン州ポートランドで開いた第2回の大会で、シカゴのロータリアン、アーサー・シェルドン氏は次のように述べました。「職業を学ぶということは、奉仕を学ぶことである。**「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。」**

こうして、「職業における協力」という当初の考え方は拡大されて、「他人への奉仕」という、より大きな考え方に発展したのであります。

このあと、さらに二つの発展段階がありました。一つは「超我の奉仕」という標語がつけ加えられたこと、いま一つは、奉仕という一語をもって、四つの主要活動部門を持つロータリーの唯一の目的としたことでもあります。

その後におけるロータリーの運営面には大きな発展がみられましたが、以上に述べたことは、依然として、いまなおわれわれの組織の根幹となっているのであります。

会長として皆さんに申し上げる

私は次の信念を持っている

- (1) 各ロータリアンは、みんな、国際ロータリーのプログラムについて十分な知識を持ち、身をもってこれを遂行しなければならない。
 - (2) 国際ロータリーは全会員の一人一人に対して、(イ)奉仕の4部門による奉仕と、(ロ)すべてのロータリアンとの友好関係とを求めている。
 - (3) 各ロータリアンは、それぞれ、自分の職務や職業において、最高の道徳的、倫理的な模範を、つねに身をもって示さなければならない。そして
 - (4) ロータリーは、人間のすべてが健全で、尊厳と、自由の精神を確保できるように、この世界の人々が一つの目的に結ばれることを至上命令としている。
- そして、私はこの信念に一身を捧げております。
- 皆さんもそうしていただけませんか？

I . C . G . F	I . 職業奉仕委員会の役割について
の	II 青少年奉仕の具体的方策について
テ - マ	III 国際奉仕の推進について



会 場 風 景



分科会風景

歓 迎 の こ と ば

ホストクラブ会長 菊 池 彰



皆さん、今日は大変お寒い中にもかかわらず遠路わざわざこうして多数の会員がお集り下さいまして、誠にありがとうございます。

ホストクラブの宮崎西ロータリークラブを代表しましてあつくお礼申し上げます。

本日はご承知のごとく宮崎県南北地区合同のICGFでございますが、前例をみない390余名にわたる多数の会員のご出席をえましてかくも盛大なるフォーラムを開催することができますことを大変嬉しく存する次第でございます。

どうか、この一日が有意義な一日となりますように、ゆっくりとロータリーを通じて実ある人生であり、ロータリーに対して深いご理解を賜りますよう十分に勉強していただきたいと存じます。

なお、遠いところをこのフォーラムのためご来駕下さいまして、いろいろとご指導ご鞭撻下さいますガバナーを始め、カウンセラー、リーダー並びに南北地区の分区代

理の皆様には大変ご苦勞でございますが、何卒よろしく願い申し上げます。

誠に簡単ではございますがこれもちまして歓迎のあいさつと致します。

大変ありがとうございました。

分 区 代 理 挨拶

南分区代理 安 楽 清



本日、日曜日の朝早くから寒い中を、県下ロータリークラブの各位にははるばる御参集いただきましてあつくお礼申し上げます。

本日の15のロータリークラブの中から、登録381名他地区役員等を含めまして390名の参加者をえまして、本日只今からフォーラムを開催します。

本日は塘ガバナーは後ほどお見えになります。本日はパストガバナーの島津、日高、竹野るパストガバナーをお迎えしまして、また吉村ロータリー地区情報委員の参加をえまして3つのテーマに対する各リーダーをお願いしております。この方達は、見識、経験共にベテランの方達でございますので、この方達のご指導によって本日のフォーラムを行いたいと思います。

インターシティー・ゼネラル・フォーラムは、ご承知のとおり隣接の都市の方々が一同に集まりまして討論をする勉強会であります。綱領を要約しますと、ロータリーの情報及び教育にせまる手段として教育と広報をゼネラル・フォーラムといい、ICGFは、实际的で且つ有効な手段であります。ロータリーの一般の性格や計画等について研究討議しフォーラムを開催する事が推奨されているように書いてあります。

このようなわれわれに有意義なチャンスをいただいて、本日のフォーラムが有効にしかも実りあるものになるよう願って止みません。最後にホストクラブ宮崎西クラブの方達には本当に永い間、いろいろな計画をしていただきまして感謝にたえません。あつくお礼申し上げます。

どうかこのフォーラムを明日への新たな奉仕への糧になるよう期待して止みません。どうぞ本日は有意義な時間を過ごされるようお願いして私の挨拶にかえさせていただきます。

激 励 の こ と ば

=ロータリーの社会奉仕=

ガバナー 塘 一 郎



本日はみなさんお忙しい中をわざわざ奉仕の勉強にこういうたくさんの方々がお集まりいただき心から敬意を表します。ところでプログラムには激励のことばというように掲げておりますが「皆さん一生懸命やって下さい。」とお願いするのはこれでお終りにさせてもらって、今日は今日の三つのテーマで落していたのが一つあります。それは青少年の親委員会になります社会奉仕について私の考えを申しあげて皆さんに対する私の激励のことばにかえたいと思います。

ロータリーを知らない人々は案外多いようですが、これらの人達の中にはロータリーを単なる「金持ちの昼食会」などと決めつけて居る人達が多いようです。これに対して皆さんは「ロータリーは奉仕団体だ」と説明するでしょう。しかしこれで相手は納得するでしょうか。

この説明に対して「奉仕団体といっても大した奉仕などやっていないじゃないか」というのが多くの人々の反発ではないでしょうか。

「駅に煙草の吹殻入れを寄付する、雨傘を寄付する、施設に僅かな寄付をする。勿論それはそれで結構なことだ。

しかしあれだけ大きな銀行の頭取や大会社の会長や社長さん方が多数集った奉仕団体としてはあまりにもみみっちくはないか。奉仕団体としてライオンズクラブなどと比べてみると。あまりにもケチ臭くはないか。それでよくも、ロータリーは奉仕団体だなどと大きな顔をして居られたものだ。うぬぼれもいい加減にしてもらいたい」といった所が落ちではないでしょうか。

しかし私はこのような批判は別に気にしなくてもよいと考えています。それはロータリーの奉仕は、ライオンズクラブのような団体的、形式的、金銭的、なものではなく、個人的、頭腦的、精神的、なものであるからで要するに奉仕のあり方がライオンズ・クラブとは本質的に違うからです。

勿論、ロータリークラブでも団体で施設等に金銭的な奉仕をすることはあります。しかしRCでいろいろの施設に僅かではあっても寄付をするのは、本来ロータリアン

個人個人の社会奉仕に対する実習の見本、あるいはさそい水に過ぎず、この寄付そのものが主眼ではないのです。

これでクラブの社会奉仕は一件落着というものでは決してないのです。

即ちRCの社会奉仕委員がこれを取り上げたのは、施設の問題が現在大きな社会問題になっていることを会員とともに認識して、これを調査し、また研究してこの施設問題と如何に取組んだらよいか、といった課題を提供したもののなのです。

このようにRCの寄付行為は寄付そのものが目的ではなく、実はこの寄付を出発点として、会員各人に奉仕を奨めると同時につまり個人個人の奉仕に期待をかけると同時に、この問題に対する地方自治体や地域社会一般の関心を高めて、やがてはこの問題の解決に色々な人をかり立てようとするものであります。

従ってRCは、云わば奉仕への調査研究機関であると共に、地域社会の指導者たるべきロータリアンに対する奉仕への訓練機関でもあるわけです。

従ってわれわれが、社会から見てもらいたいのは、寄付物件や、寄付金額の多少ではなく、会員が如何に奉仕活動をし、奉仕という点で社会の指導者になっているかどうかという点であります。これを結果的にいいますと、地域にRCができてから、指導者の質がよくなった。街が明るくなったといったような点を見てもらいたいのです。

尤もクラブの寄付がケチで、しかもロータリアンの個人奉仕もないとなれば、つまりロータリアンがそのさそい水に応じて個人的にも社会的貢献をしないとすると、そのRCの社会奉仕は殆んど〇ということになります。

一方RCは社会奉仕団体であると一般には受けとられ、しかもロータリアン自身もそのように考えている向きが多いようです。

それだけでRCの社会奉仕は重視されているわけですから、ロータリアンとしてもロータリーの社会奉仕について確固たる信念をもって事に当らなければならないことになります。

元々ロータリーの社会奉仕は一応成功をおさめた職業奉仕の理想を、家庭や職場それに広く社会生活にまで拡げて展開したものである。職業奉仕の場合は自己の職場という舞台があるのですから、奉仕活動にも取組み易いのですが、しかし社会奉仕になると舞台が広すぎるのでとかく手がつけられない面があります。それにロータリアンの数もあまり多くはなく、クラブの資力も限りがありますから、ロータリーの社会奉仕を如何にするかが大きな問題となるわけです。

こうしたことからロータリーでは社会奉仕の基本的な在り方について次のように定めているのです。

「ロータリークラブの集団行動よりもロータリアンの個人的活動の方がロータリーの精神によりよく合致しているし、且つ社会的、指導的、影響力も大きい。

従ってロータリークラブの社会奉仕活動は、ロータリアンを奉仕という点で訓練し、実習させるためのものと考えらるべきである」と。

これは決議23-34で述べられているものですが、この決議第34号はその冒頭においてロータリー哲学の本質にふれその論理的帰結として団体的社会奉仕のあるべき姿を要約してみますと、次のように定めています。

- 1) ロータリーは例会その他を通じてロータリアン個々人の教育を行ない、その人格向上を通じて社会に奉仕するものであるから、あくまで個人的奉仕が中心であること。つまり奉仕活動は自主独立性をもつものであること。
- 2) ロータリー・クラブが団体的社会奉仕を行なう場合、それは社会的問題の救済という側面よりもあくまで、その行動を通じて各ロータリアンの教育に資するものと考えべきこと。
- 3) ロータリー・クラブが団体的社会奉仕を行なおうとするに当っては、
 - (イ) 先づ社会の実状と問題点を事前調査すること。
 - (ロ) 社会問題が発見されてもクラブ財源に対する不当な圧迫とならないかを確かめるべきこと。
 - (ハ) 当該問題を処理すべき専門機関があれば、これを側面から援助し、自ら救済活動を行なってはならないこと。
 - (ニ) 専門事業団体が存在せず、(ロ)にも抵触しない場合にのみ、団体的社会奉仕を行なってもよい、と定めています。

この決議はロータリーの社会奉仕の在り方についての基本原則を述べたもので、ロータリーの社会奉仕の憲法ともいわれるものです。

それだけに決議は、どのRCでも社会奉仕に手をつける前に、必ず精読し、十分に理解しておかなければならないものです。

この決議を十分に理解しておかないと、自分達は社会奉仕を行ったつもりでも、実際には「ロータリー社会奉仕」になっていないといった場合も生ずるからです。

これをもちまして私の話を終ります。

第 1 分科会

職業奉仕委員会の役割りについて



カウンセラー 島津久厚 P・G
リーダー 永田利満(都城)

第1分科会のご報告を申し上げます。第1分科会は、職業奉仕委員会の役割りについてというテーマです。私がまずカウンセラーの島津久厚君とパネラーである延岡ロータリークラブの大塚信久君と、宮崎ロータリークラブ

の原隆君をご紹介します、分科会の運び方について、若干説明をした。

ついで10分間このカウンセラーの島津久厚君より、職業奉仕の理念は、ロータリーの重要な部分をしめている。RI会長のロバート・A・マンチェスター氏は、職業奉仕に、その一番最初の指針において、職業奉仕に力を入れるということをいっております。そして、ロータリーの友の8月号に、こういう事が載っているという事を紹介されて、一般的な大事な、職業奉仕であるという事について、お話をうけたまわった。

ひきつづき、2人のパネラーに、それぞれ10分間ずつお話を聞いたが、大塚パネラーの話の概略は、職業奉仕こそは、ロータリーの特色とすべきものであるということで、職業上の道徳的水準を高めるためには、事例集などもあるが、非常に理屈が難しすぎるということで、貴重な自分の会社でおこった自分の事例について話があった。プラスチックで作ったこの部分品の売り出しについて、それらの欠点を、十分相手のお客様にわかるように、説明して、売り出したと、そういう要旨のお話で非常に貴重な話であった。

次に、原パネラーのお話を10分間うけたまわったが、自分としては、入会の折りに職業奉仕のベテランを選んでロータリーにはいってもらったので、そう心配はないというふうに考えていたが、いろいろ勉強してみると、自分の考えを一部修正しなくてはならないようになったと、前置きしながら、次のような要旨のことを話していただいた。職業奉仕を2つの柱に分けると、1つは会員自身が、職業奉仕の認識を深めることである。とかく、マンネリズムに陥りやすいので、このロータリーのさびを落とし、各自が、その認識を深めていくべきであろう。もう1つは、自分だけの職業奉仕

でなくして、地域にも、その理想を広めていくというもう1つの柱があるだろうと、こう前置きされて、いろいろクラブの委員会の事業について、話があったが、職業奉仕賞を制定して、これを行っている、それから、事例集の研究、それから「奉仕こそわが勤め」を読む必要がある。それから、自己採点も必要である。職場の訪問も必要である、そして、会員卓話も必要なことであると、そういうような事をお話をいただき、ひきつづき、討論に入ったが、討論の時間約40分あり、いろいろ活発な討議がおこなわれたが、ある会員から、職業奉仕賞の基準というものは、どんな人を今まで表彰しているか、という質問があった。パネラーからは、今まで教育者とか、黒板を作っている方などを、表彰した事例があると、これは、会員自身の人を表彰することによって、会員自身の刺激になることであるということ、それに追加されて、日南のクラブの方から、自分のところでは、火葬場の管理人とか、ホームヘルパー、舐肥城の鐘を永くついた方、駅前の広場を掃除してくれた方、このような方を表彰したことがあるという追加があった。又、高鍋の富田会員から、職業奉仕というが、自分も、地区協議会にも参加したが、どうも、これを実施するための具体的な方法が、はっきり検討がつかないが、それは、どうした事だろうか。というような質問があった。

終りに、カウンセラーより、しめくくりの言葉をいただいたわけだが、カウンセラーは、2つの事を中心にして、しめくくりの言葉としたが、本年度のRI会長のマンチェスター氏が、年度の始めの、この指針を述べられて、次のように言っておられる。本年度は、真の意味での保証を厚くする方法として、職業奉仕に特に重点をおくようみなさんをお願いをするつもりである。そういう事が1つ、もう1つは、このRIの理事会で決めた事項として、理事会は、職業奉仕の精神と目的を伝達する為に、国際ロータリーの多種の出版物に、職業奉仕に関する項目を掲載して各ロータリークラブにおける職業奉仕についてのプログラムや、その活動を活発化させる為に、具体的な活動のアイデアや、提案事項を、掲載する事に、特別な重点をおく事を決意した。さらに、理事会は、各ロータリークラブにおいて、通常の例会とは、別個に特別に、企画されたクラブフォーラムを聞き、雇い主と従業員の関係など職業奉仕に関する職業上の態度や、各種の関係について、討議し、そのフォーラムでの討議内容を具体化する基礎を作り上げる事を奨励すべき事を決議したという2つの事を中心にして、しめくくりの言葉としていただいた。

言葉が足りませんが、以上で私の報告とする。

第 2 分科会

青少年奉仕の具体的方策について



カウンセラー 竹野 融 P・G
リーダー 長友 孝允 (宮崎)

『第二分科会のリーダーを担当しました長友でございます。会場はローズの間を仕切りまして満員の参加者のもとに開催されました。カウンセラーには、現在地区の青少年奉仕委員長をされております竹野融パストガバナー

をお招き致しました。サブリーダーには宮崎北クラブの山条さんをお願いいたしました。テーマは青少年奉仕の具体的方策と云うものでした。青少年奉仕活動は、間口が大変広く、検討事項も多いかと存じまして、私がまずタイムテーブル案を提出しました。このテーブル案を快くご賛同を頂きましたので、これに従いまして議事を運営いたしました。

まず、始めに竹野カウンセラーより簡単なご挨拶を賜わり、私からテーマのご説明を申し上げました。その内容をご披露申し上げます。

青少年活動と云いますと、今日のように複雑で多様化した社会では、当然彼等に目が向けられなければならないと云う社会的なニーズが起っている訳であります。RIといたしましてもこの様な事態に対処する為に、社会奉仕活動の一環として青少年の育成運動をとり入れて来た訳です。その具体的な表われが各クラブに於ける青少年委員会、或はローターアクト委員会、インターアクト委員会と云う形で行われています。活動は極めて多忙になって来ています。又各クラブの予算に占める青少年関係委員会の予算の割合が非常に大きくなって来ています。

このテーマを論議する前に、私が青少年奉仕活動の概要を表示しました。奉仕活動の概要としては消極的なものとして、助言する、青少年の活動に提言すると云う事が挙げられます。積極的なものとして奉仕活動に出席する、参加すると云う事でありませう。参加するとなりますとロータリアンの身をそこえ投じて、仲間になって行くと云う事でありませう。かなり負担が重くなって参ります。その他に助成する、援助する、指導すると云う言葉があります。或いは育成すると云う言葉もあります。ところが内

容的にみますと、助成は助成金であったり、援助は資金援助と言う言葉で置き換えられているのが現状であります。そこが大きな問題ではないかと思われまます。その様な事をふまえて、主なるこれからの議題をどう云った事にもって行くかと云う事で2つの点を挙げました。青少年活動は、2つの側面から同時に検討されるべきものと考えた次第です。

1つは青少年活動関係委員会による奉仕活動であり、もう1つは一般ロータリー会員による奉仕活動であります。この大きな2つのテーマに従って進めて参りました。

始めに青少年関係委員会による具体的方策であります。これはローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、野外活動、その他地区のスポーツ少年団への参加資金援助、それから国際奉仕の分野である交換学生等多方面に亘っています。時間の関係で3つに絞って検討いたしました。それはローターアクトクラブの活動、インターアクトクラブの活動、ワンダーフォーゲルであります。それぞれに於て沢山のご意見を頂きました。主に現在担当されている方、或いは過去に担当された青少年活動委員会の方に発言をお願いいたしました。

ローターアクトクラブにつきましては、まず宮崎クラブの丸岡さんから現在の活動状況についてご報告があり、又ご感想として「いわゆる青少年奉仕活動が極く限られた人の活動に終始しているのではないか、一般ロータリアンの参加が非常に少い。」と言う事でありました。それからえびのローターアクトクラブが昨年出来ましたが、発足したばかりで活動の始めであり具体的なご意見は得られませんでした。延岡クラブの幹事さんから「会員数が多ければ多い程各ローターアクトクラブの出している例会費の負担が少なくなる。そうすれば活動も活発化して来るのではなからうか、資金援助と会員数の関係は相関関係がある。従って会員数の拡大をはかるべきだ。」と云うご意見があり、2、3の方も賛同されておりました。資金援助については、直接的な資金援助以外に廃品回収とか、ローターアクターが行う行事に品物を提供して行くとか、何か間接的な資金援助をして、彼等に自主性を持たせたらどうかという感想を持ちました。

次は、インターアクトクラブの討議に入りまして、特に注目を集めたのは宮崎北クラブです。昨年宮崎日大高校にインターアクトクラブが結成され、全国高校唯一の形態であり、必修クラブとして採りあげられております。校長先生及び指導担当の女性の先生が、大変ロータリー活動に熱心であり、それが効を奏したものと思われまます。

同校では昨年、交換学生も受入れております。臨席されたガバナーから、「学校の正規の教科に入れる事は、何か問題はないか？」と云う質問がありましたが、「特に問題はなく、スムーズに行った。」と云う回答がありました。

こうしたケースは、理想的な形態だと思われまますので、大いに促進すべきものと思います。

次に小林では、県立小林商業高校に、正規のクラブ活動として予算も組み込まれ認められております。カウンセラーの竹野先生から「平常から学校側の担当教師とロータリーアンが接して、理解を深める事が大切だと思う。」と云うご助言を頂きました。

次にワンダーフォーゲルの件ですが、宮崎南クラブの浜野さんから経験に基いた発言がありました。「青少年の野外活動には、何かと問題が起り易い。これは担当のロータリーアンが、コース等を事前に下調べをして置く必要がある。又健康管理の上から医療用具の準備、ロータリーアンの中の医師が随行すると云う配慮が必要である。次に募集方法であるが、一枚に片寄らず多方面から生徒を募り、お互の見識を広めさせる事が大切である。

次は一般ロータリーアンの奉仕の具体的な方策に移ります。青少年奉仕活動は、社会的なニーズであり、その認識を一般ロータリーアンが、どの様な形で具体的に表わすかと云う事であります。

宮崎西クラブの大賀さんのご意見として「どうも現在の青少年奉仕は、委員会のみ活動に終始している様であり、又資金的な援助の裏付けがなければ、活動は活発化しない。」と云う事であります。延岡クラブの上田さんから、「名古屋空港ロータリークラブから、書籍の購入について寄付の強要があったが、こう云った事はどうか？」と云う質問に対して、カウンセラーは「何か別の形ですべきではないか。」と云う助言がありました。

これら以上の事に対しての私の感想ですが、一般ロータリーアンの活動は、どうしても助成金とか、資金援助等にとらわれがちであり、活動を進める上で忙しさに追われ難しいのではないかと思われました。

以上結論の出にくいテーマでありましたが色々と考えさせられました。

報告に替えさせていただきます。」

第3分科会

国際奉仕の推進について



カウンセラー 日高安壮 P・G
リーダー 井上精一(延岡)

第3分科会のリーダーを努めた井上精一です。参加人員97名。国際奉仕の推進のテーマにて熱心に勉強がなされた。

国際奉仕という問題になるのは語学です。外国と文通をしたいが、語学が苦手できない

というのが私共の国際奉仕です。今日の勉強会では、外国語を使わなくて日本語で外国の人達と交際する方法はないかという点に焦点を絞りました。今迄の勉強会では例のないことだが、2人の方に来て頂き卓話をしてもらった。1人は先般宮崎県医師会の南米派遣団の1員としてブラジルに行き、特に宮崎県出身者と親しく膝を交えて色々調査をしてこられた宮崎ロータリークラブ会長の原田正君からユーモアあふれる、本当に笑いながら立派な話を聞いたが、私共が知らなかったブラジル、非常に遠い国といった感じがするのに、本日原田君から向うの話しを聞くと地球の裏ではあるが、非常に近い感じがした。あの広いブラジルで75万人の日本人がいる。

又日本人だけのロータリークラブもあるという話しを聞き、私共はもう少しブラジルという方に目を向けなくてはいけないのではないかということ強く感じた。

次にアメリカ州立イリノイ大学で勉強し宮崎日本大学高等学校の先生である海野光洋先生で「外からみたロータリーの国際奉仕」につき卓話を御願した。とかく私共は自分がやっている事はすべて良いことだ。100点満点で非の打ち所がないと思って色々なことをやっているが、外から見てロータリーの国際奉仕につき話を聞くことも大事なことではないかと、本日海野先生の話しを聞いたところ、私共が知らなかったことで国際奉仕はすばらしい、又交換学生を実際に指導した教師の立場として非常に有益な話しを聞いた。その中の1つの例として、昨年日大高校に来ていたロニーという女の娘が、ソロバンで8級の免許をとった時にも、ポンと免許状を渡すだけでなく、2000人の全校生徒の前でこの免許状の伝達式をしたところ、人間が変わったように次の日から彼女の勉強ぶりが変わってきて、よい方向にぐんぐんと進んでいったとい

うことであり、又向うからきている手紙についても先生から披露があり、本当に彼女が第2の故郷と思っていることがわかった。

その反面私共は自分の子供であると学校へ行って先生と色々子供のことにつき話しをするが、ロータリーの交換学生を預るとクラブとしてのつき合いはあるけれど、ホストの方と学校とのつき合いがないのが淋しいというようなことの話でした。今後私共としては、改める所は改めてこのすばらしい国際奉仕の一番花形である青少年交換を推進していただきたい。海野先生からは最後にアメリカのロング・ヒアーという人の作った詩を例にひき話が終ったが、特に感銘を深くしたことは、ロニーの妹が入院して手術をするという情報が学校に伝わったとき、日大高校の生徒会の連中が先生のところへきて、「先生血液をアメリカに送りたいが、どうしたらよいでしょうか」という話しが生徒達からもちあがったそうです。日本で採取した血液をアメリカに送るのは困難だと言うと、子供達は自主的に募金をして生徒会よりお見舞金として送金したという美しい話を聞きました。とかく、交換学生というと受入れの学校側では厄介者あつかいにされ、始めのうちは、ちやほやされるが、あとは自習ばかりでほったらかされるということがよくあるが、宮崎の場合はロータリークラブと学校が、がちりしてこんなすばらしい成果をあげていることを身をもって先生から話しを聞きました。

次が各ロータリークラブで、どんな方法で国際奉仕をしているかということで、延岡東クラブの方から、カナダのロータリークラブと財団の交換学生を通じて、日本の小中学生徒の「カナダという国」というテーマで作文を送った。又近いうちに8冊の延岡を紹介した映画を制作中であり、次にはこれを送る予定であるという話しがあった。宮崎クラブから韓国ロータリークラブと植樹交換をやり、その内容につきくわしい話しがあった。

都城クラブから世界社会奉仕として、これは登録ナンバー i-105 と実施するわけですが、380 地区フィリピンの高校生に奨学資金を送るという話しがあった。

日本語で外国と交際するにはどうしたらよいかという結論に対し、やはり一番手取り早いのは韓国そして台湾、また交換学生のOBそれから延岡東クラブのように財団の留学生を介して日本語で手紙を出すということだが、ブラジルの方にも私共は大きく眼をひろげて今後日本語でどんどん外国と文通、交際をしていただきたいと思います。最後に誠に無能なリーダーでしたが、終始暖かい御指導をたまわりましたカウンセ

ラーの日高パストガバナーそして御協力をたまわった98名の参加の皆様の友情に対し心から御礼を申し上げます。

分 区 代 理 謝 辞

北分区代理 藤 吉 雄 二



南北両分区代理を代表しまして、ひとことお礼の言葉を申し述べさせていただきます。

本日は南はえびの、日南、北は延岡と県下15のロータリークラブから390名の多数の会員が折角の日曜日を返上して本年度のICGFにご参加いただき長時間にわたりまして、盛大にかつ、滞りなく議会を終了できましたことに対して衷心よりあつくお礼を申し上げます。

本日はまた、特に塘ガバナーのご出席をいただき激励のことばをいただきました他島津、日高、竹野3パストガバナー並びにただ今お話をいただきました吉村地区情報委員はご多用中、ご懇切なご指導いただきましたことを深く感謝いたします。

また、永田、長友、井上3会員はリーダーとして、与えられた難しいテーマに正面から取り組んでいただき立派な成果を挙げていただきほんとうにありがとうございました。

国際奉仕部門分科会がブラジル在住宮崎県出身者を対象として、宮崎日大高校の海野先生のご出席をいただくとか、或いはまた最近ブラジルを訪問された宮崎の原田会長のお二人から具体的な国際奉仕活動についてのお話をいただきそれを基にご検討いただいた、まことにユニークど且つ効果的な企画として深い感銘をうけました。また第2分科会は、このテーマにふさわしい若さと行動力をもってリーダーを引受けていただきました長友リーダーから具体的な青少年活動について掘り下げたご検討をいただきました。次に第1分科会は一番難しい職業奉仕委員会の役割についてベテランの永田リーダーからロバートAマンチェスターII現RI会長の方針を基に皆さんの職業奉仕活動にかずかずの示唆をいただきましたことをあつくお礼を申し上げます。

私ども南北宮崎県分区代理としましては、本日までご参集の皆様「本日のフォーラムに出席してよかったなー」とそういう感じをもっていただいで帰っていただくことを

念願しましてこのフォーラムを準備した訳でございますが、はたして皆様のご期待にそいえたか懸念しているものでございます。

最後になりましたが、このフォーラムにつきましてホストクラブの宮崎西クラブの86名の全会員の方が、ロータリー精神に基づく献身的なご協力をいただきましたことにより今日のフォーラムが無事終了しましたことに対してあつくお礼を申し上げます。

皆さんと一緒にこの西クラブの皆さんに対して盛大な拍手をお贈りすることで感謝の気持を表わしていただきたいと思ひます。本日はまことにありがとうございました。

閉 会 の こ と ば

ホストクラブ副会長 田 中 秀 男



皆さん朝からギッシリとつまりましたプログラムで、さぞかしお疲れのことだと思ひます。

皆さんのお力添えですべてのプログラムを予定どおり滞りなく終えることができましたことをあつくお礼申し上げます。

それぞれの分科会、そして最後の総会でロータリーについて重ねて勉強された訳でございますが、どうぞ各クラブにお帰りになりまして日日のロータリー活動で勉強されましたことをご活用下さいますように心から期待いたしております。

ホストクラブを仰せつかりました宮崎西クラブといたしましては、準備万全を期したつもりではございますけれども、冒頭会長が申しましたように400名になんなんとする会員のご参集をえましたフォーラムでございまして何かと不行き届きの点がたくさんあったことだと思ひます。お心寛くお許し下さいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、このフォーラムを開催するにあたりましてご懇切なご指導いただきましたガバナー、パストガバナーそしてリーダーの皆さん方両分区代理にあつくお礼申し上げまして閉会のことばにかえさせていただきます。皆さんまことにありがとうございました。

第5 創立10周年記念式典

宮崎西ロータリークラブ10周年記念式典

1970年4月10日

ホテル フェニックス

プログラム

	司会	山口 S.A.A
16:30	登録受付	
17:00	点鐘、開会のことば	堺 副会長
	斉唱(君が代、奉仕の理想)	
	会長挨拶	吉賀 会長
	来賓紹介	〃
	参加クラブ紹介	〃
	物故会員に対し黙禱	
	感謝状贈呈	吉賀 会長
	記念事業発表	植松記念事業委員長
	歴代会長、幹事に感謝状贈呈	吉賀 会長
	10年連続出席者表彰	〃
	創立当時の思い出	福田 特別代表
	来賓祝詞	
	閉会のことば	杉山 幹事
18:30	点鐘・閉会	

懇親会プログラム

	司会	山口 S.A.A
18:40	斉唱(我等の生業)	
	開宴のことば	吉賀 会長
	乾杯	日高ガバナー
	テーブルスピーチ	
	余興	

斉 唱（手に手つないで）

万 才 三 唱

20:30 散 会

奉仕活動のあらまし

1. ワンダーフォーゲル運動に毎年参加
2. ボーイスカウト連盟に毎年協力
3. 養護施設、老人ホーム、母子家庭等を毎年訪問し慰問、金品の寄贈
4. 会員の家族と共に歳末助け合い運動を開催して社会福祉施設へ毎年金品を寄贈
5. 青年会議所の高校生、中学生への奨学資金に協力
6. 大島中学校の講堂、大島保育園の新築に協力
7. 宮崎R.Cと協同で天神山公園に植樹
8. 宮崎R.Cと協同で宮崎銀行本店屋上に愛の鐘を設置
9. ひまわり学園に自動車寄贈
10. 児童福祉園にバックネットを寄贈
11. 身体障害者大会に寄金
12. 宮崎商業高校インターアクトクラブを結成
13. 宮崎盲学校にオルガン、ピンポン台一式を寄贈
14. 生目農村の老人に対し医療奉仕
15. 交通安全協会に黄色い旗を寄贈
16. 大淀川の指定水泳場に危険個所の標識を寄贈
17. 職業奉仕賞としてダリア賞制度を設け44年8月より毎月表彰
18. 宣教師クラーク氏の銅像建設に協力
19. インターアクトへ盲人用タイプライター2台を寄贈
20. 会員及びその職場における献血運動の実施
21. 日向学院短大の日本一周奉仕団への援助
22. 米国よりの交換学生の受入れ
23. 第二室戸台風、その他九州各地に発生した風水害に見舞金を贈る
24. 宮崎整肢学園児童を映画に招待
25. B.B.S運動（青少年不良化防止運動）に協力

26. 外国よりの交換学生と宮商インターアクト会員との交歓を主催
27. 創立10周年記念事業として宮崎市役所前公園に照明用フットライトを寄贈
28. その多地域社会の奉仕活動に協力

第6 創立15周年記念式典

宮崎西ロータリークラブ
〔創立：昭和35年4月8日〕
日時：昭和50年4月8日(火)
場所：ホテル・フェニックス

プ ロ グ ラ ム

受 付

1. 点 鐘……………開 会
国歌斉唱
ロータリーソング(奉仕の理想)
2. 開会のことば (副会長) 菊 池 彰
3. 物故会員へ黙祷 SAA
4. 来賓並に出席者紹介 (会 長) 日 高 文 雄
5. 挨拶 (会 長) 日 高 文 雄
6. 記念品贈呈 (会 長) 日 高 文 雄
ガバナー 竹 野 融
スポンサークラブ
特別代表 福 田 甚二郎
7. 歴代会長感謝状贈呈 (会 長) 日 高 文 雄
(3 代) 佐 原 伝次郎 (4 代) 住 田 静 一
(5 代) 菊 池 稔 (6 代) 長 峯 市 次
(7 代) 竹 野 融 (9 代) 植 松 熊太郎
(10代) 吉 賀 幸 夫 (11代) 橋 本 一 郎
(12代) 竹 内 三 郎 (13代) 郡 嗣 彦
(14代) 川 辺 政 明
8. 10年以上連続無欠席会員表彰状贈呈

- | | | |
|-----|---------|---------|
| 15年 | 長 峯 市 次 | 佐 原 伝次郎 |
| | 住 田 静 一 | 竹 野 融 |
| | 田 中 博 規 | 植 松 熊太郎 |
| 14年 | 川 辺 政 明 | 吉 賀 幸 夫 |
| 13年 | 堺 久 | |
| 12年 | 橋 本 善 吉 | |
| 11年 | 日 高 文 雄 | 大 賀 義 人 |
| 10年 | 橋 本 一 郎 | 菊 池 彰 |
| | 後 藤 満 | 藤 井 勝 |

9. 歴代会長代表謝辞 佐 原 伝 次 郎
10. 創立以来無欠席謝辞 住 田 静 一
11. 来 賓 祝 辞
- | | |
|------------|---------|
| 宮崎県知事 | 黒 木 博 |
| 宮崎市長 | 清 山 芳 雄 |
| 特別代表 | 福 田 甚二郎 |
| 第373地区ガバナー | 竹 野 融 |
12. 閉会のことば (会長E) 田 中 博 規
13. 点 鐘……………閉 会
- 休憩、お知らせ

来 賓 名 簿

- | | |
|------------------|-----------|
| 1. 第373区ガバナー | 竹 野 融 |
| 2. パスト・ガバナー | 日 高 安 壮 |
| 3. 第373区分区代理 | 津 野 田 嘉 彦 |
| 4. 特 別 代 理 | 福 田 甚 二 郎 |
| 5. 名 誉 会 員 | |
| 宮 崎 県 知 事 | 黒 木 博 |
| 宮 崎 市 長 | 清 山 芳 雄 |
| 6. 宮崎ロータリークラブ会長 | 菊 池 弘 |
| 7. 宮崎北ロータリークラブ会長 | 時 任 調 一 |

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 8. 宮崎南ロータリークラブ会長 | 日 高 真 太 郎 |
| 9. 宮崎日々新聞社 取締役編集局長 | 平 嶋 周 次 郎 |
| 10. インターアクトクラブ | |
| 宮崎県立商業高校 教諭 | 有 馬 清 保 |
| " " | 西 川 賢 一 郎 |
| 11. インターアクトクラブ会長 | |
| " " 会員 | |
| " " | |
| 12. 交 換 学 生 | ロバート・アラン・ホーキンソン |
| 13. 歴代会長夫人 | |
| (1) 住 田 松 子 | (2) 菊 池 美 枝 |
| (3) 長 峯 政 子 | (4) 竹 野 政 代 |
| (5) 植 松 喜 美 子 | (6) 古 賀 和 子 |
| (7) 橋 本 文 | (8) 竹 内 捷 子 |
| (9) 郡 妙 子 | (10) 川 辺 俊 子 |

宮崎西ロータリークラブ15周年記念式挨拶

第15代会長 日 高 文 雄

本日ここに宮崎西R.C創立満15周年記念式典を催すに当たり、御案内致しましたところ、名誉会員黒木知事、並びに清山市長さん外多数、公私共に御多用中にもかかわらず御出席を頂きまして、厳粛の中にも賑々しく挙行されますことを衷心から御礼申し上げます。

今からちょうど15年前、昭和35年4月8日スポンサークラブ宮崎R.C特別代表福田甚二郎さんの御尽力により、創立会員25名を以って宮崎西R.Cは、大きな羽ばたきをして誕生したのであります。

爾来今日まで幾多の困難と共に今日の成長がありますが、私が15代会長としてこの記念式典を執行させて頂けますことは、この上もない光栄としております。しかし只1つ残念に思っておりますことは、初代会長田崎亀夫さんが、今日のこの佳き日を待ち得ずして昨年9月6日故人なられ、又2代会長栗林東五さん並びに

8代会長大古殿和丸さんの御二人が病氣退会され、この3人の方々の御姿を見ること
ができないことであります。

西R.Cの初期こそクラブの基礎づくりの時代で、私共の先輩は日夜大変な苦勞を
されたことと拝察致します。ここに謹んで敬意を表する次第であります。

ロータリーは年と共に発展をつづけ、今年はポールハリスが1905年シカゴにロー
タリーを発生せしめてちょうど70年という記念すべき年でもあります。

今やロータリーは世界151ヶ国に拡大され、その会員は約758000に及び、とど
まることなく躍進しているのであります。私共のクラブも創立時代25名、5周年時
50名、10周年65名、15周年本日現在76名でありまして、本年6月末私の任
期中に80名の上位規模のクラブ迄成長させて頂きました。

このような状況からして、地域社会でロータリーの存在がいか程認識されているか
疑問とするところでもあります。これではロータリー運動の社会的効果も知れたもので
あるといわねばなりません。

今やロータリークラブの新設と会員の増強は、私共1人1人のロータリアンの急務
となっているのであります。

幸い我が西クラブは、この15周年を記念して外部拡大の一環として、宮崎江南地
区に去る3月24日宮崎南R.Cを設立スタートさせることができました。宮崎西ク
ラブから第373地区のガバナーに竹野融さんが就任されるや急速にその氣運が高まり、
市内各クラブの御協力を仰ぎながら、クラブ作りの特別代表に日高真太郎さんが昨年
12月に決定され、3ヶ月そこそこの短時日でロータリーの拡大を実現せしめたこと
は、とくに日高特別代表の格別なる奉仕の賜であります。改めて感謝の意を表する次
第であります。

私共西R.Cが15周年を契機に、市内では4つ目のR.Cとしてそのスポンサー
クラブとしての重責を担当させて頂いたことは、記念して銘すべき大なる奉仕と存じ
ております。

今後ともこのような実績を維持していくためには、ロータリーの現在の局面に絶え
ず注意を怠ってはならないと思います。R.Iビル会長が言っているように、成長が
止まれば衰亡が始まるのであります。

ロータリーの拡大は無限に行進をつづけます。わが西クラブは今年度目標10%増
強はなんとしてでも達成せねばならないのであります。又、ロータリー財団は大学院

課程および大学課程奨学金、専門的訓練補助金、身心障害者教師奨学金、研究グループ交換補助金および特別補助金などを交付する事業計画を実施する財団であります。これらの奨学金あるいは補助金は、すべて国際理解を増進する個人あるいは計画に対して授与されることになっております。この財団に対し当クラブは今や800% 5,800ドルを達成し、地区内60クラブ中第9位であります。中でも竹内三郎会員と阿南育男会員がポールハリスフェローとして受賞されておりますことは、極めて光栄とするところであります。

又西クラブは創立以来、会員一同結束して幾多の輝かしい奉仕記録を飾っておりますが、中でも特に継続事業として取りあげ奉仕しております事項を申し上げます。

(1) 職業奉仕委員会のダリア賞制度

これは奉仕の理想にかない地域社会、人間社会を潤おす行為。

(2) 社会奉仕委員会

○古紙回収（資源節約）、社会奉仕基金制度、献血運動、歳末餅つき（社会福祉施設に配布）チャリティバザー

(3) 国際奉仕委員会

○交換学生の受入れ送り出し

(4) 青少年奉仕委員会

○ワンダーフォーゲル、ボーイスカウトへの奉仕

(5) 宮崎商業高校インターアクトクラブの後援

以上は数多くの奉仕事業の中で特に継続しているものであります。

人間が人間に奉仕することは、人生最高の仕事であります。以上申し上げてきたことは、ロータリーのクラブ奉仕という団体的作業ということになります。

ロータリアンのなすべき第一の活動は個人的活動であります。各会員はそれぞれ自己の企業又は専門職業において、常にロータリーの目的にたる言行一致に留意しつつ、ロータリーの説く高度な職業倫理と多角的な奉仕を実践しなければなりません。ロータリーこそまさに向上運動であります。

ロータリークラブそのものは、奉仕団体でなく「奉仕家であるロータリアン養成の道場である」と理解し、個々のロータリアンに対し出席を義務づける所以も、自己の精神的境地を高めることを倫理的に期待されておるのであります。

私はこの西クラブが、永遠の生命としてその理念を体して益々隆盛を極め、その目

的達成のため躍進を続けておりますことは、歴代の各役員、会員の方々がロータリー哲学を常に探究され、積極的な行動が私共西ロータリークラブ発展の源動力であろうと思っております。

ロータリーの拡大は兎角論議的となり、又質か量かということにもなりますが、結局は、クラブ運営に支障のない限り、良質のロータリアンを増やしていかなければならないということでもあります。ロータリーの終局の目的が、ロータリー例会をその他のクラブ活動を通じて、地域社会の職業人がその職業観と人生観を接触させ、その反省の中から人間関係を改善することによってよりよい社会を創り、平和な世界を築くために貢献することとするならば、ロータリー精神を地域社会に広く普及せしめる上からも、会員増強は極めて必要となってくるのであります。

日本のロータリーもクラブ数 1,239 会員数約 66,000 人とめざましい発展をつづけておりますが、これを主要国 1 万人に対する比率で見ますと、アメリカ 1,620、ニュージーランド 3,453、オーストラリア 23,08、日本は驚くなかれ 4.53 ときわめて少ないことがわかります。

特にロータリーが 10 年を経過するとロータリーの錆が出るとよく聞かされる所ですが、その点をいまだ全然感じないということは、如何に各歴代の会長、各役員が与えられた任期の一年間、全精力を傾けてこられた結果が今日の発展であろうと思えます。

改めて深甚の感謝を申し上げる次第であります。

西ロータリークラブの現況についてお話し致しましたが、これからも実行すべきことがまだまだ沢山残っております。他人のために奉仕する善意の現実的表現として、多くのことを行うことができるのであります。

ロータリーの生命を無限に繰広げる意義ある結果をつくりだすため、各自が個人的にあるいは一致協力して努力することにより、この 15 年の節の上に更に築きあげていくことは、明らかに私達 1 人 1 人のロータリアンにかかっているという責任を確認するものであります。

御来賓の皆様方の一層の御指導、御鞭撻を御願い申し上げますと共に、宮崎西ロータリークラブの弥栄を御祈り申し上げ私の御挨拶と致します。

第7 宮崎南クラブ設立スポンサークラブとなる

宮崎西R・Cスポンサークラブとして誕生した 宮崎南R・Cの認証状伝達式

昭和50年9月21日

於 ホテル・プラザ

プ ロ グ ラ ム

(敬称略)

式典	15:00~17:00	於 県医師会館
1. 点 鐘	……………	特 表 日 高 真太郎
2. 開 会 の こ と ば	……………	副 長 年 澄 清
3. 国 歌 斉 唱	……………	(指 揮) 梶 山 克 幸
4. ローターソング(奉仕の理想)	……………	(“) “
5. 歓 迎 の 言 葉	……………	特 別 代 表 日 高 真太郎
6. ガバナー並びに来賓紹介	……………	“ “
7. 来 訪 R ・ C 紹 介	……………	“ “
8. 認 証 状 伝 達	……………	ガ バ ナ ー 後 藤 基 彰
9. ガ バ ナ ー 告 辞	……………	“ “
10. 新 ク ラ ブ 会 長 移 移	……………	会 長 日 高 真太郎
11. 会 員 紹 介	……………	“ “
12. スポンサークラブ並びに宮崎 宮崎北クラブより記念品贈呈	……………	宮崎西RC会長 宮崎RC会長 宮崎北RC会長
13. 記 念 事 業 品 目 贈 呈	……………	会 長 日 高 真太郎
14. 来 賓 祝 辞	……………	宮崎県知事 黒 木 博 宮崎市長 清 山 芳 雄 直前ガバナー 竹 野 融
15. スポンサークラブ祝辞	……………	会 長 田 中 博 規
16. 祝 電 披 露	……………	幹 事 後 藤 広 志
17. ローターソング(我等の生業)	……………	(指 揮) 梶 山 克 幸

も若干は加わっておりますものの、大半は新人で創立早々のことにてロータリアンとしての経験も浅く、この度の認証状伝達式の挙行に際しましても幾多の不行届があり、ご参会下さいました皆様にご迷惑をおかけ致しています事を心からお詫び申し上げます。

幸い宮崎には先輩ロータリアンが多数おられまして、日夜ご指導を願える恵まれた環境に誕生致しましたので、会員一同親睦を深め、ロータリー精神の昂揚に努め、フレッシュでユニークなクラブ作りに努力致す所存でございます。

何卒今後共一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、私のご挨拶といたします。

宮崎南R・C創立記念式典激励の辞

宮崎西R・C会長 日高文雄

只今御指名に預りました宮崎西R・C会長の日高でございます。

宮崎南R・Cとしてたった今元気の呱呱の声をあげ、本当におめでとうでございます。

ロータリーの拡大として永年の課題でありましたが、幸に竹野ガバナーが西クラブから就任されるや、急速にその気運がたかまり、市内各クラブの御協力を仰ぎながら新クラブづくりの特別代表に日高真太郎さんが指名されましたのが昨年12月でございました。以来今日まで3ヶ月そこそこありますが、日夜御尽力の賜により極めて急ピッチで今日に漕ぎつけられましたことに対し深甚の敬意を表する次第であります。

特に今年は、昭和の御代も昭和50年という歴史的にも輝かしい年であり、日本の国も政治、経済万般にわたり新時代への第一歩の年でもあろうかと思えます。

又ロータリーの発生は1905年2月23日で、今年は創立70年の記念を迎えたところであります。

更らにスポンサークラブ宮崎西R・Cは来る4月8日で創立満15周年を迎えたのでございます。そして当南クラブの例会場は新築オープンホヤホヤの当ホテルプラザが当てられるというほんとおめでたづくめの年に南クラブのスタートでありますので、特に記念して忘れることはできないことだと思うのでございます。

ロータリーの終局の目的は、例会、その他クラブ活動を通じて地域社会の代表的職業人がその職業観と人生観を接触させ、その反省の中から人間関係を改善することによってよりよい社会を創り平和な世界を築くために貢献することにあります。

その人間関係の改善のためには、1人1人の善意を呼びおこし奉仕の理想を発揚する必要があります。そしてこの奉仕の精神は、人間同志が深い信頼と友情によって結ばれたときに、初めてできるものでありますから、ロータリー運動の出発点は親睦活動であるといわれております。

職業分類による一業一人の会員制によってクラブが組織され、例会が毎週1回、これに出席して知り合いを広め、親睦をつくり、奉仕の理想を高揚され、例会の1時間は楽しみながら訓練をうけられるというロータリー独特の集会であります。

こうして生れた精神を実践に移すにあたっては誰もが自分の職場という舞台を持っ

ております。ここに職業奉仕が生れ、この職業奉仕こそがロータリーの本質であり社会奉仕、国際奉仕の出発点となるのであります。

ロータリーの例会は人生の道場とも述べているのであります。社会改良に奉仕するのは、ロータリアン個人であります。ロータリーには先生がおりません。先生がいないということは、ロータリアン全員が先生であり、またロータリアン全員生徒であることを意味しているのであります。つまりロータリーは自己教育の場で「入って学び、出て奉仕せよ」とはこのことを意味しているのであります。ロータリー思想の根底に人類平等の思想があり、人を人として尊重し、人を人として活かすということ、ロータリーは上下の階級優劣の思索を一切排除し、企業規模、社会的地位、財力の如何にかかわらず世俗の垢を捨てて平等であります。

そこでロータリアンはこの精神世界が崇高にしてその効果の偉大なことを知ったならそれを自分の企業を問わず一切の日常生活に実践していかねばならないのであります。ロータリーの奉仕は単に金銭の施しのみに限定せず職場での使用人との対応、同業者に対する対応、商人の顧客に対する対応、顧客の商人に対する対応、その他千差万別な対人関係にあてはめてみますと、この奉仕のもつ意味が実はロータリー思想のもっとも根本的、一般的概念でございます。

しかしロータリーを一口に御理解できるように申上げることは仲々むづかしいことでもありますので、どうぞこれから先はぼつぼつあらゆる集會に積極的に出席されてロータリーを勉強され、立派なロータリアンになって頂くよう御願ひ致します。

宮崎西ロータリークラブ15周年を迎えますが、15年無欠席者も多数おられます。私は創立して3年後の入会でございますが、今年で12年無欠席であります。

創立会員の皆様方が南クラブの基礎であり柱であります。これを機会に決意を新にされ、安定化するまで多少時間はかかるうともみんなが力を合せて今までにないユニークな優秀クラブとして成長されますよう御祈り申し上げます。

第 9 編

区域限界の変遷

(1) 昭和38年1月15日

宮崎R・C 西R・Cとの協定書

区域限界に関する協定書

第1条 清武より通称三角茶屋、中村町、橘橋、橘通り、江平町、神宮東町を経て高鍋に至る国道を境とし、その東側、西側をそれぞれの区域とする。

第2条 九電、宮崎ガス、大学及びその附属設備、NHK 4事業所については第1条の区域に限らずスポンサークラブたる宮崎ロータリークラブの区域に所属するものとする。

第3条 両クラブの会員中、宮崎交通、宮崎銀行、宮崎山形屋、宮崎日々新聞社、宮崎放送を代表するものが移動によって退会した場合は、両クラブは、その後任者を引続き自己の会員とすることができる。

第4条 両クラブの限界は本協定に限らず現状通りとする。

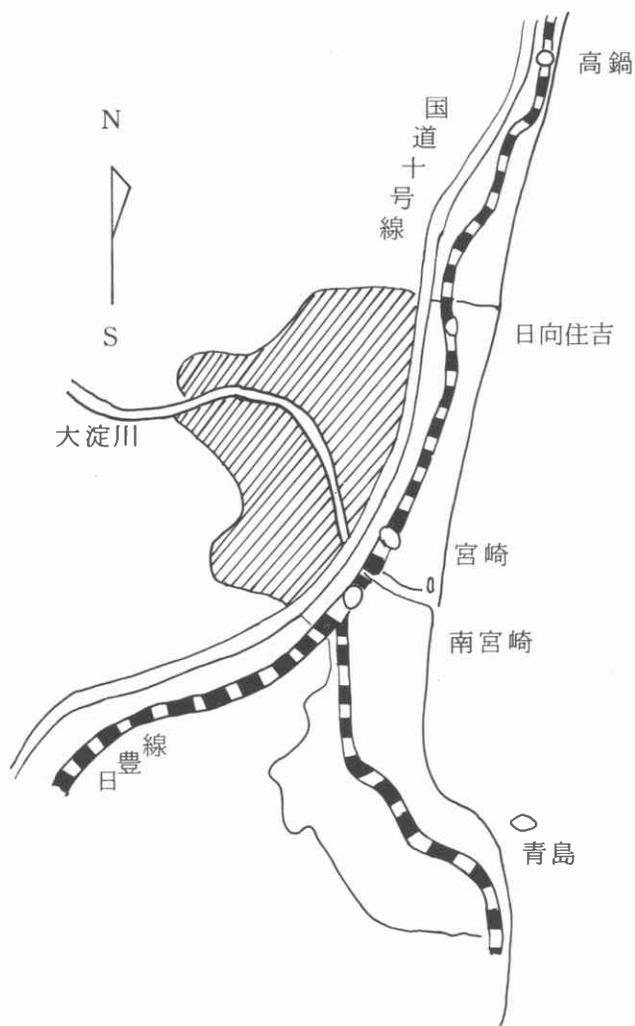
第5条 本協定は両クラブ協定の上変更することができる。但しすべて文書によらねばならない。両クラブ間に於いて上記の協定を締結した。

本協定を明確にするために協定書二通を作成し、双方記名捺印の上各その一通を保有する。

宮崎ロータリークラブ	江田 広吉, 日高 信輔
宮崎西ロータリークラブ	佐原 伝次郎, 橋本 一郎

創立当時

宮崎西ロータリー区域地図



※ 本クラブの区域限界

高鍋町 宮崎市 田野町を経て都城市に至る。

国道幹線を境界線とし、宮崎市を東西に分つ西側地域

(2) 昭和44年(1969年)10月17日

吉賀幸夫会長は宮崎北ロータリークラブ創立(10/22)にあたり、志田熊吉特別代表(宮崎クラブ)と区域の割譲に伴い区域限界協定書を取り交し定款変更した。

第2条 第1節

本クラブ区域限界は次の通りである。高鍋町、宮崎市、田野町を経て都城市に至る国道幹線、境界線とし、宮崎市を東西に分け、その西側のうち江平ロータリーより、宮崎大学と附属小学校の間を西に進んで大淀川に至り且つその上流に結ぶ線を境界としてその南部の地域とする。

(3)

昭和50年1月宮崎市内ロータリークラブ区域限界を発展的に改訂した。これは当時15代会長であった日高文雄君が、創立15周年記念として外部拡大の一環もあって、宮崎南R・Cを昭和50年3月24日に創立、同年5月29日認証を受けたことから、区域の割譲による宮崎市内4つのロータリークラブの区域の限界をこの際明確にしておく必要に迫られて改訂されたものである。

「1975年1月(昭和50年)」この年度は竹野融君が宮崎西クラブより始めて第373地区ガバナーであった。

この時代の環境を簡単に記録しておきたい

- ① ウィリアム、ロビンスR・I会長のロータリー精神を振いおこせを基本
- ② 四大部門の意義ある継続事業も年間行事に従って運営され
- ③ 15周年記念(創立)
- ④ 外部拡大、宮崎南R・C設立、特別代表日高真太郎君指名
- ⑤ 第1次オイルショック、政治経済一大恐慌となる
- ⑥ 49年8月ニクソン大統領辞、フォード大統領誕生
- ⑦ 朴大統領そ撃事件発生(同夫人死亡)

- ⑧ 11月田中総理退任に追い込まれ、三木体制のスタート
- ⑨ 景気は益々不況色を強め倒産11月度1,100件を超え、失業者75万人、普通の倍といわれ、やがて100万人が予想された。
- ⑩ 消費も相変わらず沈滞気味でインフレとデフレが混在している複雑な局面であった。
- ⑪ 9月には初代会長の田崎亀夫君が病気死亡する
- ⑫ 地区大会370区、373地区連合年次大会熊本で開催され、会員75名中32名出席43%の出席率、阿南育男君ポール・ハリスフェローとなる。
- ⑬ ロータリー創立70周年を記念した
- ⑭ カンボジアプノンペン政府全面降伏
- ⑮ 台湾の蒋介石総統の死去
- ⑯ 公定歩合9ヶ月の間5回の引上げで9%の空前の高水準と記録あり
- ⑰ 第759回例会、会員80名の大台に乗る。

宮崎南 R C 新設に伴う区域限界改正に関する協定書

宮崎南 R C 新設に当り、私共宮崎市内 R C はそれぞれのクラブが発展し、その目的を果す為従来の協定を次の通り改正した。

第 1 条

- 1 項 宮崎 R C の区域限界は大淀川を境界とし、橘橋北詰めを起点として橘通り 1 丁目、橘通り 5 丁目を経て江平町 1 丁目主要交差点に至る線を東西に分け、その東側とし江平町 1 丁目主要交差点から熊野神社、権現町、憶中学校、新別府を経て東進し一ツ葉稲荷神社に至る線を境界とする南側を区域とする。
- 2 項 宮崎西 R C の区域限界は大淀川を境界とし、橘橋北詰めを起点として橘通り 1 丁目、橘通り 5 丁目を経て江平町 1 丁目主要交差点に至る線を東西に分け、その西側とし江平 1 丁目主要交差点から宮崎大学と同附属中、小学校の間を西に進んで大淀川に至る南側とし、宮崎大橋より国道 10 号線を都城市に至る北側を区域とする。
- 3 項 宮崎北 R C の区域限界は一ツ葉稲荷神社を起点として、新別府、憶中学校、権現町、熊野神社を経て江平町 1 丁目主要交差点を西進し、宮崎大学と同附属中、小学校の間を更に西進大淀川に至りその上流に結ぶ線を境界として、その北側を区域とする。
- 4 項 宮崎南 R C の区域限界は宮崎大橋大淀川が起点となり、国道 10 号線都城市に至る国道を境界として、大淀川を下流する日向灘に至る南側を区域とする。
- 5 項 宮崎市内 4 R C の区域限界は第 1 条の通り表現したが、時代の変化に伴い変更されることも予想されるので、別途宮崎市街地図を赤線でその境界を明示した。よって各クラブ 1 部宛保有する。

第 2 条 宮崎南 R C 結成にあたり、今後は各クラブの既存会員は原則として区域限界内のクラブに移籍するものとする。

但し、本人にその意志なきものは己むを得ないものとする。

第 3 条 全市を対象とした職業のうち、宮崎大学、NHK、九電、宮崎日日新聞社、宮崎交通、宮崎銀行、宮崎瓦斯の各社は必要に応じて各クラブに入会すること

ができる。

第4条 本協定で疑義を生じた場合はロータリー精神に則り、円満に話し合い解決することとし、又変革の必要あることを認めるときは市内全クラブの協議によって変更することができる。

但し、すべて文書によらなければならない。各クラブ共慎重審議の結果上記の協定を締結した。

本協定を明確にするため、協定書4通を作成し各代表記名捺印の上その1通を保有する。

1975年1月 日

宮崎 R C 会長 菊池 弘 ㊟

宮崎西 R C 会長 日高文雄 ㊟

宮崎北 R C 会長 時任調一 ㊟

宮崎南 R C 設立特別代表 日高真太郎 ㊟

立会人第373区ガバナー 竹野 融 ㊟

第 10 編

ク ラ ブ 年 誌

(1970.7~1971.10)

7月 3日	第513回例会	新役員挨拶
7月24日	第516回例会	理事会
7月31日	第517回例会	10周年記念事業 市ヘワシントンパーク 照明機具贈呈式(夜8時) 江口宣夫君退会 新入会員 杉本智君
8月 7日	第518回例会	理事会
8月27日		クラブ・アッセンブリー (公式訪問)八田ガバナー 長友分区代理 (出出者)各役員、委員長
8月28日	第521回例会	公式訪問 ガバナー小田一昭氏
9月11日	第523回例会	理事会、国際奉仕委員会
10月 2日	第526回例会	理事会
10月 9日	第527回例会	新入会員 植松孝君
10月16日	第528回例会	ダリア賞表彰 大宮中生徒会
11月 6日	第531回例会	理事会、職業奉仕委員会
11月7・8日		年次大会 13名出席
11月13日	第532回例会	年次大会報告(会長)
11月20日	第533回例会	理事会
11月27日	第534回例会	栗林東五君一時退会、三城鑄二君退会 職場訪問(協同紙工)
12月 4日	第535回例会	理事会
12月18日	第537回例会	例会終了後忘年親睦会
12月20日		年末助け合い運動 餅つき、インターアクトと合同 カリタスの園に於て
12月25日	第538回例会	クラブ・アッセンブリー
1月 8日	第539回例会	ダリア賞表彰 中崎、野中氏 新入会員 若曾根方志君 次年度理事の指名委員会

1月29日	第541回例会	年次総会 理事会 次年度理事決定 竹内三郎・橋本一郎・山口澄夫・日高文雄 橋本善吉・木浦義雄・藤井 勝 次年度役員決定 会 長 竹 内 三 郎 副会長 日 高 文 雄 幹 事 梶 本 正 久 会 計 安 倍 友 彦 S.A.A 菊 池 皓一郎
2月 5日	第542回例会	理事会 新入会員 阿南育男君
2月12日	第543回例会	被選理事会
2月14日		インターシティーゼネラルフォーラム (日南に於いて)
2月26日	第545回例会	服部正次君退会
3月5日	第546回例会	新入会員 富田馨君、堺輝君
3月12日	第547回例会	ダリア賞表彰 松本氏 新入会員 江田祐典君 理事会
3月26日	第549回例会	津田剛君退会
4月 9日	第551回例会	後藤新太郎君退会 理事会
4月18日		三クラブ合同チャリティーバザー
4月23日	第553回例会	被選理事会
5月 7日	第555回例会	黒木正光君再入会
6月 3日		炉辺会合 歴代会長会
6月 4日	第559回例会	1970～1971年 最終理事会 被選理事会
6月13・14日		地区協議会
6月18日	第561回例会	新入会員 石井富雄氏 被選理事会

6月25日	第562回例会	50回目最終例会 橋本会長の一年間の報告
7月2日	第563回例会	竹内会長就任挨拶 新入会員 川崎潤君 前年度社会奉仕委員会から、はまゆう会の表彰 クラブ協議会 新年度予算について 理事会
7月9日	第564回例会	竹野融君 分区代理に 橋本一郎君 地区資金委員に 名誉会員決定(黒木知事、清山支長) 年次大会出席奨励積立金制度設置
7月13日		三クラブ合同、会長、幹事、国際、社会青少年各奉仕 委員長会
7月15日		特別理事会(年間スケジュールの編成について)
7月16日	第565回例会	役員、委員長就任挨拶 鈴木敏道君退会
7月30日	第567回例会	新入会員 才藤善暉君 すべり台の贈呈式、天神山公園に於いて
8月6日	第568回例会	前年度無欠席表彰
8月8日		県内会長、幹事会(インタシティーゼネラル、フォー ラムの開催について)
8月13日	第569回例会	夜の例会 クラブ・フォーラム パネル・ディスカッション(青少年奉仕、社会奉仕委 員会)
8月27日	第571回例会	交換学生トーマス・ウォルク君来訪 理事会
9月3日	第572回例会	森正年君退会
9月10日	第573回例会	100万ドル食事
9月16日		三クラブ合同広報委員会 県内12新聞社と懇談
9月17日	第574回例会	小野梓君退会 理事会
9月24日		秋分の日 休会
10月1日	第575回例会	ダリア賞表彰 黒木征士露氏

		森禧晃君一時休会（12月迄） 理事会 社会奉仕基金制度設置 委員長会（クラブ・アッセンブリー） 市青年団との座談会（青少年奉仕委員会）
10月 5日		
10月 8日	第576回例会	理事会（職業分類委員会から分類について）
10月15日	第577回例会	クラブ・フォーラム （例会のあり方等について）
10月 日	第578回例会	新入会員 佐藤勉君 理事会 炉辺会合（ロータリー情報委員会） 46年1月以降入会者との懇談会 （養護院）皇寿園慰問（社会奉仕委員会）
10月24日		
10月29日	第579回例会	善行青少年表彰 小・中学生 11名 100万ドル食事（青少年委員会） 新入会員 藤元昭二郎君
11月 5日	第580回例会	大古殿和丸君退会
11月19日	第582回例会	献血運動
11月25日		クラブ協議会（ガバナー公式訪問） 出席者 小田ガバナー、竹野分区代理 理事、役員、各委員長
11月26日	第583回例会	ガバナー公式訪問
12月19		年末助け合い運動 餅つき、ひまわり学園に於いて
1月 7日	第589回例会	次年度理事指名の為の理事指名委員会発足
1月21日	第591回例会	年次総会 次年度理事決定 郡 嗣彦・川辺政明・中山正一・菊池 彰 竹内三郎・金丸一平・榎本正久 次年度役員決定 会長 郡 嗣彦 会計 杉山正一 副会長 川辺政明 S.A.A 佐原正晃 幹事 新原秀丸
2月 4日	第593回例会	新入会員 山脇望君、津守康守君

2月25日	第595回例会	川崎瀨君退会
3月 3日	第596回例会	(夜の例会)
4月15日		職業奉仕劇 事例研究
5月16日	第606回例会	三クラブ合同チャリティーバザー
6月 9日	第609回例会	三クラブ合同例会
6月29日		小堀憲助氏「ロータリー発足史」について講演
		職場訪問(宮崎銀行、電算センター)
		三原七郎会員死亡

ク ラ ブ 歴 史

(Jul. 1972)

宮崎ロータリークラブ
幹事 新 原 秀 丸

7月 1日		新年度役員及び委員長名掲載 (宮崎日日新聞) クラブ協議会
7月 4日		故三原七郎会員の社会保健連合葬
7月 5日		ロイヤルホスト宮崎店開店 (江田会員)
7月 6日		地区大会事務局へコホストクラブ拠出金の一部支出
7月 7日	第613回例会	新会長・副会長・幹事挨拶 会長の本年度クラブ運営方針 ビジター第1号へ記念品贈呈 (宮崎 R.C. 後藤昭氏) 誕生祝 (6名) 委員会名簿配布 委員会組織図及び会員増強のためのグループ編成表発表 出席奨励標語の募集 理事会 宮崎・宮崎西・宮崎北3 R.C. 会長の記者会見 地区大会運営委員会 (於宮崎観光ホテル , 東ガバナー臨席)、クラブ会員 数半期報告 入頭分担金及びロータリアン誌購読料送金・地区資金・国際青少年交換資金及びガバナー月信代払込
7月 8日		後藤満会員アカネ会第2位入賞
7月10日		石井会員大物石 鯛釣上
7月11日		カリタスの園中学生招待 (江田会員)
7月14日	第614回例会	名誉会員決定 (黒木知事・清山支長) 本年度予算計画決定 クラブ細則第2節会費の年額変更 連続無欠席者確認表配布

7月16日	第615回例会	若い戦争犠牲者救済寄付金をラオス・ヴィエンチャン R.C.へ送金決定 社会奉仕基金寄付者へ感謝状贈呈（江田会員） 故三原七郎会員の追悼会 米山記念奨学会へ上半期寄付金を送金 新旧会長・幹事の歓送迎会 宮崎県インターアクトクラブ連絡協議会（都城市） 油絵会
7月20日		日高（文）会員並びに角地会員の御尊父御逝去
7月21日		ゲスト 宮崎商業高校インタアクト関係の教諭及び部員 年間行事予定表配布 100万ドル食事 ガバナー公式訪問日程確定 決算報告承認 地区協議会義務出席者の報告と新任挨拶 インターアクト連絡協議会
7月23日	第616回例会	宮日デー（若首根会員）
7月25日		国際奉仕委員会
7月28日		会員名簿配布 各委員長承任挨拶 理事会
7月29日		ガバナーへクラブ細則変更通知
7月30日		バレーボール全日本女子選手権宮崎県予選で宮崎マツダチーム優勝（日高文会員） 九州沖縄芸術祭入場券を老人福祉センターに贈呈

ク ラ ブ 歴 史

(Aug. 1972)

宮崎西ロータリークラブ

幹事 新原 秀丸

8月 4日	第617回例会	宮崎西ロータリー・クラブ定款並びにクラブ細則配布 会員証配布 予算一部修正 誕生祝(4名) 真幸地方水害見舞金を募金 充填及び未充填職業分類表配布 職業奉仕採点用紙配布 国際ロータリー出版物日本語版カタログ配布 ロータリー情報(竹内委員長) 例会のあり方について ガバナーへ7月出席報告
8月5~7日		第373区インターアクトクラブ年次大会
8月 6日		西R.C.ゴルフ年次大会(別府) 角地会員優勝 木浦会員夫人の御母堂御逝去
8月 7日		公式名簿発註
8月 8日		地区大会運営協議会(於宮崎観光ホテル)
8月11日	第618回例会	ゲスト 交換学生 山本 速人 君 song 麦と兵隊 会員卓話(立元会員) 中国見たまま 理事会
8月11日	第618回例会	職業分類〃地方金融〃を開放 青少年奉仕委員会 委員会報告用紙配布
8月16日		交換学生 山本 速人 君出発 真幸地方水害見舞金送金
8月17日		会員選考委員会

8月18日		卓話 篠原喬雄氏（浄土真宗本願寺派宮崎地区教務所 長） 仏教の心 ゲスト 宮崎商業高校インターアクト部員 100%無欠席者表彰 ロータリー財団賛助比率500%となる。 社会奉仕基金へ寄付（木浦会員） 第373区地区大会プログラム配布 市内3R.C.会長・幹事会
8月20日		交換学生 樋口登君
8月21日		交換学生ブライアン・E・ブレッドソン君来宮
8月24日		親睦活動委員会
8月25日	第620回例会	ゲスト 交換学生ブライアン・E・ブレッドソン君 〃 樋口登君 ロータリーダイアリー予約受付 クラブ・フォーラム（金丸委員長） 職業奉仕について 理事会 クラブ協議会 ゴルフ場建設着工（後藤則会員） 改良車新発売（橋本一会員・百野会員） J.C.会ゴルフ 佐原（正）会員優勝 当クラブの区域限界をガバナーに報告
8月29日		

ク ラ ブ 歴 史

(Nov. 1972)

宮崎西ロータリークラブ

幹事 新原 秀丸

11月 1日		四つのテストの歌発註 (船橋R.C.)
11月 3日		邦楽「奉仕の理想」録音盤発註 (西那須野R.C.)
11月 4日		休会 (文化の日) 植松 (熊) 会員勲五等双光旭日章受賞
11月 5日		宮日新聞に「県展と私」という題で意見発表 (吉賀会員)
11月 6日		シルクロード杯 A 級 優 勝 (堺会員) A 級 5 位入賞 (安倍会員) B 級 優 勝 (藤井会員)
11月 8日		サンフラワー会 A 級 2 位入賞 (佐原正会員) B 級 4 位入賞 (黒木会員)
11月 10日	第629回例会	UMKこんばんわ県庁座談会出席 (郡会員) 宮崎県母子保険の現状について 2 番目の孫誕生 (新原会員) ガバナーへ10月分出席報告 宮日新聞にトヨタ自動車社員一同紹介 (橋本一会員) 誕生祝 (2名)、結婚記念祝 (5名) 重木茂君より退任挨拶状来信 地区大会部門別協議会出席者一覧表配布 「奉仕こそわがつとめ」の購読を依頼 地区大会事務局宮崎観光ホテル内に変更 地区大会役員・委員会及び委員一覧表配布 マレーシア、コタバルR.C. バナー到着 地区大会ゴルフバッグのネームプレート受註 地区大会部門別会場委員会開催 地区大会幹事 (岩切省一郎氏) より大会協力依頼 献血奉仕 (於ホテルフェニックス) 歴代幹事会開催 (第一回)

11月10日		ひまわり画廊画材店本店新築営業再開(10月29日)
11月11日		マージャン・囲碁・将棋会開催 マージャン 1位 江田会員 2位 山脇会員 3位 堺 会員 竹野会員がバナーノミニーに決定
11月12日		日高商会延岡支店オープン(木浦会員) 老松会 2位入賞(杉山会員)
11月13日		3 R.C. 会員夫人と地区大会についての懇談会開催
11月14日		地区大会運営委員会開催
11月16日		ロータリー財団へ寄付金送付 新入会員寄付金(北原会員・森園会員) 会員1ドル寄付金 ポール・ハリス・サステーニングメンバー(堺会員)
11月17日	第630回例会	地区内クラブ年次大会分担金振込 大会事務局・3 R.C. 幹事と宮崎日々新聞社と打合 地区大会クラブ選挙人信任状作成 理事会 ゲスト 黒木雄二郎氏(宮日編集局長) 寺沢正八郎氏(宮日経済部長) 宮崎日々新聞社とロータリー財団について対談 ロイ・D・ヒックマン氏の公式写真到着 ロータリー財団奨学生名簿到着 地区大会選挙人指名 (佐原伝会員・菊池稔会員・竹内会員) 会員夫人地区大会協力内容・時間表配布 メイキング化粧品宣伝写真宮日新聞に掲載 (橋本善会員夫人・阿南会員夫人・池田会員夫人)
11月20日		クラブ選挙人・10月末日現在の会員数報告
11月21日		宮日新聞にあたたかい治療に対する感謝の手紙掲載 (阿南会員)
11月22日		失業保険優良事業所県知事表彰 (田中秀会員・堺会員・新原会員)

11月23日	第631回例会	R.I. 会長代理湯浅恭三氏来宮
11月24日		ゲスト 東博仁ガバナー 地区大会委員長 増田 吉郎君 地区大会幹事 岩切省一郎君 東ガバナー挨拶 増田地区大会委員長・岩切大会幹事の地区大会協力依頼挨拶 社会奉仕基金寄贈(吉賀会員) 初孫誕生(杉山会員) 理事会
11月25日		第373区地区大会第1日 西都原観光 部門別協議会 懇親ボウリング大会
11月26日		大会第2日 部門別協議会報告 パネルディスカッション 特別講演(岩切章太郎氏) 決議案採決 表彰 懇親晩餐会 能と舞囃子・素謡の会(竹野会員)
11月27日		大会第3日 観光(海のコース・山のコース) ゴルフ ロータリー財団へ寄付金送付 ポール・ハリス・サステーニングメンバー(植松熊会員) 社会奉仕基金寄贈(植松熊会員) 地区大会ゴルフ A組 2位 菊池(彰)会員 4位 安倍会員 B組 3位 木浦会員(ベスト・グロス) 6位 竹内会員
11月30日		12月22日の例会日・例会場・時間変更通知状発送

ク ラ ブ 歴 史

(Dec. 1972)

宮崎西ロータリークラブ

幹事 新 原 秀 丸

12月 1日	第632回例会	誕生祝(6名)、結婚記念祝(6名) 地区大会協力御礼挨拶(地区大会委員長増田吉郎氏) 会員卓話 江田会長 理事会 植松熊太郎会員叙勲祝賀会(於江南荘)
12月 4日		会員選考委員会開催
12月 6日		親睦活動委員会開催
12月 7日		RI在日財務代行者より1973年1月1日以降6ヵ月間に適用される為替ルートは1米ドル当り邦貨300円とする旨来信
12月 8日	第633回例会	吉賀会員日展入選祝賀会開催 ゲスト ブライアン・E・ブレッドソン君(交換学生) 東ガバナーより地区大会協力感謝の礼状来信 新職業分類開放 1. 建築技師 3. 雑貨配布 2. 衣料小売 4. 短期金融 竹野ガバナーノミニー挨拶 第8回インターアクト年次大会収支報告書来信 社会奉仕基金寄贈(菊池総会員) 金子眼鏡店電話番号変更(矢田会員) 理事会 11月出席をガバナーへ報告
12月 9日		宮崎日々新聞社社長就任(若曾根会員) 親睦ゴルフ 新入会員候補者報告通知状発送
12月12日		「動乱の中の王妃」発註
12月13日		親睦活動委員会開催

12月15日	第634回例会	卓話 脇田儀隆氏（宮崎福祉事務所長） 老人福祉の問題について R財団より1971～72年度財務報告来信 広報委員会開催 「ネパールに生きる」代金送金
12月16日		1972年7月～12月のクラブ業績報告書をRI及び地区ガバナーへ送付
12月17日		「ロータリーの友 — 地区の動き」資料作成の為の若手会員座談会開催 （於熊本市、ニュースカイホテル） 年末餅つき奉仕実施（於小戸母子寮） 小戸母子寮・民生館・ひまわり学園・整肢学園・カリタスの園に配布
12月18日		尾藤商店（尾藤会員）及び竹内外科病院（竹内会員）の電話番号変更 ラオス、ヴィエンチャンRCから寄付金に対する礼状着信
12月19日		歴代会長会開催
12月20日		「ロータリー入門書」発註 堺薬品株式会社（堺会員）県内300台目のテレックス設置
12月23日	第635回例会	理事会 地区大会決議第6号世界社会奉仕計画参加資金拠出 年末家族懇親会開催
12月25日		新入会員候補者報告通知状発送
12月26日		東ガバナー宮崎RC例会へ出席 第370区・第373区第2回交換学生オリエンテーション開催（於福岡県柳川市）
12月29日	第636回例会	理事会 フォーラム（社会奉仕） カリタスの園・宮崎養護院より寄贈に対する礼状着信

12月29日 第636回例会

次年度理事指名委員会発足

1. 佐原 伝次郎 会員
2. 竹野 融 会員
3. 植松 熊太郎 会員
4. 吉賀 幸夫 会員
5. 橋本 一郎 会員
6. 竹内 三郎 会員
7. 郡 嗣彦 会員
8. 川辺 政明 会員
9. 新原 秀丸 会員

全国植樹祭協力寄付金拠出

宮崎県北分区 I.C.G.F. のプログラム配布

橋本一会員自宅の電話番号変更

理容組合、身体障害者に寄付（大賀会員）

ク ラ ブ 歴 史

(Jan. 1973)

宮崎西ロータリークラブ

幹事 新 原 秀 丸

<p>1月 5日</p>	<p>第637回例会</p>	<p>ゲスト ブライアン・E・ブレッドソン君(交換学生) 新入会員 那須泉君 誕生祝(9名)、結婚記念(9名) ブレッドソン君挨拶 感想発表 津守会員・山協会員 第373区宮崎県北分区I.C.G.F.参加者募集及び テーマに対するアンケート用紙配布 1月行事予定表配布 マナグア被災に対する献金を依頼 R.I.へ半期報告書送付 R.I.在日財務代行者へ人頭分担金等送金 地区資金委員長宛地区資金等送金 米山記念奨学会普通寄付金送金 交換学生ブライアン君川辺会員宅より木浦会員宅へ移 動(12月14日) アートリークラブ開催 植松孝会員自宅新築転居(12月12日) 那須会員の入会報告書をR.I.及びガバナーへ送付</p>
<p>1月 6日</p>		<p>グリーン会 優勝 堺 会員 第2位 植松熊会員 12月分出席報告をガバナーへ送付</p>
<p>1月 7日</p>		<p>サンフラワー会 A組 優勝 佐原(正)会員 B組 グロス賞 菊池(彰)会員</p>
<p>1月 9日</p>		<p>「サービス思想の意味するもの」発註 R I 及びガバナーへ植松孝会員住所変更を報告</p>
<p>1月12日</p>	<p>第638回例会</p>	<p>新入会員 永田光容君 会員卓話 佐藤 勉会員 半期中間収支計算書配布</p>

1月12日	第638回例会	半期個人別出欠表配布 「ロータリーの友」についてのアンケート用紙配布 当クラブ慶弔規定配布 次年度理事指名委員会開催 クラブ協議会開催（於ホテルフェニックス）
1月15日		成人式を迎えられた会員の御子息 杉山会員 長男 嘉郎君 金丸会員 次長 京子さん 角地会員 長女 恵子さん
1月19日	第639回例会	新入会員 平山輝男君 年次総会開催 次年度理事決定 1. 川 辺 政 明 会員 2. 黒 木 正 光 会員 3. 郡 嗣 彦 会員 4. 新 原 秀 丸 会員 5. 菊 池 皓一郎 会員 6. 岩 井 隆 一 会員 7. 佐 原 正 晃 会員 次年度職権上の理事（会長エレクト）決定 日 高 文 雄 会員 被選理事会開催 次年度役員決定 会 長 川 辺 政 明 会員 副会長 黒 木 正 光 会員 幹 事 木 浦 義 雄 会員 会 計 杉 山 正 一 会員 S A A 江 田 祐 典 会員 ロータリー情報 竹 内 三 郎 会員 定時総会・例会・理事会・役員について 改正慶弔規定配布
1月20日 1月21日 ～27日		交換学生ブライアン君の誕生祝（木浦会員宅） ロータリアン誌週間

1月22日	第639回例会	宮崎県北分区 I.C.G.F. の参加申込書及び登録料送付
1月24日		宮崎青年会議所理事長就任(百野会員) 青年会議所の宮崎・鹿児島ブロック協議会会長就任 (池田会員)
1月26日	第640回例会	卓話 西岡恒之助会員 雑誌週間について 退会挨拶 富田馨会員 理事会挨拶
1月27日		ゴルフ月例会(フェニックス) 優勝 藤井 勝会員 準優勝 竹内三郎会員 第3位 百野 弘会員 1973年度国際大会のホストクラブ総務委員会へ当クラブバナー2本送付 「ロータリーでいう職業奉仕」・「ロータリーの歌英語版」発註 後藤満会員・松岡会員の会員種類変更届を R.I.及びガバナーへ送付
1月29日		新入会員被推薦者の通知状発送
1月31日		富田馨会員退会 富田会員退会届を R.I.及びガバナーへ送付 R.I.会長より会長宛来信(1月1日付)

ク ラ ブ 歴 史

(Feb. 1973)

宮崎西ロータリークラブ

幹事 新 原 秀 丸

2月 2日	第641回例会	<p>ダリア賞贈呈 受賞者 宮崎サト様 (按摩業) 誕生祝 (9名)・結婚記念祝 (9名) ロータリー情報 (竹内委員長) 「I.C.G.F.について」 誕生挨拶 川辺会員 結婚記念挨拶 阿南会員</p> <p>理事会 「人間を考える」発註 職業分類委員会開催 油絵会開催</p>
2月 3日		立元会員夫人逝去
2月 5日		富田馨君出発
2月 6日		津久見R.C.より「明るい社会をつくる作文集」来信 ガバナーへ1月会員数及び出席報告
2月 7日		R財団より1971～72年度次報告着信 370～373地区青少年交換委員会より「交換学生 便りNo.2」来信
2月 9日	第642回例会	<p>Song 春よこい インターアクト指導教室 有馬 清保先生 インターアクト会員 清水 豊君・藤田 毅志君 加藤恵美子さん・石神久美子さん 山口美穂子さん</p> <p>再入会員 鈴木 敏 道 君 新入会員 前 川 蔵 人 君 1974～75年度R.I.会長にウィリアムR.ロビンズ 氏指名</p>

2月 9日	第642回例会	<p>インターアクト会員卒業生に記念品贈呈 インターアクト代表挨拶 石神久美子さん 会員卓話 牧 会員 「戦後の陶器について」</p> <p>理事会 ロータリーの理想と友愛・ロータリーソング楽譜集・ ロータリーソングソノシート・インターアクトの歌ソ ノシート発註 ロータリー美術館発註</p>
2月10日		長峰会員県冷凍事業協会長に選任
2月11日		<p>ゴルフ会例杯 優 勝 堺会員</p>
2月12日		富田分区代理より次年度地区資金増額について来信
2月16日	第643回例会	<p>新職業分類開放</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 傷害保険 2. 楽器配布 3. 貨物自動車輸送 <p>職業分類を修正</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 為替銀行→外国為替銀行 2. プロパンガス配布→液化圧縮ガス配布 <p>才藤会員・池田会員・藤元会員の職業分類を是正 100万ドル食事 挨拶 立元会員 卓 話 竹野会員 「最近の医療問題について」</p> <p>2月9日現在充填及び未充填職業分類表配布 職場訪問（金丸本店） 油絵会開催 鈴木会員・前川会員の新入会報告及び池田会員・藤元 会員の職業分類変更報告をR・I.及びガバナーに送付 宮崎県北分区 I.C.G.F.開催（日向市）</p> <p>ゴルフ月例杯 優 勝 堺 会員</p>
2月18日		

2月19日	第643回例会	南九州千種会第2年度研修会案内来信 1972年国際大会公式議事録到着
2月22日		百野会員「宮崎の観光について」NHKテレビで対談
2月23日	第644回例会	ロータリー創立68周年記念日 卓話 郡会長 「創立記念日によせて」 竹野会員 「ロータリーとは」
2月24日		江田会員九州石販(株)社長に選任 金丸酒造職場訪問吟投稿(田崎会員) 理事会 熊平源蔵氏より「抜萃のつづり」拝受 宮崎県緑化推進委員会へ協力金を寄贈 宮崎県林務部より「緑化のしおり」着信 日高(真)会員宮崎ゴルフ(株)社長に就任 安倍会員宮崎ゴルフ(株)監査役に就任 ゴルフ月例会 優勝 後藤会員 準優勝 竹内会員 第3位 鈴木会員
2月25日		日本ボーイスカウト・日本ガールスカウト宮崎地区大会開催
2月26日		公式訪問報告書の委員会別実施計画の進行状況を富田分区代理へ報告 R.I公式名簿用資料をR.I・ガバナー・ガバナーノミニニへ送付
2月27日		1972年国際大会公式議事録をR.Iへ発註 田中(秀)会員フェニックス国際観光(株)常務に栄進

ク ラ ブ 歴 史

(Mar. 1973)

宮崎西ロータリークラブ

幹事 新 原 秀 丸

3月 2日	第645回例会	<p>ダリア賞贈呈 受賞者 恒久増夫氏(県公園協会職員) 古希祝(菊池 稔会員) 誕生祝(6名)・結婚記念祝(7名) 会員卓話 菊池 稔会員 未充填職業分類表配布 ロータリー財団より寄付金の累計表着信 竹内会員附属小学校PTA会長に就任 大賀会員自宅電話番号変更 地区大会記録誌広告協賛依頼書配布 油絵会開催</p>
3月 3日		<p>榊本会員自宅新築転居 交換学生ブライアン君、木浦会員宅より榊本会員宅へ移動</p>
3月 4日		<p>事務局員小田原三千代さん挙式 大賀会員夫人「結婚式を間近に控えたお嬢さまのお肌の手入れ」について宮日新聞に意見発表</p>
3月 5日		<p>2月会員数及び出席報告をガバナーへ提出 1973～74年度ロータリー手帳発註</p>
3月 6日		<p>宮崎RC創立20周年記念式典兼職業奉仕賞贈呈式</p>
3月 9日	第646回例会	<p>改正クラブ定款・細則配布 菊池稔会員社会奉仕基金へ寄付 R-I.在日財務代行者より適用相場変更通知来信 I.C.G.F. 報告 川辺会員・阿南会員・津守会員</p>
3月11日		<p>ゴルフ月例会 優勝 山脇会員 準優勝 藤井会員</p>

3月11日	第646回例会	第3位 安倍会員 第4位 竹内会員 第5位 立元会員
3月13日		炉辺会談(新入会員)開催
3月14日		佐原(伝)会員孫娘出生
3月16日	第647回例会	田中(秀)会員勤務場所をサンホテルフェニックスに変更 Song おぼろ月夜 ゲスト卓話 前田安己氏(宮大工学部教授) 「公害の諸問題」 理事会 油絵会開催 ゴルフ月例会
3月17日		「200万本植樹運動」に寄贈した苗木の贈呈式開催
3月17日 ～18日		第3回交換学生オリエンテーション開催(雲仙、NBC ロッジ雲仙)
3月19日		宮崎県青少年対策室長より「春の青少年をのぼす運動」 の実施要領来信 延岡R.A.Cより地区大会記念誌到着
3月20日		サンホテルフェニックス・宮崎国際会議場落成式 (田中秀会員)
3月22日		日高(真)会員母堂逝去
3月23日	第648回例会	ゲスト卓話 郡城昌枝さん(ガールスカウトリーダー) 「九州青年の船にのって」 「かけがいのない日本」購入協力依頼 菊池稔会員日赤事業資金寄付 日高(照)会員店舗新築 橋本(善)会員「(株)リエンケミカルハシモト」を設立 (47年12月25日)、社長に就任 親睦ボーリング大会開催
3月24日		江田会員九州石販(株)社長就任披露祝賀会開催 津守会員尊父逝去
3月25日		「彼等の身になっての会議」開催(熊本市)

3月26日	第648回例会	大分東R.C.より「10年の歩み」着信
3月27日		ロータリー財団専門的訓練研修正申請候補者面接 チャリティバザーについて3 R.C.合同の会長・幹事・ 社会奉仕の会合開催（宮崎観光ホテル） 富士海外旅行(株)よりロータリアン海外旅行必携到着 3月28日 米山記念奨学会より寄付金明細表着信 3月29日 クラブ財務表を日高パストガバナーへ提出 東ガバナーより「平和への七つの道」拝受 杉本会員「県内飛行機操縦免許第1号」でNHKテレビ出演
3月30日	第649回例会	地区協議会義務出席者発表 退会挨拶 石井富雄会員 社会奉仕基金へ寄付 日高(真)会員・杉本会員 挨拶 日高(真)会員 フォーラム(クラブ奉仕)川辺副会長司会 杉本会員自宅新築 理事会 東ガバナーより委員会別実施計画進行状況報告に対する礼状着信 3月31日 退会社 石井富雄会員(転勤) 田中(秀)会員モーニングショーで自然動物園について対談 国際大会投票代議員カードを東ガバナーへ送付 石井富雄会員退会届をR.I.及びガバナーへ送付

ク ラ ブ 歴 史

(Apr. 1973)

宮崎西ロータリークラブ

幹事 新原秀丸

4月 1日		宮崎マツダ社長喜寿記念体育館落成(日高文雄会員) 才藤会員母堂逝去
4月 2日		石井会員移転通知状を福岡一東南R.C.へ発送
4月 4日		1973~74年度第373地区ガバナー事務所開設 案内着信
4月 6日	第650回例会	誕生祝(5名)・結婚記念祝(14名) 結婚記念挨拶 後藤 満会員 卓話 郡 会長 「クラブ創立記念日によせて」 挨拶 津守会員 日興商事杯 優勝 鈴木会員 次年度会長・幹事の顔写真をロータリーの友編集事務所へ送付
4月 7日		石井富雄君出発
4月 8日		クラブ創立記念日 第24回全国植樹祭(新原幹事出席)
4月 9日		郡会長天皇・皇后両陛下を宮崎駅にて奉迎 両陛下シーサイドホテルフェニックスに御宿泊(田中秀男会員) 3月会員数及び出席報告をガバナーに送付
4月13日	第651回例会	例会場 サンホテルフェニックス(9階)レストラン・ブルースカイ 次年度委員長発表(川辺次期会長) ◎印 理事 ○印 職権上の理事 ◎会 長 川 辺 政 明

<p>4月13日</p>	<p>第651回例会</p>	<p>◎副会長 黒木正光 (クラブ奉仕)</p> <p>◎ローター情報 新原秀丸</p> <p>◎社会奉仕 菊池皓一郎</p> <p>◎国際奉仕 岩井隆一</p> <p>◎職業奉仕 佐原正晃</p> <p>青少年 大賀義人 出 席 牧圭司 職業分類 日高照雄 親睦活動 西岡恒之助 雑誌 榎本正久 会 報 佐藤勉 会員選考 金丸一平 会員増強 百野弘 プログラム 日高真太郎</p> <p>◎広 報 郡 嗣彦 インター 山口澄夫 アクト諮問 阿南育男 ローター財団</p> <p>○幹 事 木浦義雄</p> <p>○会 計 杉山正一 S. A. A. 内村龍祐</p> <p>○会長エレクト 日高文雄</p> <p>サンフラワー会 準優勝 竹内会員</p> <p>本年度大学入学 植松(熊)会員 令嬢 宮下会員 令息(長男) 津守会員 令嬢</p> <p>那須会員自宅電話番号変更 職場訪問(サンホテルフェニックス) 3 R.C合同チャリティーバザー開催(橘百貨店) 会員選考委員会開催 ワンダーフォーゲル打合わせ会開催(宮崎観光ホテル)</p>
<p>4月15日 4月17日 4月18日</p>		

4月19日	第651回例会	新入会員候補者報告通知状発送
4月20日	第652回例会	100万ドル食事 3月末現在の収支計算書配布 会員卓話 宮下会員 「繊維界の概況」 挨拶 才藤会員 サンホテルフェニックス見学吟投稿(田崎会員) 交換学生について3R.C.合同会長・幹事・国際奉仕の 会合開催(宮崎観光ホテル)
4月21日		熊本東R.C.よりロータリー季報拝受
4月25日		地区青少年交換委員会より「交換学生便りNo.3」着信 全日本ロータリークラブ会員名簿資料送付 全日本ロータリークラブ会員名簿発註
4月26日		サンホテルフェニックスより11PM(UMK)で「うれし恥かし宮崎の夜」を全国実況中継(田中秀男会員) 木浦会員 男子初孫誕生
4月27日	第653回例会	ゲスト卓話 竹野正道氏(県内水面連合会長) 「内水面漁業の諸問題」 3R.C.合同チャリティバザー報告書配布 理事会
4月28日		南九州千種会研修会開催(大分市) ゴルフ西クラブ月例会 優勝 松岡会員 準優勝 後藤満会員 サンフラワー会 B組第3位(グロス賞)後藤満会員

ク ラ ブ 歴 史

(May. 1973)

宮崎西ロータリークラブ

幹事 新 原 秀 丸

5月 2日		<p>堺会員次女万希子さん薬剤師国家試験合格 一時退会 後藤則義会員</p>												
5月 3日		<p>子供の国のバラ園をMRTで紹介(日高真会員)</p>												
5月 4日	第654回例会	<p>新入会員 大古殿宗三郎君 誕生祝(4名)、結婚記念祝(6名) 会員卓話 江田祐典会員 「アメリカあれこれ」 次年度委員会資料・活動計画並びに予算計画用紙等配布 新入会員情報 大古殿会員新入会報告をR.I.及びガバナーへ郵送 「ロータリー美術館」追加発註</p>												
5月 7日		<p>宮崎山形屋被災(岩元会員)</p>												
5月 8日		<p>菊池総会員日赤全国大会で金色有功章受賞</p>												
5月10日		<p>4月会員数及び出席報告をガバナーに提出</p>												
5月11日	第655回例会	<p>会員卓話 内村龍祐会員 「セメントについて」 クラブ歴史(2月分)配布 杉原ガバナーノミニーより次年度R.I.会長のターゲットを受信「A TIME FOR ACTION 今こそ行動のとき」 次年度副委員長発表</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">クラブ奉仕</td> <td>田 中 博 規</td> </tr> <tr> <td>ローター情報</td> <td>竹 内 三 郎</td> </tr> <tr> <td>社会奉仕</td> <td>田 中 秀 男</td> </tr> <tr> <td>国際奉仕</td> <td>池 田 成 彬</td> </tr> <tr> <td>職業奉仕</td> <td>鈴 木 敏 道</td> </tr> <tr> <td>青少年奉仕</td> <td>植 松 孝</td> </tr> </table>	クラブ奉仕	田 中 博 規	ローター情報	竹 内 三 郎	社会奉仕	田 中 秀 男	国際奉仕	池 田 成 彬	職業奉仕	鈴 木 敏 道	青少年奉仕	植 松 孝
クラブ奉仕	田 中 博 規													
ローター情報	竹 内 三 郎													
社会奉仕	田 中 秀 男													
国際奉仕	池 田 成 彬													
職業奉仕	鈴 木 敏 道													
青少年奉仕	植 松 孝													

5月11日	第655回例会	<p>出席 田中 巖 職業分類 藤井 勝 親睦活動 大古殿 宗三 雑誌 津守 康宏 会報 前川 蔵人 会員選考 中山 正一 会員増強 橋本 善吉 プログラム 若曾根 方志 広報 立元 郁夫 インター アクト 大健 耕嗣 ロータリー財団 杉本 智 副幹事 角地 次男 副会計 安倍 友彦 副S.A.A. 尾藤 博澄</p>
5月14日		<p>岩元会員より被災見舞に対する感謝状来信 東京田町R.C.より献血運動についてのパンフレット受領</p>
5月16日		<p>次期会長・幹事・例会場・事務所の名簿を杉原ガサノミニーに報告</p>
5月17日		<p>3 R.C.合同親善ゴルフ大会 A組 優勝 松岡会員 準優勝(グロス) 川辺会員 B組 準優勝 尾藤会員 団体優勝 西クラブ 橋本一郎会員</p>
5月18日	第656回例会	<p>会員卓話 竹内三郎会員 「ロータリーの社会奉仕について」 クラブ歴史(3月分)・4月末現在収支計算書・次年度「ガバナー月信」購読申込用紙配布 ロータリー財団へ寄付(ポールハリス準フェロー) 郡 嗣彦 会員 新原 秀丸 会員 次年度所属委員会名簿配布 竹内会員夫人大宮高校PTA副会長に就任</p>

5月18日	第656回例会	川辺会員宮崎県電器卸商業組合初代会長に就任 月例杯 優勝 松岡会員 ロータリー財団へ寄付金送金（\$381） クラブ協議会開催（於ホテルフェニックス）
5月21日		本年度ワンダーフォーゲル運動協力依頼書着信
5月23日		黒木知事より第24回全国植樹祭に於ける協力に対して て礼状を拝受
5月24日		都城北R.Cより宮崎県南分区I.G.F.の記録受領 立元会員 宮崎放送専務兼任を辞任、宮崎放送商事社 長に専任
5月25日	第657回例会	会員卓話 津守康宏会員 「木材の話あれこれ」 理事会開催
5月26日		東ガバナーへ叙勲祝状を発言 清陵会 優勝 井山会員
5月27日		宮崎マツダ女子バレーチーム県体優勝 (日高文雄会員)
5月28日		日高文雄会員 宮崎県軽自動車協会会長に再任

ク ラ ブ 歴 史

(Jun. 1973)

宮崎西ロータリークラブ

幹事 新 原 秀 丸

6月 1日	第658回例会	誕生祝 (5 名) ・ 結婚記念祝 (4 名) 会員名簿作成資料用紙配布 クラブ用改正手続要覧受領 昭和48年7月1日から始まる上半期の適用相場・人頭分担金・ロータリアン誌購読料の変更通知来信 東ガバナーより李方子女史著「動乱の中の王妃」拝受
6月 4日		次年度結婚記念祝品発註 (和光)
6月 6日		日本ボーイスカウト宮崎連盟長より協力依頼書来信
6月 8日	第659回例会	会員卓話 永田光容会員 「金融状況について」 東ガバナーより叙勲お祝に対する礼状来信 5月会員数及び出席報告をガバナーに提出
6月 9日		地区協議会開催 (鹿児島市)
6月 9日 ～10日		出席者 次 期 会 長 川 辺 政 明 次 期 幹 事 木 浦 義 雄 次期クラブ奉仕担当 黒 木 正 光 次期社会奉仕委員長 菊 池 皓 一 郎 次期国際奉仕委員長 岩 井 隆 一 次期職業奉仕委員長 佐 原 正 晃 社 会 奉 仕 部 会 カウンセラー 竹 野 融 リーダー 竹 内 三 郎
6月10日		オレンジ会
6月11日		第3位 (グロス賞) 鈴 木 会 員 東京世田谷R.C.よりロータリーソング 「日も風も星も」受領

6月13日		フェニックス自然動物園が博物館相当の施設に指定 (田中秀会員)
6月15日	第660回例会	改正手続要覧配布 1973～74年度ロータリー手帳配布 黒木正光会員 全国ホンダ会九州ブロック会長に就任 第一宮崎ビル(2階)に事務所移転 事務所移転通知状をR.I.・ガバナー・ロータリーの友 及び373地区内クラブへ発送
6月16日		老人福祉センターにカーペット寄贈 ゴルフ月例会 優勝 堺 会員 準優勝 松岡会員 第3位 宮下会員
6月17日		西クラブゴルフ部会総会開催(於江南荘) 高千穂会 B組 優勝(グロス賞) 菊池 彰会員 九州石販株式会社は株式会社ストークと社名変更(江 田会員)
6月18日		歴代会長会開催
6月19日		北R.C.黒木勝氏提唱の「出席奨励と早退防止」につい ては市内3R.C.幹事の申し合わせ事項と決定 歴代幹事会開催
6月20日		次年度予算編成会開催
6月22日	第661回例会	次年度西クラブターゲットのアンケート用紙配布 充填及び未充填職業分類表配布 橋本一郎会員 宮崎県自動車整備振興会会長に就任 西クラブゴルフ部会新年度役員発表 会長 橋本 一 郎 幹事 藤 井 勝
6月26日		被選理事会開催
6月27日		宮崎県青少年育成県民会議開催 交換学生 山本速人君帰宮
6月28日		井山会員 Whisky House「BON TEMPS」開店

6月29日	第662回例会	<p>退任挨拶 郡会長・新原幹事 会員一覧表配布 47年度九州管内法人所得ベストテン 第3位 西日本相互銀行（才藤会員） 第4位 肥後銀行（北原会員） 第7位 鹿児島銀行（永田会員） 47年度県内法人所得ベストテン 第1位 宮崎銀行（平山会員） 第2位 宮崎相互銀行（安倍会員） 第4位 宮崎交通（日高真会員） 第5位 高千穂相互銀行（杉山会員） 第9位 橋本銀三商店（橋本善会員）</p>
6月30日		<p>例会終了の点鐘後、引継ぎ行事開催 被選理事会開催 理事会開催 第2回南九州千種会研修会開催</p>

ク ラ ブ 歴 史

(1 9 7 3)

宮崎西ロータリークラブ

幹事 木 浦 義 雄

7月 6日	第663回例会	<p>新会長、副会長、幹事、会長エレクト、ガバナーノミニー挨拶</p> <p>会長の本年度クラブ運営方針ビジター第一号記念品贈呈（日向R.C藤吉雄二氏）</p> <p>第3例会は夜の例会</p> <p>クラブ・アッセンブリー開催</p> <p>会員証及び委員会名簿の配布</p> <p>誕生祝（7名）、結婚祝（1名）</p> <p>クイーンダイヤモンド杯開催（日高〔照〕会員）</p> <p>鈴木会員クイーンダイヤモンド杯入賞</p> <p>交換学生、山本速人君帰国挨拶</p> <p>1年間のお役目を果され、値千金（郡、新原会員）</p>
7月 8日		<p>郡会員の御尊母御逝去</p> <p>サンフラワー会に優勝（佐藤勉会員）</p>
7月10日		<p>日本自動車査定協会創立7周年記念ゴルフ大会にて優勝（日高〔文〕会員）</p> <p>会長 第13代西クラブ会長として方針掲載（宮崎日日新聞）</p>
7月12日		臨時理事会
7月13日	第664回例会	<p>ゲスト 上智大学教授 佐藤 功氏</p> <p>交換学生 ブライアン君</p> <p>臨時理事会、各委員長挨拶</p> <p>西クラブのターゲット採用（木浦幹事）</p>
7月14日		あかね会で準々優勝（後藤会員）
7月19日		山形屋増築完成（岩元会員）
7月20日	第665回例会	<p>交換学生ブライアン君帰国</p> <p>各委員会の活動報告書の用紙配布</p> <p>前年度収支決算報告（新原前幹事）</p>

7月20日	第665回例会	各委員長の挨拶 地区大会表紙の面掲載（吉賀会員）
7月27日	第666回例会	思い出新聞（誕生日の新聞）（前川会員） 西クラブ月例ゴルフ優勝（藤井会員） " ベストグロス賞（木浦幹事） 第13回グリーン会優勝（鈴木会員） " 準優勝（堺会員）
		夜の例会 地区世界社会奉仕委員及び地区連絡役員に（竹野会員） 御母堂ご逝去に際し寄付につき表彰状送る（郡会員） 理事会開催 会員卓話 山口澄夫会員 身近かな建築法規について 1973～1974年予算表の配布、検討
8月1日	第667回例会	鹿児島銀行第1部へ上場（永田会員） 事務局員勤務 日高節子さん
8月3日		誕生祝（3名） 宮崎相互銀行預金量600億円達成（安倍会員） ターゲット採用感激（川辺会員） 宮崎ゴルフフォーマットセンターオープン（松岡会員） ゲスト卓話 大蔵省主税局税制第一課長 伊予田敏雄氏 これからの税金について
8月4日		西クラブゴルフ年次大会優勝（山脇会員） " 月例 "（佐原会員） " " 2位（山脇会員） " " 3位（角地会員） " " 4位（松岡会員） " " 5位（竹内会員） " ベストグロス賞（藤井会員）
8月9日		交換学生、森山美穂子さん、この人記事掲載（宮崎日新聞）
8月10日	第668回例会	西日本相互銀行 才藤会員 八幡へ勤務

8月10日	第668回例会	<p>連続無欠者表彰</p> <p>13年(7名) 12(3名) 11年(2名)</p> <p>10年(2名) 9(3名) 8年(3名)</p> <p>7年(4名) 6(3名) 5年(3名)</p> <p>4年(5名) 3(5名) 2年(8名)</p> <p>1年(2名)</p> <p>ホームクラブ無欠者(3名)</p> <p>交換学生挨拶(森山美穂子さん)</p> <p>第1回 クラブ奉仕委員長会合開催</p>
8月17日	第669回例会	<p>各委員長挨拶</p> <p>ホストファミリー、秋山、竹内、杉本会員内諾</p>
8月19日		<p>米国交換学生 ミス・ゲイル・ジャクソン宮崎到着</p>
8月20日		<p>三クラブ合同、会長幹事会開催</p>
8月21日		<p>宮崎クラブ会員志多熊吉氏、ご逝去に対し会長幹事お悔み参上</p>
8月24日	第670回例会	<p>交換学生 ミス・ゲイル・ジャクソン挨拶</p> <p>インターアウト福岡さん、年次大会出席の感想</p> <p>各委員長挨拶</p>
8月31日	第671回例会	<p>新原会員1ヶ月間の予定でヨーロッパ旅行へ</p> <p>UMK招待ゴルフ優勝(角地会員)</p> <p>各委員長挨拶</p> <p>社会奉仕基金活動に古新聞、その他紙類の回収依頼(菊池委員長)</p> <p>ゲスト卓話 宮崎県福祉生活課長 田内一郎氏 防災の日を前にして</p> <p>理事会の開催</p> <p>事務局員退転 橋本三千代さん</p>
9月1日		<p>建友会ゴルフ優勝(木浦幹事)</p>
9月2日		<p>西クラブゴルフ例会</p> <p>優勝 (永田会員)</p> <p>2位 (藤井会員)</p> <p>3位 (松岡会員)</p> <p>ベストグロス賞 (藤井会員)</p>

9月 7日	第672回例会	誕生祝(6名) 各委員長の挨拶
9月 9日		県内の会長幹事会の開催
9月14日	第673回例会	国際理解週間にあたって(岩井委員長) ゲスト卓話 宮崎市福祉部長 春山春雄氏 宮崎市の福祉行政について
9月21日	第674回例会	夜の例会 各委員長挨拶 会員親睦会
9月22日		グリーン会ゴルフ優勝(日高〔文〕会員)
9月27日		自動車人ゴルフ優勝(日高〔文〕会員) J・Cシニア会員ゴルフ優勝(佐原〔正〕会員)
9月28日	第675回例会	株式会社ウエマツ新会社設立(植松会員) 100万ドル食事 優良運転車表彰(竹野会員) 父親テレビ出演(内村会員) 老人福祉センターに寄贈、西ロータリー感謝状 会員卓話 大古殿宗三会員 羊毛の現状について 各委員長の挨拶 理事会開催
10月 5日	第676回例会	ダリア賞受賞式宮崎市役所清掃課勤務 有馬静夫氏へ 誕生祝(7名)、結婚祝(4名) 会員卓話(郡会員)
10月10日		堺会員のご長男、盛大な結婚式
10月12日	第677回例会	公式訪問報告書配布 ロータリーダイアリー申し込み書配布 アトリー会(油絵)開催 交換学生、森山美穂子さんのアメリカ新聞記事送付される。 ゲスト卓話 宮崎県青少年対策室長 長友新氏 青少年問題について

10月13日		<p>月例ゴルフ大会開催</p> <p>優勝（日高〔文〕会員）</p> <p>準優勝（角地会員）</p> <p>準々優勝（佐原会員）</p>
10月16日		<p>御長男誕生おめでとう（池田会員）</p> <p>宮崎マツダ延岡営業所新築落成（日高〔文〕会員）</p>
10月18日		<p>クラブ・アッセンブリー開催（フェニックス）</p> <p>藤井会員、御尊父御逝去</p>
10月19日	第678回例会	<p>公式訪問 ガバナー杉原頼三氏</p> <p>分区代理 塩月一郎氏</p> <p>出席率100%月間 1～2週100%達成</p> <p>ガバナーを囲んで写真撮影、ガバナー挨拶</p> <p>20年無事故表彰（橋本〔善〕会員）</p> <p>青人会油絵展、奥様と共出品（木浦幹事）</p> <p>会員テリトリ規制</p>
10月26日	第679回例会	<p>夜の例会についての審議</p> <p>定例理事会開催</p> <p>御令嬢御結婚おめでとう（植松〔孝〕会員）</p> <p>油絵会</p> <p>会員卓話（新原会員）</p> <p>海外でのメイキャップについて</p>
10月27日		<p>宮崎神宮大祭の神振隊出場</p> <p>（日高（真）、江田、橋本（一）、角地、日高（文）</p> <p>池田、百野、大賀、田中（秀）各会員）</p>
11月 2日	第680回例会	<p>11月行事予定表配布</p> <p>宮崎クラブ志多会員よりの香典返しは社会奉仕基金に</p> <p>夜の例会は継続することになった</p> <p>永田光容会員、職業分類変更、短期金融から外国為替銀行へ</p> <p>11/16日、地区大会のため夜の例会を昼に変更臨時理事会の開催</p> <p>10月は連続4週100%出席</p> <p>誕生祝（3名）、結婚祝（5名）</p>

11月 2日	第680回例会	藤井会員 御尊父の香典返しを、社会奉仕基金に寄付 ゲスト卓話 京都大学霊長類研究所幸島野外観察施設 勤務 三戸サツエ氏 (幸島の猿について)
11月 9日	第681回例会	交通戦争といわれ、会長身をもって体験した充分気をお付け下さい 地区大会出席者の最終打合せ 1973年9月4日現在 150ヶ国 15,774クラブ 会員総数 743,500名 鈴木会員の長男めでたく結婚 吉賀会員 北郷町出身の医師画家として掲載(宮崎日新聞) 前川会員(日本生命主催)齊藤栄三郎氏の講演会 社会奉仕基金への寄付に対して感謝状贈呈 (藤井会員、梶本会員、志多秀彦氏) ゲスト卓話 青年会議所副理事長(菊池 平) (教育を考える市民の集いへのおさそい)
11月14日		松岡会員御尊母御逝去
11月16日	第682回例会	鹿児島地区大会のため会長、幹事例会欠席 ビジターの立石一真氏(京都南)、福井真一郎氏(郡山西)にスピーチをお願いした。 財団法人ロータリー米山記念奨学会より寄付行為及び細則到着 ロータリー財団週間 11月2日～11月18日 ロータリー財団週間にあたって(阿南会員卓話) 西クラブ月例ゴルフ大会 (宮下会員優勝)(木浦会員2位)(佐藤会員3位) ビジタースピーチ (京都南)立石一真氏、(郡山西)福井真一氏 鈴木会員ご長男、ご結婚に際し社会奉仕基金に多額な寄付、感謝状を贈呈

11月16日	第682回例会	377区南朝鮮 南光州ロータリークラブ 金鎬瑾氏 (職業奉仕) 来局 バナー交換した
11月17日 11月18日 11月23日		鹿児島南ホストクラブとして年次大会開催 宮交シティオープンおめでとうございます(日高(真)会員)
11月28日 11月30日	第683回例会	会員選考委員会開催(中山、後藤、金丸会員) 鹿児島の年次大会に29名の多数参加する 本日より田崎会員休会、定員70名となる。9月出率は地区内で第6位となる 11/22 青年会議所主催「教育を考える市民の集い」盛会でおめでとう(百野会員) 宮交シティ内店舗開店(大賀、池田、日高(照)会員) 宮崎消防団中央分団県知事より表彰、日本消防団協会長表彰を受賞さる(牧会員) 油絵開催 会員卓話 生命保険について(前川会員)
12月1日 12月7日	第684回例会	鹿児島県の桜島を描く会を開催 長い間活躍下さいました新原会員、一時退会さる 田崎会員、湯浅会員、御病気のため会長見舞に参上した 誕生祝 那須、竹野、杉本、平山、江田、永田、北原浅野、新原各会員 結婚祝 江田、植松(熊)、湯浅、松岡、山口、秋山大古殿各会員 松岡会員 御尊母ご逝去の香典返しとして多額の寄付金を社会奉仕基金に頂きました。 地区大会報告 国際奉仕部会 岩井委員長 職業奉仕部会 佐原委員長 社会奉仕 古紙回収、代金44,704入金す
12月8日		西クラブ年末ゴルフ大会の開催 優勝 湯浅会員 2位 植松会員 3位 竹内会員 ベストグロス 木浦幹事
12月13日		未来ビルにて三クラブ会長幹事会開催

12月14日	第685回例会	<p>100万ドル食事</p> <p>日高（文）、角地会員の御兄御逝去につき黒木副会長、木浦幹事弔慰に</p> <p>情報委員長に竹内会員（新原委員長退会のため）</p> <p>宮崎クラブ12月最終例会、1月1日例会は休会</p> <p>延岡クラブ12月19日（家族懇談会）のため夜に変更</p> <p>新入会員 菊池 平氏、外山三博氏</p> <p>地区大会報告（社会奉仕部門）大賀会員</p> <p>理事会開催</p> <p>次年度理事指名委員決定</p> <p>指名委員長 橋本 一郎会員</p> <p>委員 住田 静一 "</p> <p> " 佐原伝次郎 "</p> <p> " 菊池 稔 "</p> <p> " 竹内 三郎 "</p> <p> " 川辺 政明 "</p>
12月16日		<p>社会奉仕部門による餅つきを開催、会員25名、インターアクト25名</p> <p>50名の参加を頂きありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">（カリタスの園）</p> <p>配布先 カリタスの園、明星園、民生館、ひまわり学園、青島学園</p>
12月21日	第686回例会	<p>餅の配布につき、青島学園の園長さんより礼状が参りました。</p> <p>餅つきは西クラブで毎年、カリタス園をやってほしい依頼さる</p>
12月28日	第687回例会	<p>年末家族懇親会開催</p> <p>48年最終例会、早いもので6ヶ月を経過しました。</p> <p>年末家族懇親会での慈善基金41,500円集まりました。後半は竹野会員が次年度のガバナーになられます。その協力体制をつくって行かなければならない。</p>

12月28日	第687 回例会	<p>1月第3例会は年次総会になっておりますが、会長都合により第4回例会に変更します。</p> <p>インターシティ、ゼネラルフォームは北クラブがホストクラブとして2月17日(日)に行われることになりました。川辺会長が青少年問題のリーダー竹野会員はカウンセラーをつとめることになりました。</p> <p>例会終了後、理事会の開催</p> <p>木浦幹事 日高電機商会老松通店の開店おめでとう 秋山会員 新しいお店「大八」の開店5店目が誕生(おめでとう)</p> <p>開店に際し社会奉仕基金へ多額の寄付(木浦幹事)餅つき奉仕いたしましたカリタス園の園児より50通の礼状</p> <p>社会奉仕基金は12月1日現在、121万6千7百1円になりました。会員の自発的なご寄付いただきありがとうございました。</p> <p>古紙回収9月～12月まで4ヶ月間で6万8千2百8拾円になりました。</p> <p>新入会員の紹介</p> <p>古賀 宏 氏 昭和8年11月6日生れ ツバメ石油常務取締役 職業分類 精油小売</p> <p>委員会——社会奉仕委員会 会員卓話 とし男</p> <p>ウシ年を代表して一年間をふり返って (日高(文)会員)</p> <p>来年はトラ年の方に卓話を予定しております。</p> <p>12月末をもって金丸会員退会さる。</p>
49年1月4日	第688 回例会	<p>今年度クラブ運営もあと6ヶ月しかありません。各委員会のまとめをして頂きまして後半にそなえていただきたい。</p> <p>後25回例会をのこすのみとなりました。</p>

1月 4日	第688回例会	<p>前回は6名メイキャップされず92.96%の出席率 今月誕生 長峰、秋山、菊池(彰)、佐藤、井上、菊池(稔) 津守、堺、日高(照)各会員</p> <p>今月ご結婚 安倍、境、榎本、杉山、宮下、菊池(皓)、浅野、 山脇、藤井各会員</p> <p>会員卓話 年男の皆様には本年度寅年にちなんで所感を願ひし ます。5名の方に。 古賀会員、郡会員、菊地(彰)会員</p>												
1月 7日		<p>下半期払込通知(請求書)受信</p>												
1月 8日		<p>下半期分送金す</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 米山奨学金</td> <td>500円×72名=3,6000円</td> </tr> <tr> <td>2. 人頭分担金</td> <td>80,640円</td> </tr> <tr> <td>3. ロータリアン誌購読料</td> <td>840円</td> </tr> <tr> <td>4. 会員1ドル寄付</td> <td>20,160円</td> </tr> <tr> <td>5. 新入会員寄付</td> <td>7,950円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計 115,590円</td> </tr> </table> <p>阿南会員 ロータリー財団に寄付されました 30,000円</p>	1. 米山奨学金	500円×72名=3,6000円	2. 人頭分担金	80,640円	3. ロータリアン誌購読料	840円	4. 会員1ドル寄付	20,160円	5. 新入会員寄付	7,950円		合計 115,590円
1. 米山奨学金	500円×72名=3,6000円													
2. 人頭分担金	80,640円													
3. ロータリアン誌購読料	840円													
4. 会員1ドル寄付	20,160円													
5. 新入会員寄付	7,950円													
	合計 115,590円													
1月11日	第689回例会	<p>会長 新年の挨拶 前半期の出席状況表配付し、報告 かがみ餅びらきでぜんざい配膳され、餅つき奉仕の餅 を頂く</p> <p>秋山会員 社会奉仕基金に寄付、新店舗(大八) 開店及び10周年記念につき</p> <p>大古殿会員 フルトンビル、ホテルビッグマン、オー プンおめでとう MRT(ラジオ)のキャスターつとめら れる</p>												

1月11日	第689回例会	田中(秀)会員 日高(真)〃 平山 〃 読売新聞にそれぞれ御紹介の記事掲載 油絵会今年第1回開催、肥後銀行於 ゲスト卓話 増田吉郎氏(宮崎銀行頭取) 「49年度の経済展望について」
1月16日		R I本部に半期の事業報告
1月17日		千種会案内発送(県内8クラブ宛) 日高(文)、角地会員の御母堂様御逝去さる
1月18日	第690回例会	夜の例会開催 橘カントリークラブ16番ホールでホールインワン (宮下会員) 本年になって出席率が非常に悪くなった。協力を願う。
1月19日		西クラブ本年第一回のゴルフ大会 優勝 (植松(熊)会員) 準優勝 (日高(真)会員) 第3位 (竹内 会員)
1月21日		インターシティゼネラルフォーラム参加者報告
1月23日		国際ロータリークラブ年次大会参加案内受信
1月25日		新入会員入会決定す(小田真道氏)
1月25日	第691回例会	ロータリー国際大会6/7~6/13ミネアポリスで開催の案内 定例理事会の開催(於江南荘) クラブ協議会の開催(於江南荘)、前半期の反省と後半のスケジュール消化について 株式会社ストックの部門分離を行い、日米エンタープライズを設立(江田会員) 宮崎ナショナル住宅設備機器株式会社設立(川辺会長) 開店10周年記念として社会奉仕基金に多額の寄付、感謝状贈る(秋山会員) 御母堂ご逝去に際し香典返しとして多額の寄付、感謝状贈る(日高(文)会員)

1月25日	第691回例会	<p>新会社設立記念として社会奉仕基金として多額の寄付（川辺会長）</p> <p>交換学生受入れ3月～7月までホストファミリーとしてお世話願うことになった。（日高（真）、竹内、秋山各会員）</p> <p>職業奉仕委員会による職場訪問、本部ハニワ製作所見学</p> <p>クラブ第一条第二節に定めてある理事役員の選挙橋本（一）指名委員長による次年度理事候補者の指名次年度役職及び役員決定</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">会 長</td> <td>日高(文) 会員</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>菊池(彰) //</td> </tr> <tr> <td>会長エレクト</td> <td>田中(博) //</td> </tr> <tr> <td>国際奉仕委員長</td> <td>阿南 //</td> </tr> <tr> <td>職業奉仕 //</td> <td>竹内 //</td> </tr> <tr> <td>社会奉仕 //</td> <td>内村 //</td> </tr> <tr> <td>ロータリー情報委員長</td> <td>木浦 //</td> </tr> <tr> <td>青少年奉仕委員長</td> <td>山口 //</td> </tr> <tr> <td>S.A.A</td> <td>大古殿 //</td> </tr> <tr> <td>会 計</td> <td>安倍 //</td> </tr> <tr> <td>幹 事</td> <td>藤井 //</td> </tr> </table> <p>次年度、会長、副会長、幹事の御挨拶</p> <p>職業奉仕委員会開催</p> <p>社会奉仕、三クラブ合同打合せ会（チャリティーバザーの件）</p>	会 長	日高(文) 会員	副会長	菊池(彰) //	会長エレクト	田中(博) //	国際奉仕委員長	阿南 //	職業奉仕 //	竹内 //	社会奉仕 //	内村 //	ロータリー情報委員長	木浦 //	青少年奉仕委員長	山口 //	S.A.A	大古殿 //	会 計	安倍 //	幹 事	藤井 //
会 長	日高(文) 会員																							
副会長	菊池(彰) //																							
会長エレクト	田中(博) //																							
国際奉仕委員長	阿南 //																							
職業奉仕 //	竹内 //																							
社会奉仕 //	内村 //																							
ロータリー情報委員長	木浦 //																							
青少年奉仕委員長	山口 //																							
S.A.A	大古殿 //																							
会 計	安倍 //																							
幹 事	藤井 //																							
2月 1日	第692回例会	<p>（若首根、金丸会員）退会される。</p> <p>（田崎会員）病気全快にて本日より例会出席さる。</p> <p>全快祝として社会奉仕基金に多額の寄付</p> <p>金丸会員退会のため会員選考委員長を（中山会員）に後半スケジュール達成のため年間行事計画表配布す</p> <p>臨時理事会開催</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">2月誕生祝</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>結婚祝</td> <td>9名</td> </tr> </table>	2月誕生祝	6名	結婚祝	9名																		
2月誕生祝	6名																							
結婚祝	9名																							

2月 3日		<p>インターアクト3年生卒業生及び1年生10名入会者例会に招く。(卒業生代表、有馬先生のお礼のことば) (江田会員)日米エンタープライズ、ロスアンゼルス開設につき社会奉仕基金へ寄付 チャリティバザー開催につき3クラブ合同協議会開催 新入会員 小田真道君 職業 内科医院 趣味 スキ、ゴルフ、焼き物 雑誌週間につき 太陽エネルギー新時代の黎明 2月例会ゴルフ大会開催 優勝、グロス賞 佐藤会員 第1位 井上会員 第2位 佐原会員</p>
2月 8日	第693回例会	<p>社会奉仕基金12月末¥1,262,925円になる。 転勤のため退会さる。(北原会員) ロータリー情報委員に(郡会員) 会員選考委員会に(佐原(伝)会員) 油絵会開催 半期出席率地区内7位にランクされる。 全期12月末収支決算報告 職業奉仕部門による事例を中心にフォーラム開催</p>
2月 9日		<p>2月9日～10日 ロータリー勉強会である千種会をひまわり荘にて開催</p>
2月13日		<p>井上会員の御尊父様ご逝去さる。 新入会員をかこむ会開催</p>
2月15日	第694回例会	<p>竹野次期ガバナー後援組織設立、会長(竹内会員) メンバー(橋本(一)、岩井、佐原(伝)、杉山、橋本(善)各会員) 社会奉仕による献血の実施 UMKテレビ出演(阿南会員) 青少年奉仕委員会、宮崎地区BBS会(久峨会長) 宮崎YMC会(佐々木男子部長)それぞれ表彰</p>

2月15日	第694回例会	ゲスト卓話 県企画調整室 竹内会長 「物価情勢について」
2月17日		インターシティーゼネラルフォーラム 北クラブホストにて開催（於宮銀本店ホール）
2月19日		ワンダーフォーゲル地区協議会 （於熊本） 菊池 平 会員出席
2月22日		（江田会員）新会社設立にたいしてお祝いの贈呈 （田中(巖)会員）退会さる 油絵会の開催 宮日新聞木曜対談出場（江田会員） 宮崎の教育を語ろうテレビ出演（百野、菊池（平）、外山各会員） （江田会員）社会奉仕基金に御寄贈 ロータリー創立記念日にあたって 会員卓話（竹野会員）
3月 1日	第696回例会	定例理事会の開催 理事退会のため榎本会員を新理事として決定 6月22日、23日開催の地区協議会を、当クラブがホストとして諮問委員会で決定した。 6月開催の国際大会に参加希望の方は事務局まで 理事会の開催 新入会員紹介 榎本信義君 昭和19年6月3日生 神川大学経済学部卒業 高巢堂印刷経営 誕生祝 5名 結婚祝 7名 （井山会員）御尊父逝去の香典返しとして社会奉仕基金として寄付された。 チャリティ 一出品予定明細提出依頼 青少年の教育を考えるとという記事宮日新聞意見掲載 （菊池（平）会員）

3月 1日	第696回例会	<p>地区ガバナナーの役員決定</p> <p>地区幹事 (岩井会員)</p> <p>地区副幹事 (佐原(伝)会員)</p> <p>地区会計長 } (橋本(善)会員)</p> <p>地区資金委員 }</p> <p>ロータリー財団奨学生候補2名推選手続した。</p> <p>会員増強班長会開催</p> <p>会員卓話 誕生祝 (藤元会員)</p> <p>結婚祝 (日高(照)会員)</p>
3月 8日	第697回例会	<p>100万\$食事</p> <p>境会員転勤のため退会</p> <p>インターアクト地区委員に(大健会員)理事会にて推奨</p> <p>宮崎クラブ第11回職業奉仕賞受彰式当クラブ招待さる。</p> <p>榎本新会員雑誌委員会に所属</p> <p>第1回地区協議会準備委員会開催(理事役員)</p> <p>アトリー会開催</p> <p>(矢田会員)交通事故にあわれる。2ヶ月間の入院(シニアのため出席免除)</p> <p>会員増強促進用紙配付</p> <p>国際奉仕に関するクラブフォーラム開催</p> <p>課題「あなたは、どんなことをして国際奉仕に参加しますか、又は参加しましたか」</p> <p>テーブルリーダー(大賀会員)</p> <p>(竹内会員)</p> <p>(菊池(彰)会員)</p> <p>まとめ(郡 会員)</p> <p>(竹内会員) お嬢さん学習院大学、上智大学に合格</p> <p>(杉本会員) ご息子がラサール中学に合格</p> <p>交換学生ミス・ゲール・挨拶</p> <p>県内の次期青少年委員長開催(山口会員)</p>
3月10日		<p>観光ホテル(於)</p>

3月15日	第698回例会	<p>(矢田会員)御見舞に会長、幹事、副会長参上した。 矢田会員シニアに 定款第8条第5節8項による出席免除 ゴルフ入賞者おめでとうございます。 日興商事杯優勝 (橋本(善)会員) OB会優勝 (永田会員) アカネ会優勝 (松岡会員) 日興商事、フェニックス第3位 (井山会員) 日興商事第5位、アカネ会第4位 (植松(熊)会員)</p> <p>ゲスト卓話 宮崎労働基準局長 篠田 裕 氏 //我が国の労働福祉問題について//</p>
3月22日	第699回例会	<p>地区協議会準備委員会組織及び人員配置決定 地区協議会第1回準備委員長会の開催 臨時理事会の開催 県医師会副会長に就任 (吉賀会員) 県医師会理事に就任 (竹内会員) 社会奉仕委員会より、交通安全のため電池式拡声器を 5個宮崎警察署に贈る ゲスト 宮崎警察署長 酒井 盛行 氏 //最近の交通事故の現状について//</p>
3月23日		千種会大分にて開催
3月29日	第700回例会	<p>当クラブ第700回目の例会で一番乗りビシター挾間 さんに記念品を贈る チャリティバザーの出品締切3時まで 3月例会ゴルフ大会 優勝 (井上会員) 第2位 ベストグロス賞 (鈴木会員) 油絵会より、チャリティバザー出品を、会員に見聞された</p>

<p>4月 1日 4月 5日</p>	<p>第701回例会</p>	<p>ダリア賞を贈呈 宮崎日日新聞校閲部勤務 小田国雄様 大正4年3月8日生58才</p> <p>ゲスト卓話 三好徳行氏 //ゴルフ放談//</p> <p>3クラブ合同チャリティバザー(山形屋於)開催</p> <table border="1" data-bbox="523 614 1142 828"> <thead> <tr> <th></th> <th>出品者数</th> <th>出品点数</th> <th>売上利益</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮崎クラブ</td> <td>81</td> <td>286</td> <td>191,580</td> </tr> <tr> <td>宮崎西 "</td> <td>54</td> <td>200</td> <td>140,310</td> </tr> <tr> <td>宮崎北 "</td> <td>36</td> <td>117</td> <td>93,930</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>178</td> <td>603</td> <td>425,820</td> </tr> </tbody> </table> <p>市制50周年記念行事に(川辺会長)出席 地区協議会の各準備委員会に対して、予算提出依頼 クラブ歴史第2集の配布</p> <p>新入会員紹介 奥村末入氏 (肥後銀行宮崎支店長) 中畑 進氏 (朝日生命宮崎支社長) 村上四郎氏 (吉原建設宮崎支店長)</p> <p>今月誕生祝 4名 結婚祝 13名</p> <p>宮崎市制50周年記念行事に対して功労者に選ばれる 菊池(稔)会員(自治功労者) 住田 " (産業経済功労者) 竹野 " (社会福祉功労者)</p> <p>感謝状 牧 会員(20年以上勤続消防団員) 日高(真) (宮崎交通、特別功労団体)</p> <p>おめでとうございます 吉賀会員 } (コウフウ会連続入選) 郡 " } 南川 " (日本生命111支社中ベスト5に入賞)</p>		出品者数	出品点数	売上利益	宮崎クラブ	81	286	191,580	宮崎西 "	54	200	140,310	宮崎北 "	36	117	93,930	合計	178	603	425,820
	出品者数	出品点数	売上利益																			
宮崎クラブ	81	286	191,580																			
宮崎西 "	54	200	140,310																			
宮崎北 "	36	117	93,930																			
合計	178	603	425,820																			

4月 8日 4月12日	第702回例会	<p>田中(秀)会員 (NHKにて、フェニックス観光紹介)</p> <p>宮崎西ロータリークラブ創立14周年記念日</p>
4月16日 4月19日	第703回例会	<p>14周年創立記念祝賀と春の観桜懇親会を兼ね夜の例会となる。</p> <p>ワンダーフォーゲル協議会開催(於観光ホテル)</p> <p>おめでとう</p> <p>鈴木 会員(宮日新聞木曜対談にて活躍)</p> <p>植松(孝)〃(ご子息様三菱本社入社)</p> <p>植松(熊)〃(お孫さんにあたる)</p> <p>前川 〃(宮崎県生命保険協会々長就任)</p> <p>百野 〃(お嬢様ご誕生)</p>
		<p>3月末会計報告</p> <p>古紙回収協力にいたして、お礼として全会員に粗品を贈る。</p> <p>社会奉仕委員会は重症心身障害者慰問に川南の施設まで訪問した、金五万円を贈る。</p> <p>会員卓話 江田会員 //海外よもやま話//</p>
4月20日		<p>当クラブゴルフ大会 優勝 (鈴木会員)</p> <p>2位 (植松会員)</p> <p>3位 (木浦会員)</p>
4月22日		<p>地区協議会開催に先きがけ、ガバナーとの協議会(於フェニックス)</p> <p>第1回次期役員及び委員長会開催</p>
4月23日 4月26日	第704回例会	<p>3クラブ会長幹事会開催</p> <p>黒木副会長、眼病のため退会する。</p> <p>先週は出席率100%達成</p> <p>読売新聞に紹介、活躍さる。(中山会員)</p> <p>(植松(熊)会員)</p> <p>(植松(孝)会員)</p>
		<p>宮崎日日新聞に株式市況の見通(佐藤会員)</p> <p>御長男ご結婚おめでとう (日高(真)会員)</p> <p>退会に際しハッピーブックへ (黒木副会長)</p>

5月10日	第705回例会	<p>重症心身障害者療養センター（川南）へ4月19日基金5万円を寄付した。</p> <p>理事会の開催 （菊池(稔)会員）勲五等瑞宝章受賞さる。</p> <p>5月誕生祝 4名 5月結婚祝 7名</p> <p>ハッピーニュース</p> <ol style="list-style-type: none"> （竹野会員次期ガバナー就任記事宮日新聞掲載 （浅野、住田、杉山、安倍各会員）読売新聞に紹介さる。 サンフラワ会結果 優勝（浅野会員） 準優勝（佐原会員） グロス賞（木浦会員） （植松(孝)会員）植松商事（石油）社長に就任さる。 高額所得者となる（竹内会員） 〃 （阿南会員） 弟様ご結婚さる（内村会員） <p>新入会員入会 志多克彦 33才 国土開発コンサルタント 代表取締役 笹票絃二 33才 笹票金属工業 代表取締役</p>
5月17日	第706回例会	<p>（竹野次期ガバナー）による役員紹介 地区幹事 （岩井会員） 副幹事 （佐原(伝)会員） 地区資金委員長 （橋本(善)会員）</p> <p>（植松(孝)会員）社長就任記念として社会奉仕基金として多額の寄付される。</p> <p>（竹野次期ガバナー）勉強のためアメリカに出発さる。</p> <p>理事会にて決定し会員より銭別を送る （矢田会員）病容は良好</p>

5月17日	第706回例会	<p>(田崎会員)容態悪く見舞に参上す。 地区協議会準備は順調に進んでいる。 月例ゴルフ 優勝 (後藤会員) 2位 ベストグロス賞 (鈴木会員) 3位 (川辺会員) (田中(博)会員) 黒木副会長退任のため、副会長に 就任 ゲスト卓話 宮崎県保健体育課長 野間 優氏 「完成真近かな県総合運動公園について」</p>
5月21日	第707回例会	<p>(日高(真)会員)宮崎交通副社長退任さる。 (矢田会員)退院された。 (菊池(稔)会員)叙勲祝賀会の開催 熊本での地区大会開催に参加申込み書の配付 ガバナー月信購売申込み書の配付 臨時、理事会の開催 (橋本(一)会員)宮崎トヨタ社長に就任さる、おめでとう。 (菊池(平)会員)みんなで幸せをつくる会で活躍さる。 (菊池(稔)会員)叙勲祝と新築祝で二重の喜びにて社会奉仕基金に多額の寄付さる。 会員卓話 日高(真)会員</p>
5月31日	第708回例会	<p>「商法改正について」 (山口会員)都合により退会 (橋本(一)、菊池(稔)会員)社会奉仕基金に多額の寄付 地区協議会準備委員会の組織表の配付 地区協議会準備委員長会議開催 (田中(秀)会員)フェニックス高原カントリー5/11 に上棟式さる。 (日高(真)会員)宮日木曜対談に出場さる。 (古賀会員)ツバメ石油の専務に昇格さる。</p>

6月 7日	第709回例会	<p>(菊池(稔)、植松(孝)会員)感謝状贈呈 次年度、委員会は活動計画予算の提出、依頼 竹内ロータリー情報委員長卓話 「クラブ奉仕論について」 理事会の開催 アメリカでの勉強の状況が竹野ガバナーノミニより便 りが参りました。 (後藤則義)さん、本日より再入会されました 結婚、誕生祝を次回に変更 交換学生(ゲール嬢)誕生祝のプレゼント送る 社会奉仕基金充実のための古紙回収も予定通り20万 円の目標を達成することが出来ました。 地区協議会準備委員会の経過報告と御協力のお願い。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総務委員会 岩井委員長 2. 宿舍交通委員会 郡 // 3. 登録委員会 竹内副委員長 4. 接待委員会 井上委員 5. 会場 // 内村委員長 6. 救護 // 小田副委員長 7. 記録 // 佐藤委員長
6月10日	第710回例会	<p>3クラブ会長幹事会開催(3クラブ地域区画について) 誕生祝 6名 結婚祝 4名 ゲスト卓話 (どのような生活信条を持っているか) 梶本博史 (宮崎大工学部3年) 橋本金助 (ゼネラル販売宮崎営業所勤務) 白方友行 (市青年団協議会団長)</p>
6月16日 6月21日	第711回例会	<p>日本ソロプチミスト認証状伝達式会長出席 22日、23日、開催される、地区協議会リハーサル のためサンホテルフェニックスに例会場を変更した。 (竹野次期ガバナー)アメリカでの勉強をおえ16日 帰国された。 ロータリー手帖及び定款細則別冊の配布</p>

<p>6月21日</p>	<p>第711回例会</p>	<p>次年度ターゲット決定 「RENEW THE SPIRIT OF ROTARY」 //ロータリーの精神を振り起こせ// 1974～75RI 会長 ウィリアムR・ロビンズ氏 クラブ・アッセンブリーの開催新旧委員長の引継、及び予算審議 ハッピーニュース 高額法人所得おめでとう 鹿児島銀行 (永田会員) 肥後銀行 (奥村会員) 宮崎銀行 (平山会員) 宮崎相互銀行 (阿倍会員) 高千穂相互銀行 (住田会員) 本年度⁴⁸7/1～⁴⁹5/31 社会奉仕基金額 81万円となる。 内訳 ・善意の寄付、チャリティーバザー益金 61万円 ・古紙回収売上金 20万円 社会奉仕基金制度発足より 49.5.31迄 計 171万円</p> <p>退任挨拶 菊池(皓)社会奉仕委員長 佐原(正)職業奉仕委員長 大賀青少年奉仕委員長</p>
<p>6月22日 23日</p>		<p>西クラブホストとして、国際ロータリー第373地区、1974年度地区協議会をサンホテルフェニックスに於いて盛大開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地区世界社会奉仕委員会報告 2. 地区ローターアクト委員会報告 3. 地区ワンダーフォーゲル // 4. 地区インターアクト // 5. 米山記念奨学会報告

		<p>6. 地区国際青少年交換委員会報告 7. 地区ロータリー財団委員会報告 8. 地区拡大員増強委員会報告</p> <p>グループ別研究会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラブ会長会 2. クラブ幹事会 3. クラブ奉仕担当理事 4. 職業奉仕担当理事 5. 社会奉仕 // 6. 国際奉仕 // 7. ロータリー財団委員長 8. 広報委員長 <p>カウンセラー リーダー</p> <table border="0"> <tr> <td>竹野融</td> <td>杉原頼三</td> </tr> <tr> <td>大津篤造</td> <td>村川健</td> </tr> <tr> <td>小田一昭</td> <td>右田道夫</td> </tr> <tr> <td>後藤基彰</td> <td>小池歳男</td> </tr> <tr> <td>八田秋</td> <td>此本正憲</td> </tr> <tr> <td>島津久厚</td> <td>丸田美德</td> </tr> <tr> <td>東博仁</td> <td>泉喬</td> </tr> <tr> <td>吉村武文</td> <td>佐々木典綱</td> </tr> </table>	竹野融	杉原頼三	大津篤造	村川健	小田一昭	右田道夫	後藤基彰	小池歳男	八田秋	此本正憲	島津久厚	丸田美德	東博仁	泉喬	吉村武文	佐々木典綱
竹野融	杉原頼三																	
大津篤造	村川健																	
小田一昭	右田道夫																	
後藤基彰	小池歳男																	
八田秋	此本正憲																	
島津久厚	丸田美德																	
東博仁	泉喬																	
吉村武文	佐々木典綱																	
<p>6月27日 6月28日</p>	<p>第712回例会</p>	<p>各委員長との地区協議会反省会の開催 フェニックスコックさん及びクラブ会計係に謝礼を。 野球チーム優勝 (外山会員) 宮下ビル完成 (宮下会員) ゴルフハンディーシング昇進(村上会員) 退任挨拶</p>																
<p>6月29日</p>		<p>会長、幹事、各委員長 フェニックス、カントリークラブにて 市内3 R.C.の合同ゴルフコンペあり、西 R.C.中畑会員 優勝</p>																

ク ラ ブ 歴 史

1 9 7 4

宮崎西ロータリークラブ

幹事 藤 井 勝

7月 4日	第713回例会	交換学生ミス・ゲイル・ジャクソン送別会
7月 5日		新年度理事・役員紹介 新会長・副会長・幹事あいさつ 会長の本年度クラブ運営方針発表 誕生祝 8名 ビジター第1号へ記念品贈呈(都城R.C. 梶岩雄君) ミス・ゲイル・ジャクソンお礼のあいさつ
7月 5日	アートルー会	木浦会員宅にて18:00より実施 K.K.ニチベイ・ショールーム(江田会員)オープン
7月 7日	第714回例会	参議員議員選挙
7月12日		名誉会員決定(黒木県知事、清山市長) 会長エレクト、各委員長就任あいさつ 阿南会員 ポールハリス・フェロー受賞 前年度連続無欠席者発表 14年(6名) 9年(3名) 4年(4名) 13年(2名) 8年(3名) 3年(6名) 12年(2名) 7年(1名) 2年(1名) 11年(1名) 6年(2名) 1年(11名) 10年(3名) 5年(5名) 昨年のゴルフ月例会優勝者発表 1月 藤井 会員 2月 佐原(正)会員 3月 永田 会員 4月 日高(文)会員 5月 宮下 会員 6月 浅野 会員 7月 植松(熊)会員 8月 佐藤 会員 9月 井上 会員 10月 鈴木 会員 11月 後藤(則)会員 12月 中畑 会員 宮崎R.C.原田会員より西ドイツ・スポーツユージェント の受入れについてのお礼のあいさつ

7月17日	ゴルフ会	本年度第1回例会 別府レークサイドにおいて開催
7月18日		交換学生 ミス・ゲイル・ジャクソン帰国出発
7月19日	第715回例会	古紙回収日 年間行事予定表配布 各委員長就任あいさつ 年次ゴルフ大会成績発表 優勝 佐藤 会員 2位 中畑 会員 1位 後藤(則)会員 3位 植松(熊)会員
7月19日	理事会	定例理事会
7月25日	クラブ協議会	第1回クラブ・アッセンブリーをひまわり荘において 10:30分より開催。佐藤会員の退会届を受理、バ ナーを贈呈
7月26日	第716回例会	各委員長就任あいさつ 年次大会の案内を回覧 交換学生・勝浦昌子さん(宮崎南高校)あいさつ
7月28日		宮崎市長、市議会議員補欠選挙
7月30日		佐藤前会員(日興証券)新任地千葉へ出発
8月2日	第717回例会	古紙回収日 職業分類の再調査月間 前年度収支決算承認 本年度収支予算承認 クラブ細則の変更決定 入会金30,000円、会費月間7,000円とする 定例理事会は第3例会終了後とする 市来等君(市来外科医院々長)入会 矢田会員 交通事故による負傷全快、5ヶ月ぶりに出 席 立元会員 まつり宮崎大成功 杉山会員 高千穂相互銀行大塚支店オープン 佐原(正)会員 宮崎交通杯優勝 堺 会員 高千穂コースNo.3にてホールインワン 誕生祝 2名 結婚祝 1名 前年度100%出席者表彰(7月12日発表済)

8月 3日		第373区第10回インターアクト年次大会(～4日) 大分県豊後高田市高田高校体育館にて開催
8月 4日		地区青少年交換委員会、送出学生歓送迎会を宮崎市オリエンタルホテルにて開催
8月 9日		退院記念に社会奉仕基金へ多額の寄付をされた矢田会員へ感謝状を贈呈 卓話 「マスコミの内側から」 宮崎日日新聞編集局長 平嶋周次郎氏
8月 9日	理 事 会	臨時理事会
8月16日	第719回例会	1974～75年公式名簿の希望者募集 価格2.5ドル 「奉仕こそわがつとめ」入荷 1冊 200円 新入会員卓話 志多会員
8月16日	理 事 会	定例理事会
8月21日		交換学生 勝浦昌子さん アメリカへ出発
8月22日		3RC合同国際奉仕委員会開催 橋カントリークラブ(後藤則義会員)オープン 理 事 長 橋本(一)会 員 常 任 委 事 竹 内 会 員 競 技 委 員 長 橋本(善)会 員 ハンディキャップ 委 員 長 鈴 木 会 員
8月23日	第720回例会	会員証及び会員名簿配布 受入交換学生のホストファミリーは阿南、藤井両会員に決定。期間は8月26日～12月22日 阿南会員へポールハリス・フェローのメダル、衿章、証明書の授与 職業奉仕アンケート集計発表 回答率 38通 回収率 52% 後藤(則)会員初孫ご誕生 前川会員(日本生命)県内老人ホーム40ヶ所へ400万円ご寄贈
8月28日	第721回例会	8月30日の例会を繰上げ、バス内の車中例会

8月28日		フェニックス高原カントリークラブの職場訪問 8月現在の会員年令 最高75才、最低30才、平均50.8才 フェニックス高原カントリークラブ(田中秀男会員) オープン 新入会員インフォメーション17:00よりフェニックスホテルにおいて実施 新旧会長、幹事の激励並に慰労会をみらいビル、ビヤホールにおいて18:30より開催
9月6日	第722回例会	初代会長 田崎亀夫会員ご逝去
9月6日		古紙回収日 高知南RC(松岡会員)、高崎南RC(勝部会員)よりバナーを受領 昨年度交換学生 森山美穂子さん帰国あいさつ 今年度受入交換学生 ロバート・アラン・ホーキンソン君来宮あいさつ 7月末来宮の西ドイツ・スポーツユージェントを受入れた小田会長、大賀会員、日高(真)会員に記念品贈呈 誕生祝 6名 勝部 修君(日興証券宮崎支店長)入会 池田浦吉君(宮崎日日新聞常勤取締役)入会
9月11日	第723回例会	会長、幹事合同会議
9月13日		田崎亀夫元会員の追悼例会 日高 会員 追悼の辞 住田 会員 弔 辞 佐原(伝)会員 弔 辞 田崎松代夫人 お礼のあいさつ インターアクト中村君子さんより新年度の活動計画、年間行事発表
9月15日	第724回例会	世界理解週間(～21日)
9月20日		卓話 「韓国みたまま」 パストガバナー 日高安壮氏
9月20日	理 事 会	定例理事会

9月21日		後藤(則)会員 一人息子さん結婚
9月26日	ゴルフ会	フェニックス高原カントリークラブにおいて開催
9月27日	第725回例会	第373区、第370区連合年次大会のRI会長代理にハリー・スチュアート氏(現RI事務総長)の来日決定 交換学生制度は次年度も引続き実施することに決定した旨、会長より発表 クラブ奉仕に関するフォーラム 出席委員会 リーダー 佐原(正)会員 会員増強委員会 " 杉本 会員 職業分類委員会 " 那須 会員 親睦活動委員会 " 百野 会員
10月4日	第726回例会	古紙回収日 常陸太田RCよりバナー受領 結婚祝 5名 誕生祝 7名 10月誕生者スピーチ 清水会員、安倍会員、松岡会員 日高会長(宮崎マツダ)日南商工人野球優勝 百野会員(宮崎トヨペット)早朝野球優勝
10月6日		都城RC20周年記念式典挙行
10月11日	第727回例会	ダリア賞贈呈 山口整形外科勤務 看護婦 甲斐フサ子さん 9月末中間決算報告 西宮RCのバナー受領(長峰会員) 浅野会員 空港拡張促進実行委員長として活躍中 外山会員 宮日早朝野球優勝 内村会員 大淀に倉庫新築 卓話 「血液について」 日本赤十字血液センター 立野 稔氏 献血
10月13日		青少年活動週間(～19日)
10月15日		1976～77年度ガバナーノミニーに塘一郎氏(鹿児島西RC)が決定せる旨、竹野ガバナー宣言

10月15日		郡会員個展開催(～20日)
10月18日	第728回例会	岡崎RCのバナー受領 安倍会員 シニア選手権準優勝 大賀会員 ご長男ご結婚 木浦会員 青人会へご夫婦でご出品 卓話 「最近の青少年の動向」 宮崎商業高校 校長 池袋宗臣氏
10月18日	理事会	定例理事会
10月18日	クラブ協議会	第2回クラブ・アッセンブリーを江南荘において16:30より開催
10月20日	ゴルフ会	市内3RC合同コンペ 兼西RC例会
10月25日	第729回例会	江南地区新クラブ創立に関しホストクラブとして尽力することに決定せる旨、会長より発表半田RCのバナー受領 新入会員卓話 村上会員、笹栗会員 10月20日、3RC合同コンペ兼西RC例会の入賞者表彰 津守会員 両コンペ 優勝 堺 会員 “ 準優勝 鈴木会員 3RCコンペ ベストグロス賞

ク ラ ブ 歴 史

1 9 7 4 ~ 1 9 7 5

宮崎西ロータリークラブ

幹事 藤 井 勝

11月 1日	第730回例会	<p>古紙回収日</p> <p>社会奉仕基金への寄付に対し感謝状贈呈</p> <p style="padding-left: 2em;">大賀 会員 ご長男の結婚記念</p> <p style="padding-left: 2em;">植松(熊)会員 会社創業90周年記念</p> <p>誕生祝 5名 結婚祝 4名</p> <p>ハッピー</p> <p style="padding-left: 2em;">田中(秀)会員 フェニックス動物園グループ宮日 賞受賞</p> <p style="padding-left: 2em;">池田(浦)会員 第26回宮日総合美術展開催</p> <p style="padding-left: 2em;">前川 会員 ニッセイセミナー開講</p> <p style="padding-left: 2em;">池田(成)会員 店舗新装オープン</p> <p>3分間スピーチ</p> <p style="padding-left: 2em;">榎本会員、角地会員、永田会員</p>
11月 1日	第731回例会	<p>臨時理事会</p>
11月 8日		<p>年次大会における選挙人を次のとおり理事会にて決定</p> <p style="padding-left: 2em;">橋本(一)会員、竹内会員、川辺会員</p> <p>1976~1977年度のガバナーノミネー決定</p> <p style="padding-left: 2em;">鹿児島西RC 塘 一郎氏</p> <p>ハッピー</p> <p style="padding-left: 2em;">村上会員 第3子 男子出生</p> <p>卓 話 西オーストラリア・ビクトリアパークRC 会員 クリフ・セクトン氏</p>
11月10日	第732回例会	<p>(~16日)ロータリー財団週間</p>
11月15日		<p>ハッピー</p> <p style="padding-left: 2em;">笹栗会員 新築移転</p> <p style="padding-left: 2em;">吉賀会員 宮日美術展無鑑査ご出品</p> <p style="padding-left: 2em;">前川会員 ニッセイはまゆう会ゴルフ盛会</p> <p style="padding-left: 2em;">津守会員 ニッセイはまゆう会ゴルフ準優勝</p>

11月15日		佐原(正)会員 同ベストグロス賞 卓話 「ロータリー財団について」 東京西RC 鈴木達雄 PG
11月17日		定例理事会
11月22日	第733回例会	秋のスタミナパーティ フェニックス運動場にて開催
11月23日		会員卓話 「生命保険の話」 中畑会員 第370区、第373区連合地区大会第1日 熊本市体育館
11月24日		大会第2日 熊本市民会館
11月29日	第734回例会	会長より熊本における地区大会の状況報告 ガバナー公式訪問報告書を各委員長へ配布 職業奉仕フォーラム
12月6日	第735回例会	古紙回収日 誕生祝 10名 結婚祝 7名 ハッピー 田中(秀)会員 フェニックストーナメント大成功 川辺 会員 フェニックストーナメントのアマ。 プロコンペにて準ホールインワン 立元 会員 再婚された 後藤(則)会員 橋百貨店会長に就任
12月13日	第736回例会	3分間スピーチ 小田会長、竹野会員 津守会員 12月10日交通事故にて入院 ハッピー 大古殿会員 6年前の13日の金曜日が結婚記念日 役員、四大奉仕部門の委員長の半期反省報告 日 高 会 長 菊 池 副会長 内村社会奉仕委員長 阿南国際奉仕委員長 藤 井 幹 事 大古殿 SAA

12月13日		定例理事会
12月15日		餅つき奉仕、ひまわり学園にて実施
12月17日		ゴルフコンペ
12月20日	第737回例会	江南地区新クラブの特別代表に日高真太郎会員が決定した。
12月26日		年末家族会
12月27日	第738回例会	クラブ協議会 ガバナー公式訪問日 ハッピー 竹野ガバナー 公式訪問の全日程を終了 木浦会員 電友会グロス優勝 堺会員 オレンジ会準優勝 日高会員 西クラブコンペ優勝 クラブ歴史(7月～10月分)配布 ガバナー卓話 竹野ガバナー 記念撮影
12月27日		臨時理事会
1月3日		休会
1月10日	第739回例会	古紙回収日 次期理事選任のための指名委員会委員の発表 委員長 住田会員 委員 植松(熊)会員 " 吉賀会員 " 橋本(一)会員 " 竹内会員 " 郡会員 " 川辺会員 永田会員 鹿児島へ転勤のため退会 誕生祝 10名 結婚祝 8名 ハッピー 角地会員 自販連コンペ優勝 鈴木会員 宮日「わが恩師」に掲載 佐原(正)会員 " "

1月16日	第740回例会	竹野会員の社会奉仕基金への寄付に対し感謝状贈呈 3分間スピーチ (～24日)アートルー会の展示会を肥後銀行ロビーにて開催
1月17日		1974年 規定審議会での決定事項報告 ハッピー 村上 会員 建友会ベストグロス 植松(熊)会員 オールドボーイズゴルフ準々優勝 日高(真)特別代表あいさつ
1月17日		年次総会 住田指名委員会委員長より審議の結果発表 1976～1977年会長 菊池(彰)会員 1975～1976年理事 田中(博)会員 " 松岡 会員 " 西岡 会員 " 植松(孝)会員 " 江田 会員 " 橋本(一)会員 " 尾藤 会員 田中(博)会長エレクトより被選理事会で決定した次年度役員、理事の発表 副 会 長 松 岡 会 員 社会奉仕委員長 植 松(孝)会 員 国際奉仕委員長 江 田 会 員 職業奉仕委員長 西 岡 会 員 青少年奉仕委員長 尾 藤 会 員 ロータリー財団委員長 橋 本(一)会 員 会 計 安 倍 会 員 S・A・A 井 上 会 員 幹 事 牧 会 員
1月19日 1月24日	第741回例会	(～25) 雑誌週間 「雑誌週間に因んで」の資料配布 第2回ロータリークイズ

1月24日 1月31日	第742回例会	<p>12月31日現在 中間決算報告 定例理事会 上半期の出席一覧表配布 1974年地区協議会記録配布 池田(浦)会員退会 ハッピー 津守会員 芽出たく退院 浅野会員 サンフラワー会取り切り戦優勝 卓話 「つばつくり生きる」 佐々木恒春氏 臨時理事会 クラブ協議会を17:30よりホテル・フェニックスにて開催 ゴルフコンペ</p>
1月31日		<p>古紙回収日 誕生祝 5名 結婚祝 9名 ハッピー 角地会員 西RCコンペ優勝 木浦会員 ベストグロス賞 会員卓話 川辺会員 地区協議会収支決算報告 川辺会員 臨時理事会</p>
2月2日 2月7日	第743回例会	<p>職業奉仕委員会、インターアクト諮問委員会合同会議 高崎親康君(鹿児島銀行宮崎支店長)柴田陽一君(福岡相互銀行宮崎支店長)入会 ハッピー 吉賀 会員 光風会会友となられた 日高(真)会員 ご長男に男子出生 会員卓話 榎本会員</p>
2月7日		<p>インターシティ・ゼネラル・フォーラム 於延岡市旭化成向陽クラブ</p>
2月14日	第744回例会	<p>インターアクト会員中の卒業生に対し記念品贈呈 ハッピー 藤井会員 宮崎木材市場取締役にご就任</p>
2月16日		
2月21日	第745回例会	

2月23日		会長卓話 「ロータリー創立記念に因んで」 <div style="text-align: right;">日高会長</div>
2月28日	第746回例会	ロータリー創立記念日 卓話 「小野田元少尉の救出について」 <div style="text-align: right;">谷口義美氏</div>

ク ラ ブ 歴 史

1 9 7 5

宮崎西ロータリークラブ

幹事 藤 井 勝

<p>3月 7日</p>	<p>第747回例会</p>	<p>古紙回収日 誕生祝 7名 結婚祝 6名 ハッピー 竹内 会員 サンフラワーゴルフ3位入賞 佐原(正)会員 サンフラワーゴルフ4位入賞 榎本 会員 志多組専務に就任 市来 会員 お子さんが宮大付中に入学 内村 会員 //</p> <p>会員卓話 大賀会員</p>
<p>3月 7日</p>		<p>理事会</p>
<p>3月14日</p>	<p>第748回例会</p>	<p>100万\$食事 ハッピー 堺 会員 ご令嬢ご結婚 前川会員 生保協コンペ優勝 クラブフォーラム テーマ1. ロータリでいう例会とは何か 内村 会員 テーマ2. 例会に出席して得るものがあるか 竹内 会員 テーマ3. 会員卓話をした時の感想 阿南 会員 テーマ4. よりよき例会の持ち方 前川 会員 テーマ5. 拡大の問題点一量か質か 田中(博)会員 テーマ6. 拡大の障害となるもの 鈴木 会員</p>
<p>3月24日</p>		<p>宮崎南RC創立総会</p>

3月28日	第749回例会	<p>G S E の 6 名 来 会 社会奉仕委員会の事業として文学書等の録音テープ 150 券を盲人福祉館へ寄贈 ハッピー 西岡会員 ご子息が東大理科1類と自治医科大に 合格 郡 会員 県美術展へご出品 吉賀会員 //</p>
3月28日		<p>会員卓話 「株式市況について」 勝部会員 創立15周年準備委員会 臨時理事会</p>
4月4日	第750回例会	<p>古紙回収日 幸重篤氏君(三川屋家具店社長)入会 誕生祝 4名 結婚祝 14名 社会奉仕基金への寄付に対し感謝状贈呈 志多会員 会社創立10周年記念 3分間スピーチ 宮下会員</p>
4月8日	第751回例会	<p>創立15周年記念式典 点 鐘 開 会 開会のことば 菊池副会長 物故会員への黙祷 来賓、出席者紹介 日高 会長 祝電披露 挨拶 日高 会長 記念品贈呈 ガバナー 竹野 融殿 特別代表 福田甚二郎殿 歴代会長へ感謝状贈呈 (3代)佐原伝次郎 (4代)住田 静一 (5代)菊池 稔 (6代)長峰 市次 (7代)竹野 融 (9代)植松熊太郎 (10代)吉賀 幸夫 (11代)橋本 一郎 (12代)竹内 三郎 (13代)郡 嗣彦</p>

<p>4月18日 4月18日</p>	<p>第752回例会 第752回例会</p>	<p>(14代)川辺 政明 10年以上連続無欠席者へ表彰状贈呈 15年 長峰 市次 佐原伝次郎 住田 静一 竹野 融 田中 博規 植松熊太郎 14年 川辺 政明 吉賀 幸夫 13年 堺 久 12年 橋本 善吉 11年 日高 文雄 大賀 義人 10年 後藤 満 菊池 彰 橋本 一郎 藤井 勝 歴代会長代表謝辞 佐原伝(会)員 創立以来無欠席会員謝辞 長峰 会員 来賓祝辞 宮崎県知事 黒木 博殿(小林副知事代読) 宮崎支長 清山 芳雄殿 特別代表 福田甚二郎殿 ガバナー 竹野 融殿 閉会のことば 田中会長エレクト 点 鐘 閉 会 祝 宴 新恵誠君(大同工業社長)、後藤良博君(橘観光開発 専務取締役 ハッピー 笹栗 会員 「われらサウナ党」に掲載 尾藤 会員 宮日「私の恩師」に掲載 大賀 会員 従業員の方がミス藤娘に選ばれた 田中(秀)会員 // 準ミスに2人選ばれた 藤井 会員 ご令嬢がUMKに入社 奥村 会員(肥後 銀行)高額所得法人 高崎 会員(鹿児島銀行) // 柴田 会員(福岡相銀行) // 平山 会員(宮崎 銀行) //</p>
------------------------	----------------------------	--

4月25日	第753回例会	<p>安倍 会員（宮崎相銀行）高額所得法人 阿南 会員 高額所得者 大古殿会員 義父戸高保氏が県議にトップで当選 安倍会計より3月31日現在の会計報告 ダリア賞贈呈 受賞者 橘交通運転手 林 国夫氏 社会奉仕基金への寄付に対し感謝状贈呈 宮下会員 香典返し 会員卓話 「歯科医の料金問題」菊池(彰)会員 「脳外科について」 市来 会員</p>
5月 2日	第754回例会	<p>古紙回収日 誕生祝 4名 結婚祝 8名 ハッピー 後藤(良)会員 第1子(男子)誕生 後藤(則)会員 初の内孫誕生 竹内 会員 高額所得者 阿南 会員 // 郡 会員 // 後藤(則)会員 // 市来 会員 //</p>
5月 9日	第755回例会	<p>3分間スピーチ 後藤(尚)、橋本(善)、内村、村上各会員 R I 1976年～1977年度会長にロバート・マンチェスター氏が指名された ハッピー 柴田 会員 初の仲人役 吉賀 会員 高額所得者 藤元 会員 // 植松(熊)会員 // 宮下 会員 // 田中(博)会員 //</p> <p>創立15周年記念式典会計報告 会員卓話 「銀行の営業方針について」柴田会員</p>

5月 9日 5月16日	第756回例会	<p>被選理事会 次年度委員会名簿配布 シニア会員になられた方々 中山、橋本(一)、吉賀、郡、川辺、堺、宮下各委員 卓話 「姓名学」 川崎宝当氏</p>
5月23日	第757回例会	<p>菊池(総)会員の夫人死去についてのあいさつ 平山会員の父君死去についてのあいさつ 会員卓話 大賀会員</p>
5月23日 5月29日 5月30日	第758回例会	<p>理事会 宮崎南RCはRI本部より認承された 大健会員退会 社会奉仕基金への寄付に対し感謝状贈呈 菊池(総)会員 香典返し チャリティバザー決算報告 社会奉仕クラブ・フォーラム テーマ1. ロータリーにおいて社会奉仕とは何でしょうか。 第1テーブル 竹野ガバナー 第2テーブル 植松(孝)会員 第3テーブル 奥村 会員 テーマ2 今年度行なった行事についてどう思いますか。 第4テーブル 川辺 会員 第5テーブル 吉賀 会員 第6テーブル 柴田 会員</p>
6月 6日	第759回例会	<p>古紙回収日 誕生祝 6名 結婚祝 4名 ハッピー 木浦 会員 役員コンペ最高賞金獲得者 竹内 会員 予想外多額賞金獲得者 大古殿会員 賞金獲得者 日高(文)会員 //</p>

6月13日	第760回例会	<p>小川次男君（小川産婦人科医院院長）、重城寿雄君（重城外科医院院長）、尾沢勝君（宮崎放送代表取締役専務）、日高親敏君（共立設計事務所代表者）入会</p> <p>ハッピー</p> <p>江田 会員 ハンバーグの店「ウインピー」開店</p> <p>X 会員 初孫誕生</p> <p>会員卓話 「金婚式を迎えて」 清水会員</p> <p>退任あいさつ</p> <p>内村社会奉仕委員長 阿南国際奉仕委員長 那須職業分類委員長 榎 本 会 報 委員 菊池(借)会員増強委員長 榊 本 広 報 委員 長 吉賀ロータリー財団委員長</p>
6月13日		<p>理事会ならびに被選理事会</p> <p>次年度委員長会を16:30より「魚よし」にて開催</p>
6月14日		<p>高原カントリークラブにおいてゴルフ例会</p>
6月20日	第761回例会	<p>ハッピー</p> <p>古賀 会員 税務署主催のきき酒会に出場</p> <p>植松(借)会員 西RCゴルフコンペでネット70で優勝</p> <p>飯坂兌壬君（サンフード工業常務取締役）入会</p> <p>退任あいさつ</p> <p>木浦ロータリー情報委員長 鈴木青少年奉仕委員長 菊池(平)出席委員長 市来親睦活動委員 橋本(-)プログラム委員長 角地インターアクト諮問委員長 安倍 会 計 大古殿 S・A・A 植松孝15年誌編纂委員長</p>

6月20日		新入会員を囲む懇談会を18:00よりホテル・フェニックスにて開催
6月24日		ホテル・フェニックス 清水会員ご夫妻の金婚式を祝う会を18:00よりホテル江南荘にて開催
6月27日	第762回例会	ホテル・フェニックス調理人及び宮崎相銀の児玉さんへお礼の金一封を贈る。 退任あいさつ 竹内職業奉仕委員長 藤井幹事 菊池彰副会長 日高(文)会長
6月27日		新旧委員長会を18:00よりホテル・フェニックスにて開催
6月30日		山脇望会員退会

ク ラ ブ 歴 史

1975～1976

宮崎西ロータリークラブ
幹事 牧 圭 司

7月 4日	第763回例会	<p>田中会長 あいさつ ビジター紹介 新年度ビジター第一号記念品進呈～我妻忠彦氏（宮崎北）</p> <p>牧 幹 事 あいさつ 資料説明 事務所変更、松橋RC 例会場変更、佐伯RC インターアクト年次大会、8月4日霧島ホテルにて 日高貞文分区代理（宮崎）より新任挨拶状届く 山協会員6月末にて退会 1Fロビーにて例会終了後理事会</p> <p>前川出席委員長 新任あいさつ 出席状況報告</p> <p>菊池親睦委員長 あいさつ 今月の結婚～鈴木 今月の誕生～岩元、田中（秀）、植松（熊） 日高（文）、前川、矢田、 大古殿、村上、小川</p> <p>井山SAA委員長 あいさつ 田中（博）会長、牧幹事御就任おめでとう 尾沢～宮崎放送商事、社長就任 お嬢さん結婚</p>
-------	---------	--

7月11日	第764会例会	<p>江田～安田生命杯 2位</p> <p>竹野PG お礼のことば</p> <p>田中(博)会長 新任挨拶</p> <p>牧 幹 事 新任挨拶</p> <p>植松孝社会奉仕委員長 新任あいさつ</p> <p>江田国際奉仕委員長 新任挨拶</p> <p>尾藤青少年奉仕委員会 新任挨拶</p> <p>田中会長 ビジター紹介18名</p> <p>先日の会長挨拶での補足について</p> <p>牧 幹 事 資料説明</p> <p>前川委員長 出席状況報告</p> <p>菊池親睦委員会</p> <p>7月18日当ホテル3階にて慰労会開催</p> <p>竹 内 ゴルフクラブ、遠征ゴルフについて</p> <p>尾藤青少年奉仕委員会</p> <p>宮崎西、北、南の合同にてワンダーフォー ゲル実施</p> <p>8月2日、3日、えびの高原ハイキングコー ス</p> <p>井山S・A・A (ハッピー)</p> <p>日高(照)～ダイヤモンドゴルフ会盛会おめ でとう</p> <p>村 上～同コンペにて第4位入賞おめで とう</p> <p>尾沢1位、中山2位、鈴木3位、7月7日 麻雀会にて</p> <p>安倍委員長 収支計算書の説明</p> <p>ご 挨 拶 クラブ奉仕部門～松岡副会長 雑 誌 委 員 会～津守委員長 会 報 委 員 会～榎本委員長 会員増強委員会～日高(照)委員長 広 報 委 員 会～小田委員長 親 睦 委 員 会～菊池委員長</p>
-------	---------	---

7月18日	第765回例会	<p style="text-align: center;">ロータリー財団～橋本(一)委員長</p> <p>田中会長 ビジター紹介 竹野(直前)ガバナーより退任の挨拶状が届いております。</p> <p>牧 幹 事 354地区年次大会の案内 外山会員の新はにわ新築開店 9月21日宮崎南RCの認承状伝達式 例会終了後定例理事会</p> <p>前川出席委員長 出席状況報告</p> <p>菊池親睦活動委員会 本日PM6:30ホテルフェニックス3階 慰労会 7月22日(火)PM6:00 第3和楽 (九電南)にて、第1回麻雀大会 会費1,000円</p> <p>ごあいさつ(日高南RC会長) 9月21日チャーターナイト開催 PM3:00～PM5:00伝達式(於医師会館) PM6:00～PM8:00懇談会(於ホテルプラザ宮崎) 講演 岩切章太郎</p> <p>お祝い田中会長～新はにわ 新築開店のお祝い お礼のことば～外山会員</p> <p>S・A・A井山委員長 那須～事務所新築移転おめでとう 外山～新はにわ新築開店おめでとう 田中(秀)、浅野～宮崎の観光対策についての 番組にてご活躍おめでとう</p> <p>牧 幹 事 収支計画報告</p> <p>新任あいさつ 岩井ロータリー情報委員長 西岡職業奉仕委員長 前川出席委員長</p>
-------	---------	--

7月25日	第766回例会	<p>大賀会員選考委員長 ビジター紹介、ゲスト紹介 竹野会員より米山奨学会に寄附頂きました。 会員の杉本会員が退会</p> <p>牧 幹 事 ロータリーの友英語版が発行 例会事、時間変更のお知らせ 本日午後6時より外山会員宅でクラブア ッセンプリーを行います。</p> <p>前川委員長 出席状況報告 植松(孝)委員長 竹野会員より寄付頂きました。 8月1日は古紙回収です</p> <p>江田委員長 交換学生について報告 井山委員長 来月よりノータイで結構です。 川辺会員の奥様が読売新聞に登場されま した。又アトリエをお作りになったそう です。 古賀、郡会員が県美術協会10周年記念 店に大作発表 麻雀大会の成績～1位中山会員、市来、 菊池(彰)、奥村、大賀会員 日高(文)会員7月19日グリーン会ゴルフ コンペに入賞 奥村会員、肥後銀行50周年記念</p> <p>尾藤委員長 テントの貸出しについて 杉本会員退会挨拶 郡委員長～増井光子さん紹介 卓 話 ～ 増井博士</p>
8月 1日	第767回例会	<p>司 会 ～ 田中(博)会長 ゲスト紹介～勝浦昌子(交換学生) ビジター紹介 当クラブ公式訪問～9月12日</p>

<p>8月 8日</p>	<p>第768回例会</p>	<p>幹事報告（牧幹事）</p> <p>チャーターナイト</p> <p>368区神崎RC 9月28日</p> <p>370区年次大会</p> <p>10月10日～11日小倉東RCがHC</p> <p>会員名簿訂正</p> <p>P11松岡会員 勤務先TEL24-4817</p> <p>P13大古殿会員 " " 22-2265</p> <p>P18 22-7021</p> <p>協力お願い～会合参加について</p> <p>出席委員会（前川委員長）</p> <p>出席状況報告 出席願い</p> <p>親睦活動委員長</p> <p>暑中お見舞</p> <p>今月の誕生～竹内、池田</p> <p>今月の結婚～菊池(平)</p> <p>ハイキング計画</p> <p>社会奉仕委員会（植松孝委員長）</p> <p>古紙回収協力ありがとう</p> <p>竹野会員より社会奉仕基金をいただきました……</p> <p>感謝状贈呈</p> <p>国際奉仕委員会（江田委員長）</p> <p>交換学生～勝浦昌子帰国</p> <p>ごあいさつ（勝浦昌子）</p> <p>S・A・A（井上委員長）</p> <p>ハッピー～尾沢、堺、前川</p> <p>会員卓話（竹内会員）</p> <p>新任挨拶 外山インターアクト諮問委員長</p> <p>中畑職業分類委員長</p> <p>郡プログラム委員長</p> <p>えびの高原ワンダーフォーゲル大成功裡に閉幕</p> <p>司会（田中博会長）</p> <p>ビジター紹介</p>
--------------	----------------	--

<p>8月15日</p>	<p>第769回例会</p>	<p>ゲスト紹介 南RCより9月21日認承状伝達式あいさつ 前年度100%出席表彰～菊池平前出席委員長 ゴルフ部会(榎本会員) 年事大会 8月23日(土)PM11:00スタート 鹿児島空港カントリークラブ 国際奉仕委員会(牧幹事) 今年度送出し交換学生大宮高校2年藤本紀恵さん 紹介 ごあいさつ(藤本紀恵) ごあいさつ(田口通宮崎南RC親睦委員長) 認承式典 日程9月21日(日)PM3:00 県医師会館大ホール PM6:00より 認承式パーティー ホテルプラザ宮崎 9月22日(月)記念ゴルフ エスクカーション 登録料10,000円 締切日8月25日 S・A・A(井山委員長) ハッピー～22名無欠席の方々おめでとう 田中(秀)…菅原洋一ナイトシアター 盛況おめでとう プログラム委員会(郡委員長) 会員卓話～尾沢会員 タイトル…民間放送と広告費 司会(田中会長) 本日は30年目の終戦記念日につき全員黙とう ビジター紹介 幹事報告(笹栗副幹事) 認証状伝達の件～9月21日(日)医師会館にて ガバナー公式訪問の報告書提出願 例会終了後定例理事会開催</p>
--------------	----------------	--

<p>8月22日</p>	<p>第770回例会</p>	<p>出席委員長（前川委員長） 出席状況報告 青少年委員会（菊池(平)委員） えびのワンダーフォーゲルの報告 S・A・A（井山委員長） 日南高校の活躍おめでとう プログラム委員会（郡委員長） 終戦の日の思い出をお話ししていただきます 明治、大正、昭和各代表者 植松鶴会員、立元会員、堺会員、古賀会員 司会（田中博会長） ゲスト紹介 ビジター紹介 幹事報告（牧幹事） 認承状伝達式～広島県吉舎RC（369地区） 10月10日 例会時間変更～宮崎西RC 9月19日(金) PM6:00 PM6:30より観月会 於フェニックス高原カントリークラブ 宮崎南RCチャーターナイトへ参加願 本日のアッセンブリーは中止 出席委員会（前川委員長） 出席状況報告 親睦活動委員会（菊池委員会） 観月家族会9月19日(金)PM6:30締切8月29日 7月予定のハイキング会は延期 職業奉仕委員会（西岡委員長） 職業奉仕採点表の記入のお願い プログラム委員会（郡委員長） 本日の卓話者～清水薫教授 旧制宮中39回生、高等農林学校、宮崎大学歴 ～応用混虫学</p>
--------------	----------------	--

8月29日	第771回例会	S46年白蟻に関する研究で県文化賞授与 ハッピー～菊池、角地、日高(文)、後藤(満)、川辺 交換学生～シュワルツ・ロナリン紹介 卓話～幸重会員
9月5日	第772回例会	来年のホストファミリー受入希望者募集 来年度送り出し学生募集 今月の誕生～6名 今月の結婚～1名 今月の卓話～湯浅会員、志多会員 宮崎商業高校インターアクト諮問委員会
9月12日	第773回例会	本日はガバナーの公式訪問日です 例会終了後記念撮影 19日観月会の案内 竹野前ガバナーにポールハリスフェローとしてメダルの贈呈式 挨拶～日高貞文、後藤基彰
9月19日	第774回例会	観月会を兼ねてフェニックス高原カントリークラブにて例会 後藤(則)会員退会の件 奥様バッティングコンクール 観月俳句の会 観月ゴルフ会
9月26日	第775回例会	会場変更のお知らせ 10月3日献血予定 宮崎南RC会長挨拶 卓話～中島伸嘉氏
10月3日	第776回例会	今月の誕生 7名 今月の結婚 6名 卓話～小川会員、内村会員
10月17日	第777回例会	ハッピー～日高(文)、角地、内村、榎本 交通遺児の表彰～藤本明司、長倉俊明、大元和彦
10月24日	第778回例会	ハッピー～池田…長女誕生おめでとう 村上…10月18日ゴルフコンペグロス優勝

10月30日	第779回例会	<p>日高安壮氏……弔意お礼 ダリア賞表彰……中武良久氏 串間実氏……献本について ハッピー～中山…黄綬褒章授与おめでとう 湯 浅…喜寿おめでとう、宮日広告賞金賞 田中(秀)…宮日広告賞銅賞 大古殿…宮銀コンペ BG優勝 松 岡…長女結婚</p>
11月 7日	第780回例会	<p>卓話…後藤賢三郎 今月の誕生 7名 今月の結婚 5名 卓話…外山会員、柴田会員</p>
11月21日	第782回例会	<p>日向東RCチャーターナイトお知らせ 中山会員祝賀会お知らせ(11月28日 PM6:30) 会員増強について</p>
11月28日	第783回例会	<p>卓話…日高安壮PG、ロータリー財団について 本日午後6時30分より中山会員叙勲祝賀会</p>
12月5日	第784回例会	<p>卓話…落合正行 郡会員病気の為、今月一杯賜暇願 新入会員紹介…松村会員 ご挨拶…中山会員</p>
12月12日	第785回例会	<p>卓話…中畑会員、大古殿会員 本日年次総会開催 新入会員紹介…佐藤新会員 交換学生に宮崎より2名の合格 年末もちつき大会の出欠、本日までに回答 年末家族会の出欠を来週初めまでに連絡 来年度の理事発表承認</p>
12月20日	第786回例会	<p>新入会員紹介 矢田龍史郎(金子眼鏡店専務) 上村宗二(宮崎調理士専門学校 理事長)</p>
12月26日	第787回例会	<p>年末家族会の社会奉仕基金(¥33,672) もちつき大会無事終了</p>

1月 9日	第788回例会	<p>平山会員…宮銀専務取締役就任 池田会員…文春に皇太子御夫妻との会見記載 植松健…ゴルフ会優勝おめでとう インタシティ・ゼネラル・フォーラムの案内 今月の誕生 12名 今月の結婚 7名 退会…柴田会員</p>
1月16日	第789回例会	<p>会員卓話…杉山会員、藤井会員 今月100%月間のためご協力願います 青少年奉仕委員会 昨年11月県立図書館に青少年向けの図書644冊寄贈 ハッピー 年男、大賀義人会員おめでとう 会員の皆さん元気で新年を迎えられ、おめでとう 全員にハッピーをお願いします ロータリー情報 「ロータリー入門書」輪読会 手続要覧改正点 クラブ年次総会3月31日まで→12月31日まで R Iの規定審議会2年に1回→3年に1回 R Iの人頭分担金 半期4\$→6\$</p>
1月23日	第790回例会	<p>司会～田中(博)会長 ビジター紹介 インタシティ・ゼネラル・フォーラム参加のお願い 373区年次大会参加のお願い(3月13日・14日於大分) 幹事報告(牧幹事) 新入会員委員会所属 社会奉仕委員会…矢田 親睦活動委員会…田崎、上村、佐藤</p>

1月30日	第791回例会	<p>出席委員会（前川委員長） 前回は100%出席達成 出席状況報告</p> <p>国際奉仕委員会（江田委員長） 只今よりフォーラムを行います 阿南、藤井、橋本(一)、日高(文)、竹内、大賀、 竹野</p> <p>司会～田中(博)会長 ビジター紹介 高橋会員が転勤の為退会</p> <p>幹事報告（牧幹事） 「南の風」第2面 ICGF の欄 宮崎 2月8日が2月15日の誤りです。 ICGF の第2分科会のカウンセラーとして竹野 PG、パネラー岩井会員 第3分科会 リーダー竹内会員 副リーダー榎本会員</p> <p>例会場の変更…日向RCは2月6日より富士屋ホ テルにて例会を行います。</p> <p>出席委員会（志多副委員長） 出席状況報告 12月出席率は16位でした</p> <p>親睦活動委員会（菊池委員長） 麻雀大会のお知らせ 2月13日午後6時第3和楽にて 趣味の園芸のお知らせ 2月27日 園田グリーンセンターの予定、例会 終了後 ゴルフ会お知らせ 2月22日12時18分 フェニックスカントリークラブ</p> <p>職業分類委員会（中畑委員長） 津守高明氏の職業分類が総合建築→建設の誤り</p>
-------	---------	---

2月 6日	第792回例会	<p>2月に職業分類表を作成しますので分類変更の希望の方は申し出て下さい。</p> <p>S・A・A（井上委員長） ハッピー～平山、阿部、住田…宮崎県法人所得ベストテン 市来、佐藤、佐原(正)…西RCコンペ入賞 川辺、木浦、角地…サンフラワー会コンペ入賞</p> <p>高崎会員退会 雑誌委員会（津守委員長） 1月26日～30日 雑誌週間 広報委員会（小田委員長） インターシティ・ゼネラル・フォーラム2月15日宮崎にて開催 司会～田中博会長 ビジター紹介、新入会員紹介 古賀会員が1月末日で退会 幹事報告（牧幹事） 中津中央RCチャーターナイト 4月25日 於福沢会館 例会変更～宮崎南RC PM6:00 家族懇談会のため 2月行事予定の談話27日～3月5日に変更 例会終了後ロビーにて新入社員の為のフォーラムが行なわれます。情報委員会主催 出席委員会（前川委員長） 出席状況報告 新入会員 黒木勝氏 宮崎相互銀行常務取締役 住所～宮崎市松橋2丁目 家族～奥様、3男1女 生年月日～大正8年2月門川仏門出身、元航空隊中隊長元司令部偵察将校、宮相入社昭和28年、</p>
-------	---------	--

<p>2月 6日</p>	<p>第792回例会</p>	<p>昭和38年取締役就任、極めて活動的、サービス精神旺盛 趣味～庭木、盆栽（プロ級）、つり（海・川etc） スカイダイビング、ゴルフ、酒等</p> <p>新入会員 佐伯司朗氏 生年月日～昭和12年5月18日 昭和34年日本大学商学部卒、日本紙パルプ商事会社勤務、昭和36年佐伯商事入社、昭和46年同社社長就任、（温厚、真面目） 趣味～旅行 家族～奥様とお子様1人</p> <p>新入会員 津守氏 生年月日～昭和9年12月25日（41才） 宮崎大淀高校化学科を卒業、昭和43年津守工務店を設立、社長就任 口重く、誠実、温厚 家族～奥様と3男 趣味～つり（磯つり）、ゴルフ（ハンディ16） その他スポーツ、酒</p> <p>新入会員挨拶（黒木勝会員） （佐伯司朗会員） （津守 会員）</p> <p>親睦活動委員会（菊池委員長） 今月の誕生日～百野、中山、川辺、植松(孝)、高崎、松村、飯坂 今月の結婚～津守(康)、阿南、藤元、川辺、幸重、住田、前川、木浦 麻雀部会より～2月13日(金)PM6:00 於第2和楽（宮銀宮崎支店前）</p> <p>S・A・A 今月より第1例会日、第3例会日は新入会員別のテーブルを作る。 ハッピー～後藤満…明治会コンペ優勝</p>
--------------	----------------	--

2月13日	第793回例会	<p>情報委員会（岩井委員長） 本年度入会の方は例会終了後ロビーにて30分程 情報の時間を取って下さい。</p> <p>会員卓話（幸重会員） クラブ協議会について 1月23日開催…その後、3ヶ月間の行事予定につ いての話し合い</p> <p>お願い～ロータリー文庫に最低一人一冊は寄贈お願い 致します</p> <p>田中会長 ビジター紹介 今日職業奉仕委員会のフォーラムを行います。又、 例会終了後職場訪問（宮崎県教科図書販売株） 郡会員退院、本日から出席</p> <p>前川委員長 出席状況報告 岩井委員長 ICGFが来る2月15日宮崎にて行わ れます。当クラブより30名の出席予定 江田委員長 交換学生の件、3月中に申し出て下さい との事</p> <p>奥村副委員長 内村会員の表彰について 菊池会長 2月の植木見学とり止め3月に案内予定 郡会員全快ごあいさつとお礼の言葉 井山委員長 郡…全快祝いおめでとう 佐原(田)…ご新築おめでとう</p> <p>村上副委員長 職業奉仕のフォーラムを行う (1) 買手へ季節の贈り物や心づけについて (2) 西クラブに労働組合幹部を勧誘する可能性に ついて</p> <p>1. テーブル（平山会員） ・戦前派（大正12年以前にお生れの方） (1) 贈り物をする動機が4つのテストにある様な 物なら差しつかえないとの結論</p>
-------	---------	---

		<p>(2) 国際ロータリーでは職業分類を設けている労働団体の、しかし日本の現状では時期尚早であるとの意見と、個人的にふさわしい人格なら良い、その都度よくその人柄が検討されるべきである。</p> <p>2. テーブル(木浦会員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦中派(大正13年～昭和6年生れの方) <p>(1) この様な習慣は全廃すべきだとの意見が多く大切なのは感謝の心であり日頃のつきあいで感謝の意を表すべきだ。</p> <p>(2) ロータリーの本質としては入会されても良いその場合、人物本位であること</p> <p>3. テーブル(笹栗会員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後派(昭和7年以降生れの方) <p>(1) 季節的な贈り物はなくした方が良い。特別の場合(お世話になったとか)感謝のしるしとしてあっても良いのではないか。値引よりも良い仕事をする方が真の奉仕との意見も有</p> <p>(2) 労働組合は職業に入るかどうか。人物本位で資格ある方ならよいだろう</p> <p>2月20日 第794回収会</p> <p>ハッピー～中山…親睦麻雀会1位 勝部… “ 2位 植松静… “ 3位 飯坂…ハンディシングルに昇格 中畑…生保協コンペ優勝</p> <p>卓話 田中博会長 ICGF第1分科会報告 ICGF第2分科会報告 ICGF第3分科会報告</p>
2月27日	第795回例会	<p>古紙回収～次回は3月5日です</p> <p>ハッピー～阿南…御長男、ラサール中学入学 市来…附属小PTA副会長就任 前畑…西RCコンペ1位</p>

3月 5日	第796回例会	<p>小 田…西RCコンペ2位 日高(文)… “ 3位 津守(康)…さつき会コンペ1位 宮商インターアクトへ卒業記念品贈呈 卓話 井上宮銀頭取 前川出席委員長 4月1日にて和歌山へ栄転 誕生9名、結婚12名 ハッピー～佐原(伝)…宮崎春秋に旧屋の天井からお札が出た記事の紹介 竹 内…宮崎県医師会理事 上 村…テレビニュース出演</p>
3月12日	第797回例会	<p>誕生祝スピーチ～勝部会員 結婚祝スピーチ～上村会員 湯浅会員、久留米医大より3月4日退院 ハッピー～日高(文)…宮崎マツダ創立30周年記念 田中(秀)…フェニックス動物園にて駄鳥自工孵化に成功 津守(康)…大橋町にて7Fアパート完成 川 辺…昭和50年度ナショナル販売(株)経営優秀賞受賞 鈴 木…フェニックス月例杯に優勝 竹 内… “ 第3位 後藤(満)…ニッセイはまゆう会で第2位 榊 本… “ 第3位</p>
3月19日	第798回例会	<p>卓話者 長谷川宗生氏、裏千家茶道教授 退会者紹介 前川会員(転勤)、尾沢会員(転勤) 新入会員紹介 井上修二氏 ハッピー～上村…宮崎調理師専門学校第1回卒業生送り出す。</p>
3月26日	第799回例会	<p>年次大会報告 第2分科会報告～選挙会報告 第1分科会報告 新入会員 陶山信氏</p>

4月 2日	第800回例会	<p>チャリティバザー中止の件 新入会員観迎会 4月8日午後6:00より ホテルフェニックスにて 会費3,000円 卓話 浦宏氏(経済評論家) 安倍芳孝氏紹介 交換学生のホストファミリー～田中会長、津守会員にお 願い 新入会員を囲む会～4月8日に開催予定 ハッピー～誕生4名、結婚16名 例会後、フェニックス住吉サービスKKの農園見学 誕生祝スピーチ～宮下会員 結婚祝スピーチ～佐原(正)会員</p>
4月 9日	第801回例会	<p>新入会員紹介～多田耕造氏…昭和6年8月19日生、 香川県高松市出身 会葬御礼 大古殿氏 ハッピー～大古殿…長男附属小学校入学 池 田…西村楽器店中小企業金融公庫だよ りにご掲載 卓話 佐藤正幸氏(九州電力宮崎支店長) 新入会員～小山俊夫氏…宮崎市出身(宮崎放送代表取 締役専務) ハッピー～中畑…朝日友の会発足 川辺…朝日友の会コンペ3位 鈴木…朝日友の会コンペ4位 堺 …堺薬品延岡支店新築落成 木浦…オレンジ会グロス優勝3位 田崎…ご長男附属小学校入学 宮崎勤労青少年ホーム友の会表彰 本年度第2回ダリア賞表彰～大宮司国男氏 グァテマラ大地震への寄付要請 交換学生、ロナリンの近況報告 昭和50年度九州法人申告所得おめでとう 井上(鹿児島銀行)…8位</p>
4月16日	第802回例会	<p>卓話 佐藤正幸氏(九州電力宮崎支店長) 新入会員～小山俊夫氏…宮崎市出身(宮崎放送代表取 締役専務) ハッピー～中畑…朝日友の会発足 川辺…朝日友の会コンペ3位 鈴木…朝日友の会コンペ4位 堺 …堺薬品延岡支店新築落成 木浦…オレンジ会グロス優勝3位 田崎…ご長男附属小学校入学 宮崎勤労青少年ホーム友の会表彰 本年度第2回ダリア賞表彰～大宮司国男氏 グァテマラ大地震への寄付要請 交換学生、ロナリンの近況報告 昭和50年度九州法人申告所得おめでとう 井上(鹿児島銀行)…8位</p>
4月23日	第803回例会	<p>卓話 佐藤正幸氏(九州電力宮崎支店長) 新入会員～小山俊夫氏…宮崎市出身(宮崎放送代表取 締役専務) ハッピー～中畑…朝日友の会発足 川辺…朝日友の会コンペ3位 鈴木…朝日友の会コンペ4位 堺 …堺薬品延岡支店新築落成 木浦…オレンジ会グロス優勝3位 田崎…ご長男附属小学校入学 宮崎勤労青少年ホーム友の会表彰 本年度第2回ダリア賞表彰～大宮司国男氏 グァテマラ大地震への寄付要請 交換学生、ロナリンの近況報告 昭和50年度九州法人申告所得おめでとう 井上(鹿児島銀行)…8位</p>

4月30日	第804回例会	<p>阿部(福岡相銀)…9位 平山(宮崎銀行)…12位 昭和50年度県内法人申告所得 平山(宮崎銀行)…1位 安倍・黒木(宮崎相銀)…3位 村上(吉原建設)…7位 田中(博)…宮崎医科大内にメディカル田中オープン 卓話…小田会員 3月末収支計算報告 輪読会形式にて勉強会を行う 次回西クラブコンペ御案内 5月30日 12時12分スタート フェニックスカントリークラブにて</p>
5月7日	第805回例会	<p>宮商インターサクト・クラブ顧問西川先生宮崎東高校 へ栄転、後任有馬先生 健康増進センターのお誘い、本日にて締切 50年度高額所得者発表おめでとう 8位竹内、13位阿南、24位小川、57位郡、 69位市来 ハッピー～松村…住友生命創業50周年記念として宮 崎市に救急車1台寄贈 鈴木…サンフラワー会優勝</p>
5月14日	第806回例会	<p>誕生祝～田崎会員、橋本(善)会員 都城西RC認証状伝達式 6月13日 健康増進センター(5月29日)→AM11:30に変更 ハッピー～角地会員 角地会員…鹿銀あかね会コンペ3位入賞おめでとう フェニックスカントリークラブ月例会 B組優勝、H・D22になりました</p>
5月21日	第807回例会	<p>池田会員卓話 5月15日ホテルフェニックスにおいてグァテマラ大 使へ義損金の贈呈が行なわれた</p>

<p>5月28日</p>	<p>第808回例会</p>	<p>都城西ロータリークラブ 6月13日えびのロータリークラブがスポンサーとして認証状伝達式が行なわれる 6月3日ホテルフェニックスにおいて次期第1回クラブ・アッセンブリーを開催 ハッピー～小川 会員…病院、自宅の増改築、新築 飯坂 会員…フェニックス社長杯第2位 佐原(正)会員…ニッセイはまゆう会コンペグロス優勝 川辺 会員…ニッセイはまゆう会コンペグロス第3位</p> <p>日高(昭)会員卓話 竹野会員に感謝状贈呈(米山奨学金寄付に対し) 次期地区協議会、於鹿児島県指宿、6月26・27日古紙回収、今年度10トン、45000円集まる 青少年奉仕野外活動 5月29日・30日 宮崎県青少年総合センター参加者185名 阿南会員～5月29日 健康増進センターについて 幸重会員～火災見舞御礼挨拶 部外者卓話～長友孝允氏(宮崎RC) 「不動産状況と鑑定評価について」</p>
<p>6月4日</p>	<p>第809回例会</p>	<p>日大高校に宮崎北ロータリークラブのインターアクト結成(24日) 幸重会員をはげます募金参加お願い 1口1,000円 勝部会員退会挨拶 青少年奉仕(尾藤委員長)野外活動報告 国際奉仕委員会(江田委員長) 交換学生ロナリンが7月11日に日本を出発 社会奉仕委員会 古紙回収状況…691名の出席に対して417名の回収で60%の協力度 施設訪問…6月20(日) 「長生園」</p>

		<p>結婚、誕生祝 ハッピー 上村 会員…全国飲食業環境衛生同業組合連合会 副会長就任 菊池(皓)会員…西RCコンペ優勝 菊池(彰)会員… “ 2位 木浦 会員… “ 3位 ベストグロス賞 藤井 会員… “ 4位 飯坂 会員… “ 5位</p> <p>ゴルフ年次大会 7月10日(土) 於人吉温泉 11日(日) プレ球磨カントリークラブ 矢田(館)会員誕生スピーチ</p>
6月11日	第810回例会	<p>八代南RC67番目、都城西RCは68番目のクラブ として発足、373区は68のロータリークラブにな った インターツティ・ゼネラル・フォーラムの決算回覧 各委員長退任あいさつ</p>
6月18日	第811回例会	各委員長反省報告
6月25日	第812回例会	<p>今期最終例会 植松(孝)会員感謝状贈呈(社会奉仕基金) 会長、副会長、幹事退任あいさつ</p>

ク ラ ブ 歴 史

1976~1977

宮崎西ロータリークラブ

幹事 菊池 皓一郎

	(S. 51年)	第17代会 長 菊池 彰 副会長 田中 秀男 幹 事 菊池皓一郎 会 計 杉山 正一 SAA 榎本 信義
7月 2日	第813回例会	各委員会のあいさつ 大古殿会員誕生スピーチ、鈴木会員結婚スピーチ
7月 9日	第814回例会	交換学生ロナリンさんのあいさつ 今週のハッピーフェロー 角地会員、安倍(友)会員、佐原(正)会員、後藤満会員 川辺会員
7月16日	第815回例会	前年度の会長、副会長、幹事の慰労会
月23日	第816回例会	鈴木会員より卓話 県図書館へ図書600冊寄贈
7月30日	第817回例会	中村先生より「母公害」についての卓話 交換学生 2名の紹介
8月 6日	第818回例会	多田会員誕生祝スピーチ 昨年度末の連続無欠席表彰式あり
8月20日	第820回例会	中山会員より、都市ガスについての卓話
8月27日	第821回例会	ミス・クリスティーヌ・ケリー 交換学生の紹介 土橋会員よりJAFについての卓話
9月 4日	第822回例会	観月会 ゴルフ会の成績 1位 江田祐典氏 2位 藤井 勝氏 3位 後藤 満氏
9月10日	第823回例会	日高親敏会員より海外旅行(ニューヨーク)の卓話
9月17日	第824回例会	本日は国際理解週間にちなみ、日高パストガバナーを 招待
9月24日	第825回例会	宮崎北警察署防犯少年係長の公文様の卓話
10月 1日	第826回例会	第373区のガバナー塘一郎氏の公式訪問

10月 8日	第827回例会	五十嵐会員の卓話
10月22日	第829回例会	企画フォーラム行う
10月29日	第830回例会	新入会員の歓迎懇親会
11月 5日	第831回例会	外山会員の卓話
11月12日	第832回例会	職業奉仕フォーラム、(小川委員)
11月19日	第833回例会	職場訪問 サンフード工業 飯坂会員の卓話
11月22日	第834回例会	冷凍食品の現況と将来について ゲスト 宮大助教授 平原孝明先生 卓話 (彫塑と私)
12月 3日	第835回例会	歴代会長会議開催
12月10日	第836回例会	社会奉仕基金に平山輝男会員より、多額の寄付
12月24日	第838回例会	佐藤会員卓話
12月31日	第839回例会	古紙回収、古切手回収のお礼
1月 7日	第840回例会	年末にカリタスの園でもちつきがあり、お礼が届く 卓話 志多会員、笹栗会員、立本会員
1月21日	第842回例会	卓話 観世流能楽師「師範」久保一光氏
1月28日	第843回例会	ICGFがホストクラブ西クラブ会員の全員の協力で、 無事終了
2月 4日	第843回例会	卓話 佐原伝会員、住田会員、菊池総会員
2月18日	第844回例会	卓話 長峰元会長、吉賀会員
2月25日	第846回例会	卓話 竹野会員 ロータリーの創立記念週間について
3月 4日	第847回例会	卓話 橋本一郎会員
3月11日	第848回例会	卓話 清山市長
3月25日	第850回例会	卓話 小田会員
4月 1日	第851回例会	交換学生紹介 岩満会員卓話
4月15日	第853回例会	ロータリー情報より、RC情報研究会の報告あり
4月21日	第854回例会	卓話 後藤一則氏、空港利用について
5月 6日	第856回例会	4月23日、24日の373地区大会の報告 分科会について
5月13日	第857回例会	社会奉仕基金制度の感謝状贈呈

5月20日	第857回例会	年一回のダリア賞に、ラッキータクシーの有村氏に決定
5月27日	第858回例会	卓話 佐藤棟良
6月 2日	第859回例会	卓話 岩井会員
6月10日	第860回例会	宮崎商高インターアクトクラブ部長より一年間の反省 卓話 前田会員より、宮崎のイメージ、周辺の動向と予測について
6月17日	第861回例会	ゲスト オイスカ団長 黒木提氏
6月24日	第862回例会	社会奉仕委員会より感謝状 後藤様、田中博様 会長よりお礼のあいさつ (菊池彰会長) 副会長より " (田中秀副会長) 幹事より " (菊池皓幹事)

ク ラ ブ 歴 史

1977~1978

宮崎西ロータリークラブ

幹事 角 地 次 男

7月 1日	第863回例会	<p>新旧会長及び幹事のバッチの交換が行なわれた 本年度第1号ビジター登録者に記念品を贈る（宮崎北 ロータリークラブ我妻忠彦氏） 国際ロータリー会長 ジャックデービス氏（ターゲッ ト、全人類を結びつける為に奉仕せよ） 食費値上になる 1食 1,300円 ビジター費 1,400円に各クラブ同じ 当クラブより地区役員が選出さる 地区財団研究グループ交換委員 江田祐典君 地区財団推進委員会 橋本一郎君 地区国際青少年交換委員会 小田真道君 川辺会員 6月30日より福岡の国立ガンセンターに 入院する 誕生祝（8名） 結婚祝（2名） 会長就任挨拶（今年度クラブ運営方針） 会員総数 86名にてスタート</p>
7月 8日	第864回例会	<p>松村会員栄転のため退会した、社会奉仕基金に多額の 寄付を頂き、感謝状を贈る 就任挨拶 副会長、幹事、社会奉仕阿南委員長 国際奉仕池田委員長 青少年奉仕前田委員長 出席 多田委員長、雑誌小田委員長、職業分類竹内委 員長、会報幸重委員長</p>
7月15日	第865回例会	<p>理事会開催 9日第8代会長大古殿氏が死亡さる 日高文雄会員社長に就任さる 14日理事会 クラブ協議会開催 フェニックス 7日ゴルフ大会（年次大会、鹿児島カントリー）開催 前田会員 11アンダー優勝</p>

7月22日	第866回例会	<p>佐原会員 8 アンダー 2 位 市来会員 4 " 3 位 佐藤会員 4 " 4 位</p> <p>会計報告 (杉山委員長) 会長 会費値上による細則改正承認を得る (年会費 109,200円→12万円に)</p> <p>第3回理事会開催 前田会員 九州建設々計管理協会本部理事に就任 肥後銀行職員一同 (宮崎支店) 殿より社会奉仕基金へ 日高(文)会員、平山会員、多額の寄付頂きましたので感謝状を贈る 国際、青少年、親睦、職業奉仕各委員長の就任あいさつ</p>
7月28日		<p>会員卓話 (宮崎の印象) 提会員 28日、29日、夏のえびの高原でワンダーフォーゲル開催 学生49名、高校生43名、大学生6名 西ドイツの高校生9名、25才のリーダー1名、計10名、通訳2名、指導教官1名、ロータリアン7名、総員69名によって交換会開催した。 黒木勝会員のお母さん22日に亡くなられた 上村宗士会員 腸手術のため県病院に入院された (1ヶ月半位)</p>
7月29日	第867回例会	<p>8日 第8代会長大古殿和丸氏逝去された 1978年 国際ロータリー東京大会の案内ポスター来る 第3役の慰労会の開催 (フェニックス 36名参加) 国際奉仕フォーラム開催 (池田委員長) テーマ 1. 交換学生の実入を継続すべきか、それは何故か 2. 実入るとすれば単独か、若しくは合同か、それは何故か</p>

8月 5日	第868回例会	<p>ハッピー</p> <p>祭り宮崎大盛会でした 小山会員 社会奉仕基金に多額の寄付頂きました</p> <p>香典返 大古殿宗三会員 〃 黒木 勝会員</p> <p>誕生祝 4名 結婚祝 1名</p>
8月 6日 7日		<p>273区第13回インターアクト年次大会開催 サンホテルフェニックス</p> <p>参加人員 550名 予算 368万3千円 ホスト 宮崎西、北協同</p> <p>テーマ 「青春とは何か」 「クラブ活動はどうあるべきか」 「私達の目で見る社会に思うもの」</p>
8月12日	第869回例会	<p>杉山会員 江南病院に入院中 吉田会員 退院おめでとう</p> <p>年次ゴルフ大会 遠征ゴルフにて空港カントリークラブ、オープン参加で優勝する</p> <p>新入会員紹介 職業分類、企業保険 石井英樹氏 広島県福山市生れ34才 住友生命宮崎支社長就任</p> <p>昨年送り出した交換学生、帰郷した 木村昭光君 日大北クラブスポンサー、米国イリノイ州エバソトン高校 西道隆臣君 宮崎西高2年生、3クラブスポンサー ニューヨーク州コリンズ高校</p> <p>4年間事務局員として活躍頂きました、日高節子さん 退職、後任に同志社女子大学家政学科卒、横井美代子さん入局</p>
8月19日	第870回例会	<p>理事会開催 東京大会予備登録 部外者卓話</p>
8月26日	第871回例会	<p>ネパールを訪問して 日大高校 久峨喜子先生 100万\$ 食事</p>

		<p>飯坂会員退会す 阿南社会奉仕委員長 切手収集12,265枚 15万枚集まる予定</p> <p>野津原分区代理御挨拶 無欠席会長表彰</p> <p>17年 5名 16年 2名 15年 2名 14年 1名 13年 3名 12年 3名 11年 3名 10年 1名 9年 2名 8年 4名 7年 3名 6年 3名 4年 6名 3年 4名 2年 8名 1年 14名 64名75%</p> <p>長期欠席による取り扱について 日高情報委員長 交換学生来宮 Mr ペリーレンショー(ニューヨーク出身) 3クラブ協同受入 4クラブ合同で自転車贈る 9月誕生祝6名 結婚祝1名 黒木勝会員長男結婚おめでとう 会員卓話 吉賀会員</p>
9月 2日	第872回例会	
9月 9日	第873回例会	<p>人間の幸わせにつながる長寿は ハッピー 日高文雄会員初孫誕生おめでとう 上村会員退院おめでとう 社会奉仕基金に多額の寄付、感謝状贈る 小田会員、安倍会長 一千万円に近きたいので税戻しの一部でも結構ですの でよろしく</p>
9月12日		<p>会員卓話 「財形貯蓄」について 五十嵐会員 皇太子殿下、妃殿下来宮 池田会員御夫妻は15日、 皇太子殿下と親しくお話しになりました。西クラブにも 沢山のSSクラブ会員がおります。そしてお世話した 外山、大古殿、百野、日高輝、菊池、村上()会員で す。ハッピー願います サンフラワー青島コース優勝 大古殿会員 川辺会員退院おめでとう</p>

9月16日	第874回例会	<p>本日は献血の日、テーブルに白、赤カーネーションのある所は本日は献血の日です。赤いカーネーション2本のテーブルは献血しても良い方、菊の花のテーブルは本日は免除</p> <p>9月11日～17日まで世界理解週間になっておりますので</p> <p>部外者卓話 日本赤十字宮崎県支部事務局長 染矢武男氏 赤十字の国際性について</p>
9月18日 9月30日 10月1日	第875回例会	<p>西岡会員 御尊父御逝去された83才 観月会のため、1日づらして10月1日に例会変更 フェニックス高原カントリークラブに於いて家族観月会開催</p> <p>参加者 81名 交換学生 2名 事務局 1名 計 84名</p>
10月7日	第876回例会	<p>宮崎クラブ尾田会員整形外科院開業 多額のハッピーを頂きました</p> <p>本月は100%出席月間 結婚祝9名 誕生祝8名 9月例会優勝、ベストグロス賞 木浦会員 " 2位 浅野会員</p> <p>9月16日献血は13名の協力を得た 切手回収 12,902枚頂きありがとう 会員卓話 吉田、小川会員 木浦会員 御尊母様御逝去さる77才</p>
10月14日	第877回例会	<p>9日～15日青少年活動週間 宮崎県企画調整部青少年対策室長 金丸恒一郎氏 テーマ 「青少年ととりまく諸問題」 社会奉仕基金に多額の寄付さる 鈴木会員 店舗新装オープン 木浦会員 御尊母様香典返し 社会奉仕基金感謝状贈る 西岡会員へ</p>

10月19日	第878回例会	職業奉仕委員企画 職場訪問、宮崎中央卸売市場
10月21日		歴代会長会開催 ホテルフェニックス クラブ・アッセンブリ ニュー高千穂にて開催 理事会開催 青少年奉仕委員会より、県立図書館に4万円外、田中 会員の寄贈合せ読書週間にちなんで本を贈る 社会奉仕委員 切手回収1&716枚 社会奉仕基金感謝状を贈る 木浦会員御尊母様御香典 返し 部外者卓話 読書週間にて 宮崎県立図書館長 日高千文氏
10月27日	第879回例会	西田ガバナー向えて、クラブアッセンブリー 於ホテルフェニックス
10月28日		公式訪問 西田武雄ガバナー、野津原分区代理 来訪 社会奉仕阿南委員長より琉球大学へ寄付を された件、紹介とガバナーよりハッピー 宮日広告賞宮崎交通表彰 岩満会員 交換学生にお嬢さん決定 新恵会員 ミスシャンシャン馬住友生命より 石井会員 ベトナム難民へ会員1人当1,000円程度物品を贈る
11月 3日	第880回例会	市内4クラブ合同ゴルフ大会開催 団体戦優勝 個人2位 市来 3位 前田 4位 後藤 6位 小田 9位 佐原 各会員 陶山会員 御尊母様1日に御逝去さる
11月 4日		細則の規定により、次期役員選挙のための指名委員発 令、住田、平山、菊池(健)、田中、安倍、各委員5名の 構成にて発足 10ヶ月にて休んでおりました佐原伝次郎会員本日よ り出席 誕生祝6名 結婚5名 県サッカー連盟副会長就任 志多会員 神武様神振隊参加者 日高(文)、岩元、大賀、岩満、

11月11日	第881回例会	<p>大古殿、志多、田中(禎)、外山、笹栗、 吉田、百野、各会員</p> <p>来年度送り出す交換学生紹介 宮崎西高校 新恵昌子さん 本庄高校 山崎ひろみさん</p> <p>ベトナム難民慰問 渡米前に必要な英会話の教材その他を石井友愛社に届けた</p> <p>ロータリー財団週間にともない、小川委員長に卓話をお願い、認識をあらたにした。100万\$ 食事 ハッピー</p> <p>NHK出演 阿南会員 フェンシング国体指導者 榎本会員 御子息全日空へ就職 幸重会員 県技能検定委員永年賞受彰 //</p>
11月18日	第882回例会	<p>理事会の開催 ハッピー</p> <p>高銀橋通り支店開店 杉山会員 フィリッピン火災で無事帰国 菊池(平)会員</p> <p>退院全快祝、次男結婚祝、住宅新築祝にて社会奉仕基金に多額の寄付 上村会員</p> <p>今月の切手収集 25,160枚 (この中、新恵会員12,345枚)</p> <p>職業奉仕クラブフォーラム開催 中山委員長</p> <p>1. あなたの職業上の最も緊急な問題は何ですか? これらの職業上の問題の解決にロータリーにおける職業奉仕はどのように利用できますか?</p> <p>2. あなたは、自分の職業にロータリーの影響を及ぼしていますか? どのようにして?</p> <p>リーダー 笹栗、西岡、竹内、佐原、杉山、日高(貞) 各テーブルリーダーを務めた</p>
11月25日	第883回例会	<p>アカブルコにてメイクアップ 江田会員 ハッピー</p> <p>ダンロップゴルフトーナメント(フェニックス)田中会員</p>

12月 2日	第884回例会	<p>フェニックス月例ABCパートと公式戦優勝 小川会員 サンフラワ会パープレー優勝 江田会員 UMKサンサンサタデーフェシング協会理事で出演 榎本会員 部外者卓話</p> <p>フェニックス自然動物園々長 片山望氏 テーマ 中国の動物園を視察して</p> <p>ベトナム難民慰問に対して、日赤支部長より礼状くる 誕生祝10名 結婚祝5名 ハッピー お嬢さんおめでとう 吉賀会員 会員卓話 テーマ 誕生日 市来会員</p>
12月 9日	第885回例会	<p>臨時理事会</p> <p>クラブ定款細則により(12月第2例会)総会の開催 指名委員長 住田会員報告</p> <p>次年度理事 平山輝男、橋本善吉、榎本正久 市来 斉、菊池皓一郎、秋山 久 日高文雄</p> <p>54年度会長エレクト 宮下広計 以上決定しました。</p> <p>次期会長平山氏より役員の報告</p> <p>副 会 長 橋本 善吉 幹 事 新 恵 誠 2/24病気にて笹栗氏 になる</p> <p>会 計 黒木 勝 S A A 吉田 多穀 クラブ奉仕 橋本 善吉 四大奉仕(エレクト)宮下 広計 社会奉仕 榎本 正久 国 仕 市来 斉 職 仕 菊池皓一郎 親 動 秋山 久 プログラム 日高 文雄</p> <p>ハッピー 9回連続宮崎県総合女子バレーボール選手 権大会優勝</p>

12月10日		昭和52年度九州選手権も獲得 日高(女)会員 地区情報研究会開催 (別府 杉の井ホテル) 安倍、岩井、中山、笹栗、津守(高)、五十嵐会員出席した
12月16日	第886回例会	ハッピー バッデわすれにより、日向クラブ首藤会員よりハッピー 焼酎雲海のCM出演す。浅野、百野、菊池各会員 当クラブに餅つき用キネを南クラブ丸岡会員寄贈された
12月18日		部外者卓話 ひまわり画材店 鳥原茂元氏 テーマ 瑛丸を語る 西クラブ年末助合い餅つき会 カリタスの園 参加者 会員35名、夫人3名、会員従業員13名 インターアクト8名 計59名 配布先 カリタスの園、青島学園、民生館、ひまわり学園、整肢学園、明星学園、小戸母子寮
12月23日	第887回例会	年末家族会 120名参加 たのしい親睦を一扫深めた
12月30日	第888回例会	本日もって退会 大古殿宗三君 ハッピーゴルフ第2位 佐原会員
1月4日		塘一郎直前ガバナー御逝去
1月6日	第889回例会	新年挨拶 安倍会長 誕生祝10名、結婚祝9名、川辺会員に成人式案内くる 会員卓話 平山エレクト テーマ 年男(馬年)
1月13日	第890回例会	部外者卓話 新田原基地司令空将補 神吉弥彦氏 テーマ 日本の国防について

1月15日		西クラブゴルフ大会開催 入賞 佐原、市来、藤井、角地各会員
1月20日	第891回例会	部外者卓話 宮崎県婦人少年室長 西山ヨシ子氏 テーマ 婦人の地位向上について ハッピー 笹栗金属工業創業8周年記念 笹栗会員 理事会開催
1月27日	第892回例会	中間収支決算書報告 村上会員の御尊父御逝去 志多会員の御兄様御逝去 6ヶ月間個人別出席状況報告 ペナールティ ミスバッチ 小田会員 会員卓話 雑紙週間22～28日 小田委員長
2月 3日	第893回例会	修正目標100%出席月間 78～79年のRI会長にアメリカ・テネシー州シエ ルビービルクラブのジェームスエル・ボナー氏に決 定 クラブ協議会開催 ホテルフェニックス 誕生祝6名、結婚祝7名 松下産業60周年記念全国販売店234社中優秀賞受 彰 川辺会員 古紙回収日 50名が持参 会員卓話 誕生記念 中山会員 結婚〃 幸重〃
2月 6日		川辺会員 御尊父様御逝去
2月10日	第894回例会	規定審議会報告 情報委員会 日高委員長 橋本(善)会員 パリークラブメーキャップして卓話
2月11日 ～12日		インターシティーゼネラルホール、南クラブホスト に開催 ホテルフェニックス 13名出席
2月17日	第895回例会	理事会開催 部外者卓話 日興証券本社 中野課長

2月23日 2月24日		<p>テーマ 証券会社の窓口から見た税務 ロータリー創立73周年記念日 100\$食事 ロータリー創立73周年卓話 パストガバナー 竹野会員 社会奉仕基金に多額の寄付す 川辺会員香典返し</p>
3月 1日		<p>百野会員 御尊父様御逝去 安倍会長、木浦副会長、角地お悔みに日南まで</p>
3月 3日	第897回例会	<p>交換学生ペリー君、新恵会員宅にお世話になる 誕生祝9名、結婚祝14名 ハッピー 朝日生命創業90周年記念おめでとう 古賀会員 オリエンタルホテルにたずさわる 志多会員 日経新聞広告全国版に出る 浅野会員 県立宮崎工業建築科夜間部卒業、2級建築士合格 村上会員</p>
3月10日	第898回例会	<p>会員卓話 黒木、矢田会員 ICGF報告 牧、岩井、阿南会員 ハッピー ヤングスマヤ日南市に開店 鈴木会員 お嬢さん附中に進学 小田会員</p>
3月17日	第899回例会	<p>理事会開催 ハッピー 東京狛江RC 義山会員より 附属中PTA副会長就任 内村会員 長崎大薬学部合格 小川会員 長男全日空へ就職内定 岩満会員 定款改正についてロータリーの友購読は西田ガバナー によれば認定されなかった 日高情報委員長 部外者卓話 ゲスト 森 和風氏</p>

<p>3月19日 3月23日 3月24日</p>	<p>第900回例会</p>	<p>テーマ 県展と宮日美展との相違点について 宝物とは何か 芸術院会員の資格について</p> <p>日南中央RC認証状伝達式 清水会員の社宅火災になる</p> <p>900回例会記念にて、会員に記念品を贈る 卓上ペン立て 原価500円→ハッピーにて1,000円 ハッピー</p> <p>ご子息宮崎西高理数科入学 内村会員 " 市来会員 なんとなく気分がいい 中山会員</p> <p>職業奉仕クラブフォーラム開催 諮問 事例研究</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. この病院長は病院建設のため、多の人を利用してはいますがロータリーアンとして、この点をどう考えますか 2. 九電部長のとした処置について、ロータリーアンとしてあなたはどうか感じられますか 3. 銀行のA支店長及びB支店集金人について、ロータリーアンとしてどうか感じられますか 4. 病院長は10年にわたりA銀行を拒絶したのですが、この点についてロータリーアンとして、あなたはどうか感じられますか
<p>3月28日</p>	<p>第901回例会</p>	<p>ロータリー財団奨学金学生選考会を四クラブ会長、財団委員長に開催、内田、津久良（アメリカ）、押川まゆみさん（イギリス）3名を地区に申告した</p> <p>東京大会記念切手発行 @50円 20枚綴りシート ハッピー</p> <p>フェニックス開場記念杯ネット70Aクラス3位 日高文会員</p> <p>慶応卒業、全日空就職 幸重 会員 知事賞受彰 上村宗会員 " 秋山 会員</p>

4月 7日	第902回例会	<p>次年度留学生（長女） 新恵会員 本日35才誕生日 石井会員</p> <p>国際奉仕（池田委員長） 1978年度交換学生2名派遣することに決定 宮崎西高校 新恵 晶子さん 本庄高校 山崎ひろみさん</p> <p>小さな新切運動に加入の促進 宮銀頭取 井上信一氏 部外者卓話</p> <p>宮崎自然食品センター 石田社長 テーマ 足の裏を見て診断する、自然食品のカチ チャーターメンバー健康上の都合により退会 菊池稔会員</p> <p>東京大会参加者6名 安倍、竹野、植松(鶴)、長峰 橋本(一)、竹内、各会員</p> <p>古紙回収 48名が持参した 誕生祝5名 結婚祝16名</p> <p>中央分区代理就任（次期） 竹内三郎会員 ハッピー</p> <p>4/2高原CCクラブコンペ第3位 木浦 会員 " 第2位 藤井 "</p> <p>" 優勝 江田 "</p> <p>外車販売始める（フェスター） 菊池(平) " ホームクラブに久し振り出席 津守(仁) "</p> <p>会員卓話</p>
4月 8日		<p>重城、笹栗会員</p> <p>社会奉仕基金運営委員会規程案出る。問題がなければ 4月1日より実施になる</p> <p>西クラブ創立18周年記念日 会員に記念品を贈る（書類箱）原価2,500円=ハッ ピー3,000円</p>
4月14日	第903回例会	<p>3月末収支決算書配布 ハッピー みどり会ゴルフ優勝 村上会員</p>

		<p>九石、城ヶ崎、スタンド落成 江田会員 噂の車RX-7新発表 角地 //</p>
4月15日		<p>会員卓話 橋本一郎会員 創立18周年記念卓話</p>
4月21日	第904回例会	<p>川辺会員 御尊母様御逝去さる</p>
4月22日 ～23日		<p>交換学生来年度受入が決定 (男) デーガッド・アッベル君 シアトル出身15才 (女) 資料未着で不明</p> <p>部外者卓話 カリタスの園竹の寮園長 木村富美子氏 テーマ カリタスの園の現況について</p>
4月28日	第905回例会	<p>第273地区年次大会 鹿児島県文化センターにて開催 出席者16名</p>
5月6日		<p>JC九州ブロック大会、大成功に終わりました。外山、志多、笹栗会員</p> <p>78年度花と女性のつどい円遊会大成功した 宮下会員 次会休会のため残念賞 お1人300円協賛 社会奉仕基金へ(御尊母様香典返し) 川辺会員 年次大会報告 安倍会員 参加者2,000名以上</p>
5月12日	第906回例会	<p>交換学生(男)ヘリーレンショウ君がホストファミリー新恵 会員宅にお世話になります</p>
5月12日		<p>古紙回収売上高 累計34,340円 切手回収 144,178枚</p> <p>新入会員 高千穂銀行社長 後藤達男氏 ロータリー歴10年 51才 会員総数 85名</p>
		<p>第1回交換学生カールアレン・フックハーバーがクラブ訪問、郡会員宅に 在、大学卒業後アメリカ空軍に入隊、沖縄に来ている</p> <p>この夏に三世鈴木さんと結婚する(空軍大尉に昇格) 空軍のワッペン 記念盾西クラブに</p>

5月： ㊦	第907回例会	<p>誕生祝 6名 結婚祝 7名 会員卓話 お祝のお礼 安倍、榎本会員</p> <p>東京大会記念切手が各会員の自宅に到着したと存じますが、その中に送金用の振替用紙がはいっておりますが会員の皆さんの分は、クラブで立替送金しておりますので個人で送金しないようお願いする</p> <p>東京大会終了後28日に家族2名と単独1名で、宮崎入りされますので1晩とめて頂く家庭を申し立て頂きたい 池田国際奉仕委員長</p> <p>会員卓話 阿南会員 テーマ 成人病について</p> <p>次年度より南の風が廃止になりますので全会員ガバナ一月信を是非読んでほしい(年間1,000円)</p> <p>先週例会にカールアレンフックハーバが出席しましたが記念品として、RCマーク入りのアルバムと手鏡を贈った</p>
5月26日	第908回例会	<p>理事会開催</p> <p>病院祝落成にて社会奉仕基金に多額の基金を寄付頂きました 竹内会員</p> <p>インターアクト会員、新入会員含め13名をクラブに招待する。本年度より指導教官変る 藤井先生</p> <p>東京大会報告 (開催日5月14日～5月18日) 出席者 安倍、竹野、長峰、植松熊、橋本(一)、竹内、各会員が出席した</p> <p>本年度最後の100万\$食事 ハッピー インターゴルフ県予選優勝(宮崎国際理事長)竹内会員</p> <p>○選手、会員中、鈴木、日高(文)各会員おめでとう ○大宮高校PTA例会長就任 牧会員、西高PTA例会長就任 百野会員</p>

5月28日		<ul style="list-style-type: none"> ○雑誌「宮崎春秋」執筆 小山、橋本(善)会員 ○MRTコンペグロス優勝 鈴木会員 元会員菊池稔氏75才で御逝去 29日理事役員にて通夜に出席
5月30日		吉田会員御尊父逝去さる 会長高岡の自宅に通夜に出席する
6月 2日	第909回例会	理事会 ダリア賞の受賞者決定と副賞について 誕生祝6名 結婚祝4名 古紙回収日 出席100%月間 会員卓話 西岡会員 テーマ 28年前の或る日の思い出話し
6月 9日	第910回例会	次回第911回例会にて、国富町エデンの園々長 宮本義雄氏59才にダリア賞を贈る 菊池(皓)、吉田会員御尊父様の御逝去に お礼のことば 去る3、4日に開催されました地区協議会報告 次期副会長 橋本(善)会員 次年度ターゲット「手をさしのべよう」 次期幹事 笹栗会員 次年度地区分担金等の説明 次期社会奉仕委員長 榎本会員 社会奉仕のあり方の説明報告 ハッピー 蓮ヶ池、マイカーランド開設 日高(文)会員 マツダモータース宮崎新装改築 角地 会員 " 請負工事 村上 会員 オール九州松下販売店社長会コンペ優勝 川辺 会員 初孫誕生 黒木 会員 文部大臣大蔵省印局長表彰 田中(博)会員
6月16日	第911回例会	新旧クラブ協議会開催 午後6時よりホテルフェニックス於 日高文雄会員 アテネ北ロータリークラブにて、メー キャップの電文朗読

6月23日	第912回例会	<p>ダリア賞贈呈 エデンの園々長、宮本義雄氏59才 金一封10万円贈る 副賞 宮崎ナショナル製品販売より携帯用マイク 日高商会よりプレイヤー 宮銀、鹿銀、肥後銀、宮相、高銀、日興証券、宮崎ガス、以上タオル、石鹸、その他頂きました 又阿南氏、扇風機等を寄贈して頂きました。 誠にありがとうございました</p> <p>佐世保南クラブより20年誌が送付されてきました。 会長お礼状を送付する 各委員長の退任挨拶 インターアクト委員会 宮崎商業高校ロータリー文庫に図書券4万円贈る 代表として図書担当教諭江上均先生に例会にて贈呈した</p>
6月30日	第913回例会	<p>次期社会奉仕委員長榎本氏より次年度も古紙、古切手回収を実施するので第1例会日に御持参下さい</p> <p>米国より交換学生として来宮しておりました。ペリーレンショウ・デブラーステツジが1年間をおえて7月10日に米国に帰ることになりました。御礼の御挨拶にクラブ訪問した フェニックス調理師に1年間の御礼として1万円の寸志 高相派遣の会計川崎女子に御礼として5千円寸志を贈る</p> <p>本年度最後の例会 三役退任挨拶 理事会開催</p>

ク ラ ブ 歴 史

1978~1979

宮崎西ロータリークラブ

幹事 笹 栗 輝 男

		<p>第19代会 長 平山輝男 副会長 橋本善吉 幹 事 笹栗紘二 会 計 黒木 勝 SAA 吉田多毅</p>
7月 7日	第914回例会	本年度最初のビジター堀田辰夫氏に記念品贈呈 新年度会長あいさつ
7月14日	第915回例会	各委員のあいさつ ハッピーをいただいた方 田中会員、川辺会員、木浦 会員、西岡会員、長峰会員
7月28日	第917回例会	永年無欠席者表彰 卓話 小田氏 テーマは「税制改正について」
8月11日	第919回例会	ガバナー講演 第273地区吉村武文ガバナー
8月18日	第920回例会	屋上ビヤガーデンでの懇親例会
8月25日	第920回例会	交換学生の紹介 インターアクト年次大会報告(投山部長) " " (真茅先生)
		卓話 多田会員に「高校野球」について、話していた だく
9月 1日	第922回例会	交換学生のお礼のあいさつ 古雑誌、古切手の回収状況 古雑誌58名(80%) 古切手(53名) 卓話 牧会員に「防火について」というテーマで話し ていただく
9月 8日	第923回例会	卓話 ロバート・アダムス先生(宮崎医大教授)
9月29日	第925回例会	田中会員のあいさつ(単身大阪へ) 卓話 サファリーパーク獣医学博士の小杉浩造氏
10月 6日	第926回例会	卓話 石井会員 ラクビーについて 読書週間にちなみ、宮崎商業高校への書類寄贈のお願い

10月13日	第927回例会	山形屋にて昨日より秋の宮日名流いけばな展が開かれ そのハッピーを岩元社長よりいただく 卓話 ヨルダン宣教師
10月20日	第928回例会	橋本善吉副会長あいさつ 卓話 宮崎県企画調整部清課長 テーマ (青少年の健全育成、特に非行の実態について)
10月27日	第929回例会	歴代会長会をあす行う 卓話 宮崎商業高校生徒図書委員会 山口保明先生 テーマ 学校図書館、高校生の読書について
11月17日	第931回例会	卓話 山本良高博士 (グループ交換で渡来された)
12月 1日	第933回例会	年末餅つき奉仕のご案内 273地区年次大会の出席の依頼 卓話 竹野融(70才の誕生日を迎えて)
12月 8日	第934回例会	年次総会 次年度の役員及び理事の選任が決定
12月15日	第935回例会	各委員の報告
12月22日	第936回例会	卓話 藤元啓史様～民謡について
12月29日	第937回例会	年末挨拶 会長(平山)
1月 5日	第938回例会	卓話 詩吟の絃鳳会吟詠会会長の藤田鳳盛先生
1月12日	第939回例会	新入会員 切厚次男さん紹介 卓話 古賀雅芳会員(年男)
1月19日	第940回例会	第273地区年次大会のおしらせ 卓話 田中博規会員
1月26日	第941回例会	卓話 五十嵐会員 経済について
2月 2日	第942回例会	卓話 後藤達男さん テーマ 「宮崎見たまま」
3月 9日	第947回例会	古賀会員より多額のハッピーをいただく IGF(2/4)報告会 第1分科会～カウンセラーPGの島津さん 第2 " ~ " 竹野PG 第3 " ~ " 日高PG

3月 2日	第946回例会	三月のゴルフ例会11日(日) フェニックスCCで 10:00スタート 卓話 宮崎県経営者協会専務理事の日高奉三さん テーマ 「今年の賃金の動向」
3月16日	第948回例会	卓話 フェニックスホテルの専務、中村会員より「ホテル裏話」について
3月23日	第949回例会	卓話 宮崎地方気象台の笠村さん (気象について)
4月13日	第952回例会	会長より、西RC創立19周年記念あいさつ
4月20日	第953回例会	卓話 吉田会員よりマレーシアの視況について
4月27日	第954回例会	卓話 雑誌委員の村上氏
5月 4日	第955回例会	郡元正人氏より、全国身障者スポーツ大会について
5月18日	第957回例会	本年度ダリア賞は市の清浄課に勤務され仕事一途にうちこんできた渡辺中さん
5月24日	第958回例会	ゲスト 今般、総理府主催の第2回青少年団体関係 指導者派遣でオーストラリアとマレーシアを訪問されましたBBS会員の横山滝子さん
6月 1日	第959回例会	卓話 江田会員 「中国見たまま」
6月 8日	第960回例会	各委員さんの年間報告
6月15日	第961回例会	交換学生 ジュディ・ホワイトさんのあいさつ(お礼) デビット・アビル 各委員の報告
6月22日	第962回例会	各委員の報告
6月29日	第963回例会	会長のあいさつ 出席率 今年2番目 会長より、1年間大変美味しく食事をつくって下さったフェニックスホテルに対しお礼の辞

ク ラ ブ 歴 史

1979~1980

宮崎西ロータリークラブ

幹事 池田成彬

		<p>第20代会 長 宮下広計 副会長 鈴木敏道 幹事 池田成彬 会計 SAA</p>
7月 6日	第964回例会	<p>会長あいさつ 新入会員 榎本会員 各委員の報告</p>
7月13日	第965回例会	各委員 新任のあいさつ
7月20日	第966回例会	<p>木浦会員休会 各委員のあいさつ</p>
7月27日	第967回例会	<p>吉村前ガバナーよりお礼状受信 卓話 佐沢利和氏 サンケイ新聞社編集委員 「今後の石油問題を考えるポイント」</p>
8月 3日	第968回例会	<p>幹事より市内4RC合同会長幹事会決定事項について 新恵晶子さんの帰朝報告</p>
8月10日	第969回例会	<p>交換学生の赤木さん、松田さんの紹介 卓話 伴会員「裁判の話」</p>
8月17日	第970回例会	<p>屋上ビヤガーデンにて例会 第15回身体障害者スポーツ大会について</p>
8月24日	第971回例会	<p>古切手回収のお願い 交換学生帰国のあいさつ 山崎ひろみさん 卓話 宮大教授 上野 澄</p>
8月31日	第972回例会	交換学生 テリー嬢、ティム君あいさつ
9月 7日	第973回例会	<p>献血のお願い 国体の入場券のお願い</p>
9月14日	第974回例会	卓話 青少年問題について、宮崎北署の渡辺課長より
9月21日	第975回例会	卓話 「私の経営理念」旭有機材工業(株)
10月12日	第978回例会	<p style="text-align: right;">社長 川並勇男氏</p> <p>病気休会中の植松(孝)会員が本日より出会</p>

10月19日	第979回例会	卓話 古賀会員「美術あれこれ」
10月26日	第980回例会	卓話 “エチケット”について マリアイサベル谷さん
11月 2日	第981回例会	交換学生の紹介
11月 9日	第982回例会	卓話 古山会員（上州雑歳）
11月30日	第984回例会	村上三絃道の村上由哲氏の津軽三味線をきく
12月 7日	第985回例会	卓話 江田会員 結婚について
12月14日	第986回例会	54年年末西クラブ忘年家族会 7:00～
12月21日	第987回例会	卓話 笹栗会員 「窓の話」 交換学生 山崎ひろみさん帰国のあいさつ
12月28日	第988回例会	橋本次期会長より来年度運営について
1月 4日	第989回例会	会長のあいさつ 各委員さんのあいさつ
1月11日	第990回例会	卓話 川辺会員（年男）
1月18日	第991回例会	卓話 市来会員（年男） “ 竹野 ”（ ” ）
1月25日	第992回例会	卓話 三戸サツエ様 「幸島のサルについて」
2月 1日	第993回例会	IGF分科会社会奉仕部門で、「いかにして地域社会のニーズをさがせるか」というテーマでみなさんに意見をお願いしたい
2月 8日	第994回例会	第273地区年次大会職掌分担表作成
2月15日	第995回例会	前田プログラム委員長の卓話
2月29日	第997回例会	IGFの報告あり、各分科会別に
3月 7日	第998回例会	卓話 石井会員（誕生日）
3月14日	第999回例会	999回三桁の例会本日で終了、3月22日第273地区年次大会参加者、西クラブ23名、来年度西クラブ年次大会ホストクラブのため多数参加の要請 3月9日西クラブゴルフ、優勝川辺会員、2位上村会員
3月21日	第1000回例会	卓話 切原会員 「西郷と大久保」 1,000回例会を記念して宮下会長社会奉仕基金へ寄付 1979年度ダリア賞贈呈

1980年3.28	第1001回例会	<p>受賞者 野間幸一殿(大正9年1月15日生)</p> <p>受賞理由 学校用務員として29年間勤務して、学校の環境整備、管理、美しい学校づくり</p> <p>橋本会長エレクト、来週の例会時間、別府大会の反省のため発言者氏名発表</p> <p>村上青少年委員長 4月19日青少年の野外活動、木花の運動公園で実施</p> <p>日高(文)20周年実行委員長より、ロータリー75周年記念</p> <p>西クラブ創立20周年記念式典の案内と記念事業の事前発表</p>
4月 4日	第1002回例会	<p>① 宮崎商業高等学校への奨学生資金制度</p> <p>② 西クラブ20年史の発行</p> <p>卓話 「宮崎の観光を考える」</p> <p>山梨大学教授 花岡利幸氏</p> <p>ゲスト 第760地区研究グループ交換チーム</p> <p>アメリカバージニア州 団長ドクターカー一行6名</p> <p>例会1,000回記念品会員へ贈呈</p>
4月 8日	第1003回例会	<p>新入会員入会 原 忠之君</p> <p>第273地区別府大会の反省(来年に備へて)</p> <p>1980年4月8日 創立20周年記念典</p> <p>ホテルフェニックスに於いて</p> <p>来賓多数を迎え、物故会員8人に対する黙禱に初まり祝辞、会長のあいさつ、10年以上の永年無欠席者表彰、75周年記念(ロータリー)事業、20周年記念事業では宮崎商業高校奨学資金制度の発表</p> <p>社会奉仕部門、切手回収 田中 博規会員</p> <p>〃 古切手 新恵 誠〃</p> <p>ダリア賞 日高 文雄〃</p> <p>年次大会参加優秀者 植松熊太郎〃</p> <p>世界大会参加者、4名の表彰</p>

第 11 編

会 員 名 簿

昭和55年4月現在



氏 名 安倍 友彦
生年月日 M 43. 10. 16
委員会 会 員 増 強
職業分類 シニアアクチブ
勤 務 先 宮崎三菱自動車販売(株) 相談役
大字芳土字祝田744 TEL 39-4321
自 宅 鶴島1-6-8 TEL 22-7874



氏 名 安 部 芳 孝
生年月日 S 8. 2. 13
委員会 R 財 団 ・ 親 睦
職業分類 短 期 金 融
勤 務 先 福岡相互銀行宮崎支店 支店長
橘通東3-4-6 TEL 24-5115~5118
自 宅 鶴島1-8-9 TEL 22-6595



氏 名 秋 山 久
生年月日 S 7. 1. 10
委員会 青 少 年 奉 仕
職業分類 日 本 料 理
勤 務 先 銀 寿 司 店 主
中央通2-6 TEL 23-4441
自 宅 月見ヶ丘1-7-4 TEL 51-7285



氏 名 阿 南 育 男
生年月日 S 8. 6. 14
委員会 出 席 ・ 親 睦
職業分類 内 科 医
勤 務 先 阿南内科医院 院長
清水3-2-50 TEL 25-2255
自 宅 清水3-2-50 TEL 27-8640



氏名 浅野 文彦
 生年月日 S 3. 12. 25
 委員会 青少年奉仕
 職業分類 シニアアクティブ
 勤務先 ㈱ホテル江南荘 取締役社長
 淀川1-2-9 TEL 51-5105
 自宅 淀川1-3-2 TEL 51-6223



氏名 伴 喬之輔
 生年月日 S 9. 10. 24
 委員会 職業奉仕・親睦
 職業分類 弁護士
 勤務先 伴法律事務所 所長
 旭1-8-11 TEL 29-4500
 自宅 福島町寺山3125-58 TEL 52-3045



氏名 尾藤 博澄
 生年月日 T13. 9. 15
 委員会 社会奉仕
 職業分類 土産物販売
 勤務先 ㈱尾藤商店 代表社員
 橘通西2-4-19 TEL 26-2885
 自宅 橘通西2-4-19 TEL 26-2885



氏名 江田 祐典
 生年月日 S12. 12. 13
 委員会 社会奉仕
 職業分類 燃料油配布
 勤務先 ㈱ストーク 代表取締役社長
 旭2-4-26 TEL 24-5527
 自宅 恒久3-4-6 TEL 51-3093



氏名 榎本 信義
 生年月日 S19. 6. 3
 委員会 副幹事・会報
 職業分類 印刷
 勤務先 高巢堂㈱ 代表取締役社長
 大字浮田字佃前2865-1 TEL 48-1116
 自宅 大塚台東1-38-13 TEL 47-2419



氏名 藤井 勝
 生年月日 S 3. 10. 29
 委員会 青少年奉仕
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 藤井木材(株) 代表社員
 中津瀬町19番地 TEL 22-2857
 自宅 丸山町2-123-1 TEL 22-4301



氏名 藤元 昭二郎
 生年月日 S 2. 3. 10
 委員会 社会奉仕・親睦
 職業分類 貨物自動車輸送
 勤務先 宮崎運輸(株) 代表取締役社長
 高千穂通1-4-26 TEL 23-2321
 自宅 高千穂通1-4-9 TEL 23-2601



氏名 古山 宏
 生年月日 S 8. 4. 13
 委員会 親睦・会報
 職業分類 生命保険
 勤務先 日本生命保険相互会社会宮崎支社 支社長
 高千穂通1-7-32 TEL 24-7111
 自宅 船塚3-192 TEL 24-3542



氏名 後藤 満
 生年月日 M 41. 5. 8
 委員会 出席
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 (株)後藤洋紙店会長 後藤株式会社社長
 大橋2-117-1 TEL 23-3235(代)
 自宅 大橋2-117-1 TEL 27-9297



氏名 後藤 達男
 生年月日 S 2. 1. 30
 委員会 副会計・社会奉仕
 職業分類 貯蓄銀行
 勤務先 (株)高千穂相互銀行 代表取締役社長
 中央通3-30 TEL 26-1122
 自宅 大坪町津蟹ヶ迫3228-105 TEL 53-6614



氏名 橋本一郎
 生年月日 T 4. 3. 15
 委員会 RI75周年特別兼3H
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 宮崎トヨタ自動車㈱ 代表取締役社長
 大字芳士字谷口692-17 TEL 39-2211
 自宅 神宮1-302 TEL 26-1187



氏名 橋本善吉
 生年月日 S 2. 5. 11
 委員会 会長エレクト
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 ㈱橋本銀三商店 代表取締役専務
 橋通西5-3-24 TEL 27-1122
 自宅 神宮1-22 TEL 24-6970



氏名 日高親敏
 生年月日 T 14. 1. 15
 委員会 親睦
 職業分類 建築設計
 勤務先 ㈱共立設計 代表取締役
 大橋3-286 TEL 27-2300(代)
 自宅 大橋1-123 TEL 25-5885



氏名 日高文雄
 生年月日 T 14. 7. 20
 委員会 20周年記念R情報
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 宮崎マツダ販売㈱ 取締役社長
 丸山1-148-1 TEL 24-6151
 自宅 下北方町井手下南25-2 TEL 25-1555



氏名 日高照雄
 生年月日 S 7. 1. 30
 委員会 副S.A.A
 職業分類 貴金属配布
 勤務先 ㈱日高時計宝飾店 専務
 橋通西3-10-36 TEL 24-4757
 自宅 橋通西3-10-36 TEL 24-4757



氏名 平山輝男
 生年月日 T 7. 12. 10
 委員会 会員 増強
 職業分類 商業銀行
 勤務先 ㈱宮崎銀行 専務取締役
 橘通東4 TEL 27-3131
 自宅 月見ヶ丘1-21-2 TEL 51-6571



氏名 百野弘
 生年月日 S 9. 2. 1
 委員会 会員 増強
 職業分類 乗用車配布
 勤務先 宮崎トヨペット㈱ 専務取締役
 花ヶ島立毛1070 TEL 23-2111
 自宅 花殿町8-35 TEL 23-3678



氏名 原田進歩
 生年月日 S 22. 11. 30
 委員会 広報・会報
 職業分類 病院事務
 勤務先 医療法人慈恵会末広原田病院 役員
 末広2-3-9 TEL 24-2328
 自宅 大工2-107-1 TEL 22-2780



氏名 原忠之
 生年月日 S 18. 11. 10
 委員会 親 睦
 職業分類 医薬品配布
 勤務先 ㈱ハラ薬局 専務取締役
 橘通西3-10-26 TEL 23-5138
 自宅 和知川原2-83 TEL 25-5604



氏名 市来斉
 生年月日 S 7. 12. 24
 委員会 国際奉仕
 職業分類 外科医
 勤務先 市来外科医院 院長
 和知川原2-14-2 TEL 25-1888
 自宅 和知川原2-14-2 TEL 29-0639



氏名 池田成彬
 生年月日 S 8. 8. 11
 委員会 幹事
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 ㈱西村楽器店 取締役副社長
 橘通西3-10-36 TEL 24-4141
 自宅 和知川原1-50-1 TEL 29-8561



氏名 石井英樹
 生年月日 S 18. 3. 31
 委員会 雑誌
 職業分類 企業保険
 勤務先 住友生命保険相互会社宮崎支社 支社長
 高千穂通 TEL 26-1611
 自宅 中津瀬64 TEL 22-2965



氏名 岩井隆一
 生年月日 T 11. 6. 25
 委員会 職業分類
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 ㈱合志商事 代表取締役
 中村西1-2-3 TEL 51-3954
 自宅 中村西1-2-3 TEL 51-3954



氏名 岩満栄策
 生年月日 T 12. 12. 4
 委員会 雑誌
 職業分類 バス事業
 勤務先 宮崎交通㈱ 取締役社長
 大淀3-4-26 TEL 51-5151
 自宅 大坪町脇の田2032-9 TEL 51-4052



氏名 井山孝行
 生年月日 S 5. 1. 20
 委員会 出席
 職業分類 パストサービス
 勤務先 まるい産業㈱ 代表取締役
 江平西1-2-27 TEL 24-1511
 自宅 大字田吉中の又6088-12 TEL 53-3353



氏名 川 辺 政 明
 生年月日 T 9. 2. 6
 委員会 R 財 団
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 宮崎ナショナル製品販売㈱ 代表取締役社長
 橘通東5 TEL 28-4111
 自 宅 下北方町横小路5928-20 TEL 23-3006



氏名 上 村 宗 士
 生年月日 T 2. 9. 10
 委員会 会 員 増 強
 職業分類 調理師養成施設
 勤務先 宮崎調理師専門学校 校長
 宮脇7-4 TEL 24-4929
 自 宅 未広1-9-30 TEL 22-5066



氏名 菊 池 彰
 生年月日 T 3. 1. 15
 委員会 職 業 奉 仕
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 菊池歯科医院 院長
 橘通西2-7-22 TEL 22-2881
 自 宅 橘通西2-7-22 TEL 22-2881



氏名 菊 池 皓 一 郎
 生年月日 S 5. 5. 2
 委員会 職 業 奉 仕 ・ 社 会 奉 仕
 職業分類 化学肥料配布
 勤務先 菊池商店 代表社員
 橘通西4-3-29 TEL 24-2243
 自 宅 橘通西4-4-25 TEL 24-3091



氏名 菊 池 平
 生年月日 S 8. 11. 28
 委員会 インターアクト
 職業分類 自動車配布
 勤務先 東亜自動車㈱ 専務取締役
 花ヶ島立野1991-1 TEL 25-1881
 自 宅 花ヶ島向江原1748 TEL 24-9298



氏名 木村 栄一郎
 生年月日 T 7. 10. 3
 委員会 親 睦
 職業分類 相 互 銀 行
 勤務先 宮崎相互銀行 代表取締役専務
 橘通西3-3-27 TEL 24-2111
 自 宅 大橋3-249-1 TEL 22-7695



氏名 切原 次男
 生年月日 S 3. 4. 5
 委員会 親 睦
 職業分類 外国為替銀行
 勤務先 鹿児島銀行宮崎支店 支店長
 中央通3-33 TEL 28-2101
 自 宅 神宮1-41 TEL 22-4007



氏名 郡 嗣彦
 生年月日 T 3. 10. 7
 委員会 広 報
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 郡産婦人科医院 顧問
 船塚3-101 TEL 29-7768
 自 宅 清水1-13-31 TEL 22-5401



氏名 古賀 雅芳
 生年月日 S 6. 10. 31
 委員会 親 睦
 職業分類 団 体 保 険
 勤務先 朝日生命保険相互会社宮崎支社 支社長
 広島2-5-10 TEL 25-5185
 自 宅 丸山2-277 TEL 23-5270



氏名 黒木 勝
 生年月日 T 8. 2. 25
 委員会 会 計
 職業分類 相 互 銀 行
 勤務先 宮崎相互銀行 代表取締役社長
 橘通西3-3-27 TEL 24-2111
 自 宅 新城町60-1 TEL 22-5531



氏名 前田 暢 俊
 生年月日 S 12. 8. 3
 委員会 プログラム・国際奉仕
 職業分類 建築事務所
 勤務先 ㈱前田建築設計事務所 代表取締役
 高千穂通1-6-35 住友生命ビル内 TEL 25-1141
 自宅 下北方町高下6120-7 TEL 27-2790



氏名 牧 圭 司
 生年月日 S 2. 10. 31
 委員会 会 報
 職業分類 陶磁器配布
 勤務先 ㈱牧陶器店
 橘通西3-3-28 TEL 22-3396
 自宅 青葉町121-3 TEL 22-3436



氏名 柘本 正 久
 生年月日 S 6. 11. 3
 委員会 社会奉仕基金運営
 職業分類 建 築
 勤務先 ㈱志多組 専務取締役
 高千穂通1-4-30 TEL 24-3151
 自宅 花殿町1-12 TEL 23-2583



氏名 宮下 広 計
 生年月日 T 15. 4. 8
 委員会 会 長
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 宮下呉服店 社長
 橘通西3-3-24 TEL 27-3219
 自宅 橘通西3-3-24 TEL 27-3219



氏名 村上 四 朗
 生年月日 S 8. 7. 3
 委員会 青少年奉仕
 職業分類 土 木
 勤務先 吉原建設㈱ 常務取締役支店長
 天満3-1-42 TEL 51-2789
 自宅 天満3-1-41 TEL 51-2789



氏名 長 峰 市 次
 生年月日 M 42. 1. 1
 委員会 社会奉仕基金運営
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 ㈱長峰製氷冷蔵所 代表取締役
 松橋町1-6-32 TEL 22-2612
 自 宅 宮田町10-18 TEL 22-3016



氏名 中 村 浩
 生年月日 S 7. 5. 20
 委員会 会 報
 職業分類 ホ テ ル 業
 勤務先 フェニックス国際観光㈱ 専務取締役総支配人
 大字塩路字浜山3083 TEL 39-3131
 自 宅 下北方町戸林5350-1 TEL 25-7916



氏名 中 山 正 一
 生年月日 M 42. 2. 3
 委員会 プ ロ グ ラ ム
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 宮崎瓦斯㈱ 常務取締役
 橘通西3-9-23 TEL 24-1511
 自 宅 天満2-1-7 TEL 51-2891



氏名 那 須 泉
 生年月日 S 3. 12. 5
 委員会 親 睦
 職業分類 建 築 技 師
 勤務先 ㈱那須泉建築設計監理事務所 代表取締役
 松橋1-8-1 TEL 22-3111
 自 宅 大字熊野6085-3 TEL 58-0166



氏名 二 宮 功
 生年月日 S 14. 3. 1
 委員会 親 睦
 職業分類 証 券 業
 勤務先 日興証券㈱宮崎支店 支店長
 橘通西4-1-32 TEL 24-5151
 自 宅 大塚町樋ノ口1913-6 TEL 52-1597



氏名 西岡恒之助
 生年月日 S 2. 6. 11
 委員会 出 席
 職業分類 酒清飲料配布
 勤務先 (有)西岡雄一郎商店 代表社員
 上野町2-16 TEL 27-3311
 自宅 上野町2-16 TEL 27-3311



氏名 小川次男
 生年月日 T 15. 7. 1
 委員会 親 睦
 職業分類 産婦人科医
 勤務先 小川産婦人科医院 院長
 清水3-1-22 TEL 24-1016
 自宅 清水3-3-29 TEL 24-4968



氏名 小田真道
 生年月日 S 3. 12. 3
 委員会 国際奉仕
 職業分類 循環器医
 勤務先 小田内科医院 院長
 月見ヶ丘1-21-29 TEL 51-4863
 自宅 月見ヶ丘1-20-3 TEL 51-4863



氏名 大賀義人
 生年月日 M 37. 3. 9
 委員会 R 情報
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 (有)大賀美苑 代表取締役
 橘通西2-7 TEL 25-0388
 自宅 橘通西2-7-27 TEL 26-2322



氏名 小山俊夫
 生年月日 T 6. 12. 19
 委員会 職業奉仕
 職業分類 民間放送
 勤務先 (有)宮崎放送 代表取締役社長
 下北方町858 TEL 25-3111
 自宅 末広2-1-24 TEL 22-4627



氏名 佐伯 司 朗
 生年月日 S 12. 5. 28
 委員会 インターアクト
 職業分類 事務用品配布
 勤務先 ㈱宮崎コクヨ 取締役社長
 吉村町久保田甲9 2 2-1 TEL 29-7777
 自宅 橋通西5-4-1 TEL 22-8255



氏名 堺 久
 生年月日 T 13. 1. 24
 委員会 インターアクト
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 堺薬品㈱ 代表取締役会長
 大橋1-79 TEL 22-7261(代)
 自宅 広島1-15-26 TEL 28-2280



氏名 笹 栗 紘 二
 生年月日 S 16. 1. 3
 委員会 社会奉仕
 職業分類 総合設備
 勤務先 ㈱笹栗金属工業 代表取締役
 大字赤江字飛江田144-1 TEL 56-5611
 自宅 月見ヶ丘2-31-37 TEL 53-1022



氏名 佐藤 信 夫
 生年月日 S 11. 3. 4
 委員会 S・A・A・インターアクト
 職業分類 建築材料
 勤務先 まるさ住宅産業㈱ 取締役社長
 花ヶ島町小無田670-3 TEL 39-2121(代)
 自宅 大塚町天神後2739 TEL 51-2917



氏名 佐原 伝次郎
 生年月日 M 32. 4. 29
 委員会 会員選考
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 ㈱佐原商店 社長
 橋通西2-5-28 TEL 22-4316
 自宅 大字恒久1-3 TEL 51-3240



氏名 佐原 正 晃
 生年月日 S 6. 4. 19
 委員会 職業奉仕・親睦
 職業分類 リー ス 業
 勤務先 (有)ダスキン佐原 代表取締役
 恒久1-3-30 TEL 52-4545
 自 宅 大字恒久1-3 TEL 51-3240



氏名 志 多 克 彦
 生年月日 S 16. 3. 24
 委員会 プ ロ グ ラ ム
 職業分類 測 量
 勤務先 (株)国土開発コンサルタント 代表取締役社長
 大工町3-155 TEL 24-6487
 自 宅 江平東1-7-29 TEL 26-1808



氏名 重 城 寿 雄
 生年月日 S 2. 11. 24
 委員会 国 際 奉 仕
 職業分類 医 学 研 究
 勤務先 重城外科医院 院長
 橘通西4-4-21 TEL 24-7415
 自 宅 橘通西4-4-21 TEL 24-7415



氏名 清 水 一 穂
 生年月日 M 35. 10. 20
 委員会 R 財 団
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 (有)清水木材店 会長
 橘通東4-11-37 TEL 24-4249
 自 宅 吉村町平塚甲1800 TEL 24-2362



氏名 新 恵 誠
 生年月日 S 2. 9. 2
 委員会 R 情 報 ・ 国 際 奉 仕
 職業分類 広 告 取 扱
 勤務先 (株)シャイン・エンタープライズ 代表取締役
 青葉町6-1 TEL 26-4741
 自 宅 桜ヶ丘町25-4 TEL 47-6148



氏名 関谷 静正
 生年月日 S 12. 8. 14
 委員会 親 睦
 職業分類 文房具配布
 勤務先 (有)せきや紙文具 代表取締役
 橘通西1-4-26 TEL 26-2016、28-4168
 自宅 大字恒久6716-2 TEL 53-3293



氏名 住田 静一
 生年月日 S 32. 3. 30
 委員会 会員選考
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 宮崎酸素㈱ 取締役社長
 祇園2-140-1 TEL 27-2161
 自宅 橘通西4-4-18 TEL 22-4036



氏名 陶山 信
 生年月日 S 2. 3. 14
 委員会 青少年奉仕
 職業分類 歯科医
 勤務先 陶山歯科医院 院長
 橘通西1-2 児玉ビル内 TEL 24-7774
 自宅 大橋1-124-1 TEL 22-3861



氏名 鈴木 敏道
 生年月日 T 14. 6. 30
 委員会 副会長
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 すまや 代表取締役
 橘通東3-4-34 TEL 26-5858
 自宅 月見ヶ丘1-7-9 TEL 53-5976



氏名 竹野 融
 生年月日 M 41. 12. 8
 委員会 会員選考
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 青葉中央病院
 青葉町6-1 TEL 25-0211~3
 自宅 清水1-13-25 TEL 22-2653



氏名 竹内三郎
 生年月日 T10. 8. 9
 委員会 職業分類
 職業分類 病院
 勤務先 竹内外科病院 院長
 霧島町2-260 TEL 26-0123
 自宅 霧島町2-260 TEL 24-6550



氏名 田中博規
 生年月日 M40. 9. 16
 委員会 会員選考
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 柳田中書店 代表取締役社長
 橘通東3-1-6 TEL 27-1158
 自宅 神宮1-303 TEL 25-1300



氏名 田代逸哉
 生年月日 T15. 8. 10
 委員会 親睦
 職業分類 整形外科医
 勤務先 田代整形外科医院 院長
 西池町10-3 TEL 28-2622
 自宅 西池町10-3 TEL 22-5703



氏名 立元郁夫
 生年月日 M38. 3. 13
 委員会 広報
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 宮崎施設管理センター 社長
 別府2-12 TEL 27-3322
 自宅 原町3-3 TEL 22-6786



氏名 田崎高伸
 生年月日 S13. 5. 26
 委員会 R財団
 職業分類 皮膚科医
 勤務先 田崎医院 院長
 高松町4-42 TEL 23-2861
 自宅 高松町4-42 TEL 23-2861



氏名 外山 三博
 生年月日 S 14. 11. 6
 委員会 インターアクト
 職業分類 蒸留酒製造
 勤務先 外山酒造^株 代表取締役
 大字新名爪 1288 TEL 39-1523
 自宅 大字新名爪 1288 TEL 39-1523



氏名 津守 高明
 生年月日 S 9. 12. 25
 委員会 インターアクト
 職業分類 総合設備
 勤務先 (有)津守工務店 代表社員
 大工町 3-191 TEL 25-6159
 自宅 大工町 3-191 TEL 25-6159



氏名 津守 康宏
 生年月日 S 2. 1. 22
 委員会 社会奉仕
 職業分類 製材
 勤務先 津守木材 代表者
 大橋 3-135-1 TEL 27-7021(代)
 自宅 大工 2-152 TEL 22-3997



氏名 角地 次男
 生年月日 S 5. 11. 14
 委員会 職業分類
 職業分類 自動車整備
 勤務先 ^株マツダモータース宮崎 専務取締役
 大塚町池之内 1076 TEL 47-2121
 自宅 下北方町役田 740-10 TEL 24-4893



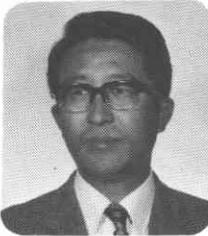
氏名 内村 龍祐
 生年月日 S 8. 5. 14
 委員会 出席
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 ^株内村商店 専務取締役
 橘通西 4-3-26 TEL 24-4051
 自宅 橘通西 4-3-26 TEL 24-4051



氏名 植松 熊太郎
 生年月日 M 35. 7. 10
 委員会 社会奉仕基金運営
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 植松石油商事^株 代表取締役会長
 橘通西4-2-30 TEL 22-5105
 自宅 丸山2-126 TEL 22-2803



氏名 植松 孝
 生年月日 T 9. 2. 14
 委員会 20周年記念
 職業分類 精油配布
 勤務先 植松石油商事^株 取締役社長
 橘通西4-2-30 TEL 22-5105
 自宅 船塚3-133 TEL 22-5961



氏名 吉田 多毅
 生年月日 S 12. 10. 24
 委員会 青少年奉仕
 職業分類 施工監督
 勤務先 九州工営^株 代表取締役
 大工2-117 TEL 28-1122
 自宅 桜ヶ丘30-19 TEL 47-6323



氏名 吉賀 幸夫
 生年月日 T 3. 9. 17
 委員会 会員選考
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 吉賀病院 院長
 清水1-5-22 TEL 25-4771
 自宅 清水1-5-22 TEL 28-4171



氏名 幸重 篤氏
 生年月日 T 14. 11. 1
 委員会 親睦・青少年奉仕
 職業分類 家具製造
 勤務先 ^株三川屋家具店 代表取締役
 上野町1-23 TEL 25-1155
 自宅 上野町1-23 TEL 25-1155

第 12 編

資 料

出席標語名作集

ロータリーにおいて「出席とは何か」という疑問が起ったら、この標語集をごらん下さい。この中には色々なとき、色々な場合に対するそのヒントがあります。

1972～1973年

宮崎西 R.C. 出席委員会

例会を気にして過ごした9年間	郡 嗣 彦
出席はまず健康から	田 崎 亀 夫
もう一度見直そう例会日	山 口 澄 夫
めしよりも好きなメンバーに会う為に	竹 野 融
苦しみも楽に転じた9年間、めざせ10年の金字塔	日 高 文 雄
今日はたのしい例会	橋 本 一 郎
出席がロータリーの基本なり	川 辺 政 明
出席の峠は最初の一年間	川 辺 政 明
出席にっこり、欠席むっつり	吉 賀 幸 夫
入会の初心に返り無欠席	植 松 孝
予定表先ず一番に例会日	植 松 孝

出席も奉仕も皆のつとめなり
 さあ出よう！今日の^{ひととき}一刻世界をつなぐ
 出席は^{とも}友人をつくる
 例会だ、理想へ向って先ず一歩
 親睦の基は先ず出席から
 メークアップ今日も新たに友が出来
 金曜日揃って元気に声交す
 健康で今年も例会無欠席
 時間です、妻も促がす例会日
 さあ行こう、金曜昼の別天地
 例会で友と語ろう今日も亦
 メーキャップやっとなり果してすがすがし
 身と心、整え完全出席へ
 もう一度見直そう出席率
 出席はACT（行動）の^{もとい}基
 せめて月1回は100%に、出席率
 出席は各自の自覚から
 一週間の計画にまず例会出席
 メークアップ未知の土地にも友があり
 奉仕への道の始めはまず出席
 出席の意義をも一度見直そう
 出席は世と人を識り自己を識る
 金曜日誘い合せてフェニックス

江 田 祐 典
 杉 本 智
 新 原 秀 丸
 金 丸 一 平
 菊 池 皓一郎
 佐 原 正 晃
 牧 圭 司
 井 山 孝 行
 竹 野 融
 橋 本 善 吉
 金 丸 一 平
 秋 山 久
 竹 野 融
 田 中 秀 男
 田 崎 亀 夫
 竹 内 三 郎
 松 岡 正 作
 金 丸 一 平
 金 丸 一 平
 竹 野 融
 竹 野 融
 竹 野 融
 金 丸 一 平

標語雑感

たくさんの標語をお寄せいただき有難うございました。

ふり返って読んでみますと、どうしたら例会に無事出席できるかというテクニックから、出席の意義、喜び、出席向上への呼びかけ等々が盛られているようです。標語を提出されなかった方々は銀にまさる金無言実行のロータリアンであると思います。要は標語よりも出席そのものですから。

ロータリークラブは建物をもたない。その代りに「出席」という見えない「建物」をもっている。この「建物」が雨もりしたり、戸がきしんだりしない様にするのが出席委員の役目というところでしょうか、その点大いに反省致しております。しかし次の出席委員が、うまく補修して下さることを信じております。

年度初め、会員数は69名でした。興味の上から一人分の出席率を計算してみましたら1,449%と出ました。これをインデヨクなると読んだら、へたな語呂合せ標語ができました。

一人一人の意志で良く(1,449)なる出席率

1972~1973

宮崎西ロータリークラブ

出席委員長 内村龍祐

昭和51年7月23日

クラブ奉仕担当理事

田 中 秀 男

松岡前副会長さんから引継ぐものはなにもないけれど、「これはきっと役に立つことがあるから……」と次のようにきれいに整理された「そこで一句集」を頂きました。ロータリーの出席は“輪”になっている鎖、にたとえられて1人の例会欠席はその輪を弱めると申されています。前川前出席委員長さんがそこで一句になぞられて、難しい出席奨励を笑いユーモアの中にすすめられた当時を心楽しく想い起しました。ご一読の程をお願い申し上げます。

そ こ で 一 句 集

1975年7月より1976年2月末に到る前川出席委員長の発句を此所に集録し、皆さんと共に今一度当時を想起し例会における和やかムードの輪を広げて頂けたら幸に存じます。

1975年度クラブ奉仕担当理事

松 岡 正 作

- 1 7月25日 前取りの余裕仕事の成果あげ
メーキャップカードに感謝伏し拝む
- 2 8月 1日 出席の良い日ピアノの音色冴え
- 3 8月 8日 表彰に後取りの苦も懐しく
- 4 8月15日 前取りで心おきなく初盆会
間に合うぞロータリーに出て盆供養
- 5 8月22日 遅れても必ず出るぞロータリー
節ちゃん的笑顔出席率を上げ
- 6 8月29日 あなた!!ほらロータリーよと妻教え
- 7 9月 5日 100の字を誇る笑顔の西クラブ
- 8 9月12日 出席に示そうクラブの団結を
ガバナーを迎える笑顔充ち満ちて
- 9 9月19日 月もよし彩りもよし観月会
- 10 9月26日 報告に心も弾む無欠席

- 11 10月 3日 率高く友も出来るぞメーカーキャップ
- 12 10月17日 使命感溢るるクラブ顔揃い
- 13 10月24日 前取りが100への秘訣とシニア言い
- 14 10月31日 馥郁と薫る菊花や率高く
- 15 11月 7日 待ってるぞ必ず来いよマーメイド(ロータリアン)
- 16 11月21日 秋晴れに笑顔会場を埋めつくし
前取りで心ゆたかに出張し
- 17 12月 5日 スト終り笑顔のクラブ菊薫る
- 18 12月12日 会長の笑顔出席今日も良く
- 19 12月26日 新人をつれてシニアメーカーキャップ
- 20 1月 9日 華やかさ添えて初春笑顔よく
昇竜への期待笑顔で出席す
- 21 1月16日 わが妻の協力ありて100つづく
- 22 1月23日 病は気からロータリーは出席から
前取りのお蔭で顔も広くなり
- 23 1月30日 100の字に通う心の笑顔かな
- 24 2月 6日 ロータリーは楽し、メーカーキャップまた楽し、そして西クラブ
尚楽し
- 25 2月13日 出席に真心こめるロータリアン
- 26 2月20日 梅ヶ香に薫れ出席西クラブ
- 27 2月27日 出席は紳士の顔です、象徴です

前川委員長の「そこで一句」の言葉に皆さんの期待の眼が一斉にそそがれ、そしてほぐれるのを見て一句

そこで一句みんなの顔は和やかに

尚、前川蔵人さんの現住所は次の通りです。

〒640 和歌山市6番丁6の3

日本生命保険相互会社

和歌山支社

TEL 0734(23)-9325

第 5 思い出のアルバム



10周年記念式典 珍しい人と今では思える人も沢山います

こんな月報を毎月発行したものです





交換学生カール君 いよいよ今日は帰国の日



西クラブ初期の体制をつくった先輩達



ひまわり学園
軽車輪寄贈



宮銀愛の鐘
ロータリークラブ寄贈





1962年植樹して5年後の1967年



1980年 4月 撮影 (隆々と成長しています)



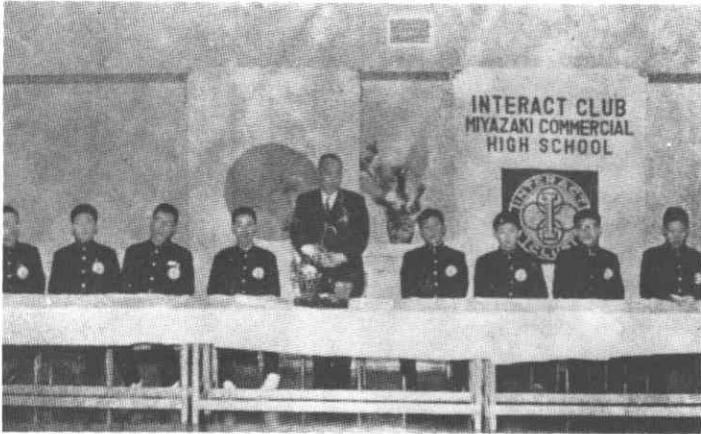
1967年 7月 竹野さんより大古殿さんへ



植樹初期〈ピロー〉
1962 4月



1967年 1月16日 韓国インターアクト団長と竹野・岩本



韓国インターアクトの一行
と宮商インターアクトとの
交換風景

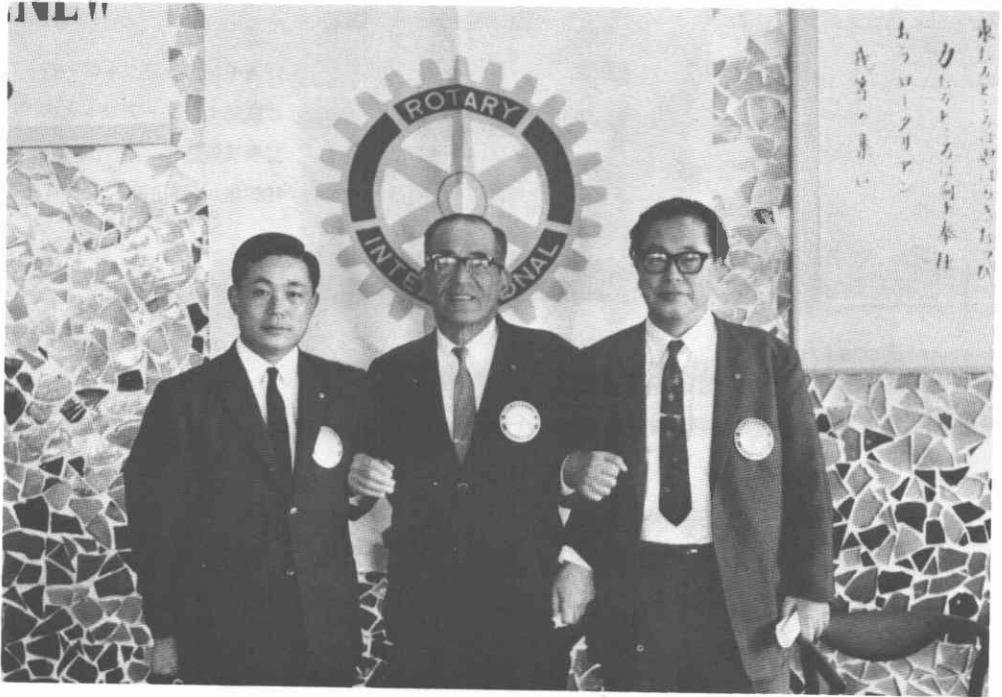
1967年 1月16日

南ソウル氏
バスターガバナー
張竜河氏



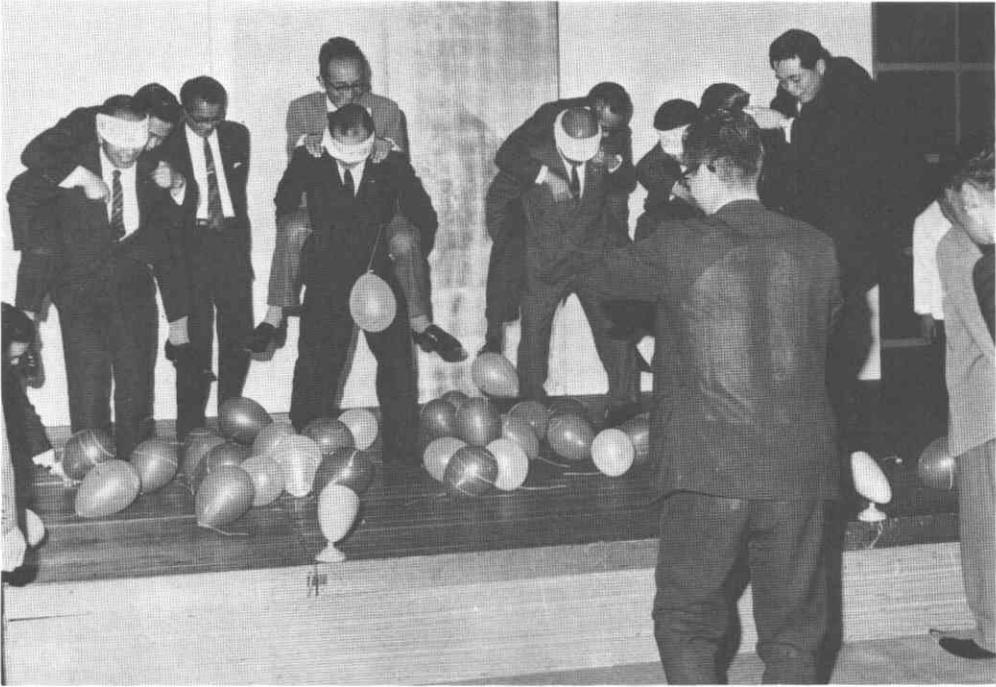
還歴と句集の発表
祝賀（田崎夫妻）

昭和42年 9月24日



1968～69年 植松・大賀・日高体制





1969年 12月 ロータリアンもすべてを忘れ楽しかったものです





天神山に寄贈した
すべり台は今も子
供達に喜ばれている



家族会はいつも
子供達大喜びです

楽しい年末家族会
にはよく参加され
る川辺夫妻



餅つき奉仕
カリタスの園
1976年 12月

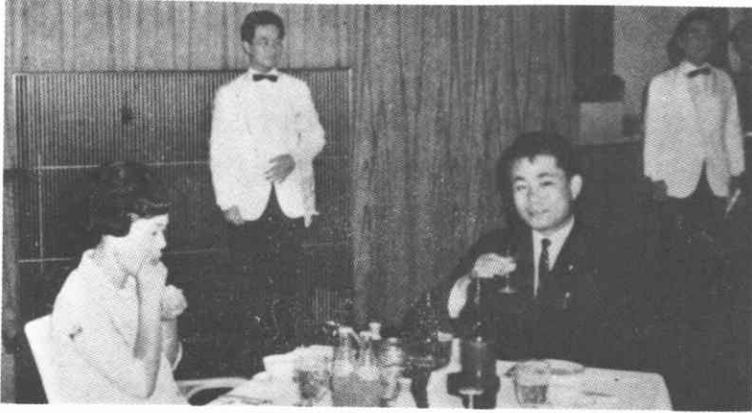


1966年10月号より
月報に毎月写真入りで
その当時のことが会報
で知らされました。



1966年8月24日
アメリカ・フィールド・サービ
ス(高校生)交換懇親大賀会
員の厚意で花嫁・花婿で大
喜び!!





1966年 10月号より



1980年 4月例会受付風景

編 集 後 記

宮崎西ロータリークラブ創立20周年並びにロータリー発生75周年記念にあたり、ロータリー100周年躍進へのステップとするため式典と祝賀会が盛大に開催され、その記念事業のひとつとして、20年史の発行が計画され、この委員会は特に元幹事経験者をもって構成し、編集に万全の体制で進めました。

今回の編集企画は

- | | |
|-------|------------|
| 第 1 編 | 20周年の喜び |
| 第 2 編 | ロータリーの発生 |
| 第 3 編 | クラブ運営方針 |
| 第 4 編 | 職 業 奉 仕 |
| 第 5 編 | 社会奉仕と青少年奉仕 |
| 第 6 編 | 国 際 奉 仕 |
| 第 7 編 | ロータリー財団 |
| 第 8 編 | 主催した主なる行事 |
| 第 9 編 | 区域限界の変遷 |
| 第10編 | 20年のクラブ年史 |
| 第11編 | 会 員 |
| 第12編 | 資 料 |

このような形でまとめてみました。

編集は5年史、10年史と既刊のものと多少重複するものもありますが、この記念史によって、新しい会員の方々にも、クラブの過去を御理解いただけるのではないかと考えたからであります。

編集にかかってみると、20年の歳月は余りにも永く、公式訪問報告書、週報、クラブ年史、その他、その間の資料はかなりで又散逸せるものも多く、これらのなかで整理分類は、大変なものであり、編集員、事務局の方などに御苦労をおかけ致しました。

資料の収集や選び出しに意外に暇どったり、あの記録も、この写真もと思ったが、思う如くならず、資料不足と予算の都合で期待はずれのものとなってしまいました。

今回20年史を編集するにあたり、今後の課題として申し上げておきたいと存じます。

1. クラブの諸活動の記録と写真ブック作成
2. クラブ年史を公式訪問報告書かその他の方法で記録整理しておくこと。
3. 各年度別にその年度の重要事項書類を整備して事務局が保管すること。
4. 委員会毎に活動状況を記録も必要

などを痛感致しました。

会員の皆様、並びに編集委員の方々のご支援とご協力誠にありがとうございました。
私の力不足で不満足なものとなり心苦しく、深く反省致しております。

昭和55年6月

20年史委員長 日 高 文 雄

20年史委員会

委 員 長	日 高 文 雄
副 委 員 長	藤 井 勝
委 員	橋 本 善 吉
〃	植 松 孝
〃	榎 本 正 久
〃	牧 圭 司
〃	菊 池 皓 一 郎
〃	角 地 次 男
〃	笹 栗 紘 二
〃	池 田 成 彬

